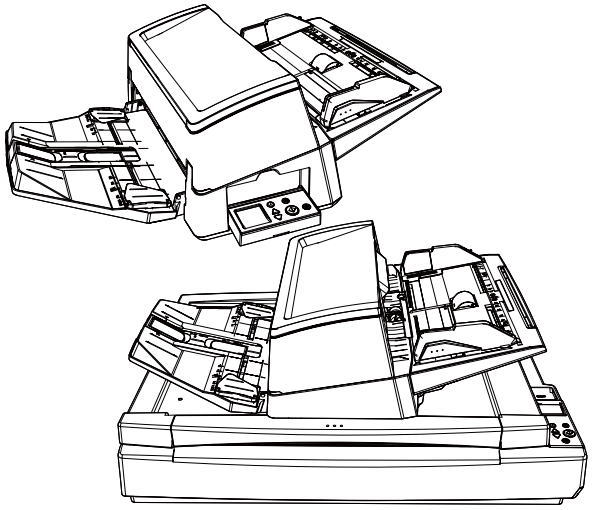
P3PC-7752-02Z2

RICOH

fi-8600/fi-8700/fi-8700S

オペレーターガイド



目次

はじめに 10

本製品の概要 10
マニュアルの種類 11
商標および登録商標 13
開発・販売元 13
発行日・発行責任 13
安全にお使いいただくために 13
本書で使用している記号 14
本書での略記 15
連続する操作の表記 16
本書に掲載している画面 16
ご利用条件 16
スキャナーを返却/廃棄/譲渡するとき 16

スキャナーをお使いになる前に 17

このスキャナーでできること 17
スキャナーの接続形態 19
各部の名称と働き 20

スキャナーのセットアップを始める 28

ソフトウェアの概要 28
動作環境 31
ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境） 32
ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境） 35

基本的なスキャナーの使い方 41

電源の投入/切断 41
電源の投入 42
電源の切断 44
省電力モードへの移行と復帰 45
ADF の開閉 47
ADF の開け方 47
ADF の閉じ方 48

ドキュメントカバーの開閉［fi-8700/fi-8700S］ 49
ドキュメントカバーの開け方 49
ドキュメントカバーの閉じ方 50
ADF の位置の設定［fi-8700/fi-8700S］ 51
ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 55
スタッカーの設定 56

基本的な読み取り方 59

画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する 60
スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る 62
Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する（USB 接続の場合） 67
使用したいボタンの設定を有効にする 70

原稿のセット方法 71

ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット 71
ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 71
ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 73
原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）の中央にセットする方法 73
原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）の左右どちらかの側に寄せてセットする方法 75
フラットベッドでの原稿のセット［fi-8700/fi-8700S］ 80
読み取りできる原稿 81
原稿のサイズ 81
原稿の種類 81
原稿の厚さ 81
うまく読み取れない場合がある原稿 82
読み取れない原稿 82
原稿とプラスチックカードの注意 83
セットできる原稿の枚数 85
穴を開けてはいけない領域 86
インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法 87
原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件 88
混載条件 90
自動原稿サイズ検出を行うための条件 94
A3 キャリアシートを使用する場合の条件 95

操作パネルの操作方法 98

操作パネルをお使いになる前に 98
操作パネルの名称と働き 98

液晶ディスプレイの表示内容 100
インジケーターの名称と働き 103
メニュー選択の操作方法 106
ガイダンスの確認 109
インフォメーションの確認 111
スキャナー情報の確認 113
スキャナーの動作設定 115
枚数カウンターの確認およびクリア 117
原稿枚数のカウント 119
メニュー選択で設定できる項目 121
機能選択の操作方法 129
機能選択で設定できる項目 131

いろいろな原稿の読み取り方 132

幅の違う原稿を読み取りたいとき 132
2 つ折りの原稿を読み取りたいとき 135
封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき 139
傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき 141
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき 143
長尺帳票を読み取りたいとき 145
手差しで原稿を読み取りたいとき 146
片面で読み取った原稿を両面で読み取ったように並べ替えたいとき［fi-8700S］ 148
フラットベッドで本を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ 150
フラットベッドでドキュメントカバーを開けたまま原稿を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ 151
フラットベッドで複数の原稿を一度に読み取って原稿ごとに画像を切り出したいとき［fi-8700/fi-8700S］ 153
フラットベッドで一定時間ごとに自動で原稿を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ 155
決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき 156
操作方法 157
原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき 161
操作方法 161

日常のお手入れ 163

清掃用品 163
清掃箇所と清掃頻度 165

スキャナー外部の清掃 **166**
スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパー） **168**
スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布） **170**
スキャナー内部（フラットベッド内部）の清掃［fi-8700/fi-8700S］ **177**
A3 キャリアシートの清掃 **179**

消耗品の交換 180

消耗品と交換周期 **180**
ブレーキローラの交換 **182**
ピックローラの交換 **186**

困ったときには 194

原稿づまりが発生したときは **194**
エラーについて **196**
インプリンタ異常（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ 200
メモリ異常/LSI 異常 200
フラットベッドキャリア走行異常［fi-8700/fi-8700S］ 201
光量異常（フラットベッド）［fi-8700/fi-8700S］ 201
光量異常（ADF） 202
操作パネル異常 203
EEPROM 異常 203
画像メモリ RW エラー 203
ピックアーム異常 204
裏当て切り替え異常 204
モーター系異常 205
インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ 205
ランプ系異常 206
原稿保護 206
原稿づまり/ピックエラー 207
原稿づまり（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ 207
マルチフィード 208
給紙モードスイッチ切り替え検出 208
センサーよごれ 209
センサー異常 209
有線 LAN 異常 210
ネットワーク設定異常 210
輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］ 211
ADF オープン 211

インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ 212
プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ 212
印字領域異常（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ 212
ほかで使用中 213
原稿なし 213
緊急停止 213
一時停止中 213

トラブルと対処方法 214
電源が投入されない 216
液晶ディスプレイの表示、［Power］ボタンの点灯が消える 217
スキャナーとコンピューターを USB で接続できない 218
スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない 219
読み取りが開始されない 223
原稿の読み取りに時間がかかる 225
スキャナーに電源が投入されたあとで、液晶ディスプレイにエラーコード「U0:10」、「U4:40」、または「U5:4A」が表示されている 226
頻繁に原稿が重なって搬送される 227
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる 230
原稿保護のエラーが頻繁に起こる 232
原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる 234
絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する 236
文字や線の読み取り結果が良くない 237
画像がゆがむまたは鮮明ではない 239
画像に縦線（縦筋）が出る 241
画像が間延びする 242
画像の先端または後端に影がある 243
原稿に黒い跡が残る 244
A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる 245
A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける 247
管理者パスワードを忘れた 248
工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる 248

お問い合わせの前に 249
お問い合わせの前に行うこと 249
お問い合わせの前に確認すること 249

装置ラベルの確認 251

スキャナー設定（Software Operation Panel） 253

Software Operation Panel の起動 253

Software Operation Panel の閲覧モード設定 255
「閲覧モード」の設定 256

「閲覧モード」の設定解除 258
パスワードの設定 260
パスワードの変更 261
パスワードの設定解除 262
パスワードを紛失したときの対応 263
設定項目 264
装置設定 264
装置設定 2 266
枚数カウンターに関する設定 269
枚数カウンターの確認 269
枚数カウンターのクリア 272
消耗品交換/清掃指示メッセージ 273
スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定） 274
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター） 275
読み取りに関する設定 276
読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） 276
画像の端にできる影や筋の消去（縁消し(ADF)・縁消し(FB)［fi-8700/fi-8700S］） 278
指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー） 281
読み取り時間の短縮（プレピックモード） 282
給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数） 283
原稿の給紙を開始するタイミングの設定（ピック速度） 284
画像サイズの設定（自動原稿サイズ検出時のバウンダリー） 285
原稿保護機能の設定（ペーパープロテクション） 286
原稿保護機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル） 288
インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿の読み取り設定（自動原稿サイズ検出(後端調整)） 290
ピック圧の調整（ピック圧設定） 291
原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する設定（オーバースキャン読み取り制御） 292
高地で読み取る機能の設定（高地モード） 294
読み取るときの画質の設定（画質モード） 295
原稿保護機能の設定（低速搬送モード） 296
原稿排出速度の設定（排紙制御） 297
原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定 298
原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） 298
原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） 300
決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） 306
待機時間に関する設定 308
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定） 308
手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） 310
スキャナーとコンピューターの接続に関する設定 311
USB 動作の設定（USB） 311

USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能） 312

電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定 313

電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御） 313

スキャナーの保守に関する設定 315

縦筋を検知する機能の設定（縦筋検知設定） 315

縦筋を検知する機能の感度設定（縦筋検知レベル） 316

スキャナーの保守・点検周期の設定（保守・点検周期設定） 317

ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） 318

fi Series ネットワーク設定の起動 318

設定項目 321

スキャナー情報 323

スキャナー情報 323

ネットワーク 324

スキャナー名 324

有線 LAN 325

セキュリティ 327

通信の暗号化 327

メンテナンス 328

管理者パスワード 328

スキャナー設定情報の移出 329

スキャナー設定情報の移入 330

工場出荷設定に戻す 331

ライセンス 332

付録 333

スキャナー基本仕様 333

設置諸元 336

外形寸法 338

スキャナーのオプション 340

スキャナーのオプションの交換 343

ADF 給紙シュート（フィーダー）の交換 343

スタッカーの交換 344

ストッパーの交換 345

スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 347

ソフトウェアのアンインストール方法 348

e-文書法に適合した電子文書の作成 **349**
IPv6 を使用する場合の留意事項 **351**
スキャナー設定情報の移出の留意事項 **352**
Network Setup Tool の起動方法 **353**
スキャナー選択ツールの起動方法 353
IP アドレス設定ツールの起動方法 354
Button Event Manager の起動方法 355
再梱包時の注意【fi-8700/fi-8700S】 **356**
フラットベッド内のキャリアユニットの固定 356
ADF の固定 359
ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーの取り付け 361

修理・お問い合わせ **363**

トラブル対処 **363**
修理サービスのご案内 **363**
お問い合わせ窓口 **364**
サプライ用品の購入先 **365**

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品の概要

本製品とは、fi-8600/fi-8700/fi-8700S の 3 機種のスキャナーのことです。
すべての機種は、自動給紙が可能な ADF（Automatic Document Feeder）を搭載しており、USB または有線 LAN で接続して使用できます。
さらに、機種によっては、フラットベッドを搭載している機種があります。
各機種の違いは、次の一覧で確認してください。

機種名	スキャナータイプ		インターフェイス		読み取り速度（*2）
	ADF	フラットベッド（*1）	USB	有線 LAN	
fi-8600	○	—	○	○	● ADF 片面 100 枚/分、両面 200 面/分 ● フラットベッド なし
fi-8700	○	○	○	○	● ADF 片面 100 枚/分、両面 200 面/分 ● フラットベッド 0.9 秒/枚
fi-8700S	○（*3）	○	○	○	● ADF 片面 75 枚/分 ● フラットベッド 0.9 秒/枚

○：搭載

—：非搭載

***1**：フラットベッドでは、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿を読み取れます。

***2**：ADF は、解像度 200/300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 横サイズの原稿を読み取った場合です。
フラットベッドは、解像度 200/300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 縦サイズの原稿を読み取った場合です。

***3**：片面読み取りだけサポートしています。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。
必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意（紙、PDF）（*1）	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
スタートアップガイド（紙）	スキャナーの梱包品の確認、保護用部材の取り外し、使用前の準備を説明しています。
オペレーターガイド（本書）（HTML）（*1）	スキャナーのセットアップ方法、基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。
fi-760PRB インプリンタオペレーターガイド（PDF）（*1）	本製品のオプションである fi-760PRB インプリンタの基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。
PaperStream Capture ユーザーズガイド（HTML）	PaperStream Capture の概要、導入方法、設定方法、原稿の読み取り方法、便利な設定、画面項目を説明しています。
PaperStream IP ヘルプ	PaperStream IP ドライバーの使い方や設定方法を説明しています。
Network Setup Tool ヘルプ	スキャナーをネットワークに接続して使用するための各種ツールの使い方を説明しています。
PaperStream ClickScan ヘルプ	PaperStream ClickScan の使い方や設定方法を説明しています。
fi Series Online Update ヘルプ	fi Series Online Update の使い方や設定方法を説明しています。

***1：**ソフトウェアのインストールで、マニュアルをインストールすると、マニュアルを参照できます。
ソフトウェアのインストール方法は、次を参照してください。

- ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境） (32 ページ)
- ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境） (35 ページ)

インストールされたマニュアルは、次の手順で参照できます。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「fi Series」→「安全上のご注意 - fi-8600 fi-8700 fi-8700S」、「オペレーターガイド - fi-8600 fi-8700 fi-8700S」、または「インプリンタオペレーターガイド - fi-8600 fi-8700 fi-8700S」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「安全上のご注意 - fi-8600 fi-8700 fi-8700S」、「オペレーターガイド - fi-8600 fi-8700 fi-8700S」、または「インプリンタオペレーターガイド - fi-8600 fi-8700 fi-8700S」をクリックします。

これらのマニュアルのほかに、使用するソフトウェアに応じて、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
ソフトウェアについては、ソフトウェアの概要 (28 ページ)を参照してください。

- **スキャナーをセットアップするときの参照マニュアル**

作業		参照先
開梱～使用前の準備		スタートアップガイド
スキャナーのセットアップ	接続形態の確認	オペレーターガイド ● スキャナーの接続形態 (19 ページ) ● ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）(318 ページ)
	ソフトウェアのインストール/接続方法の設定	● オペレーターガイド - スキャナーのセットアップを始める (28 ページ) ● Network Setup Tool ヘルプ
サーバーの構築（必要時）	DNS サーバーの環境設定（スキャナーやコンピューターをホスト名で検索する場合）	使用している DNS サーバーのマニュアル
	PaperStream Central Admin の導入～運用（PaperStream Central Admin を使用する場合）	PaperStream Central Admin ユーザーズガイド
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド ● 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ) ● スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)
	読み取り設定	● スキャナードライバーのヘルプ ● 画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプ
スキャナーの動作設定		オペレーターガイド ● スキャナー設定（Software Operation Panel）(253 ページ)

商標および登録商標

ISIS は、Open Text の商標です。
Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
Google および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。
本製品には、製品開発元である株式会社 PFU の著作物のほかに、第三者が作成したオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアのライセンス条件に関する詳細は、fi Series ネットワーク設定のメニューにある「ライセンス」をクリックして表示される画面を参照してください。
Microsoft、Internet Explorer、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU
〒 220-8567
神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2026 年 9 月
発行責任 株式会社 PFU
Regulatory Model : P3890A/P3890C/P3890E/P3890L/P3890M/P3890N
© PFU Limited 2026

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。
警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。
次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

また、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。

重要

特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。

ヒント

操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home（32/64 ビット） Windows® 10 Pro（32/64 ビット） Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット） Windows® 10 Education（32/64 ビット）	Windows 10（*1）
Windows® 11 Home（64 ビット） Windows® 11 Pro（64 ビット） Windows® 11 Enterprise（64 ビット） Windows® 11 Education（64 ビット）	Windows 11（*1）
Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）	Windows Server 2016（*1）
Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）	Windows Server 2019（*1）
Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）	Windows Server 2022（*1）
Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）	Windows Server 2025（*1）
Internet Explorer®	Internet Explorer
Google Chrome™	Google Chrome
PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (TWAIN x64) PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series	PaperStream IP ドライバー

***1：**すべてのオペレーティングシステムを区別しないで説明する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。
本書では、Windows 11 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

ご利用条件

本書については、次のご利用条件をご確認のうえご利用ください。

- 本書に記載されている機能をすべて使用する場合は、fi シリーズに関連するソフトウェアおよびファームウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。
- 本書は、製品を購入または導入いただいたお客様のための資料です。本書について、購入または導入されたお客様以外からのお問い合わせにはお応えできない場合がありますので、ご了承ください。
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更、またはサービスを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の利用、または利用できなかったことにより万一損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

スキャナーを返却/廃棄/譲渡するとき

スキャナーには、ユーザー名やメールアドレスを含む各種設定情報が保存されている場合があります。
スキャナーを返却、廃棄、または譲渡されるときは、お客様ご自身でスキャナーに保存された情報を削除してください。
削除方法は、次を参照してください。

- fi Series ネットワーク設定（ブラウザー）
  - 工場出荷設定に戻す (331 ページ)

スキャナーをお使いになる前に

ここでは、スキャナーを使い始める前に知っておきたい概要について説明します。

このスキャナーでできること

- **スキャナーの接続**
  - スキャナーを USB ケーブルまたは LAN ケーブルで接続できます
    ➡ スキャナーの接続形態 (19 ページ)
- **読み取りの方法**
  - コンピューターから読み取りを開始できます
    ➡ 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ)
  - スキャナーのボタンで読み取りを開始できます
    ➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)
- **多様な原稿の読み取り**
  - 読み取りが難しい原稿（2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの転写紙など）も読み取れます
    ➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)
    ➡ 幅の違う原稿を読み取りたいとき (132 ページ)
    ➡ 封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき (139 ページ)
  - 厚さやサイズ、種類の異なる原稿をまとめて一度に読み取ります
    ➡ 混載条件 (90 ページ)
    ➡ 幅の違う原稿を読み取りたいとき (132 ページ)
  - 大きいサイズの原稿を読み取ります
    ➡ 傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき (141 ページ)
    ➡ 長尺帳票を読み取りたいとき (145 ページ)
  - 大事な原稿、写真や切り抜きを傷つけないよう保護しながら読み取ります
    ➡ 傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき (141 ページ)
    ➡ 写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき (143 ページ)
    ➡ A3 キャリアシートを使用する場合の条件 (95 ページ)
  - 手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取ります
    ➡ 手差しで原稿を読み取りたいとき (146 ページ)
  - 本を読み取ります
    ➡ フラットベッドで本を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ (150 ページ)
  - ドキュメントカバーを開けたまま読み取ります

➡ フラットベッドでドキュメントカバーを開けたまま原稿を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ (151 ページ)

- 複数の原稿をフラットベッドに並べて読み取って原稿ごとに画像を切り出します

  ➡ フラットベッドで複数の原稿を一度に読み取って原稿ごとに画像を切り出したいとき［fi-8700/fi-8700S］ (153 ページ)

- 本のページをめくりながら読み取ります

  ➡ フラットベッドで一定時間ごとに自動で原稿を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ (155 ページ)

- 付箋紙、伝票、写真などの紙片が決まった位置に貼り付けてある原稿をエラーと検出しないで読み取ります

  ➡ 決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (156 ページ)

- e-文書法の画質要件を満たした電子文書を作成します

  ➡ e-文書法に適合した電子文書の作成 (349 ページ)

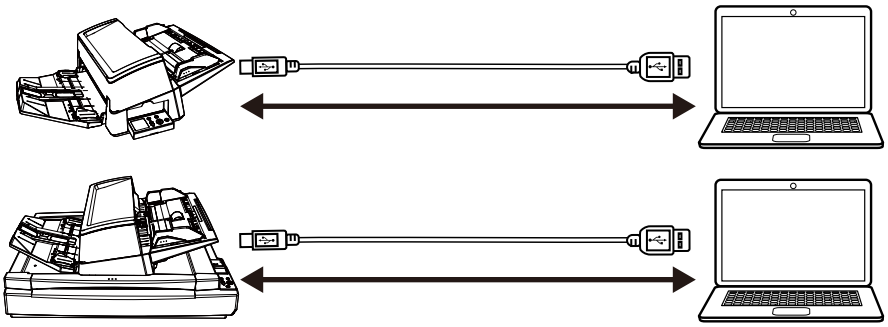
- **スキャナーを集中管理**

  - PaperStream Central Admin Agent を使用すると、PaperStream Central Admin でスキャナーを管理できます
    詳細は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

スキャナーの接続形態

- **スキャナーを USB で接続する**

  スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。



  次の方法で読み取れます。

  - コンピューターから読み取る

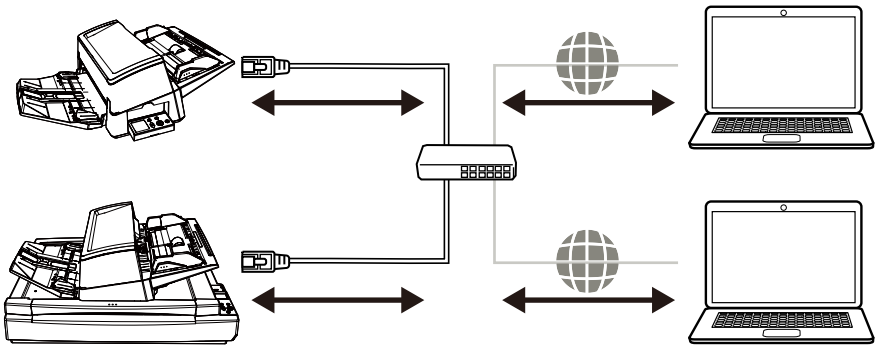
    ➡ 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ)

  - スキャナーのボタンで読み取る

    ➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)

- **スキャナーを有線 LAN で接続する**

  スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）を LAN ケーブルで接続します。
  コンピューターと接続する場合、同じネットワーク上のコンピューターから使用できます。



  次の方法で読み取れます。

  - コンピューターから読み取る

    ➡ 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ)

  - スキャナーのボタンで読み取る

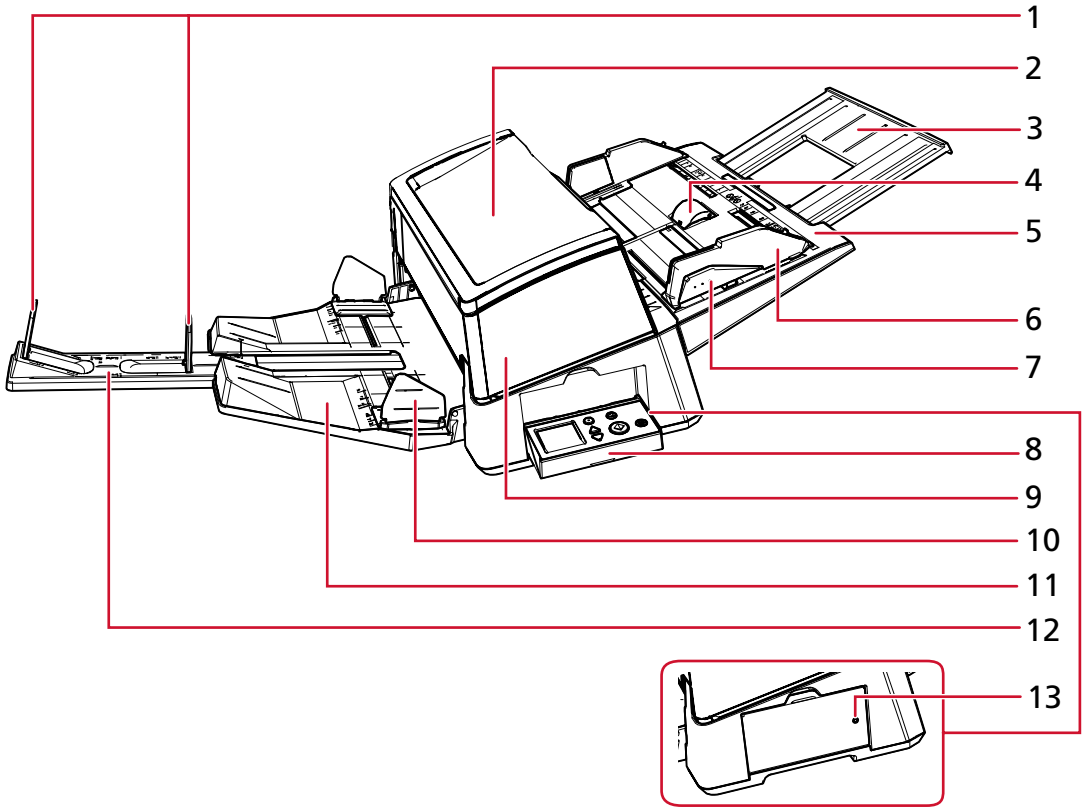
    ➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)

各部の名称と働き

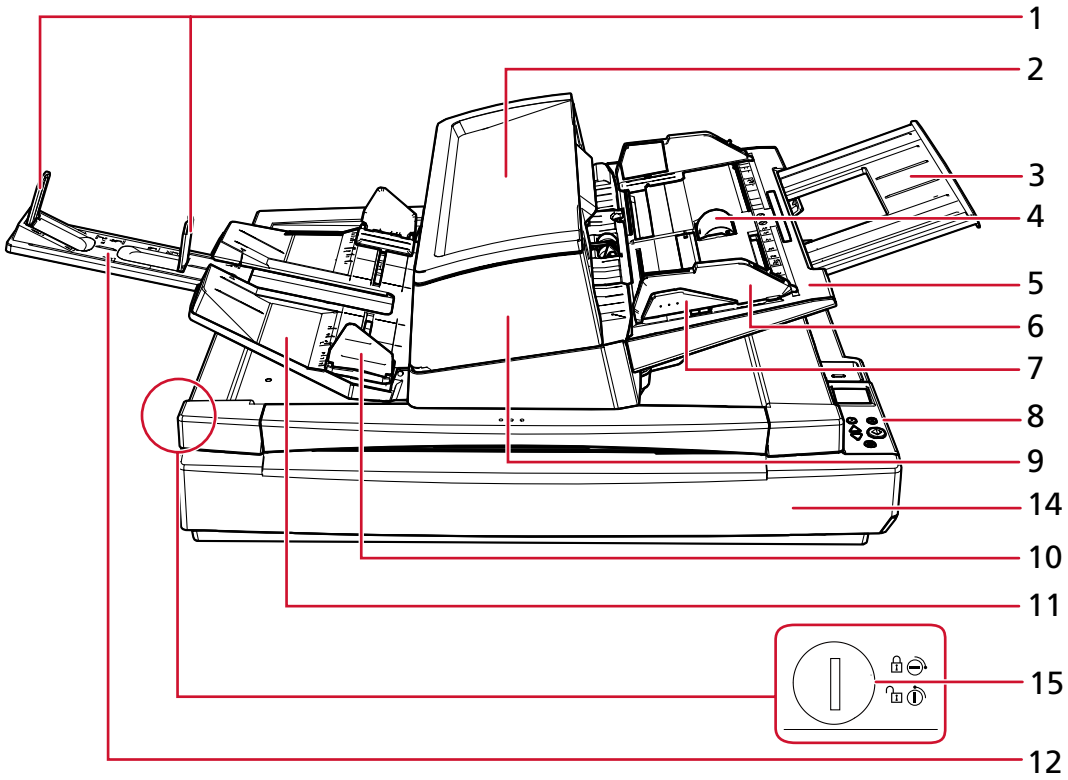
スキャナーの各部名称について説明します。

- **前面**

  - fi-8600



● fi-8700/fi-8700S

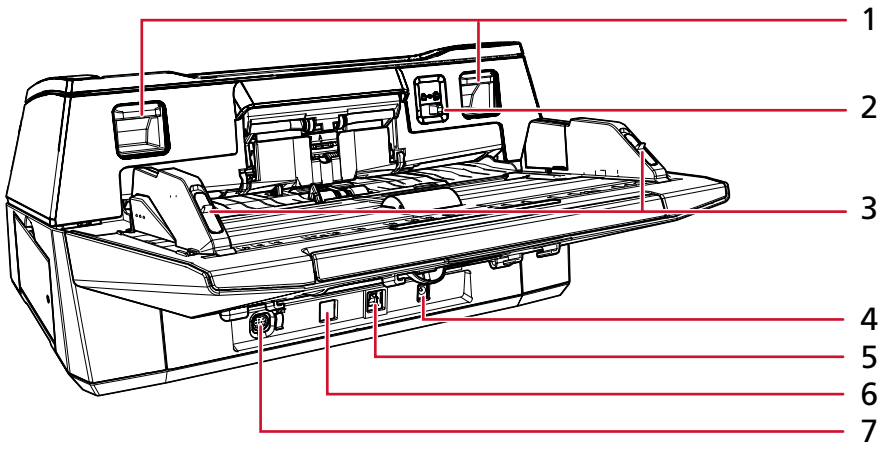


No.	名称	働き
1	ストッパー	読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。
2	サブトレイ	読み取る原稿を一時的に置くための台です。
3	シュートエクステンション	読み取る原稿の長さに合わせて、引き出して使います。
4	シュートローラーカバー	シュートローラーに、指がはさみこまれないように防止するカバーです。
5	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
6	サイドガイド	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の幅に合わせて、原稿の横位置を決めます。 原稿が傾いて搬送されるのを防止します。
7	サイドガイドボタン	押している間、ロックが解除され、サイドガイドの位置を調整できます。 手を離した位置でサイドガイドが固定されます。
8	操作パネル	液晶ディスプレイ、ボタンから構成されています。 スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 スキャナーの両側にあり、左右どちらからでも操作できます。使用しないときは、折りたたんで収納できます。 ➡ 操作パネルの操作方法 (98 ページ)

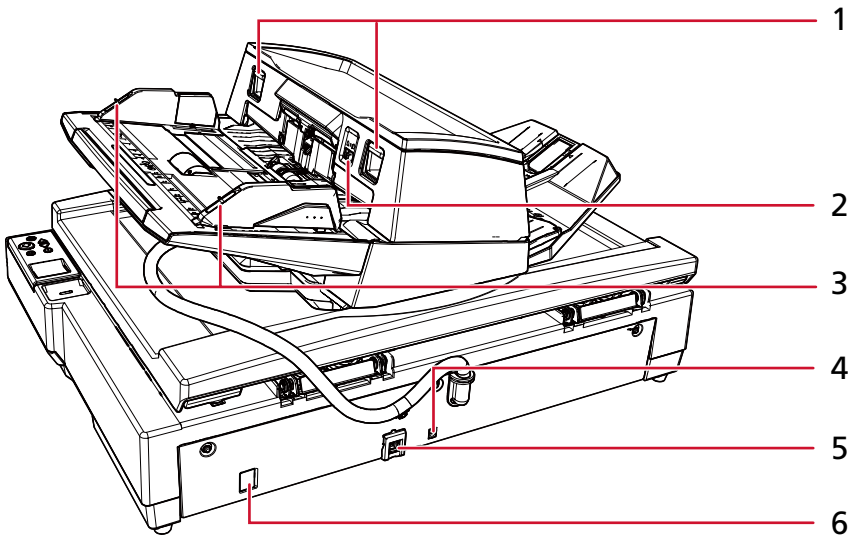
No.	名称	働き
9	ADF（自動給紙機構）	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を、1 枚ずつ引き込んで搬送します。 消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。
10	スタッカーサイドガイド	スタッカーに排出される原稿が、原稿の幅方向にバラバラにならないようにするときに使います。
11	スタッカー	排出された原稿が積み重ねられます。 高・低の 2 つの位置に高さを設定できます。
12	スタッカーエクステンション	読み取る原稿の長さに合わせて、引き出して使います。
13	Status ランプ（LED）	折りたたんだ状態でも、スキャナーの電源が投入されているかどうかを確認できます。 スキャナーの電源が投入されているときは点灯（緑）します。 スキャナーの電源が切断されているときは消灯します。
14	フラットベッド	薄い原稿、本のような厚みを持った原稿など ADF で読み取れない原稿を読み取る場合に、原稿台に原稿を置いてセットします。
15	輸送ロックスイッチ	輸送ロックをかけたり、解除したりします。 輸送ロックをかけることで、スキャナーの輸送中にフラットベッドが破損しないように、フラットベッド内のキャリアユニットを固定できます。 輸送ロックをかけるには、コインなどの道具を使って、溝が横になるように輸送ロックスイッチを回転させます。 輸送ロックを解除することで、フラットベッドで読み取りできるようになります。 輸送ロックを解除するには、コインなどの道具を使って、溝が縦になるように輸送ロックスイッチを回転させます。

● 背面

● fi-8600



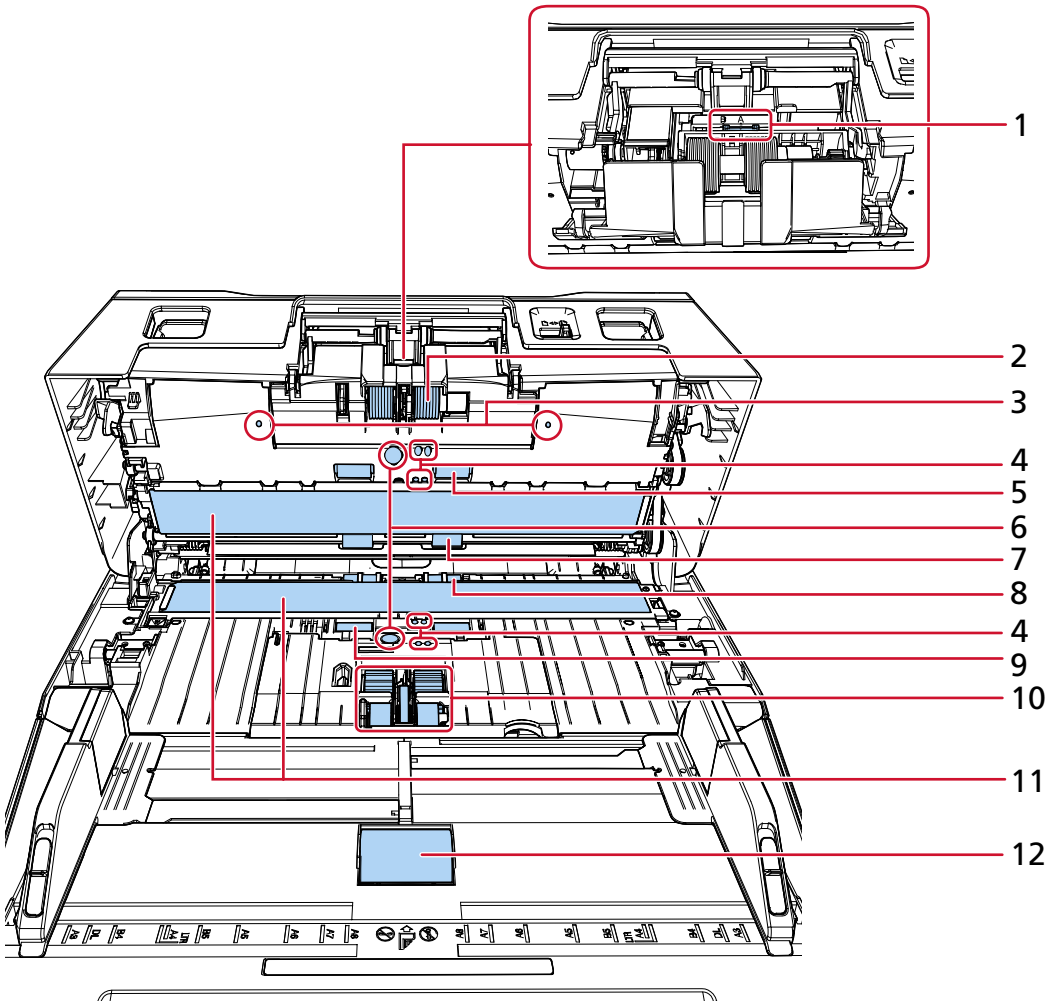
● fi-8700/fi-8700S



No.	名称	働き
1	ADF オープンレバー	ADF オープンレバーを上げると、ロックが解除され ADF が開きます。
2	給紙モードスイッチ	給紙モードスイッチを左にスライドすると、手差し・単送モードに切り替わります。
3	ロックスイッチ	サイドガイドを固定します。
4	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。 電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したケーブルのことです。
5	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。

No.	名称	働き
6	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。
7	EXT コネクター	インプリンタを接続します。 読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印刷するインプリンタをオプション（別売）として用意しています。 読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理したい場合に利用します。 ➡ スキャナーのオプション (340 ページ)

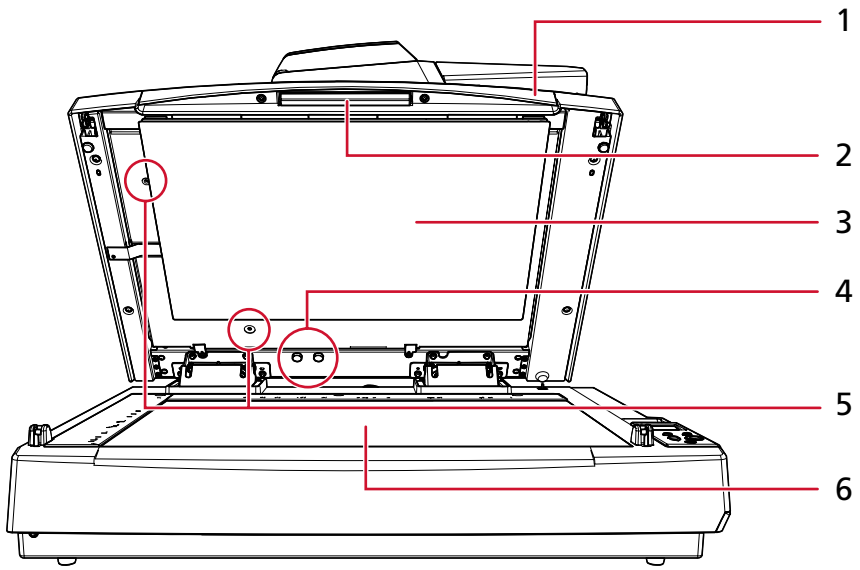
- **内部（ADF）**



No.	名称	働き
1	分離力切り替えスイッチ（1 か所）	工場出荷時は、A に設定されています。
2	ブレーキローラ（2 か所）	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されることを防止するローラーです。

No.	名称	働き
3	マイク（2 か所）	原稿がつまる音を検出します。
4	原稿検知センサー（8 か所）	原稿の有無を検知するセンサーです。
5	フィードローラー（2 か所）	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。
6	超音波センサー（2 か所）	超音波によって原稿の重なりを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、原稿の重なりを検出します。
7	排出ローラー（2 か所）	ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。
8	プラスチックローラー（2 か所）	ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。
9	ゴムローラー（2 か所）	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。
10	ピックローラ（5 か所）	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。
11	ガラス（2 か所）	原稿を読み取る面です。
12	シュートローラー（1 か所）	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿を搬送するローラーです。

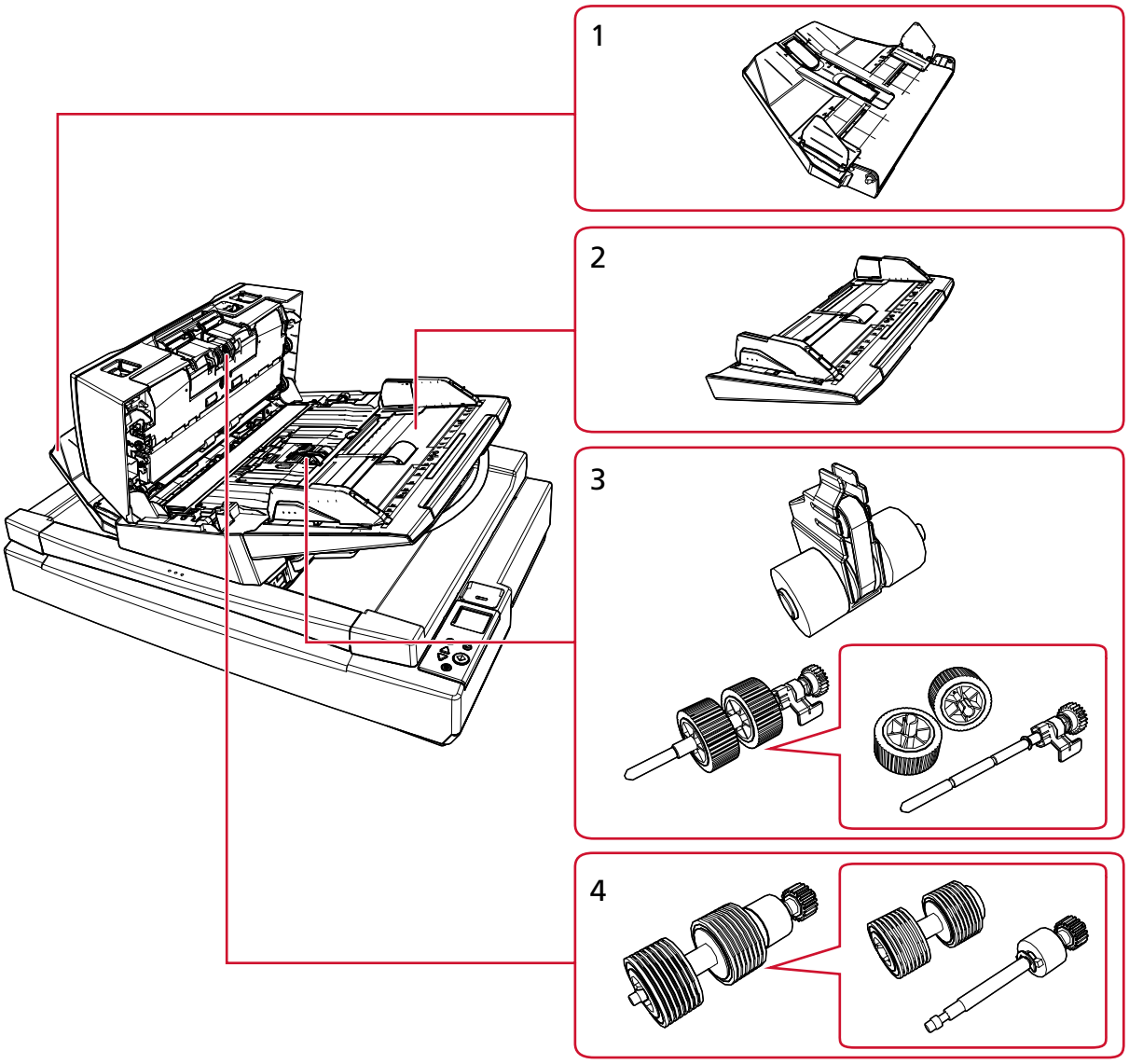
- **内部（フラットベッド）[fi-8700/fi-8700S]**



No.	名称	働き
1	ドキュメントカバー	閉じると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。
2	ハンドル	ドキュメントカバーの開閉に使用します。
3	原稿押さえパッド	原稿を原稿台に押し付けて固定します。

No.	名称	働き
		黒色の原稿押さえパッドをオプション（別売）として用意しています。 黒背景で読み取りたい場合に利用します。 ➡ スキャナーのオプション (340 ページ)
4	ロックネジ保管位置	ADF 固定解除後、抜き取った ADF 輸送ロックネジを保管します。
5	ADF 輸送ロックネジ	ADF を固定します。
6	原稿台	ガラス面に原稿を置いてセットします。 ➡ フラットベッドでの原稿のセット[fi-8700/fi-8700S] (80 ページ)

- **取り外し可能部品**



No.	名称	働き
1	スタッカー	排出された原稿が積み重ねられます。 高・低の 2 つの位置に高さを設定できます。
2	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
3	ピックローラ	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。
4	ブレーキローラ	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されることを防止するローラーです。

スキャナーのセットアップを始める

ここでは、スキャナーを使用するためのセットアップについて説明します。
スキャナーを使用するには、ダウンロードサイトからインストーラーを取得して、次のセットアップを行います。

- ソフトウェアのインストール
  スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアをインストールします。
  ➡ ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境） (32 ページ)
  ➡ ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境） (35 ページ)
- スキャナーの接続
  スキャナーを USB ケーブルまたは有線 LAN で接続します。
  詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。
  スキャナーの接続形態については、スキャナーの接続形態 (19 ページ)を参照してください。

そのあと、必要に応じて、次の設定を行います。

- スキャナーの動作設定
  ➡ スキャナー設定（Software Operation Panel） (253 ページ)
- スキャナーのネットワーク設定
  ➡ ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） (318 ページ)

ソフトウェアの概要

スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアについて説明します。
ソフトウェアは、ダウンロードサイトからインストーラーを取得して一括インストールするか、必要なソフトウェアを個別にインストールします。

> **ヒント**
> PaperStream Central Admin を使用する場合は、ダウンロードサイトから個別にインストールします。詳細は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- PaperStream IP ドライバー
  PaperStream IP ドライバーは、TWAIN/ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ネットワークに接続したスキャナーにも対応しています。
  PaperStream IP ドライバーには、次の 3 種類があります。
  - PaperStream IP (TWAIN)
    TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
  - PaperStream IP (TWAIN x64)
    TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
    オペレーティングシステムに関係なく、32 ビットの画像読み取り用アプリケーションを使用する場合は、PaperStream IP (TWAIN)を使用してください。

- PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series
  ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

- Network Setup Tool
  次のアプリケーションが含まれています。
  スキャナーをネットワークに接続して使用できるようにする場合に必要なアプリケーションです。
  - スキャナー選択ツール
    ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用できるようにするアプリケーションです。
  - IP アドレス設定ツール
    スキャナーの IP アドレスおよびスキャナー名を設定するアプリケーションです。
  - Button Event Manager
    ネットワーク接続の場合に、スキャナーのボタンから起動する画像読み取り用アプリケーションを設定するアプリケーションです。

  詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Software Operation Panel
  原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。
  PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。

  ➡ スキャナー設定（Software Operation Panel） (253 ページ)

- Error Recovery Guide
  スキャナーのエラーが発生した場合に、スキャナーの状態と対処方法を表示するアプリケーションです。
  PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
  対処方法は、困ったときには (194 ページ)でも参照できます。

- Error Recovery Guide（マニュアル）
  Error Recovery Guide が通知するエラーの対処方法が記載されたマニュアルです。

- PaperStream ClickScan
  PaperStream IP (TWAIN)に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
  シンプルな設定と操作だけで読み取れます。
  コンピューターにログインすると同時に自動で起動し、タスクバーの通知領域に常駐します。
  詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。

- PaperStream Capture
  PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
  スキャナーの読み取り処理の設定をジョブに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。
  なお、PaperStream Capture には有償の PaperStream Capture Pro/PaperStream Capture Pro Premium があり、評価版で PaperStream Capture Pro Premium の機能を体験できます。
  詳細は、PaperStream Capture ユーザーズガイドを参照してください。

- マニュアル
  安全上のご注意、オペレーターガイド、および fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドがインストールされます。

- fi Series Online Update
  次の最新アップデートプログラムを確認し、アップデートするアプリケーションです。
  - コンピューターにインストールされているソフトウェア
  - コンピューターと接続しているスキャナーのファームウェア

  詳細は、fi Series Online Update のヘルプを参照してください。

動作環境

ソフトウェアをインストールするコンピューターの動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	● Windows® 10 Home（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 10 Pro（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 10 Education（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Home（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Pro（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Enterprise（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Education（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）（*1）
CPU	Intel または Intel 互換プロセッサー
ディスプレイ解像度	1024×768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ（*2）
ディスク容量	12GB 以上の空き容量が必要（*3）
インターフェイス	USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1
ブラウザー（*4）	● Google Chrome ● Microsoft Edge

***1：**添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

***2：**fi Series ネットワーク設定を使用する場合は、1280×768 ピクセル以上のディスプレイを使用してください。
PaperStream Capture を使用する場合は、1280×800 ピクセル以上、65536 色以上表示可能なディスプレイを使用してください。

***3：**原稿を読み取るときは、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

***4：**fi Series ネットワーク設定で、スキャナーのネットワークの設定をする場合に必要となります。
Microsoft Edge の Internet Explorer モードは未サポートです。

ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

コンピューターをインターネットに接続する必要があります。
スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合は、ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境） (35 ページ)を参照してインストールしてください。

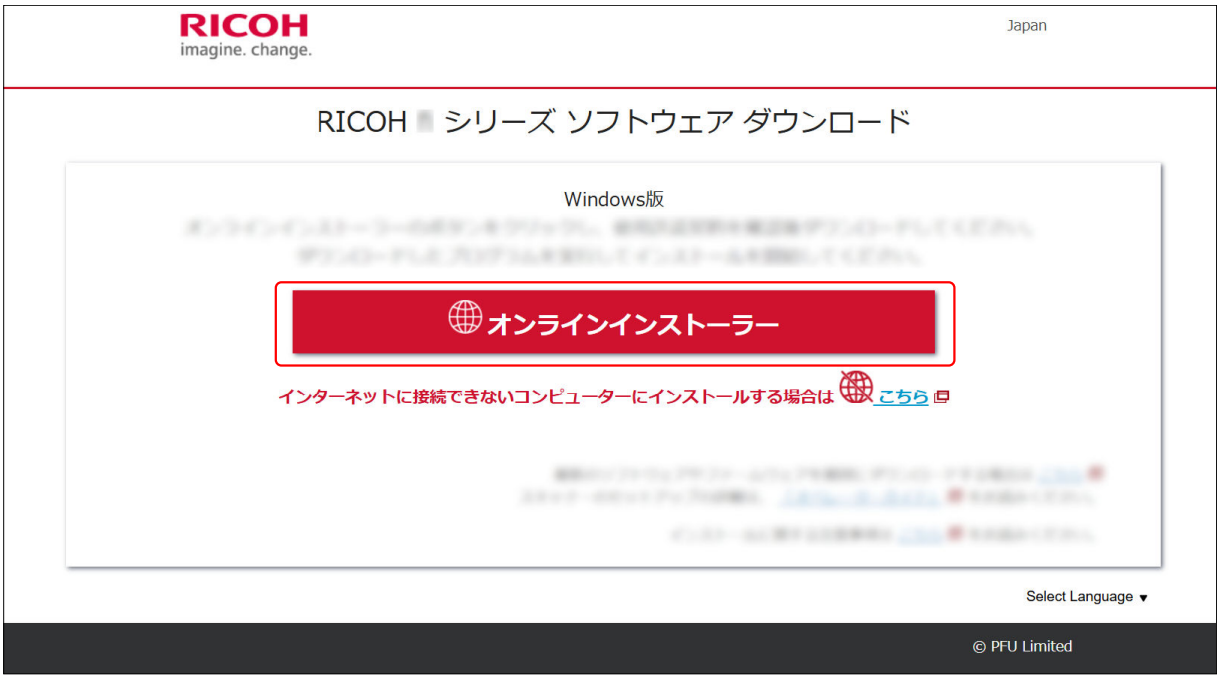
重要

- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
  ➡ ソフトウェアのアンインストール方法 (348 ページ)
- 本インストーラーに同梱している Network Setup Tool は、Network Setup Tool for fi Series の後継製品になります。Network Setup Tool for fi Series がすでにインストールされている場合は、Network Setup Tool をインストールする前にアンインストールしてください。

1 **コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。**

2 **ダウンロードサイトに接続します。**
https://www.pfu.ricoh.com/fi/d/

3 **「オンラインインストーラー」をクリックします。**



4 **使用許諾契約の画面で、内容を確認して［同意してダウンロード］ボタンをクリックします。**
オンラインインストーラーのダウンロードが開始されます。

5 **ダウンロードしたオンラインインストーラー「Online Installer fi Series.exe」をダブルクリックします。**

6 **おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。**

- おすすめインストール
  次のソフトウェアがインストールされます。
  - PaperStream IP (TWAIN)
    次も同時にインストールされます。
    - Software Operation Panel
    - Error Recovery Guide
  - PaperStream Capture
  - PaperStream ClickScan
  - Network Setup Tool
  - Error Recovery Guide（マニュアル）
  - fi Series Online Update
  - マニュアル（安全上のご注意、オペレーターガイド、および fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイド）

    a 「おすすめインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



- カスタムインストール
  必要なソフトウェアを選択してインストールします。

a 「カスタムインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。
スキャナーをネットワークに接続する場合、Network Setup Tool をインストールしてください。

7 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ファームウェアのアップデートがある場合、ファームウェアをアップデートするかどうかの画面が表示されます。
アップデートするかどうかを指定して、操作を進めてください。

8 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、接続方法を選択し、画面の指示に従って操作を進めます。
詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。

ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

この場合、インターネットに接続できるコンピューターで、ダウンロードサイトからオフラインインストーラークリエイターを入手し、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を作成します。
スキャナーを接続するコンピューターで、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を実行してソフトウェアをインストールします。

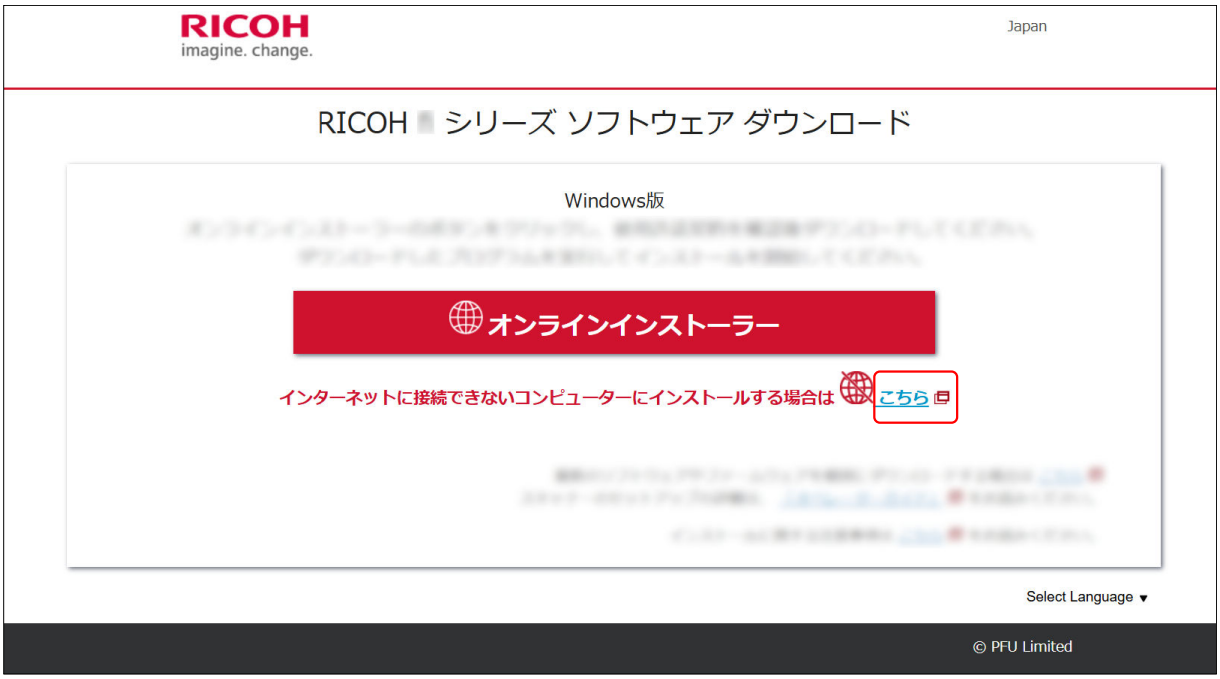
重要

- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
  ➡ ソフトウェアのアンインストール方法 (348 ページ)
- 本インストーラーに同梱している Network Setup Tool は、Network Setup Tool for fi Series の後継製品になります。Network Setup Tool for fi Series がすでにインストールされている場合は、Network Setup Tool をインストールする前にアンインストールしてください。

1 **インターネットに接続できるコンピューターで、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。**

2 **ダウンロードサイトに接続します。**
https://www.pfu.ricoh.com/fi/d/

3 **「インターネットに接続できないコンピューターにインストールする場合はこちら」の「こちら」をクリックします。**



4 **インストールの流れを説明した画面で、「オフラインインストーラークリエイター」をクリックします。**

5 使用許諾契約の画面で、内容を確認して［同意してダウンロード］ボタンをクリックします。

オフラインインストーラークリエイターのダウンロードが開始されます。

6 ダウンロードしたオフラインインストーラークリエイター「Offline Installer Creator fi Series.exe」をダブルクリックします。

7 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。

ここで選択した内容に従って、最新のソフトウェアを含むオフラインインストーラー（ISO ファイル）が作成されます。

- おすすめインストール
  次のソフトウェアがインストールされます。
  - PaperStream IP (TWAIN)
    次も同時にインストールされます。
    - Software Operation Panel
    - Error Recovery Guide
  - PaperStream Capture
  - PaperStream ClickScan
  - Network Setup Tool
  - Error Recovery Guide（マニュアル）
  - fi Series Online Update
  - マニュアル（安全上のご注意、オペレーターガイド、および fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイド）

a 「おすすめインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



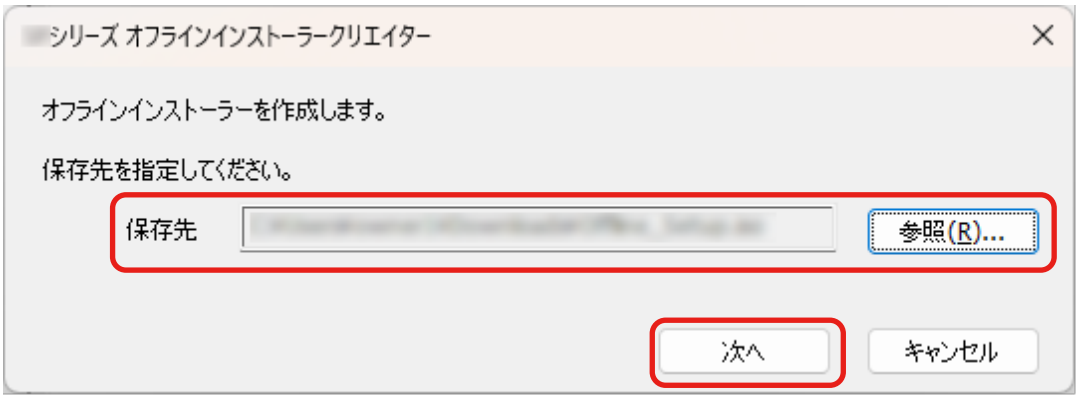
- カスタムインストール
  必要なソフトウェアを選択します。

a 「カスタムインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

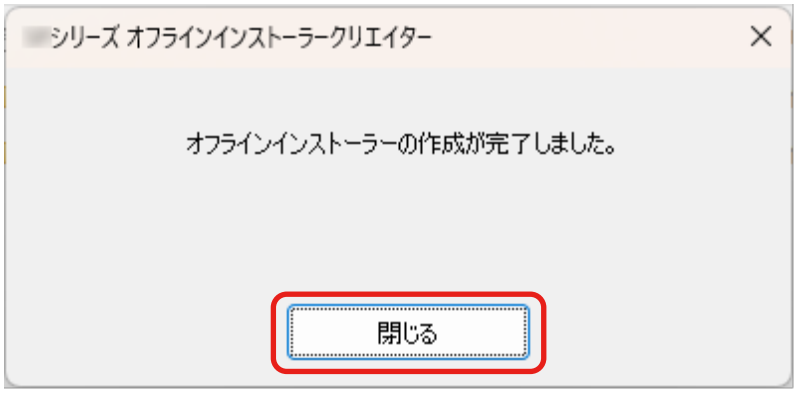


b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。
スキャナーをネットワークに接続する場合、Network Setup Tool のチェックボックスにチェックを付けてください。

8 ISO ファイルの保存先を指定して、［次へ］ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。

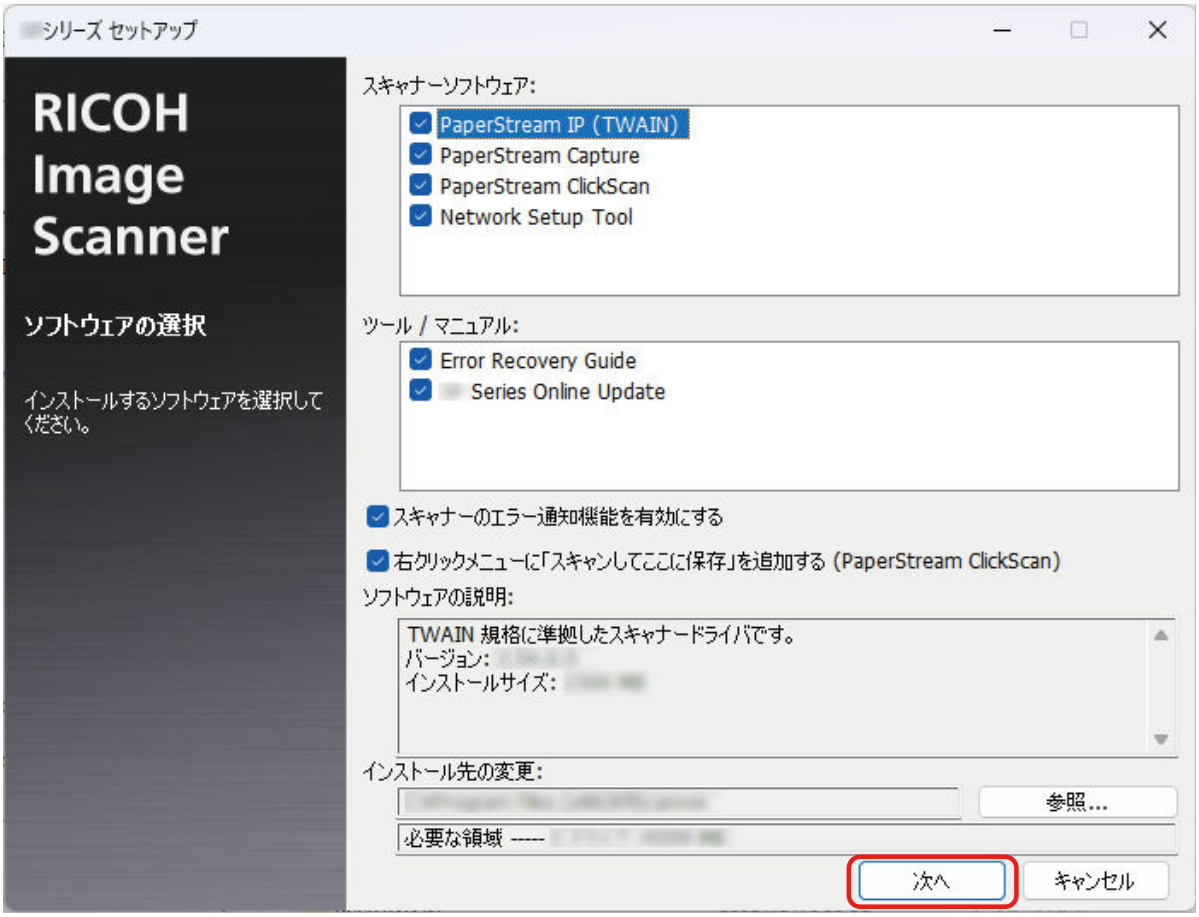


10 スキャナーを接続するコンピューターに、作成した ISO ファイルを保存します。

11 保存した ISO ファイルを右クリックして「マウント」をクリックします。

12 表示されたフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

13 [次へ] ボタンをクリックします。



14 表示される画面の指示に従ってインストールします。

15 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、接続方法を選択し、画面の指示に従って操作を進めます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。

基本的なスキャナーの使い方

ここでは、基本的な操作方法について説明します。

電源の投入/切断

スキャナーの電源の投入/切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する
- スキャナーのネットワーク機能が無効の場合に、コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断する

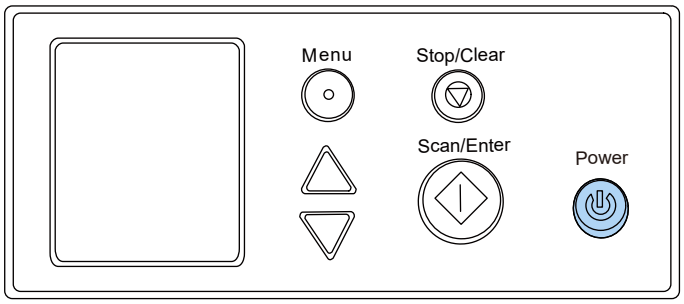
➡ 電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御） (313 ページ)

ここでは、スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する設定した場合を例に説明します。

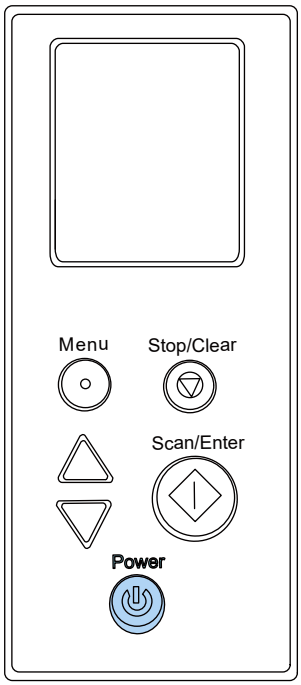
電源の投入

1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。

- fi-8600



- fi-8700/fi-8700S



電源が投入され、［Power］ボタンが緑色に点灯します。

なお、初期化処理実行中は液晶ディスプレイに次のような画面が表示されます。

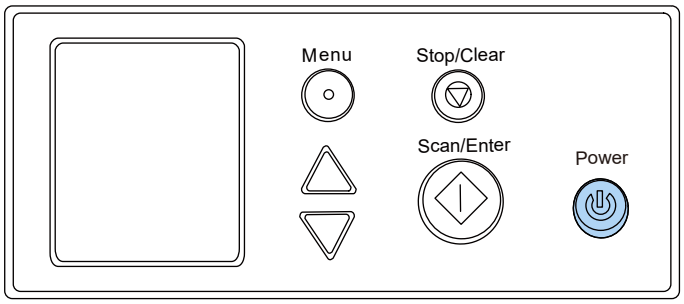


液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されると、原稿を読み取れる状態となります。

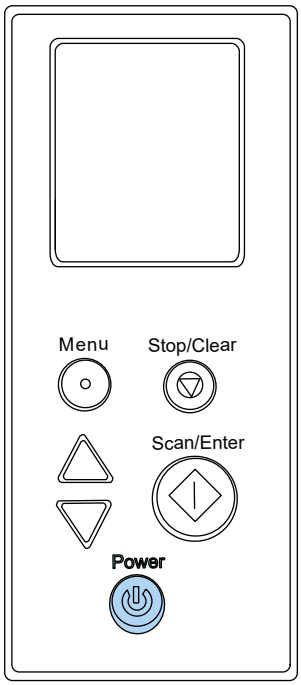
電源の切断

1 スキャナーの［Power］ボタンを 2 秒以上押します。

- fi-8600



- fi-8700/fi-8700S



電源が切断され、［Power］ボタンが消灯します。

省電力モードへの移行と復帰

スキャナーの電源を投入したまま、一定時間操作されないと、省電力モードに移行します。
省電力モードとは、電源が投入されたスキャナーが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。
省電力モードには、次の 2 つの設定があります。

- 省電力
  スキャナーの電源を投入したままで 10 分（工場出荷設定値）以上何も操作しないと、自動的に省電力状態に切り替わります。
  省電力状態に切り替わると、液晶ディスプレイの表示が消えます。［Power］ボタンは緑色に点滅します。
  省電力状態から復帰するためには、次のどれかの操作を行います。
  - ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする
  - スキャナーのボタンを押す
  - スキャナーの給紙モードスイッチを操作する
  - スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る
  - ADF が開いているときに、ADF を閉じる
  - スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続する
  - 設定変更のためにソフトウェアからスキャナーへアクセスする
- 自動電源切断
  スキャナーの電源を投入したままで一定時間（工場出荷設定は 20 分後）何も操作しないと、自動的にスキャナーの電源が切断されます。
  自動的にスキャナーの電源が切断された場合に、再度スキャナーの電源を投入するには、［Power］ボタンを押します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていると、省電力状態に移行しないことがあります。原稿づまりが発生したときは (194 ページ)を参照して、原稿を取り除いてください。
- 操作パネルの表示が次の場合は、省電力モードに移行しません。
  - 読み取り中の場合
  - 原稿枚数カウントモードでカウント中の場合
  - エラー表示中の場合
  - クリーニングモードの場合
- 使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスにチェックを付けても、スキャナーの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナーの電源が自動的に切断された場合は、画像読み取り用アプリケーションを終了してから、スキャナーの電源を再投入してください。

ヒント

- 次のどちらかの方法で、省電力状態に切り替わるまでの時間を変更できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「23:省電力時間設定」
    ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)
  - Software Operation Panel
    ➡ 省電力モードの待機時間の設定（省電力設定） (308 ページ)
- 次のどちらかの方法で、自動的にスキャナーの電源が切断されないようにできます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「24:電源切断時間設定」
    ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)
  - Software Operation Panel
    ➡ 省電力モードの待機時間の設定（省電力設定） (308 ページ)

  自動的にスキャナーの電源が切断されないようにすると、スキャナーの電力消費量が増加します。

ADF の開閉

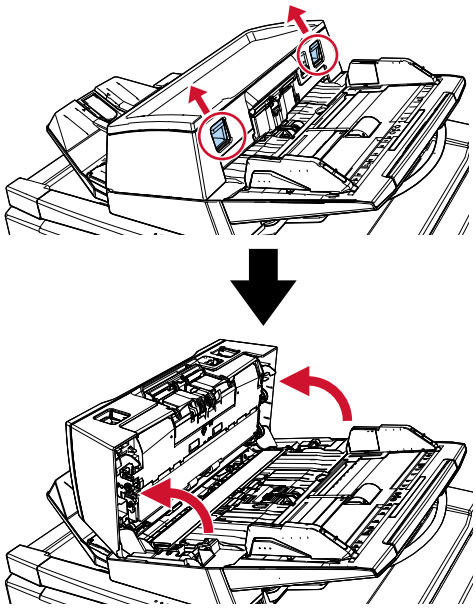
ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

1 **fi-8700/fi-8700S の場合、ドキュメントカバーが閉じていることを確認します。**
ドキュメントカバーが開いた状態で ADF を開閉すると、エラーが発生することがあります。

2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）の上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。**

3 **ADF オープンレバーを上げて、ADF を開けます。**

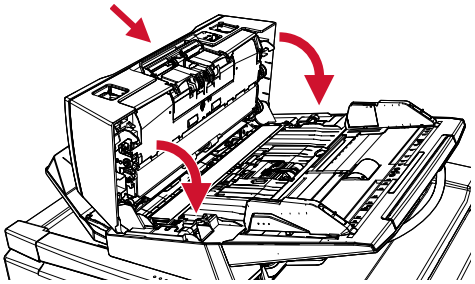


⚠ 注意	ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF の閉じ方

1 異物が ADF 内にはさまれていないことを確認します。

2 ADF を閉じます。
「カチッ」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



> **注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

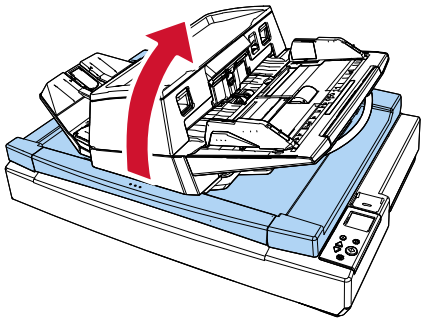
ドキュメントカバーの開閉［fi-8700/fi-8700S］

ドキュメントカバーの開閉について説明します。

ドキュメントカバーの開け方

1 **ADF が閉じていることを確認します。**
ドキュメントカバーが開いた状態で ADF を開閉すると、エラーが発生することがあります。

2 **ハンドルをつかんでドキュメントカバーを開けます。**

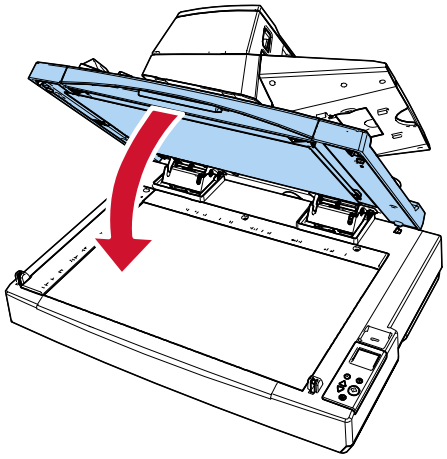


⚠ 注意	ドキュメントカバーは開閉の途中の位置で固定できないため、閉じてくるドキュメントカバーで手をはさまないように注意してください。

ドキュメントカバーの閉じ方

1 ハンドルをつかんでドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

「カチッ」という音がするまで押し込んでください。

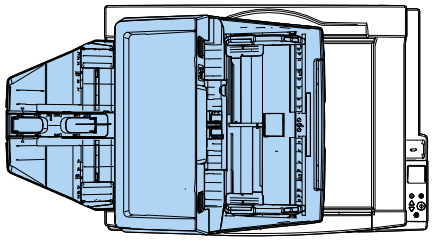


> **注意**
>
> ドキュメントカバーは開閉の途中の位置で固定できないため、閉じてくるドキュメントカバーで手をはさまないように注意してください。

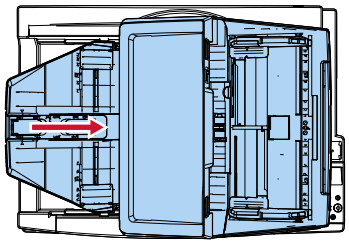
ADF の位置の設定［fi-8700/fi-8700S］

ADF の位置を変更して、小さいスペースにも設置できるようになります。
ADF を設定できる位置は、次のとおりです。

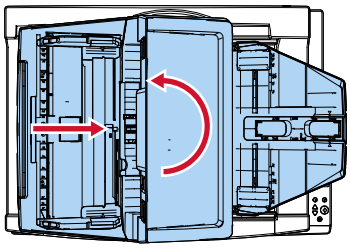
- 形態 1（工場出荷時）



- 形態 2（省設置スペース、右側に原稿セット）



- 形態 3（省設置スペース、左側に原稿セット）

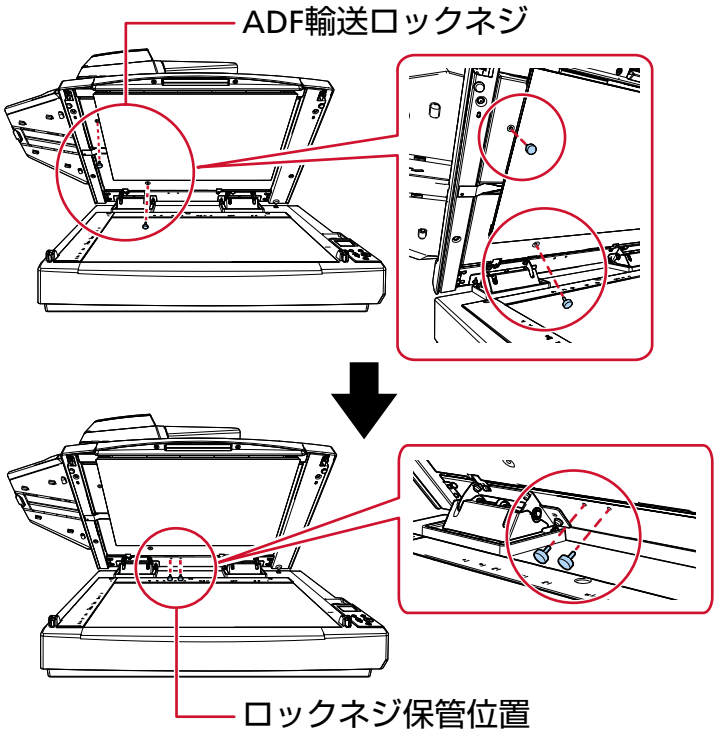


1 ドキュメントカバーを開けます。

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

2 ADF 輸送ロックネジ（2 個）を取り外し、ロックネジ保管位置に取り付けます。

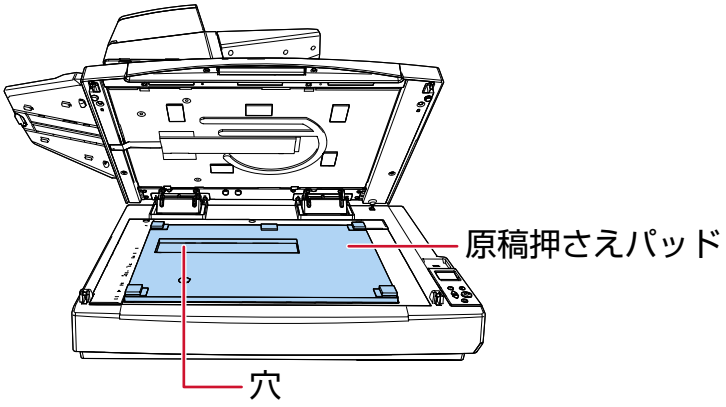
ADF は、ADF 輸送ロックネジで固定されています。ADF 輸送ロックネジを取り外すと、ADF の位置を変更できる状態になります。



ヒント

- ADF 輸送ロックネジが取り外しにくい場合は、原稿押さえパッドを取り外してください。
- 原稿押さえパッドを取り外した場合は、次の手順で原稿押さえパッドを取り付けてください。

1 原稿押さえパッドを原稿台の左上に突き当てて置きます。
原稿押さえパッドの穴の位置を確認してください。

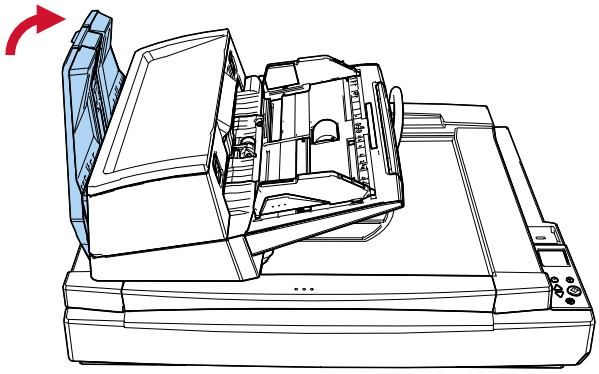


2 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。
ドキュメントカバーを閉じると、ドキュメントカバーに原稿押さえパッドが貼り付きます。

3 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

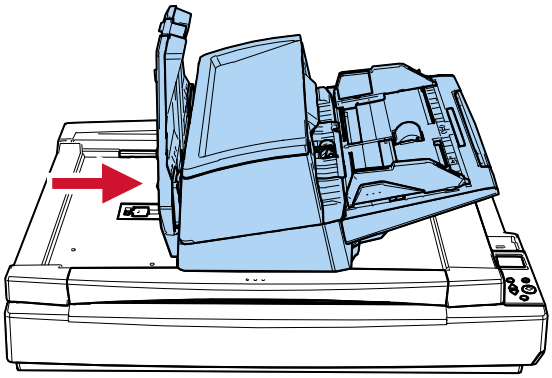
4 スタッカーを立てます。



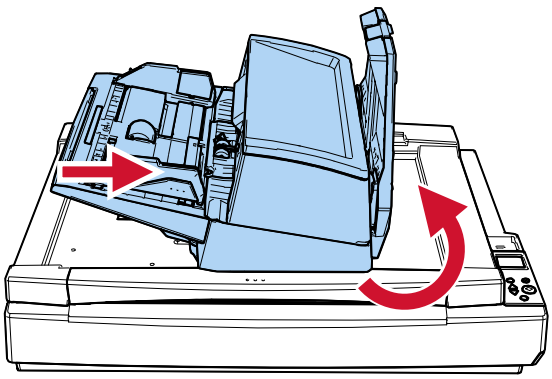
5 ADF の位置を変更します。

「カチッ」という音がするまで、ADF を移動してください。ADF が設定位置に確実にロックされていることを確認してください。

- 形態 2 に変更する場合
  ADF を中央にスライドします。



- 形態 3 に変更する場合
  ADF を中央にスライドし、反時計回りに 180 度回転します。



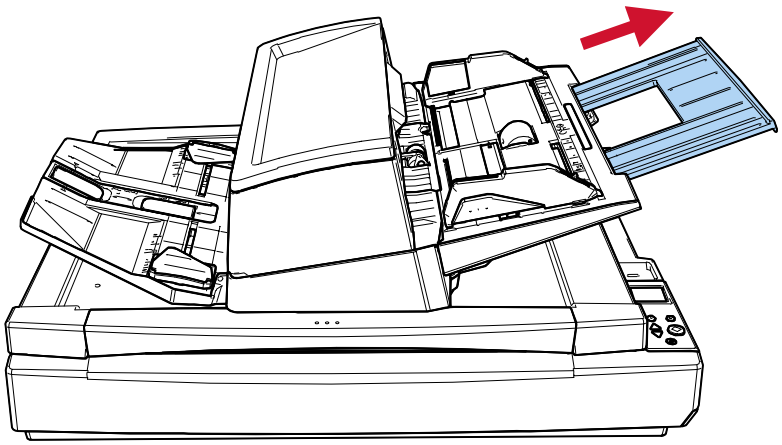
> **注意**
>
> - ADF を動かすときに、指をはさまないように注意してください。
> - ADF は 180 度を超えて回転させないでください。ADF が破損する場合があります。

6 スタッカーを下げます。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次 ADF に搬送されていきます。
A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、シュートエクステンションを使用して原稿を支えることによって、原稿が搬送されやすくなります。

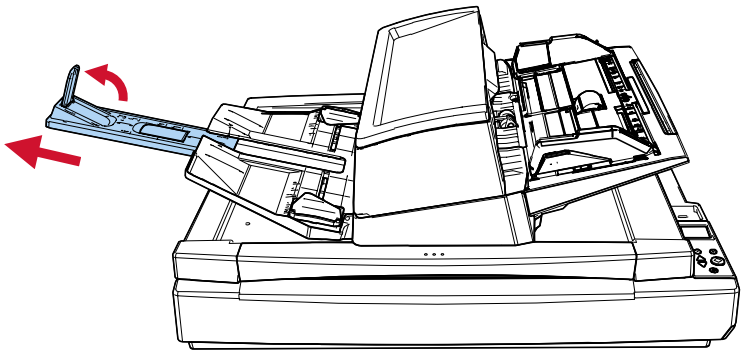
1 **ADF 給紙シュート（フィーダー）を押さえながら、シュートエクステンションを引き出します。**



スタッカーの設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。
A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、スタッカーエクステンション、ストッパー、スタッカーサイドガイドを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

1 **スタッカーエクステンションを引き出し、ストッパーを起こします。**
ストッパーの位置は、必ず原稿の長さ以上に設定してください。



重要

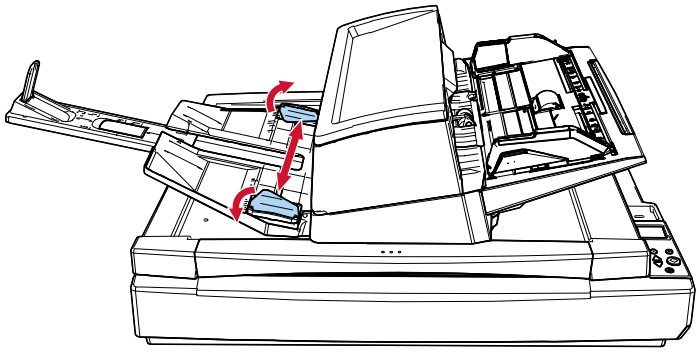
- ストッパーを持ってスタッカーエクステンションを引き出さないでください。ストッパーが破損する場合があります。
- ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

ヒント

- 名刺やカードのような長さが短い原稿を読み取る場合は、右側のストッパーを立てます。
- A3 サイズより長い原稿を読み取る場合は、ストッパーは立てずに、スタッカーエクステンションを最大まで引き出します。
- A4 横サイズやレター横サイズを読み取る場合は、右側のストッパーを立てると、よりきれいにそろえられます。
- 排出された原稿がきれいに積み重ならない場合は、原稿とストッパーの間の隙間を小さくすることで（10mm 程度）、よりきれいにそろえられます。

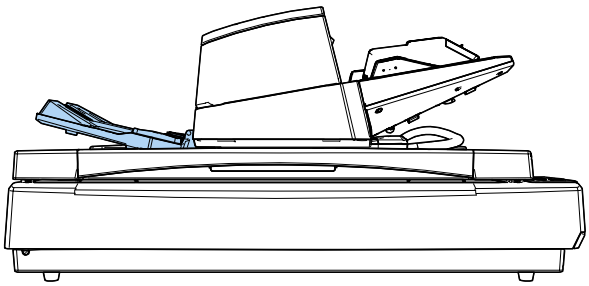
2 **スタッカーサイドガイドを起こして、原稿の幅に合わせます。**

スタッカーサイドガイドの間隔は、必ず原稿幅以上に設定してください。

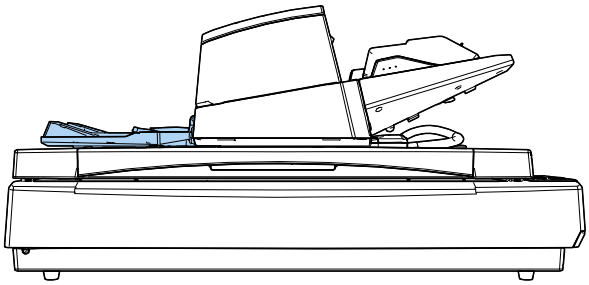


ヒント

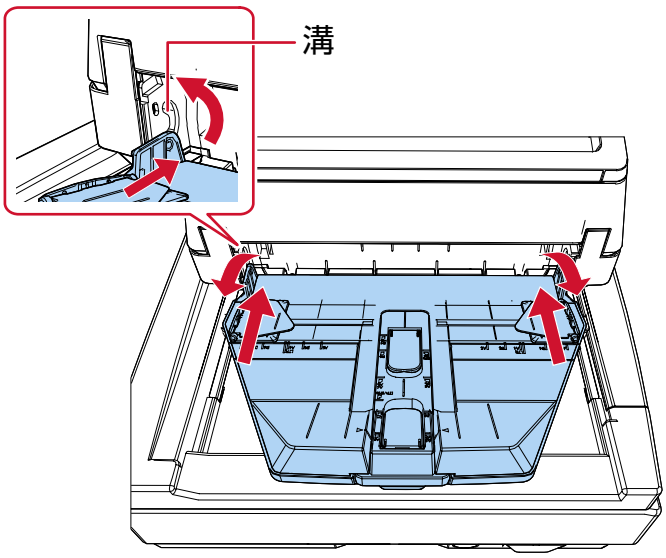
- 原稿の紙質に合わせて、スタッカーの位置を調整できます。
  通常は、下段位置にセットします。
  薄い原稿やカール紙を読み取る場合は、上段位置にセットします。
  上段位置にセットした場合、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数が減少します。
  目安は、80g/m^2 の原稿で 100 枚です。
  - 下段位置（普通紙）



  - 上段位置（薄い原稿やカール紙）



スタッカーの両側をしっかり持って、奥に押しながら溝に沿って持ち上げると、スムーズに上段位置にセットできます。



- 原稿を排出する速度を遅くして、原稿の散らばりを防げます。
  次のどちらかの方法で、原稿を排出する速度を遅くできます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「11:排紙制御」
    ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)
  - Software Operation Panel
    ➡ 原稿排出速度の設定（排紙制御） (297 ページ)

基本的な読み取り方

ここでは、基本的な原稿の読み取り方について説明します。

重要

スキャナーの使用方法に応じて、USB ケーブルまたは LAN ケーブルだけを接続してください。両方のケーブルを同時に接続しないでください。

スキャナーと接続しているコンピューター、またはスキャナーのボタンから、画像読み取り用アプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

- USB 接続
  - コンピューターから読み取る

    ➡ 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ)
  - スキャナーのボタンで読み取る

    ➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)

    関連ソフトウェア：Windows のスキャナーのプロパティ画面（イベント）
- 有線 LAN 接続
  - コンピューターから読み取る

    ➡ 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ)

    関連ソフトウェア：スキャナー選択ツール、fi Series ネットワーク設定

    ➡ スキャナー選択ツールの起動方法 (353 ページ)

    ➡ fi Series ネットワーク設定の起動 (318 ページ)
  - スキャナーのボタンで読み取る

    ➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)

    関連ソフトウェア：スキャナー選択ツール、Button Event Manager、fi Series ネットワーク設定

    ➡ スキャナー選択ツールの起動方法 (353 ページ)

    ➡ Button Event Manager の起動方法 (355 ページ)

    ➡ fi Series ネットワーク設定の起動 (318 ページ)

スキャナーの使用方法に応じて、ボタンに異なる設定を割り当てられます。複数の方法を併用する場合は、使用したい設定が有効になるようにしてください。

➡ 使用したいボタンの設定を有効にする (70 ページ)

画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する

コンピューターの画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。
この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

- スキャナードライバー
  - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
  - PaperStream ClickScan
  - PaperStream Capture

スキャナーを有線 LAN で接続する場合、次が必要です。

- Network Setup Tool
- fi Series ネットワーク設定

➡ ソフトウェアの概要 (28 ページ)

➡ ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） (318 ページ)

スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り手順や操作、読み取り条件の設定項目が若干異なります。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

1 **スキャナーの電源を投入します。**

➡ 電源の投入 (42 ページ)

2 **スキャナーをコンピューターに接続します。**

- USB 接続の場合
  スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
  スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。

➡ ネットワーク (324 ページ)

➡ IP アドレス設定ツールの起動方法 (354 ページ)
DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。

➡ スキャナー選択ツールの起動方法 (353 ページ)

3 **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)

4 **画像読み取り用アプリケーションを起動します。**

5 **読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。**
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーを指定しなくてもよい場合もあります。

6 読み取りに使用するスキャナーを指定します。
スキャナードライバーおよびスキャナーの接続方法によって、スキャナー名が異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナーを指定しなくてもよい場合もあります。

7 スキャナードライバーの設定画面で、スキャナーの読み取り条件を設定します。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

8 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。
読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- LAN ケーブルを抜く
- ネットワークを切断する
- Windows からサインアウトする

スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る

スキャナーのボタンを押してコンピューターの画像読み取り用アプリケーションを起動し、原稿の読み取りを開始する場合の、事前設定と読み取り操作の流れを説明します。
この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

- スキャナードライバー
  - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
  - PaperStream Capture

スキャナーを有線 LAN で接続する場合、次が必要です。

- Network Setup Tool
- fi Series ネットワーク設定

➡ ソフトウェアの概要 (28 ページ)
➡ ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） (318 ページ)

ヒント

- PaperStream Capture がインストールされている場合、スキャナーのボタンに自動で PaperStream Capture が設定されます。
- PaperStream ClickScan と PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、スキャナーの［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。
  - 常駐している場合
    PaperStream ClickScan が起動します。
  - 常駐していない場合
    PaperStream Capture が起動します。
- スキャナーのボタンの設定を PaperStream Capture から変更した場合は、変更した画像読み取り用アプリケーションが起動します。
  PaperStream Capture でスキャナーを占有する設定をしている場合は、設定を無効にしてください。

1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

2 スキャナーをコンピューターに接続します。

- USB 接続の場合
  スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
  スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。

➡ ネットワーク (324 ページ)
➡ IP アドレス設定ツールの起動方法 (354 ページ)

DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。

➡ スキャナー選択ツールの起動方法 (353 ページ)

3 画像読み取り用アプリケーションで読み取り設定をします。

➡ 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (60 ページ)

4 コンピューターで、スキャナーのボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。

スキャナーの接続方法によって、ボタンの設定方法が異なります。

- USB で接続する場合
  Windows の「デバイスとプリンター」を設定する画面を表示して、スキャナーの「スキャン プロパティ」でボタンを設定します。

  ➡ Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する（USB 接続の場合） (67 ページ)

- 有線 LAN で接続する場合
  Button Event Manager で設定します。
  Button Event Manager の詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

  ➡ Button Event Manager の起動方法 (355 ページ)

5 必要に応じて、起動する画像読み取り用アプリケーションでの設定をします。

起動する画像読み取り用アプリケーションによっては、画像読み取り用アプリケーションでも設定が必要な場合があります。
詳細は、起動する画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

6 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)

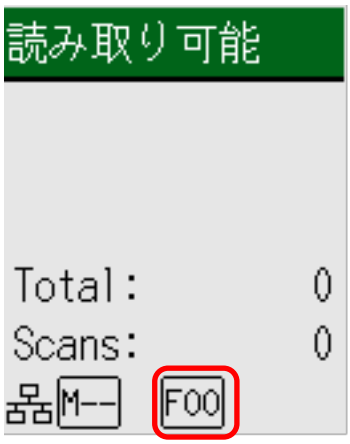
7 スキャナーのボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

- 手順 4 で、「Scan Button」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合
  「読み取り可能」画面のインジケーターに「F00」が表示されている状態で、［Scan/Enter］ボタンを押します。

  a 「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押します。
  「機能選択」画面が表示されます。

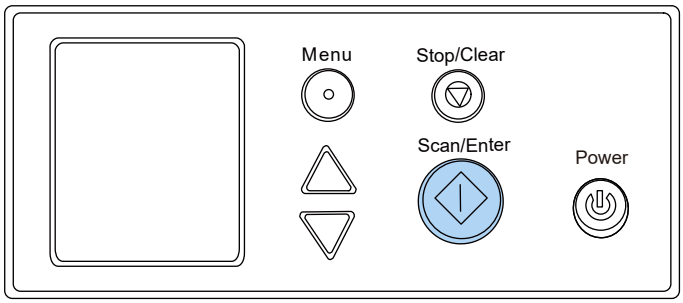
  b ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「No.00」を選択し、［Stop/Clear］ボタンを押します。

「読み取り可能」画面のインジケーターに「F00」が表示されます。

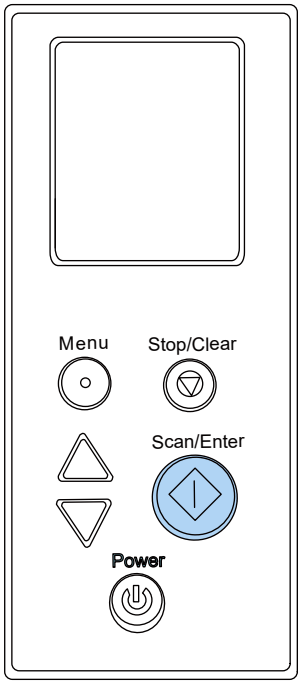


c ［Scan/Enter］ボタンを押します。

- fi-8600



- fi-8700/fi-8700S

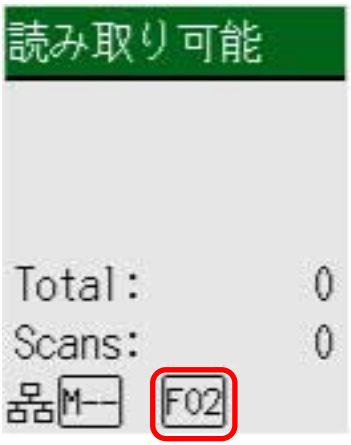


「Scan Button」に設定されている画像読み取り用アプリケーションが起動します。

- 手順 4 で、「Send to 01」～「Send to 50」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合
  「読み取り可能」画面のインジケーターに「F01」～「F50」が表示されている状態で、［Scan/Enter］ボタンを押します。
  ここでは、例として「Send to 02」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合の手順を説明します。

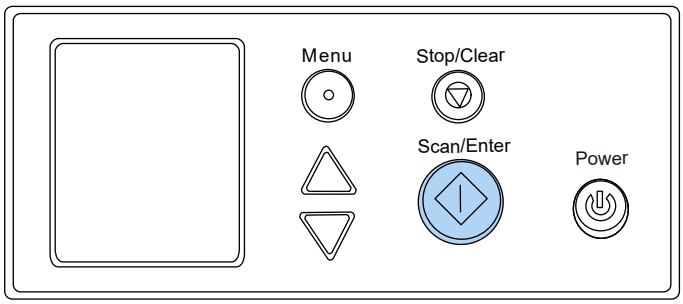
  a 「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押します。
  「機能選択」画面が表示されます。

  b ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「No.02」を選択し、［Stop/Clear］ボタンを押します。
  「読み取り可能」画面のインジケーターに「F02」が表示されます。

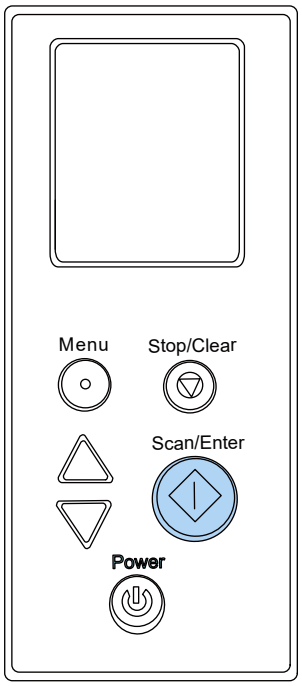


  c ［Scan/Enter］ボタンを押します。

  - fi-8600



- fi-8700/fi-8700S



「Send to 02」に設定されている画像読み取り用アプリケーションが起動します。

8　必要に応じて、画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。
読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- LAN ケーブルを抜く
- ネットワークを切断する
- Windows からサインアウトする

関連項目

使用したいボタンの設定を有効にする (70 ページ)

Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する（USB 接続の場合）

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定します。
ボタンには、ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。

1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

2 スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認します。

3 Windows の「設定」画面を表示します。

4 「Bluetooth とデバイス」をクリックします。

5 「プリンターとスキャナー」をクリックします。

6 「fi-8600」、「fi-8700」、または「fi-8700S」をクリックします。

7 「スキャナーのプロパティ」をクリックします。

「スキャナーとカメラ」画面が表示されます。

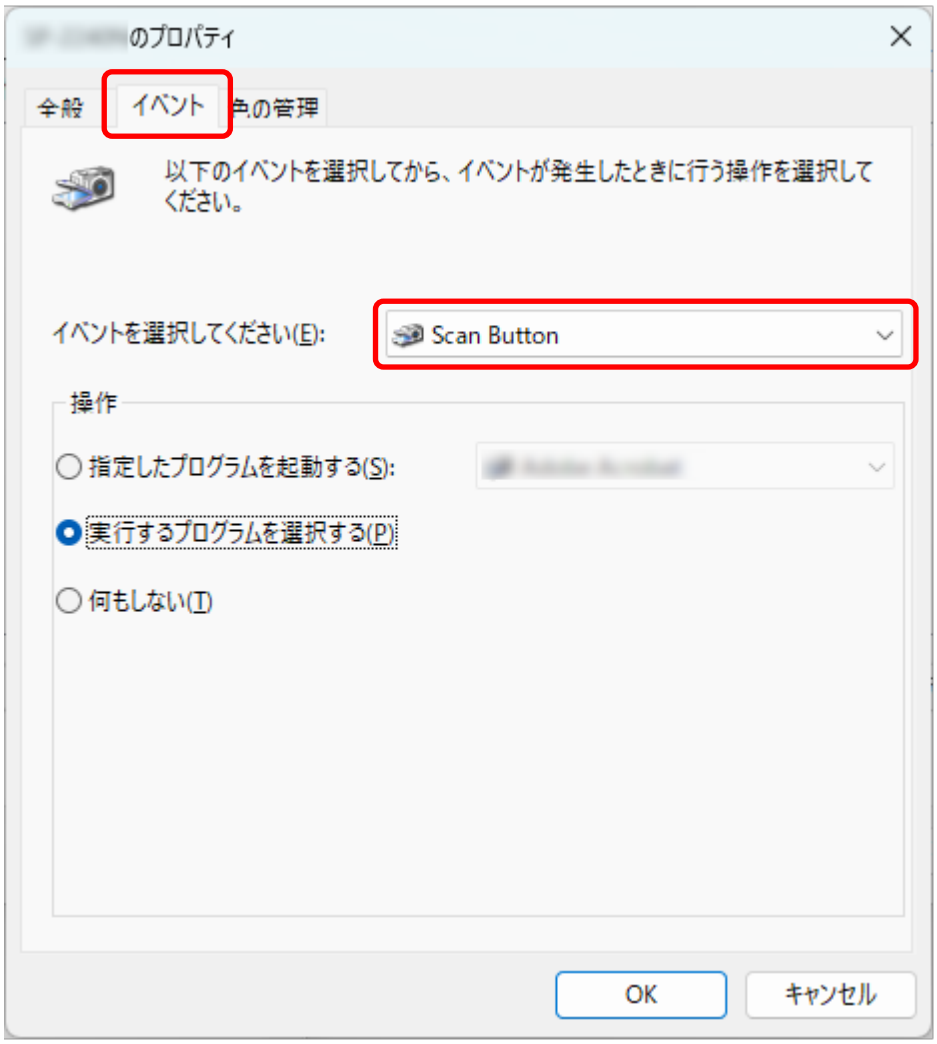
8 スキャナーのアイコンをクリックして、[プロパティ] ボタンをクリックします。

> **重要**
> PaperStream ClickScan が常駐していると、スキャナーのプロパティ画面を表示できません。
> スキャナーのプロパティ画面を表示するときは、PaperStream ClickScan を終了してください。

9 「イベント」タブの「イベントを選択してください」で、設定するボタンを選択します。

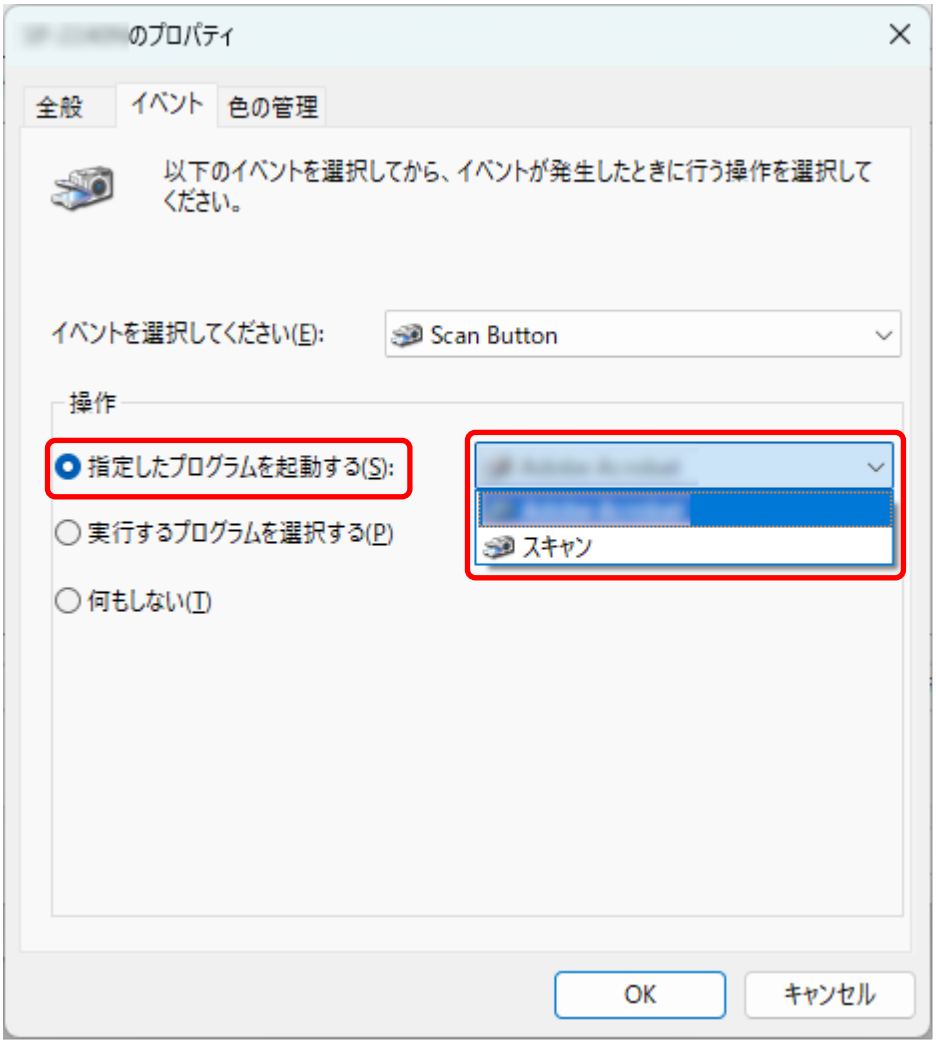
- 「Scan Button」
  「読み取り可能」画面のインジケーターに「F00」が表示されている状態で、[Scan/Enter] ボタンを押す場合の動作を設定します。
- 「Send to 01」～「Send to 50」

「読み取り可能」画面のインジケーターに「F01」～「F50」が表示されている状態で、[Scan/Enter]ボタンを押す場合の動作を設定します。



10　選択したボタンを押したときに起動する、画像読み取り用アプリケーションを選択します。

「指定したプログラムを起動する」をクリックして、プログラム一覧から画像読み取り用アプリケーションを選択します。



複数のボタンを設定する場合は、手順 9～10 を繰り返します。

11 【OK】ボタンをクリックします。

関連項目

使用したいボタンの設定を有効にする (70 ページ)

使用したいボタンの設定を有効にする

複数の使用方法を併用してボタンの設定をしている場合、使用する設定を 1 つだけ有効にし、そのほかの設定は無効にしてください。

スキャナーの接続方法	使用したいボタンの設定	無効にするほかの設定
USB	● Windows のスキャナーのプロパティ画面（イベント） イベントに操作を設定する	● Button Event Manager 「ボタンを監視する」のチェックを外す
有線 LAN	● Button Event Manager 「ボタンを監視する」にチェックを付ける（*1）	なし

***1：**有線 LAN 接続の場合、複数台のコンピューターから 1 台のスキャナーに対して、同時に「ボタンを監視する」にチェックを付けないでください。

ヒント

- PaperStream Capture がインストールされている場合、スキャナーのボタンに自動で PaperStream Capture が設定されます。
- PaperStream ClickScan と PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、スキャナーの［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。
  - 常駐している場合
    PaperStream ClickScan が起動します。
  - 常駐していない場合
    PaperStream Capture が起動します。
- スキャナーのボタンの設定を PaperStream Capture から変更した場合は、変更した画像読み取り用アプリケーションが起動します。
  PaperStream Capture でスキャナーを占有する設定をしている場合は、設定を無効にしてください。

原稿のセット方法

ここでは、原稿をスキャナーにセットする方法について説明します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット

書類のような普通紙の原稿をセットする方法について説明します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備

1 原稿を確認します。

a スキャナーで読み取れる原稿のサイズと原稿の紙質を確認します。

➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)

b セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。

原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。
原稿の幅が異なる場合は、混載条件 (90 ページ)および幅の違う原稿を読み取りたいとき (132 ページ)を参照してください。

c 原稿の枚数を確認します。

セットできる原稿の枚数は次のとおりです。

- A4 サイズ以下の場合
  300 枚（厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿、原稿の総厚みが 30mm 以下）
- A4 を超えるサイズの場合
  100 枚（厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿、原稿の総厚みが 10mm 以下）

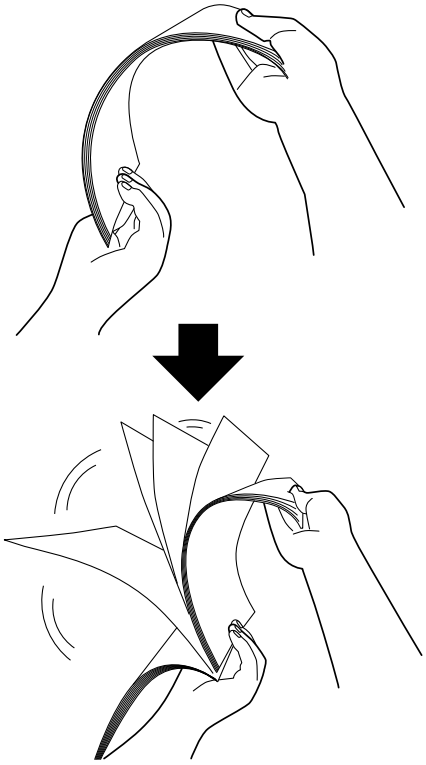
➡ セットできる原稿の枚数 (85 ページ)

2 原稿をさばきます。

a 次の目安で原稿を取り出します。

- A4 サイズ以下の場合
  原稿の厚みが 30mm 以下になる枚数
- A4 を超えるサイズの場合
  原稿の厚みが 10mm 以下になる枚数

b 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2〜3 回さばきます。



c 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

d すべての原稿に対して、手順 a〜c を行います。

e 原稿の先端をそろえます。

ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法

原稿をセットするには、次の 2 つの方法があります。

- 原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）の中央にセットする方法 (73 ページ)
  主に、原稿サイズが同じ場合に、この方法を使用します。
- 原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）の左右どちらかの側に寄せてセットする方法 (75 ページ)
  主に、原稿サイズが異なる場合や、原稿の中心をずらしてセットしたい場合に、この方法を使用します。

重要

原稿を左右どちらかの側に寄せてセットする方法では、マルチフィード検出などの条件が異なりますので、注意してください。

原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）の中央にセットする方法

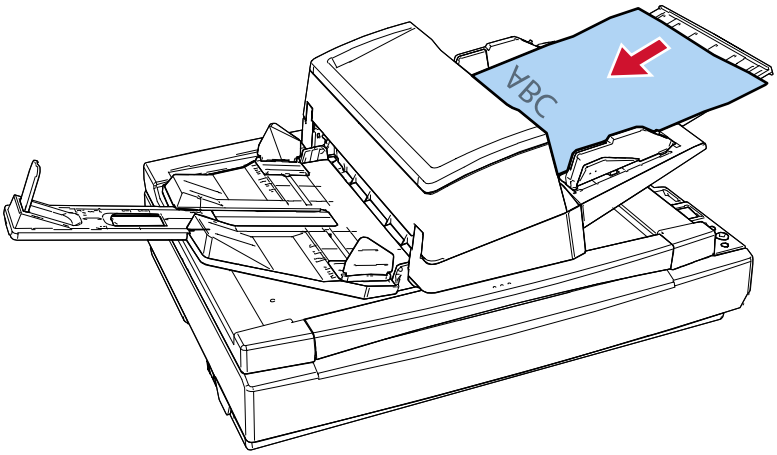
1 原稿の長さに合わせて、ADF 給紙シュート（フィーダー）を設定します。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (55 ページ)

2 原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。

➡ スタッカーの設定 (56 ページ)

3 原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。



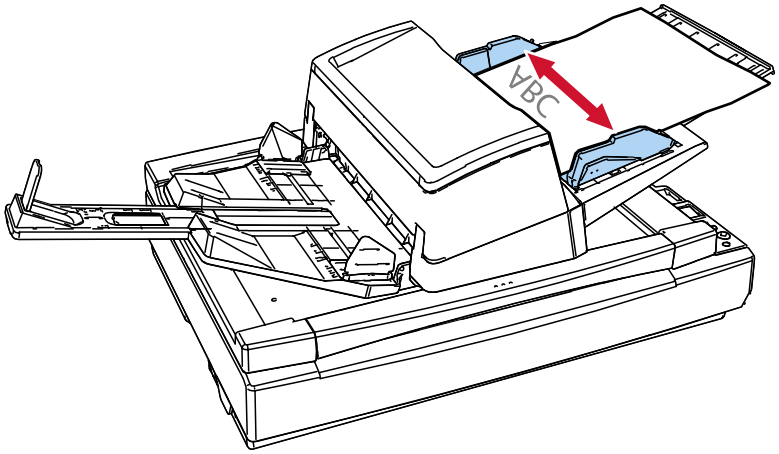
重要

- クリップ、ステープルは取り除いてください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたりする場合は、原稿の分量を減らしてください。

4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドボタンを押しながらサイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が傾いて搬送されることがあります。



原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）の左右どちらかの側に寄せてセットする方法

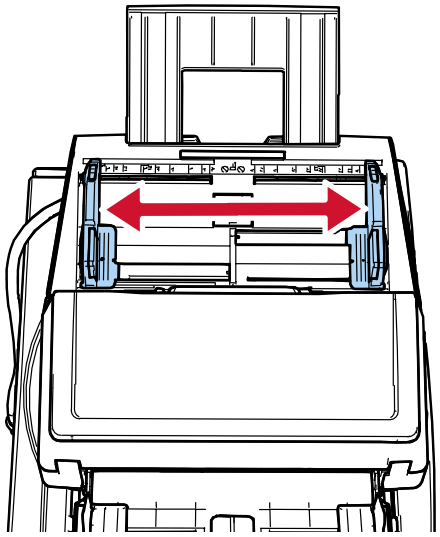
1 **原稿の長さに合わせて、ADF 給紙シュート（フィーダー）を設定します。**

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (55 ページ)

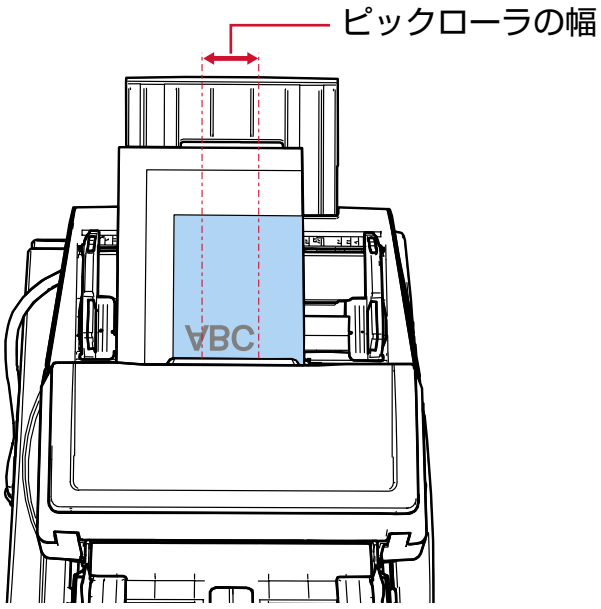
2 **原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。**

➡ スタッカーの設定 (56 ページ)

3 **サイドガイドを外側いっぱいまで開きます。**



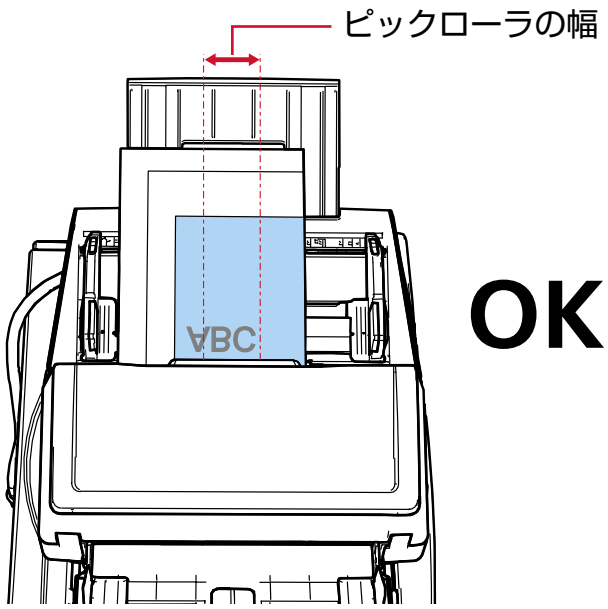
4 **最も幅の狭い原稿がピックローラの幅にかかるようにし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**



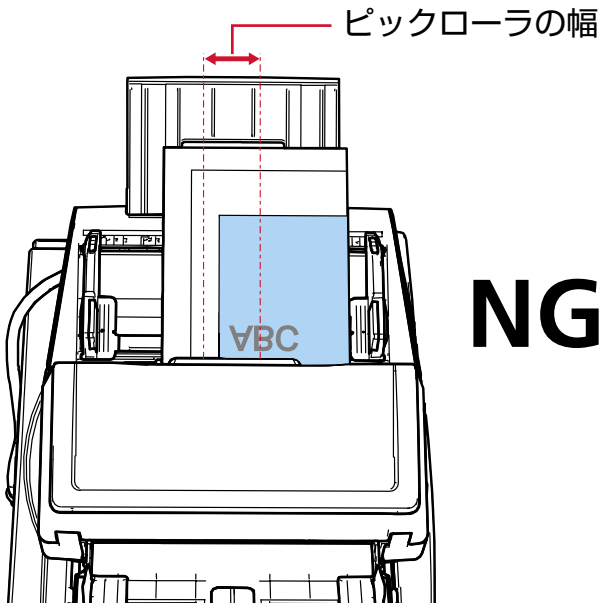
重要

- クリップ、ステープルは取り除いてください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたりする場合は、原稿の分量を減らしてください。
- すべての原稿がピックローラの幅にかかるようにセットしてください。ピックローラの幅から外れた位置に原稿があると、給紙できません。

  - 良い例

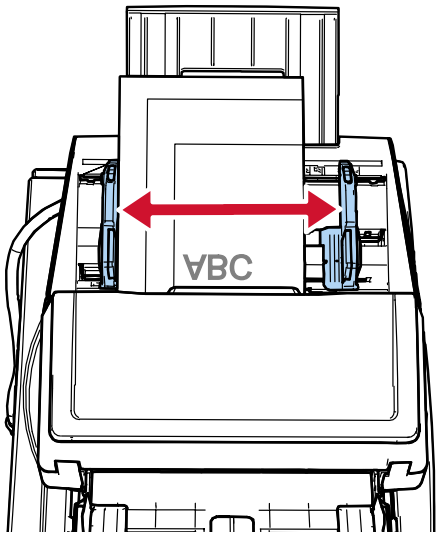


  - 悪い例



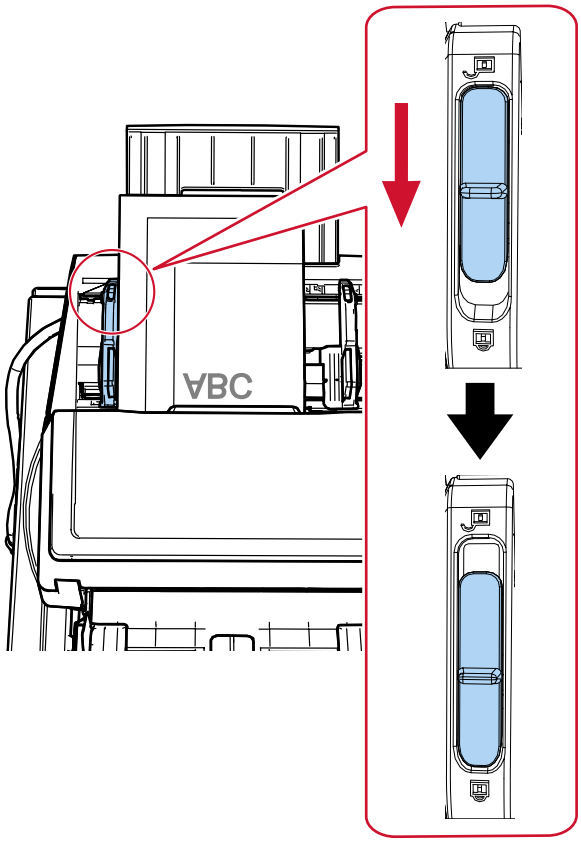
5　原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

ここでは、サイドガイドボタンを押しながらサイドガイドを動かして、サイドガイドと最も幅の広い原稿までの間に隙間ができないようにします。



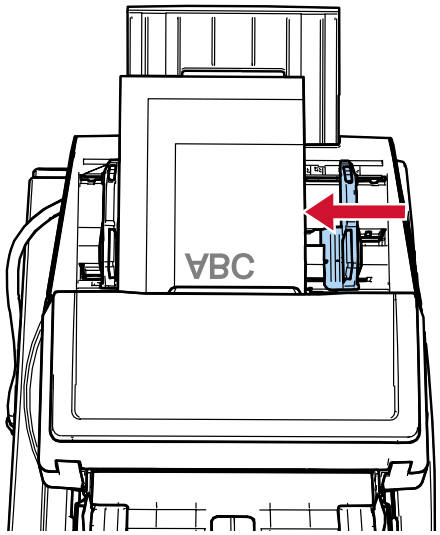
6 片側のサイドガイドを固定します。

ここでは、左側のサイドガイドにあるロックスイッチを赤色矢印の方向にスライドして、サイドガイドを固定します。



7 もう一方のサイドガイドを、サイドガイドボタンを押しながら、目的の位置まで移動します。

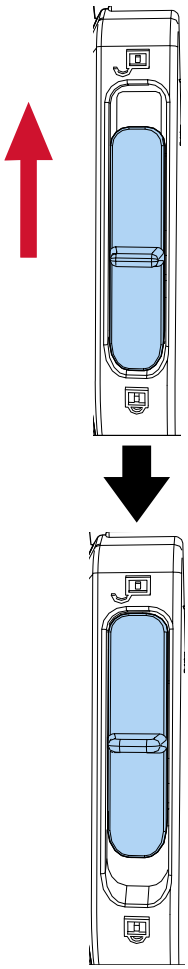
ここでは、右側のサイドガイドを移動させて、サイドガイドと原稿までの間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が傾いて搬送されることがあります。



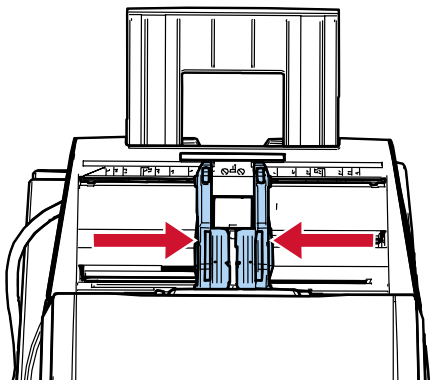
ヒント

サイドガイドのロックを解除する場合は、次の手順で行ってください。

1 固定されているサイドガイドのロックスイッチを赤色矢印の方向にスライドします。



2 両方のサイドガイドをつかんで、サイドガイドボタンを押しながら、両方のサイドガイドが中央に突き当たるまで寄せます。



3 サイドガイドから手を離します。
左右のサイドガイドが、連動して動くようになります。

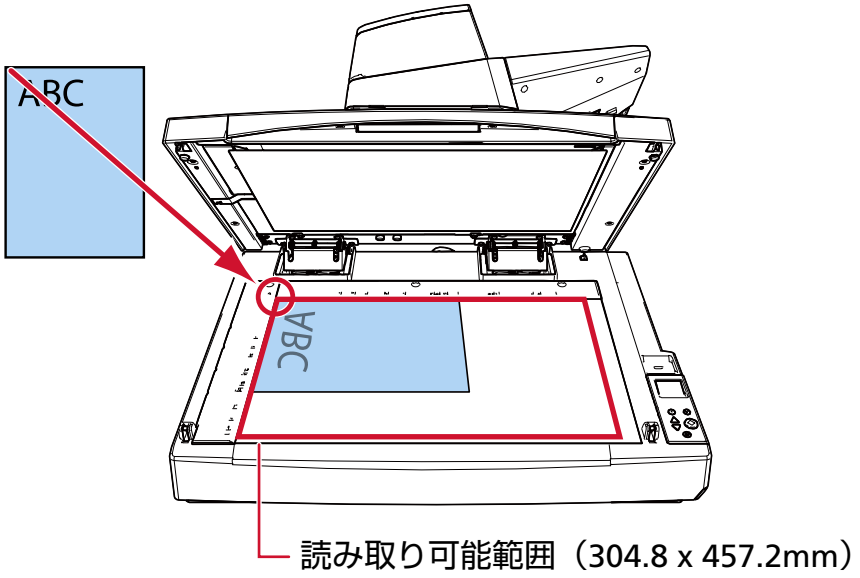
フラットベッドでの原稿のセット［fi-8700/fi-8700S］

1 ドキュメントカバーを開けます。

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

2 原稿台に原稿をセットします。

原稿の読み取り面が原稿台側（下向き）になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



重要

原稿のカールや折れにより原稿が原稿台から浮き上がると、読み取った画像が不鮮明となるため注意してください。

3 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

ヒント

- ドキュメントカバーを開けた状態でも読み取りができます。

  ➡ フラットベッドでドキュメントカバーを開けたまま原稿を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］ (151 ページ)

- 黒背景で読み取りたい場合は、オプションの黒色の原稿押さえパッド（別売）を使用してください。

  ➡ スキャナーのオプション (340 ページ)

読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

ADF	最大サイズ（幅×長さ）（*1）	304.8×431.8mm（12×17 インチ）
	最小サイズ（幅×長さ）	50.8×69mm
フラットベッド [fi-8700/fi-8700S]	最大サイズ（幅×長さ）	304.8×457.2mm

***1：**スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションの読み取り設定によっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。
長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 5,588mm（220 インチ）まで読み取れます。
なお、条件に応じて、次の解像度を指定する必要があります。

- 863mm より大きく 2,700mm 以下の場合
  600dpi 以下
- 2,700mm より大きく 4,064mm 以下の場合
  400dpi 以下
- 4,064mm より大きく 5,461mm 以下の場合
  300dpi 以下
- 5,461mm より大きく 5,588mm 以下の場合
  200dpi 以下

USB 接続時に長尺帳票を複数のページに分割して読み取る場合、最大 200m まで読み取れます。

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）
- プラスチックカード

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、事前に読み取りができるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

ADF で読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 20～413g/m^2（17～355kg/連）
- A4/レターを超えるサイズは 27～413g/m^2（23～355kg/連）

- A8 サイズは 128～209g/m^2（110～180kg/連）
- プラスチックカードは 1.4mm 以下（エンボス付き可（ISO7810 ID-1 タイプ準拠））

うまく読み取れない場合がある原稿

次の原稿は、ADF ではうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に厚さが薄い原稿/非常に厚い原稿
- 写真（印画紙）

ヒント

うまく読み取れない場合がある原稿は、A3 キャリアシートを使用することで読み取れます。
また、しわが寄っている、カールしている原稿、折れている原稿は、まっすぐに矯正することでも読み取れます。

読み取れない原稿

次の原稿は、ADF では読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- 50.8×69mm より小さい原稿
- 幅が 304.8mm（12 インチ）より大きい原稿
- 紙/プラスチックカード以外のもの（布、金属箔、OHP フィルムなど）
- 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類

重要

ノーカーボン紙には、ブレーキローラなどのローラーを劣化させる化学物質を含んでいるため、スキャナーが故障する可能性があります。

原稿とプラスチックカードの注意

- **原稿の注意**

  読み取る原稿によっては、次のことに注意してください。

  - ノーカーボン紙には、ブレーキローラなどのローラーを劣化させる化学物質を含んでいるため、次のことに注意してください。

    - 清掃
      原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックローラを清掃してください。

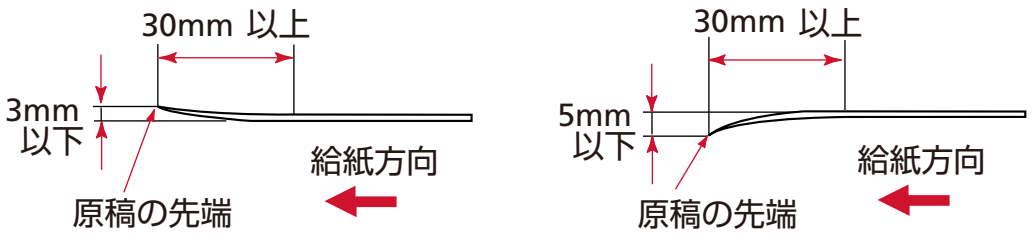
      ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

    - 部品の交換
      ブレーキローラとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

  - 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなることがあります。
  - 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取るときにブレーキローラやピックローラに接触すると、ブレーキローラやピックローラが傷つく可能性があります。
  - 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。
    原稿を傷つけたくない場合は、オプションの A3 キャリアシートを使用してください。
  - 光沢のある原稿を読み取った場合、LED 光源の輝点が見えることがあります。
  - 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するためにスキャナードライバーで「明るさ」を明るめに設定してください。
  - 鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写されてよごれる可能性があり、原稿送り不良の原因となります。
    できる限り頻繁に各ローラーを清掃してください。

    ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

  - 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生したりする場合は、トラブルと対処方法 (214 ページ)を参照してください。
  - ADF で原稿を読み取る場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。
    原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。



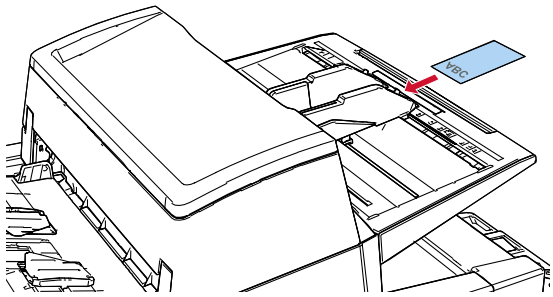
- **プラスチックカードの注意**

  プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。

  - 次の仕様のプラスチックカードを使用し、事前に搬送できることを確認してください。

- タイプ：ISO7810 ID-1 タイプに準拠
- サイズ：85.6×53.98mm
- 厚さ：1.4mm 以下（エンボス付き可）
- 素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）

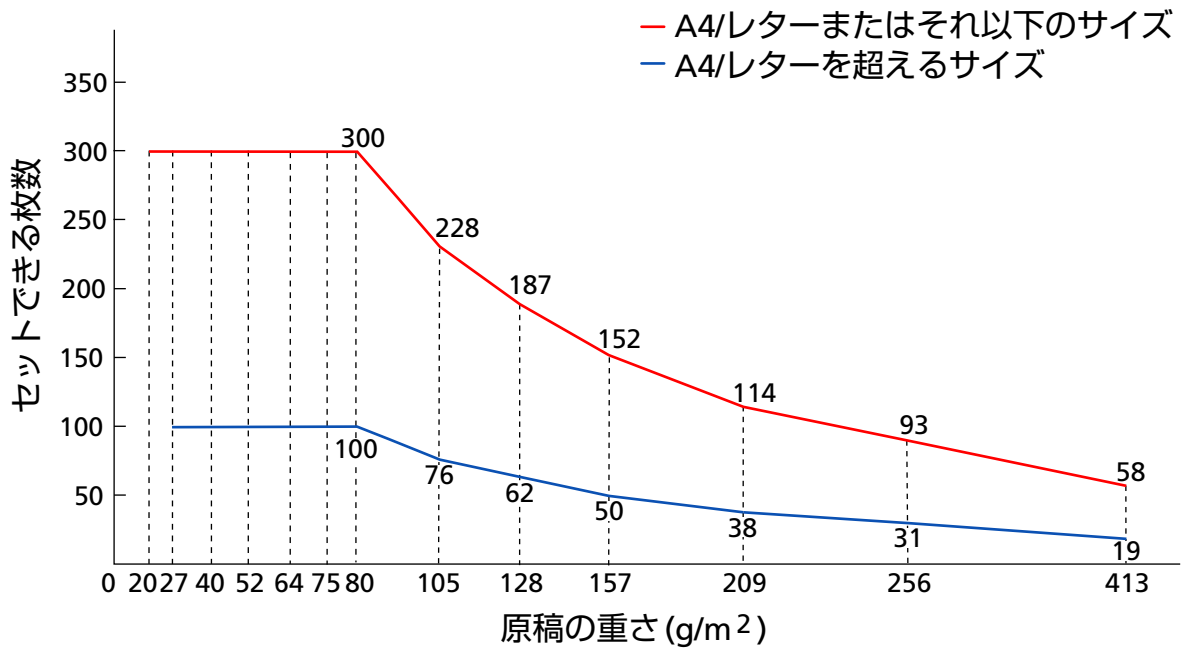
- プラスチックカードを ADF で読み取る場合は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に、最大 3 枚までセットできます。
  ただし、プラスチックカードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、1 枚ずつセットしてください。



- プラスチックカードは、縦にセットしてください。
- プラスチックカードの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットすることを推奨します。
- 硬くて曲がりにくいプラスチックカードは、うまく搬送されない場合があります。
- プラスチックカードの表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。
- インプリンタを接続した場合は、プラスチックカードの読み取りはできません。
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。
  このような場合は、次のどれかの設定で読み取ってください。
  - 決まったパターンの原稿の重なりを検出しない設定にする。
  - 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
  - 手差し・単送モードで読み取る。

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。
次のグラフを参照してください。

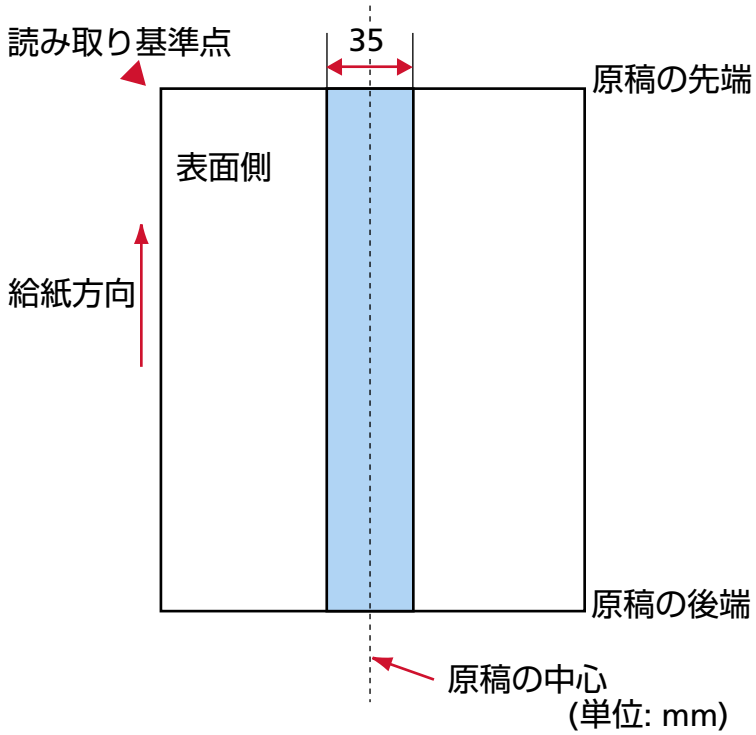


厚さの単位	g/m^2（坪量）	lb	kg/連（連量）（*1）
変換表	20	5.3	17
	27	7.2	23
	40	11	34.5
	52	14	45
	64	17	55
	75	20	65
	80	21	69
	105	28	90
	128	34	110
	157	42	135
	209	56	180
	256	68	220
	413	110	355

***1：**四六判連量

穴を開けてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があると、エラーの原因となる場合があります。
この条件は、原稿がピックローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。
このような原稿を読み取る場合は、フラットベッド［fi-8700/fi-8700S］を使用してください。



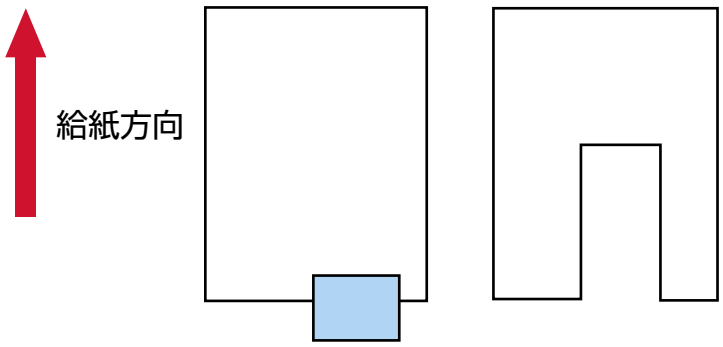
ヒント

原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法

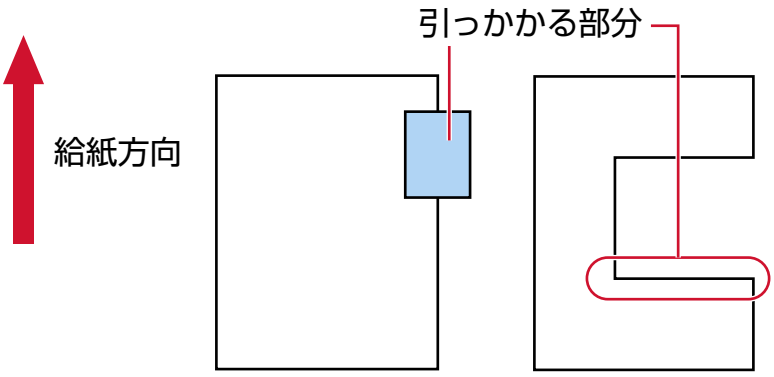
インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿を読み取る場合は、搬送中に原稿が引っかからない方向にセットしてください。

良い例



例：インデックスタブ　例：非矩形原稿

悪い例



例：インデックスタブ　例：非矩形原稿

重要

原稿を悪い例のようにセットして読み取ると、搬送中に原稿が引っかかり、傾いて読み取られたり、原稿づまりが発生して原稿が破損したりするおそれがあります。

原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。
原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。
セットした原稿の重なりを正しく検出するには、次に示す条件が必要です。
この条件は、原稿がピックローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提です。

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合

- 原稿の厚さ：20～413g/m^2（17～355kg/連）
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。
  ➡ 穴を開けてはいけない領域 (86 ページ)
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けないでください。原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
  ➡ 穴を開けてはいけない領域 (86 ページ)

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。
  ➡ 穴を開けてはいけない領域 (86 ページ)

超音波センサーと原稿の長さの違いの両方で、原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の厚さ：20～413g/m^2（17～355kg/連）
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。
  ➡ 穴を開けてはいけない領域 (86 ページ)
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けないでください。原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
  ➡ 穴を開けてはいけない領域 (86 ページ)

重要

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。
このような場合は、次のどれかの設定で読み取ってください。

- 決まったパターンの原稿の重なりを検出しない設定にする。
- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

ヒント

- 原稿によっては、原稿の重なりの検出精度が低下する場合もあります。
  搬送方向で、原稿の先端から約 30mm は、原稿の重なりを検出できません。
- 長さの異なる原稿を混載して読み取るときに、原稿の重なりを検出する場合は、原稿の長さの違いによる検出方法を設定しないでください。

混載条件

厚み/摩擦係数/サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。
なお、原稿を混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。
読み取り方法については、幅の違う原稿を読み取りたいとき (132 ページ)を参照してください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

厚さの異なる原稿を混載する場合、読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

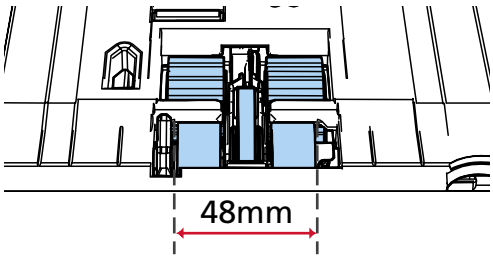
20～413g/m^2（17～355kg/連）

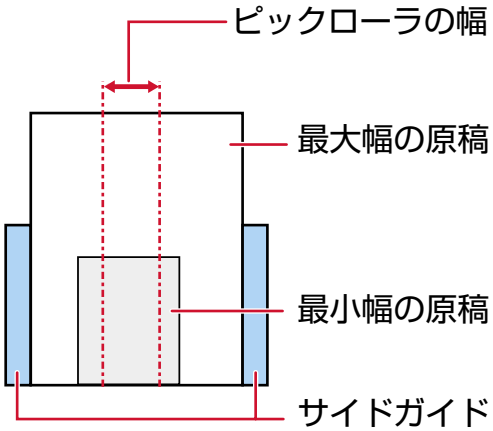
原稿の摩擦係数

原稿の用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。
いろいろな用紙メーカー/銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。
推奨摩擦係数は次のとおりです。
0.35～0.60（紙間摩擦係数参考値）

原稿のセット位置

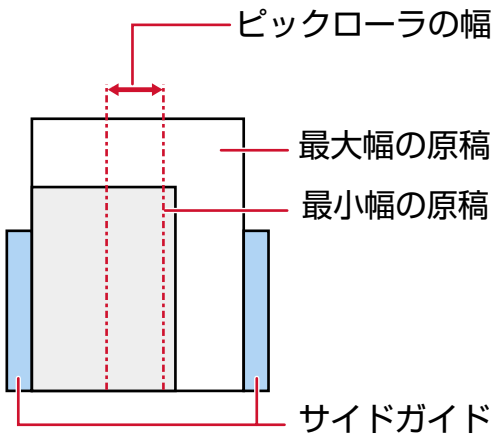
すべての原稿が、ピックローラの幅（約 48mm）にかかるように原稿をセットしてください。
異なるサイズの原稿を組み合わせるときの目安は、原稿のサイズ (91 ページ)の定型サイズの混載での組み合わせ (92 ページ)を参照してください。





ヒント

最小幅の原稿が、下図のように、片側に寄せてセットしてもピックローラの幅にかかるサイズの場合は、原稿を片側に寄せてセットしてください。原稿が傾いて搬送されにくくなります。



原稿のサイズ

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、画像欠けや原稿づまりなどのトラブルが発生することがあります。
原稿が大きく傾いて搬送されたときには、読み取られた画像を確認することを推奨します。

重要

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対してサイドガイドが機能しないため、原稿が傾いて搬送されやすくなります。

定型サイズの混載での組み合わせ

次の範囲が混載可能な組み合わせの目安です。

原稿サイズ 幅（mm）（*1）			最大原稿サイズ												
			A3縦 A4横	DL縦 LTR横	B4縦 B5横	LTR縦 A3-CS	A4縦 A5横	B5縦 B6横	A5縦 A6横	B6縦 B7横	A6縦 A7横	B7縦 B8横	A7縦 A8横	B8縦	A8縦
			297	279	257	216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5
最小原稿サイズ	A3縦 A4横	297	■												
	DL縦 LTR横	279	■	■											
	B4縦 B5横	257	■	■	■										
	LTR縦 A3-CS	216	■	■	■	■									
	A4縦 A5横	210	■	■	■	■	■								
	B5縦 B6横	182	■	■	■	■	■	■							
	A5縦 A6横	149			■	■	■	■	■						
	B6縦 B7横	129				■	■	■	■	■					
	A6縦 A7横	105				■	■	■	■	■	■				
	B7縦 B8横	91					■	■	■	■	■	■			
	A7縦 A8横	74.3						■	■	■	■	■	■		
	B8縦	64.3						■	■	■	■	■	■	■	
	A8縦	52.5													■

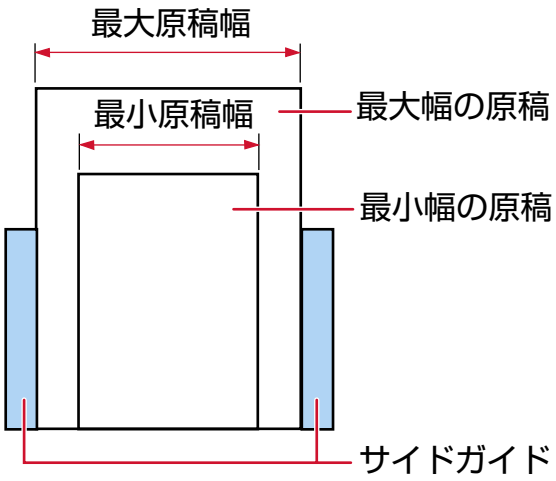
■ 混載可能範囲

DL： ダブルレターサイズ

LTR： レターサイズ

A3-CS：A3 キャリアシート

***1：** 最大原稿幅と最小原稿幅と原稿のセット位置との関係図を次に示します。



重要

B8 縦または A8 縦は、ほかのサイズの原稿と組み合わせて混載できません。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

自動原稿サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、原稿サイズを検出できません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、原稿サイズを検出できないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2（45kg/連）以下の薄い原稿
- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い（グレー色）の原稿

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

- **原稿のサイズ**

  読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

  - A3 キャリアシートサイズ（216×297mm）
  - A3（297×420mm）（*1）
  - A4（210×297mm）
  - A5（148×210mm）
  - A6（105×148mm）
  - B4（257×364mm）（*1）
  - B5（182×257mm）
  - B6（128×182mm）
  - はがき（100×148mm）（*2）
  - 名刺（91×55mm、55×91mm）（*2）
  - ビジネスカード（51×89mm）（*3）
  - レター（8.5×11 インチ、216×279.4mm）
  - ダブルレター（11×17 インチ、279.4×431.8mm）（*1）
  - 写真 E 版（83×117mm、117×83mm）（*2）
  - 写真 L 版（89×127mm、127×89mm）（*2）
  - 写真 LL 版（127×178mm、178×127mm）（*2）
  - カスタムサイズ
    - 幅
      25.4～216mm（1～8.5 インチ）
    - 長さ
      25.4～297mm（1～11.69 インチ）

  ***1：**原稿の幅が 216mm（8.5 インチ）を超える場合は、2 つ折りにして読み取ります。

  ***2：**スキャナードライバーが PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (TWAIN x64)の場合に読み取りができます。

  ***3：**スキャナードライバーが PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series の場合に読み取りができます。

- **原稿の紙質**

  原稿の種類

  原稿の種類は次のとおりです。

  - 一般的なオフィス用紙
  - A4 サイズより大きい原稿

- 傷つけたくない写真などの原稿
- 紙づまりの可能性がある切り抜きなどの原稿

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m^2 まで（180kg/連まで）

2 つ折りにして読み取る場合、読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 105g/m^2 まで（90kg/連まで）

● A3 キャリアシートを使用/保管するときの注意

A3 キャリアシートを使用するときの注意

- A3 キャリアシートは、同時に最大 3 枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を低くして読み取ってください。
- A3 キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
  A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
  原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよび A3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。

  ➡ 傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき (141 ページ)
- A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、A3 キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
  そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があるので、定期的に清掃してください。

  ➡ A3 キャリアシートの清掃 (179 ページ)
  清掃しても改善されない場合は、A3 キャリアシートを交換してください。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。
  スキャナーが破損または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
  指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。
  PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。
  A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。
- A3 キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。

原稿づまりが発生する可能性があります。

- A3 キャリアシートは高温環境下で使用しないでください。

A3 キャリアシートを保管するときの注意

- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
  印刷のインクが A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
  A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

操作パネルの操作方法

ここでは、操作パネルの操作方法について説明します。

操作パネルをお使いになる前に

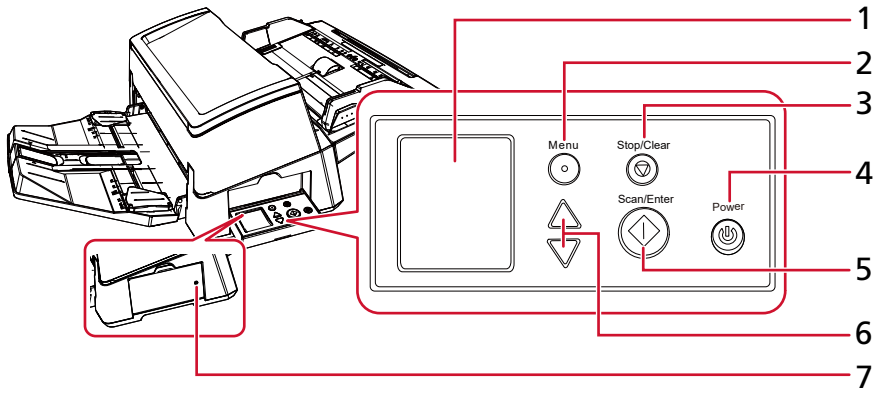
操作パネルは、液晶ディスプレイ、ボタンから構成されています。

重要

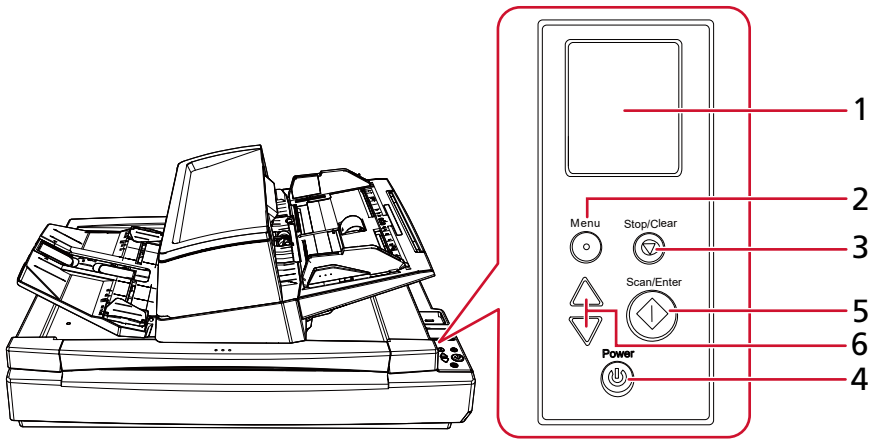
Software Operation Panel の起動中は、操作パネルを操作しないでください。

操作パネルの名称と働き

- fi-8600



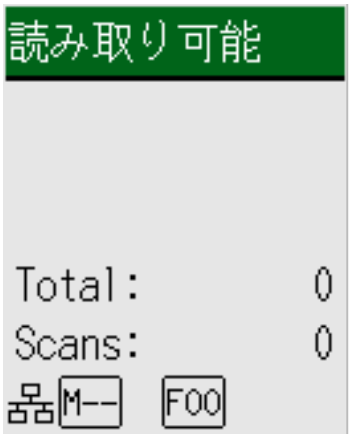
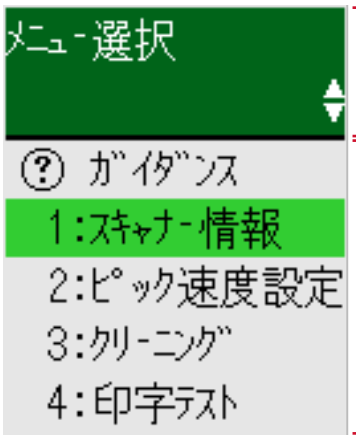
- fi-8700/fi-8700S

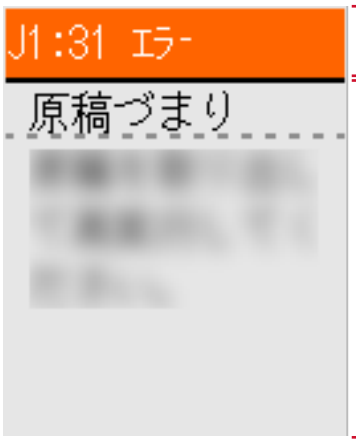


No.	名称	働き
1	液晶ディスプレイ	スキャナーの状態、スキャナーの動作を設定するメニューを表示します。

No.	名称	働き
		省電力状態に移行すると、液晶ディスプレイの表示が消えます。
2	［Menu］ボタン	液晶ディスプレイに、スキャナーの動作を設定するメニューを表示します。 読み取り中に動作を切り替えるときも使用します。
3	［Stop/Clear］ボタン	読み取りを中止します。 また、液晶ディスプレイのエラー画面を消したり、スキャナーの設定中に前の画面に戻ったり、原稿の読み取り枚数のカウンターをクリア（3 秒以上長押し）したりするときも使用します。
4	［Power］ボタン	電源を投入/切断します。 スキャナーの電源が投入されているときは点灯（緑）します。 省電力状態のときは点滅（緑）します。
5	［Scan/Enter］ボタン	読み取りを開始します。 また、読み取り中に押すと読み取りを一時停止します。原稿を排出したり、液晶ディスプレイでスキャナーの動作を設定するときも使用します。
6	［△］ボタン/［▽］ボタン	液晶ディスプレイに表示される画面で、カーソルを移動したり、スクロールしたり、数字を入力したりするときに使用します。
7	Status ランプ（LED）	折りたたんだ状態でも、スキャナーの電源が投入されているかどうかを確認できます。 スキャナーの電源が投入されているときは点灯（緑）します。 スキャナーの電源が切断されているときは消灯します。

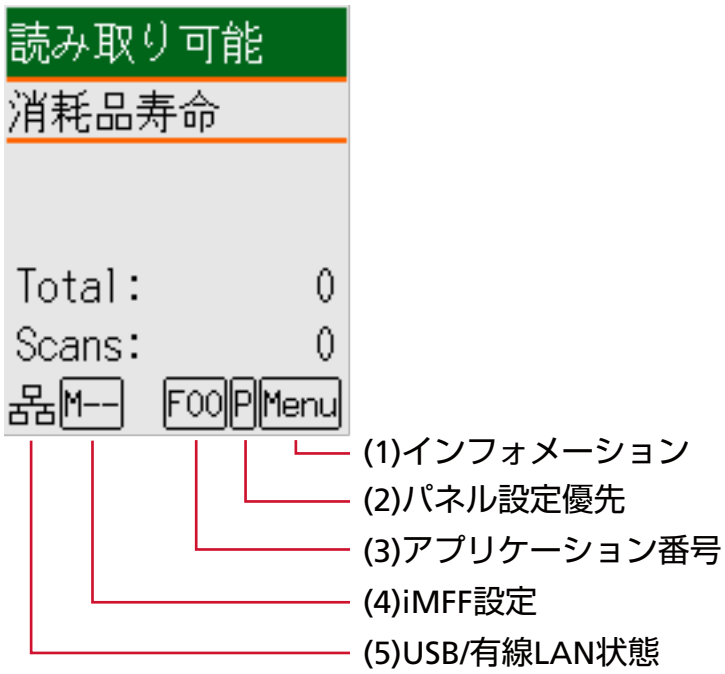
液晶ディスプレイの表示内容

表示内容	説明
	初期化処理実行中の画面です。
	原稿を読み取れる状態です。 初期化処理が正常に終了したことを意味します。 ➡ インジケーターの名称と働き (103 ページ)
	スキャナーの動作を設定する画面です。 「読み取り可能」画面で［Menu］ボタンを押すと、「メニュー選択」画面が表示されます。 メニュー選択を使うことにより、原稿を読み取るときの様々な動作の設定ができます。 ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

表示内容	説明
	[Scan/Enter] ボタンを押して読み取りを開始するときの動作を選択する画面です。 コンピューターで画像読み取り用アプリケーションを起動するボタンを設定している場合に選択します。 「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押すと、「機能選択」画面が表示されます。 機能選択を使うことにより、「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを切り替えられます。 ➡ 機能選択の操作方法 (129 ページ)
	読み取り中にエラーが発生したときに表示される画面です。 「J」、「M」、または「U」から始まる「エラーコード」を表示します。 ➡ エラーについて (196 ページ) エラー表示中に［Stop/Clear］ボタンを押すと、エラー表示を解除できます。 「原稿づまり」エラーの場合は、スキャナー内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的にエラー表示がクリアされます。
	スキャナー本体に異常が発生したときに表示される画面です。 「A」、「C」、「E」、「F」、「H」、「L」、または「M」から始まる「エラーコード」を表示します。 ➡ エラーについて (196 ページ) この画面が表示された場合は、電源を再投入してください。 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

表示内容	説明
	電源の投入後、スキャナーの操作をしないまま、一定時間が経過すると、省電力状態になります。 スキャナーのボタン（[Power］ボタン以外）を押すと、省電力状態から復帰します。

インジケーターの名称と働き



(1)インフォメーション

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージがある場合、Menuが点滅表示されます。
このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「消耗品寿命」、「清掃周期」、「ガラス清掃」、または「定期保守」が点滅表示されます。
［Menu］ボタンを押して、「インフォメーション」を選択します。

Menuが点滅表示された場合の対応方法については、メニュー選択の操作方法 (106 ページ)を参照してください。

(2)パネル設定優先

操作パネルの設定を Software Operation Panel の設定より優先している場合、Pが表示されます。

➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

(3)アプリケーション番号

「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動するアプリケーションの番号が表示されます。

➡ 機能選択の操作方法 (129 ページ)

(4)iMFF 設定

インテリジェントマルチフィード設定が次のように表示されます。

アイコン	動作モード
M--	手動モード
A1-00	自動モード 1
A2-00	自動モード 2

手動モードの場合、常に M-- が表示されます。

自動モード 1 および自動モード 2 の場合、記憶している重なりパターン数が表示されます。
記憶できる重なりパターン数は、動作モードにより、次のようになります。

- 自動モード 1 の場合
  重なりパターンは、最大で 8 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。
  8 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
  ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン設定」に従います。

  ➡ 決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (306 ページ)

> **ヒント**
> 原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶させたあと、再度読み取って 5 個目以降を記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。
> 同じ原稿を 2 度読み取っているため、結果的には原稿を 2 枚記憶したことになります。

- 自動モード 2 の場合
  本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

iMFF 設定については、メニュー選択の操作方法 (106 ページ)を参照してください。

(5)USB/有線 LAN 状態

USB/有線 LAN 状態は、次のように表示されます。

アイコン	USB ケーブル接続状態	LAN ケーブル接続状態（*1）	ネットワーク機能の設定（*2）
	接続	接続	有効
	接続	接続	無効
	接続	未接続	無効
	接続	未接続	有効
	未接続	接続	有効

アイコン	USB ケーブル接続状態	LAN ケーブル接続状態（*1）	ネットワーク機能の設定（*2）
	未接続	未接続	有効
表示なし	未接続	接続	無効
	未接続	未接続	無効

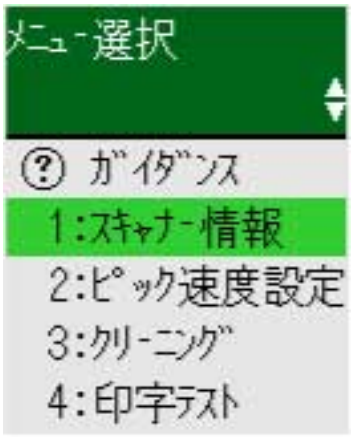
***1：**LAN ケーブルを接続していても通信していない場合は未接続となります。

***2：**ネットワーク機能を無効にした場合、有線 LAN 状態は表示されません。
ネットワーク機能の設定方法については、USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能） (312 ページ)を参照してください。

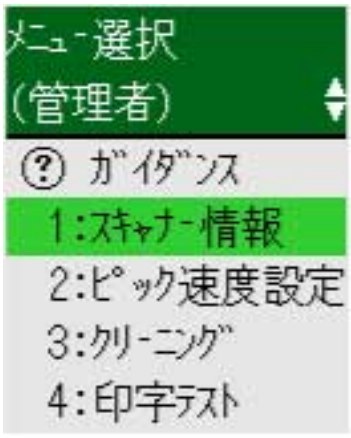
メニュー選択の操作方法

メニュー選択について説明します。
「読み取り可能」画面で［Menu］ボタンを押すと、「メニュー選択」画面が表示されます。
メニュー選択を使うことにより、原稿読み取り時の様々な動作の設定ができます。
「メニュー選択」画面には、次の 2 つのメニューがあります。

- ユーザーメニュー
  読み取り動作や操作パネルの設定において、基本的な設定ができるメニューです。



- 管理者メニュー
  読み取り動作や操作パネルの設定において、詳細な設定ができるメニューです。



「メニュー選択」画面で［△］ボタンおよび［▽］ボタンを同時に 3 秒以上長押しすると、メニューを切り替えできます。
メニューが切り替わらなかった場合は、ボタンから指を離して、押し直してください。
なお、スキャナーの電源を切断すると、ユーザーメニューに戻ります。
メニュー選択の操作方法については、設定項目の内容に応じて次のように分けて説明します。

操作	説明	設定項目	ユーザーメニュー	管理者メニュー
			○：設定可能 —：設定不可	
ガイダンスの確認	原稿の読み取り枚数のカウンターをクリアする方法を確認できます。 ➡ ガイダンスの確認 (109 ページ)	ガイダンス	○	○
インフォメーションの確認	液晶ディスプレイにMenuが点滅表示された場合、消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージを確認できます。メッセージの表示内容を確認し対処してください。 ➡ インフォメーションの確認 (111 ページ)	インフォメーション	○	○
スキャナー情報の確認	スキャナー名、ネットワークなどのスキャナーに関する情報を確認できます。 ➡ スキャナー情報の確認 (113 ページ)	1:スキャナー情報	○	○
スキャナーの動作設定	読み取り動作や操作パネルの設定ができます。 また、認証情報を確認できます。 ➡ スキャナーの動作設定 (115 ページ)	2:ピック速度設定	○	○
		6:言語設定	○	○
		7:明るさ設定	○	○
		8:点滅周期設定	○	○
		9:横スクロール表示速度	○	○
		10:低速搬送モード	○	○
		11:排紙制御	○	○
		12:認証情報	○	○
		14:iMFF 設定	—	○
		15:給紙リトライ回数設定	—	○
		16:ピック圧設定	—	○
		17:手差し・連送設定	—	○
		18:手差しタイムアウト時間	—	○
		19:ペーパープロテクション設定	—	○

操作	説明	設定項目	ユーザーメニュー	管理者メニュー
			○：設定可能 —：設定不可	
		20:縦筋検知設定	—	○
		21:パネル設定優先	—	○
		22:操作パネル初期化	—	○
		23:省電力時間設定	—	○
		24:電源切断時間設定	—	○
		25:プレピックモード	—	○
		26:オーバースキャン読み取り制御	—	○
		27:USB	—	○
スキャナーの清掃	クリーニングペーパー、クリーニングワイプ、布を使って、スキャナーを清掃できます。 ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)	3:クリーニング	○	○
インプリンタの印字テスト	インプリンタ搭載時、印字テストを実施できます。 操作方法については、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。	4:印字テスト	○	○
枚数カウンターの確認およびクリア	消耗品の交換時期や総読み取り枚数を確認できます。 また、消耗品を交換したときや清掃を行ったときは、この機能を使ってカウンターをクリアします。 ➡ 枚数カウンターの確認およびクリア (117 ページ)	5:枚数カウンタ表示/クリア	○	○
原稿枚数のカウント	読み取った原稿の枚数をカウントできます。 ➡ 原稿枚数のカウント (119 ページ)	13:原稿枚数カウントモード	○	○

ガイダンスの確認

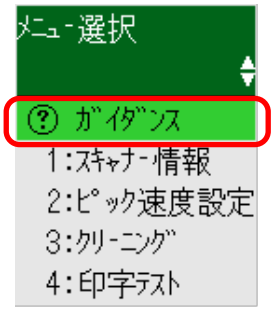
1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

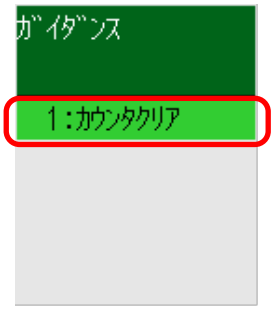
液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。



2 【Menu】ボタンを押し、【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「ガイダンス」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

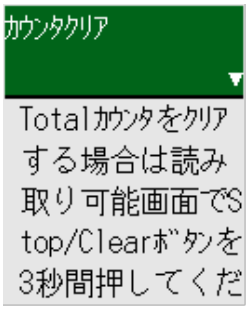


3 【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「1:カウンタクリア」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。



4 【△】ボタン/【▽】ボタンを押してガイダンスの内容を確認します。

原稿の読み取り枚数のカウンターをクリアする方法を確認できます。

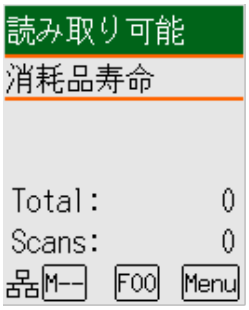


インフォメーションの確認

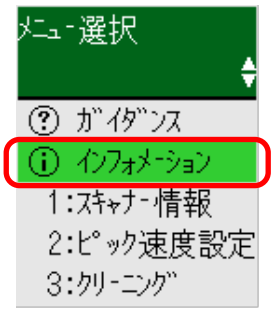
1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。



2 【Menu】ボタンを押し、【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「インフォメーション」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

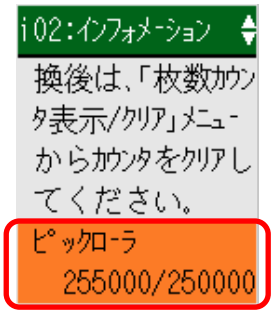


重要

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージがある場合だけ、「インフォメーション」を選択できます。

3 【△】ボタン/【▽】ボタンを押してインフォメーションの内容を確認します。

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージを確認できます。
消耗品交換/清掃指示のメッセージの場合、消耗品の交換、清掃が必要なカウンターが反転表示されます。



各カウンターが反転表示されるタイミングを次に示します。

- ブレーキローラ/ピックローラのカウンターは、消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター） (275 ページ)で設定した値の 95%以上になった場合に反転表示されます。
- 清掃のカウンターは、清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定） (274 ページ)で設定した値以上になった場合に反転表示されます。
- インク残量のカウンターは、インク残量が 33%未満になった場合に反転表示されます（インプリンタを搭載しているときだけ表示されます）。

4 インフォメーションの内容に応じて対処します。

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃のメッセージの場合、消耗品の交換、清掃を行ってください。
消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- ピックローラの交換 (186 ページ)
- ブレーキローラの交換 (182 ページ)

清掃方法は、日常のお手入れ (163 ページ)を参照してください。
定期保守のメッセージの場合、サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検を行ってください。
サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検方法は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ) ）にお問い合わせください。

スキャナー情報の確認

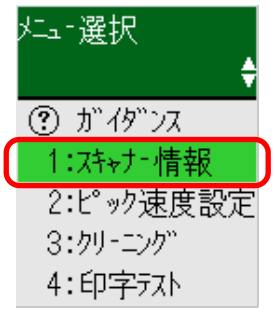
1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

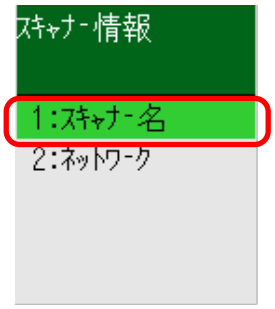


2 【Menu】ボタンを押し、【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「1:スキャナー情報」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。



3 【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「1:スキャナー名」または「2:ネットワーク」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

ここでは、例として「1:スキャナー名」を選択します。



4 選択した項目の内容を確認します。

ここでは、例として「1:スキャナー名」を選択したため、スキャナー名が表示されています。



スキャナーの動作設定

1 スキャナーの電源を投入します。

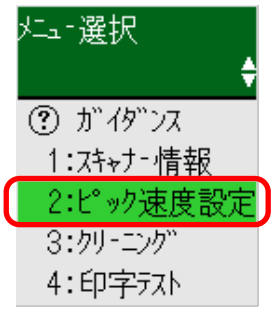
➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。



2 【Menu】ボタンを押し、【△】ボタン/【▽】ボタンを押して設定項目を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

ここでは、例として「2:ピック速度設定」を選択します。



➡ メニュー選択で設定できる項目 (121 ページ)

3 【△】ボタン/【▽】ボタンを押して設定値を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

工場出荷時の設定値には「*」マークが付いています。
現在の設定値には「>」マークが付いています。
現在の設定値が、工場出荷時の設定値と同じ場合は、「*」マークは付かず、「>」マークだけ付きます。
ここでは、例として「1:通常」を選択します。



液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されれば設定完了です。

液晶ディスプレイに設定項目の画面が表示された場合は、「メニュー選択」画面が表示されるまで、手順 3 の操作を繰り返してください。

枚数カウンターの確認およびクリア

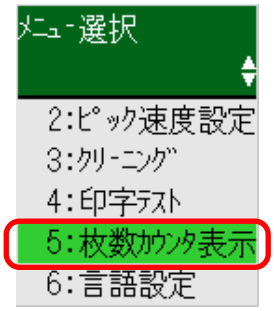
1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。



2 【Menu】ボタンを押し、【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「5:枚数カウンタ表示/クリア」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。



3 【△】ボタン/【▽】ボタンを押して、カウンターを確認します。

消耗品の交換、清掃が必要なカウンターが反転表示されます。



各カウンターが反転表示されるタイミングを次に示します。

- ブレーキローラ/ピックローラのカウンターは、消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター） (275 ページ)で設定した値の 95%以上になった場合に反転表示されます。
- 清掃のカウンターは、清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定） (274 ページ)で設定した値以上になった場合に反転表示されます。

- インク残量のカウンターは、インク残量が 33%未満になった場合に反転表示されます（インプリンタを搭載しているときだけ表示されます）。

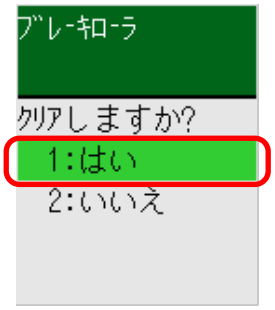
総読み取り枚数のカウンターには、ご購入後の読み取り枚数の総合計が表示されます。この総読み取り枚数のカウンターはクリアできません。

4 消耗品の交換または清掃後、[△] ボタン/ [▽] ボタンを押して、反転表示されているカウンターを選択し、[Scan/Enter] ボタンを押します。



クリアするかどうかを確認する画面が表示されます。

5 [△] ボタン/ [▽] ボタンを押して「1:はい」を選択し、[Scan/Enter] ボタンを押します。



カウンター値が 0 になります。



インク残量の場合は、100 になります。

原稿枚数のカウント

原稿の画像は出力せずに枚数だけをカウントできます。
原稿枚数が多いとき、原稿の枚数を把握するために使用します。
原稿サイズは、ダブルレター（11×17 インチ、279.4×431.8mm）までサポートしています。

1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。



2 【Menu】ボタンを押し、【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「13:原稿枚数カウントモード」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。



液晶ディスプレイに「原稿枚数カウントモード（追加）」画面が表示されます。



3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットし、【Scan/Enter】ボタンを押します。

読み取った原稿枚数がカウントされます。

カウントされた原稿枚数が Count に表示されます。



Count をクリアするには、「原稿枚数カウントモード（追加）」画面で［Stop/Clear］ボタンを押してください。
原稿枚数カウントモードを終了するには、「原稿枚数カウントモード（追加）」画面で［Stop/Clear］ボタンを 3 秒以上長押ししてください。

重要
カウント中に原稿の重なりを検出した場合、正しくカウントできないことがあります。

メニュー選択で設定できる項目

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
ガイダンス	原稿の読み取り枚数のカウンターをクリアする方法が表示されます。	1:カウンタクリア	1:カウンタクリア
インフォメーション	液晶ディスプレイにMenuが点滅表示された場合だけ、「メニュー選択」画面の設定項目に「インフォメーション」が点滅表示されます。	消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージ	インフォメーションがある場合だけ表示
1:スキャナー情報	スキャナー名、ネットワークなどのスキャナーに関する情報が表示されます。	1:スキャナー名 2:ネットワーク	—
2:ピック速度設定	原稿の搬送を開始するタイミングを設定します。 原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生する場合に、原稿の搬送を開始するタイミングを遅くすると、改善できることがあります。 この設定は、薄い原稿を読み取る場合に効果があります。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:通常 2:遅い	1:通常
3:クリーニング	スキャナーを清掃する場合に使用します。 操作方法については、日常のお手入れ (163 ページ)を参照してください。	1:クリーニングペーパー 2:ワイプ	—
4:印字テスト	インプリンタ搭載時、印字テストを実施する場合に使用します。 操作方法については、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。	**読み取り枚数：** 1:一枚のみ 2:複数枚 **印字パターン：** 1: (L)ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000 2: (L)abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}¯00000000 3:(L)!"#$%&'()*+,-.V0123456789:;<=>?@00000000	(*3)

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
		4: (P)ABCDEFGHIJKLMNO PQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000 5: (P)abcdefghijklmnopqr stuvwxyz{|}¯00000000 6:(P)!"#$%&'()*+,-./ 0123456789:;<=>? @00000000 **印字テスト：** 1:はい 2:いいえ	
5:枚数カウンタ表示/クリア	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。 Software Operation Panel でも確認/クリアできます。	総読み取り枚数/ブレーキローラ/ピックローラ/清掃	0
		インク残量（インプリンタ搭載時）	インプリンタ搭載時だけ表示
6:言語設定	運用環境に応じた言語を設定します。	1:日本語 2:英語 3:フランス語 4:ドイツ語 5:イタリア語 6:スペイン語 7:ロシア語 8:中国語(簡体) 9:中国語(繁体) 10:ポルトガル語 11:トルコ語 12:韓国語 13:アラビア語	1:日本語
7:明るさ設定	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	弱い←→強い ■□□□□ ■■□□□ ■■■□□ ■■■■□	■■■□□

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
		■■■■■	
8:点滅周期設定	液晶ディスプレイにMenuが点滅表示された場合の、Menuおよび「メニュー選択」画面の設定項目「インフォメーション」の点滅間隔を設定します。	0.5、1.0、1.5、2.0、2.5（単位：秒）	2.0
9:横スクロール表示速度	設定項目名が横スクロールするときの表示速度を設定します。 設定項目名が液晶ディスプレイに収まらない場合に、横スクロールします。	1:速い 2:通常 3:遅い 4:オフ	2:通常
10:低速搬送モード	原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る設定をします。 低解像度（400dpi 未満）を指定して読み取る場合に、読み取り解像度の設定に関係なく、遅い速度で読み取るようになります。ゆっくり読み取るため、長尺帳票を読み取る場合に効果があります。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効	2:無効
11:排紙制御	原稿を排出するときの排出速度が遅くなるように制御し、読み取った原稿の散らばりを防ぎます。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効	2:無効
12:認証情報	ロゴが表示されます。	—	—
13:原稿枚数カウントモード	読み取った原稿の枚数をカウントできます。	—	—
14:iMFF 設定	原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。 この設定を行うには、事前に、スキャナードライバーおよび Software Operation Panel の原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）(298 ページ)で、「重なりを検出(超音波)」ま	1:手動モード 2:自動モード 1 3:自動モード 2 4:パターンクリア	1:手動モード

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
	たは「重なりと長さの違いを検出」を設定しておく必要があります。 「4:パターンクリア」を選択すると、自動モードで記憶した原稿の重なりパターン（長さや位置）をクリアできます。 Software Operation Panel でも設定できます。		
15:給紙リトライ回数設定	原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1～12（単位：回）	3
16:ピック圧設定	給紙時のピック圧を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:弱い 2:通常 3:強い	2:通常
17:手差し・連送設定	読み取りを開始したあとに、繰り返し原稿をセットして読み取りを継続したいときに設定します。 原稿をセットするまでの待機時間を設定しておくと、読み取りを開始したあとや原稿の搬送が完了したあと、設定した待機時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。 設定した待機時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、継続して読み取りができます。 設定した待機時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効	2:無効
18:手差しタイムアウト時間	手差しで原稿を読み取るときの待機時間を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	5、10、20、30、40、50、60、70、80、90、100、110、120、180、240、300、360、420、480、540、600、900、1200、1500、1800、1999（単位：秒）	10

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
19:ペーパープロテクション設定	原稿の搬送異常を検出する設定をします。 次のどれかの時点で、原稿の搬送異常を検知します。 ● 原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常なたわみを検知した時点 ● 原稿づまりが発生したときの音を検知した時点 原稿を読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。 原稿の搬送異常を検知して搬送を停止すれば、原稿の破損を防げます。 本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。 原稿保護機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。 原稿が正常に搬送できない場合に、原稿が異常にたわんで搬送されたり、原稿がつまる音がしたりします。 原稿の異常なたわみまたは原稿がつまる音を検知するレベルを設定します。 原稿を保護する設定は、スキャナードライバーまたは Software Operation Panel でも設定できます。 この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。 スキャナードライバーで原稿を保護する設定を有効にした場合は、操作パネルおよび Software Operation Panel の設定に関係なく、「原稿のたわみとつまり音を検出」が有効になります。 なお、操作パネルの設定を優先している場合、原稿を保護する設定は、次の順で優先されます。 **1** スキャナードライバー 詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。	1:無効 2:原稿のたわみを検出 3:原稿のつまり音を検出 4:原稿のたわみとつまり音を検出 **原稿のたわみ感度：** 1:低い 2:通常 3:高い **原稿のつまり音感度：** 1:低い 2:通常 3:高い	2:原稿のたわみを検出 **原稿のたわみ感度：** 2:通常 **原稿のつまり音感度：** 2:通常

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
	2 操作パネルの「メニュー選択」画面の「19:ペーパープロテクション設定」 ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ) 3 Software Operation Panel ➡ 原稿保護機能の設定（ペーパープロテクション） (286 ページ) 感度は、Software Operation Panel でも設定できます。		
20:縦筋検知設定	ガラスのよごれを検知する設定ができます。 ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。 縦筋を検知する設定を「有効」にすると、ADF での読み取り画像に縦筋が発生する可能性がある場合に、次のタイミングでメッセージが通知されます。 ● ADF を開閉したとき ● 読み取りを終了したとき ● ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしたとき ● 省電力モードから復帰したとき メッセージは次のように通知されます。 ● 液晶ディスプレイに Menu が点滅表示されます。 このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「ガラス清掃」が点滅表示されます。 縦筋の発生を防ぐために、インフォメーションを確認して、ガラスを清掃してください。 インフォメーションの確認方法は、インフォメーションの確認 (111 ページ) を参照してください。	1:有効 2:無効 **感度：** 1:低い 2:通常 3:高い	2:無効 **感度：** 2:通常

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値 ー：設定値/表示値なし	工場出荷時（*2）
	● スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide にメッセージが通知されます。 縦筋の発生を防ぐために、メッセージを確認して、ガラスを清掃してください。 清掃方法は、日常のお手入れ (163 ページ)を参照してください。 「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれを検知するレベルを設定します。 ガラスのよごれ具合に応じて、検知するレベルの感度を変更します。 Software Operation Panel でも設定できます。		
21:パネル設定優先	ペーパープロテクション設定について、操作パネルの設定を Software Operation Panel の設定より優先するように設定します。 スキャナードライバーの設定より優先するようには設定できません。 「1:ペーパープロテクション設定」を選択した場合は、操作パネルのペーパープロテクション設定が優先されます。 「2:解除」を選択した場合は、ペーパープロテクション設定の優先を解除します。	1:ペーパープロテクション設定 2:解除	2:解除
22:操作パネル初期化	操作パネルの設定を初期化します。 ただし、言語設定および工場出荷時に値のないものは除きます。	1:はい 2:いいえ	(*4)
23:省電力時間設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	5～115（5 分刻みで設定）（単位：分）	15
24:電源切断時間設定	自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間を設定します。 「無効」を設定すると、スキャナーの消費電力が増加します。 Software Operation Panel でも設定できます。	20、1、2、4、8、無効（単位：20 は分、1、2、4、8 は時）	20

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
25:プレピックモード	複数枚の原稿をセットして読み取る場合に、読み取り時間を短くする設定をします。 読み取り中の原稿を排出する前に、次の原稿を ADF 内部まで搬送しておくことを、「プレピック」と呼びます。 スキャナードライバーまたは Software Operation Panel でも設定できます。 この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。	1:はい 2:いいえ	1:はい
26:オーバースキャン読み取り制御	原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する場合に設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:通常 2:拡大	1:通常
27:USB	コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。 設定を変更するとスキャナーが再起動します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:自動 2:USB 2.0	1:自動

***1：**現在の設定値には「>」マークが付いています。
現在の設定値が、工場出荷時の設定値と同じ場合は、「*」マークは付かず、「>」マークだけ付きます。

***2：**工場出荷時の設定値には「*」マークが付いています。

***3：**工場出荷時の設定値はありませんが、電源投入直後は、読み取り枚数「2:複数枚」、印字パターン「1:(L)ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000」、印字テスト「1:はい」に設定されます。工場出荷時の設定値がないため、操作パネルの設定を初期化しても設定値は変更されません。

***4：**工場出荷時の設定値はありませんが、電源投入直後は、「2:いいえ」に設定されます。工場出荷時の設定値がないため、操作パネルの設定を初期化しても設定値は変更されません。

機能選択の操作方法

機能選択について説明します。

「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押すと、「機能選択」画面が表示されます。

機能選択を使うことにより、「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを切り替えられます。

事前にコンピューターで、画像読み取り用アプリケーションを起動するボタンを設定しておく必要があります。

➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)

「機能選択」画面で選択した番号が、インジケーターに表示されます。

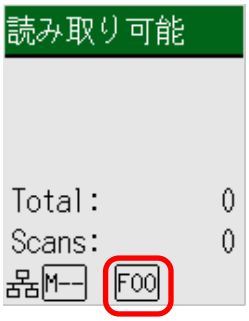
例えば、「機能選択」画面で「No.02」を選択した場合は、インジケーターに「F02」が表示されます。

1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

電源投入直後は、インジケーターに「F00」が表示されます。



2 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押し、［△］ボタン/［▽］ボタンを押して、起動したい画像読み取り用アプリケーションが設定されている番号を選択し、［Stop/Clear］ボタンを押します。

ここでは、例として「No.02」を選択します。

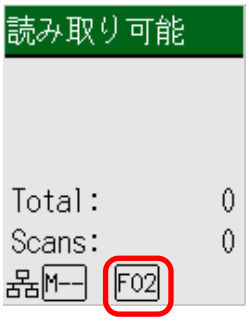


➡ 機能選択で設定できる項目 (131 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されれば設定完了です。

「機能選択」画面で選択した番号が、インジケーターに表示されます。

ここでは、例として「No.02」を選択したため、インジケーターに「F02」が表示されています。



「No.00」～「No.50」を選択した場合は、インジケーターに「F00」～「F50」が表示されます。
「SOP」を選択した場合は、インジケーターに「SOP」が表示されます。
「SOP」は、事前に Software Operation Panel が起動するように設定されており、ほかのアプリケーションに変更できません。

機能選択で設定できる項目

設定項目	説明	設定値	工場出荷時
機能選択	「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを切り替えられます。 コンピューター側で設定したボタン（Scan Button/Send to 01～Send to 50）が表示されます。 No.00 には、Scan Button のボタンが表示されます。 No.01～No.50 には、Send to 01～Send to 50 のボタンが表示されます。 SOP には、「Software Operation Panel」が表示されます。 ボタンの設定方法については、スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)を参照してください。	No.00～No.50/SOP （SOP は、事前に Software Operation Panel が起動するように設定されており、ほかのアプリケーションに変更できません）	（*1）

***1：**工場出荷時の設定値はありませんが、電源投入直後は、「No.00」に設定されます。工場出荷時の設定値がないため、操作パネルの設定を初期化しても設定値は変更されません。

いろいろな原稿の読み取り方

ここでは、スキャナーの動作や読み取り条件を設定して、いろいろな原稿を読み取る方法について説明します。
ここに記載のない原稿の読み取り方については、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅の違う原稿を読み取りたいとき

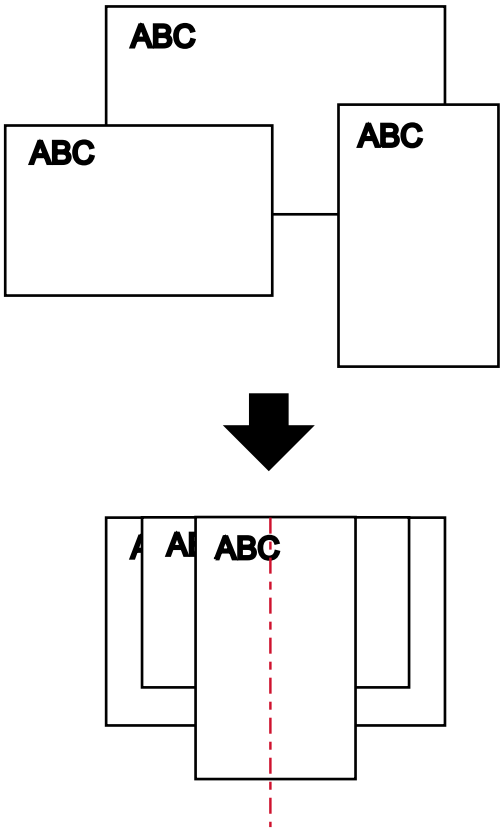
重要
幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。
うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

1 **原稿を混載して読み取る場合の原稿の条件を確認します。**

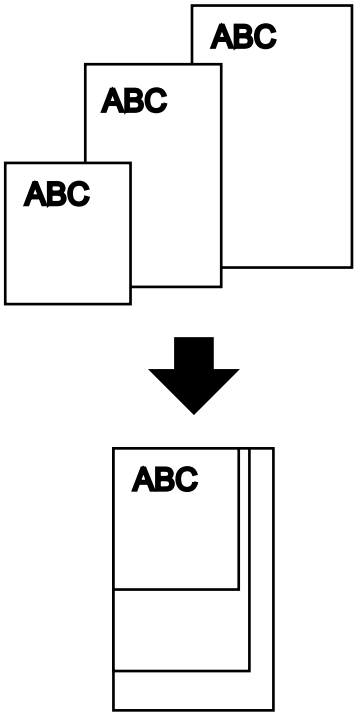
➡ 混載条件 (90 ページ)

2 **原稿の先端をそろえます。**

- 中央でそろえる場合



- 片側でそろえる場合

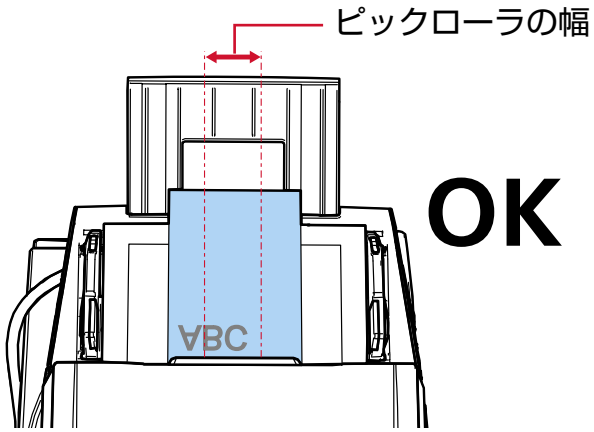


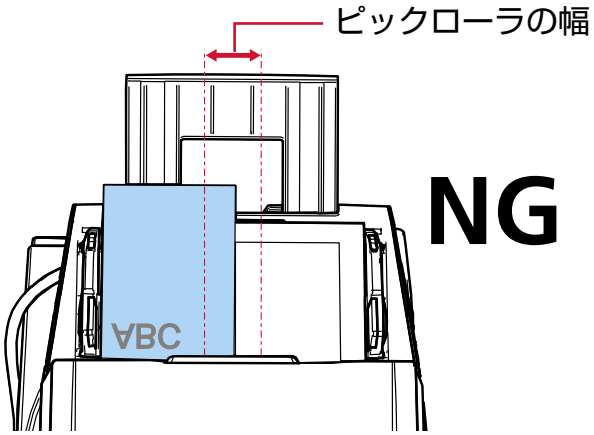
3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)

重要

すべての原稿がピックローラ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックローラから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。





4 **スキャナードライバーで、原稿サイズを自動的に検出する読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

5 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

2 つ折りの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、2 つに折り曲げた原稿（最大 A1 サイズ、A2 サイズの 2 つ折りまで）をそのまま読み取れます。

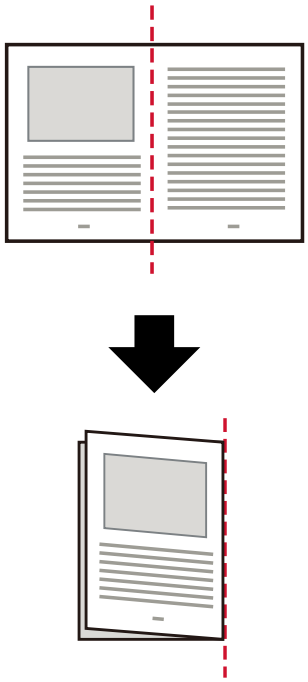
重要

- 原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が傾いて搬送されることがあります。
- 手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
  そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていても、原稿の重なりを検出しません。

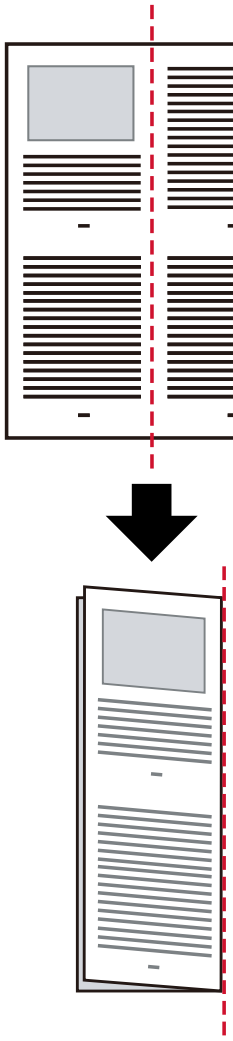
➡ 原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） (298 ページ)

1 原稿の読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。
折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾いて搬送され、画像の傾きの原因となります。

例 1：A2 サイズの場合

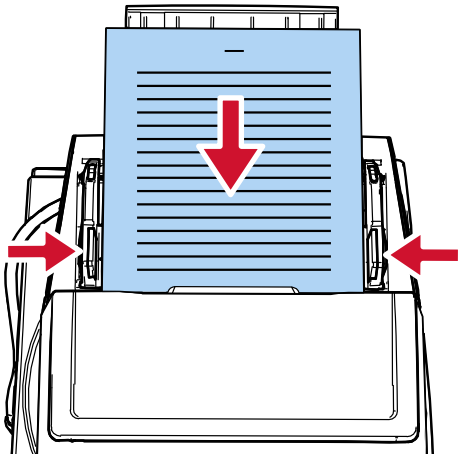


例 2：A1 サイズの場合



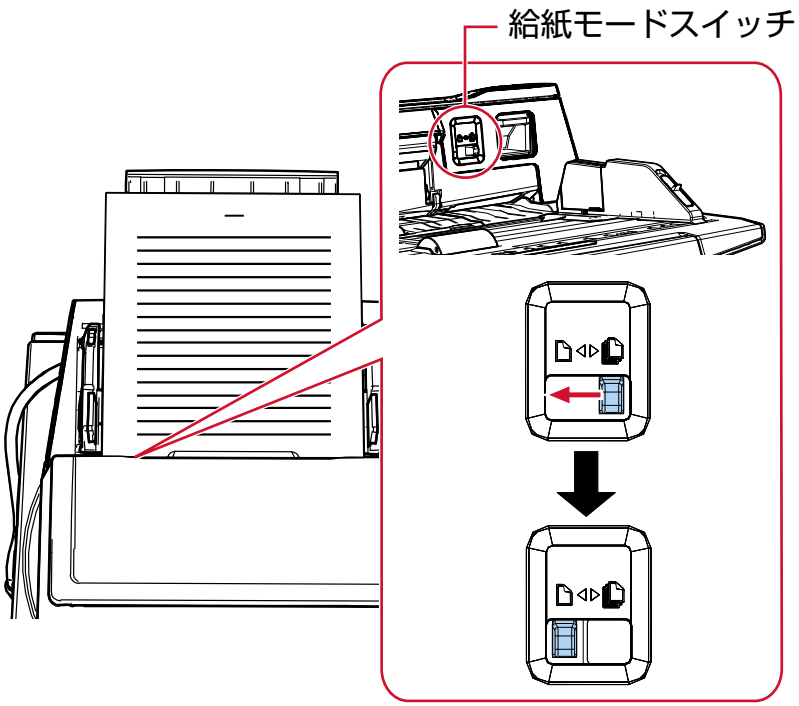
2 2 つ折りの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)



3 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えます。

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。



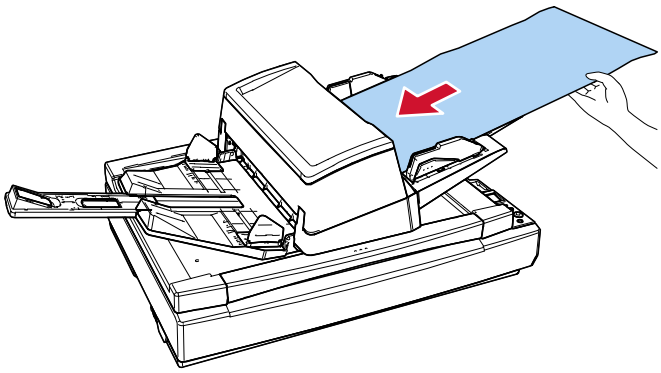
液晶ディスプレイに「手差し・単送（マルチフィード検出はされません）」が表示されます。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

A1 サイズの 2 つ折り原稿を読み取る場合は、原稿が傾かないように手で下から支えてください。



ヒント

手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:手差しタイムアウト時間」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (310 ページ)

封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取れます。

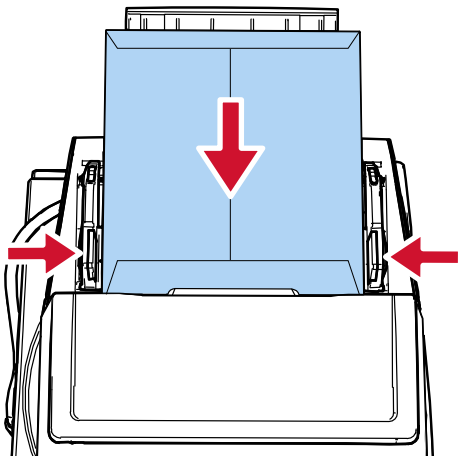
重要

- 読み取れる原稿の厚さは、読み取りできる原稿 (81 ページ)を参照してください。
- 手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
  そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていても、原稿の重なりを検出しません。
  ➡ 原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） (298 ページ)

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

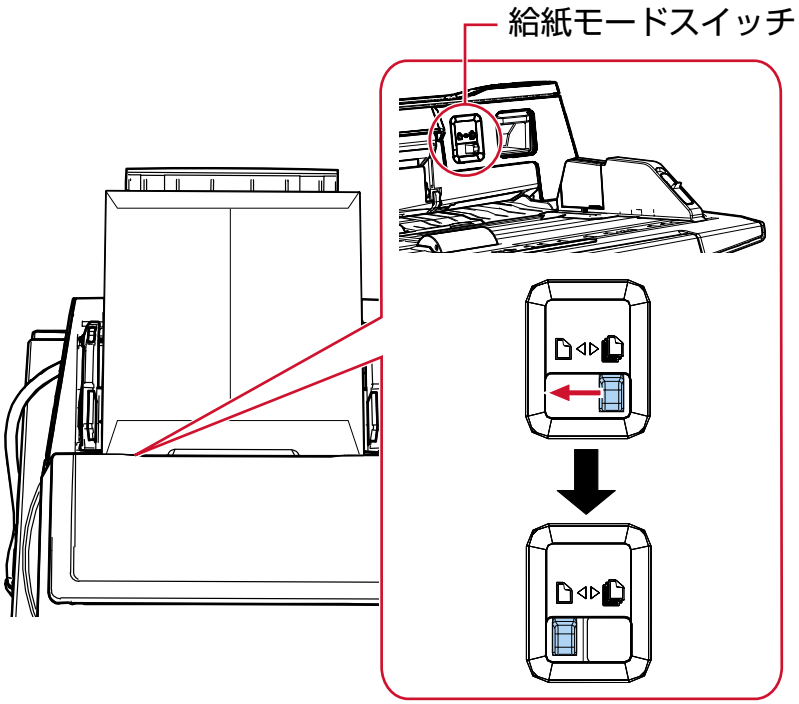
複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットします。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)



2 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えます。

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。



液晶ディスプレイに「手差し・単送（マルチフィード検出はされません）」が表示されます。

3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

ヒント

手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:手差しタイムアウト時間」

➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

➡ 手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (310 ページ)

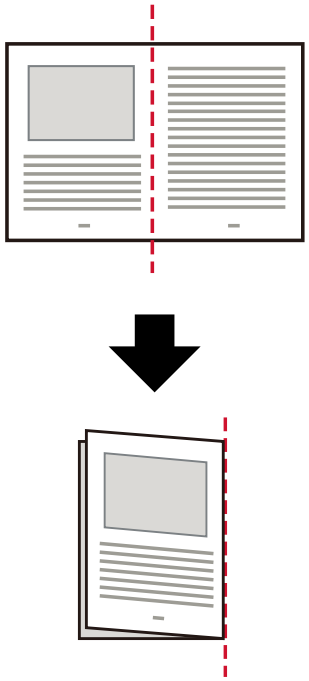
傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートを使用すると、傷つけたくない原稿を保護して読み取れます。
A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿は 2 つ折りにして、A3 キャリアシートにはさみます。

1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。

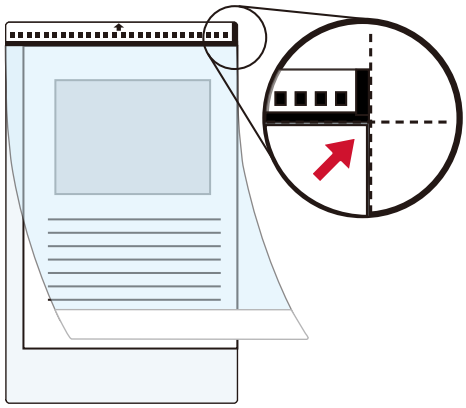
a 原稿の読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。
原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が傾いて搬送されることがあります。

例

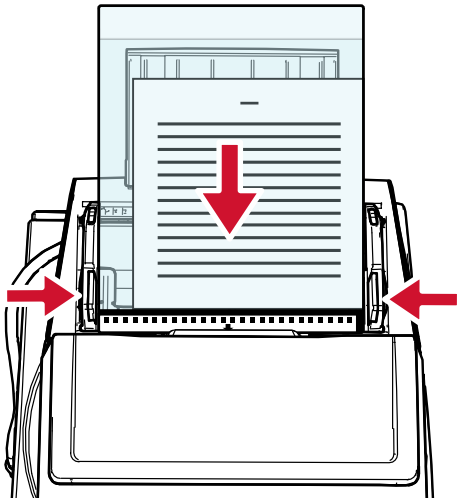


b A3 キャリアシートの表面を開けて、原稿をはさみます。
A3 キャリアシートの表面は、白黒のパターンを上にしたときに、右端に縦線のある面です。

原稿の上端と折り目を、A3 キャリアシートの右上部分の上端と右端に、隙間ができないようにしっかりと合わせます。



2 **A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 **スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

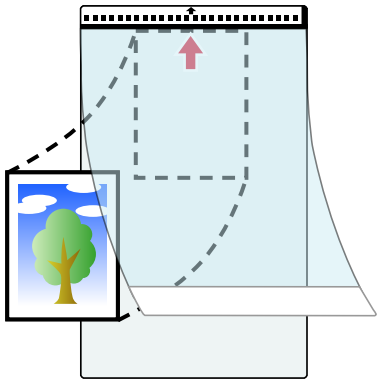
重要

A3 キャリアシートを使用した場合の画像の切り出し方法/出力方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

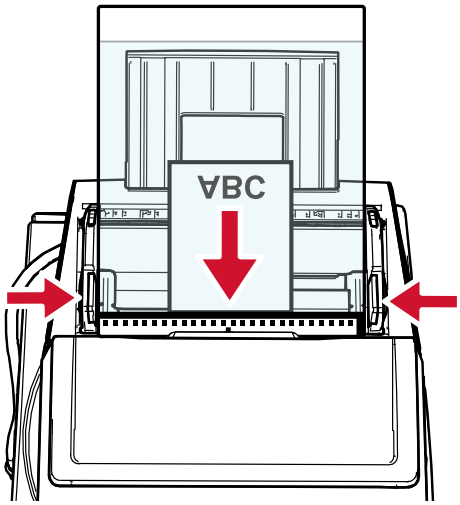
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートを使用すると、写真や、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿を傷つけずに読み取れます。

1 **A3 キャリアシートに原稿をセットします。**
A3 キャリアシートを開けて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上端を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



2 **A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 **スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

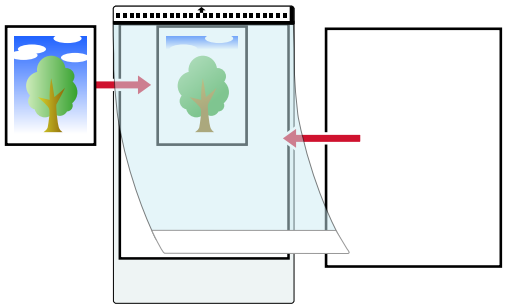
重要

A3 キャリアシートを使用した場合の画像の切り出し方法/出力方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない。
- 画像に原稿の端の影が入る。
- 特殊な形に切り抜いた原稿を A3 キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線が入る。
- 画像に原稿の外側の画像が含まれる。



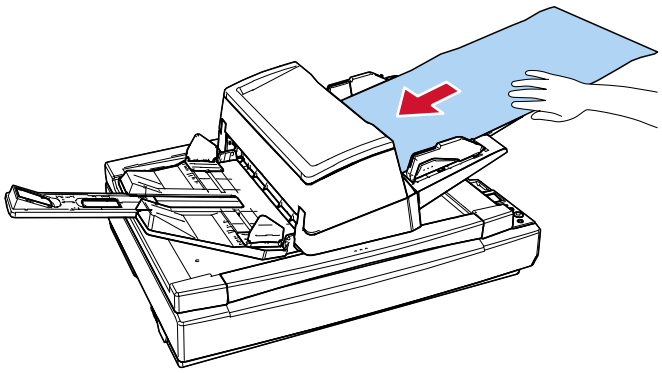
長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）が 5,588mm（220 インチ）までの原稿を読み取れます。
読み取り解像度の設定や、画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取りできる原稿サイズが異なります。
詳細は、原稿のサイズ (81 ページ)、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

1 **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿を 1 枚セットします。**

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)

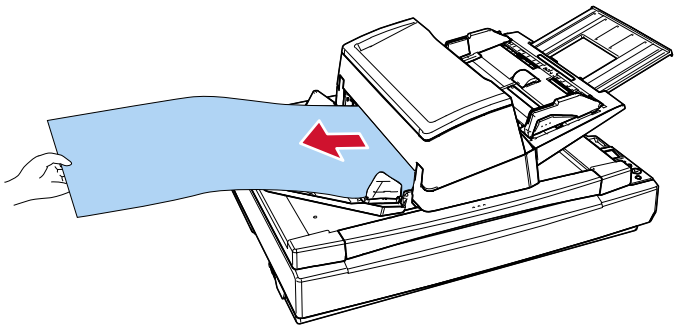
2 **セットした原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、手で支えます。**
原稿を手で支えるときは、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



3 **スキャナードライバーで、長尺帳票用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

5 **スタッカー側に十分なスペースを設け、排出した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ります。**
原稿を手で受け取るときは、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



手差しで原稿を読み取りたいとき

手差しとは、読み取りを開始したあとに、繰り返し原稿をセットして読み取りを継続する操作です。
原稿をセットするまでの待機時間を設定しておくと、読み取りを開始したあとや原稿の搬送が完了したあと、設定した待機時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
設定した待機時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、継続して読み取りができます。
設定した待機時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。
この操作で読み取ると、複数枚の原稿を 1 枚ずつ確認しながら読み取れます。
手差しは、次のような場合に効果があります。

- 原稿の内容を確認しながら読み取る場合
- 原稿をまとめてセットして読み取ると、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが発生してうまく読み取れない場合
- 雑誌や新聞の切り抜きなど、まとめてセットできない原稿を 1 枚ずつ続けて読み取りたい場合
- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、1 枚ずつ読み取る場合

また、手差しには次のモードがあります。

- 手差し・連送モード
  複数枚の原稿を、手差しで連続して読み取るときに使用します。
- 手差し・単送モード
  2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、手差しで 1 枚ずつ読み取るときに使用します。

頻繁に手差しで原稿を読み取ると、消耗品の交換周期が短くなる場合があります。

1 読み取れる原稿の厚さを確認します。

➡ 原稿の厚さ (81 ページ)

原稿を 2 つ折りにして読み取る場合、原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が斜めに搬送されることがあります。

2 スキャナーの設定をします。

- 複数枚の原稿を、手差しで連続して読み取るとき

  a 次のどちらかの方法で、手差し・連送モードに切り替えて、タイムアウト時間を設定します。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「17:手差し・連送設定」および「18:手差しタイムアウト時間」

    ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

  - Software Operation Panel

    ➡ 手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (310 ページ)

- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、手差しで 1 枚ずつ読み取るとき

  a 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えます。
  手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

  b 次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:手差しタイムアウト時間」

➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

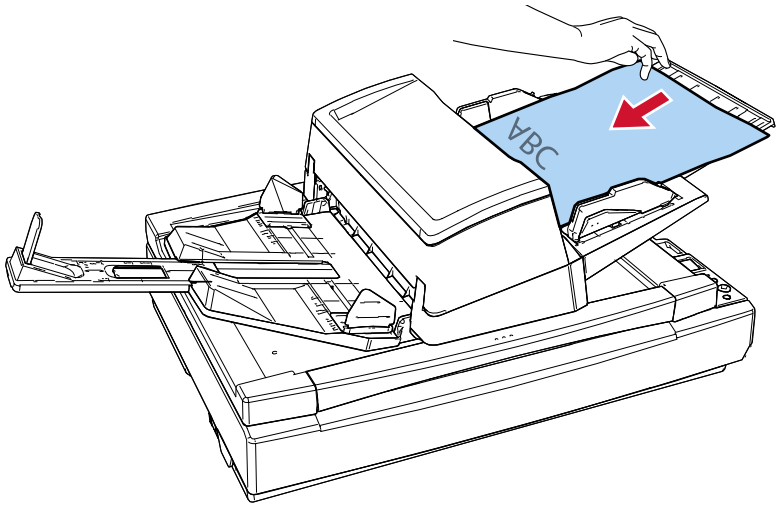
- Software Operation Panel

➡ 手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (310 ページ)

3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットします。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)



4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
原稿が複数枚ある場合は、最も下の原稿が引き込まれます。
手差し・連送モードに切り替えている場合は、その間 ADF のローラーが回転したままになります。
手差し・単送モードに切り替えている場合は、その間 ADF のローラーは回転しません。

5 ADF 給紙シュート（フィーダー）に次の原稿をセットします。

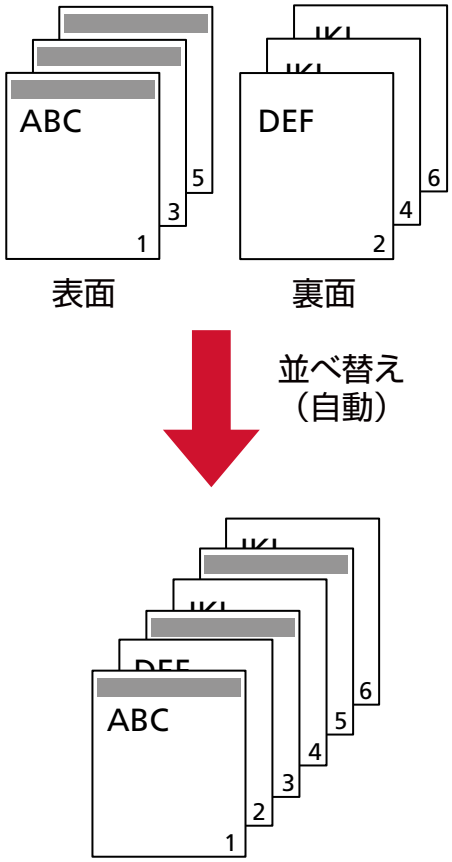
6 読み取る原稿がなくなるまで、手順 5 を繰り返します。

7 読み取りを終了します。

原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
すぐに読み取りを終了する場合は、［Scan/Enter］ボタンまたは［Stop/Clear］ボタンを押します。
なお、原稿を搬送中に［Stop/Clear］ボタンを押しても読み取りを中止できません。

片面で読み取った原稿を両面で読み取ったように並べ替えたいとき［fi-8700S］

原稿の表面を読み取り、続けて裏面を読み取ったあとに、読み取った原稿を自動的に並べ替えて、仮想的な両面読み取りを実現します。
この場合、仮想的に両面を読み取る機能に対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。また、スキャナードライバーでの設定も必要になります。



1 **原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)

2 **スキャナードライバーで、仮想的な両面読み取り用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

3 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。
読み取りが完了すると、原稿の裏面をセットするように指示するメッセージが表示されます。

4 **原稿の裏面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）での原稿のセット方法 (73 ページ)
メッセージに応答すると、原稿の裏面が読み取られます。

重要

原稿の裏面をセットする場合、次のことに注意してください。

- 表面と同じ順序で読み取られるようにセットしてください。
- 原稿の上下がさかさまにならないようにセットしてください。

5 読み取り完了後、原稿の順序が自動的に並べ替わります。

表面と裏面の読み取り枚数が異なる場合、原稿は並べ替えられません。

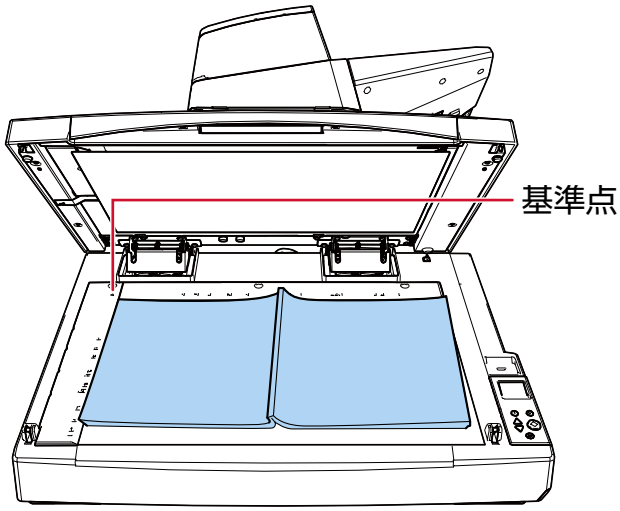
フラットベッドで本を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］

1 ドキュメントカバーを開けます。

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

2 原稿台に原稿をセットします。

原稿の読み取り面が原稿台側（下向き）になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



重要

原稿のカールや折れにより原稿が原稿台から浮き上がると、読み取った画像が不鮮明となるため注意してください。

3 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

4 スキャナードライバーで、フラットベッド用の読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

5 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

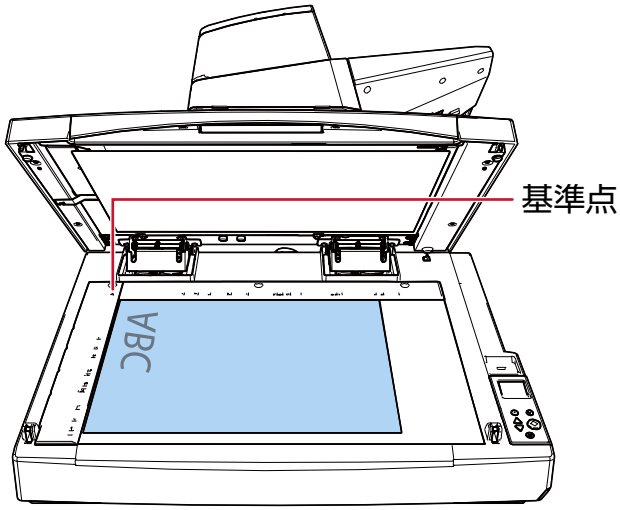
フラットベッドでドキュメントカバーを開けたまま原稿を読み取りたいとき [fi-8700/fi-8700S]

フラットベッドのドキュメントカバーを開けたままでも読み取りができます。
読み取った原稿の傾きを自動補正したり、原稿サイズを認識して同じサイズで出力したりできます。
この場合、スキャナードライバーでの設定が必要になります。

1 **ドキュメントカバーを開けます。**

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

2 **原稿台に原稿をセットします。**
原稿の読み取り面が原稿台側（下向き）になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



重要
原稿のカールや折れにより原稿が原稿台から浮き上がると、読み取った画像が不鮮明となるため注意してください。

3 **スキャナードライバーで、フラットベッドの読み取りで環境光を除去する読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

重要
環境光が原稿台に入り込む位置によっては、読み取った画像の傾きを自動補正したり、同じサイズで出力できないことがあるため注意してください。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

⚠ 注意	読み取り中は、光源を直接見ないでください。

フラットベッドで複数の原稿を一度に読み取って原稿ごとに画像を切り出したいとき［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッドに複数の原稿をセットして読み取って、原稿ごとに画像を切り出せます。
この場合、スキャナードライバーでの設定が必要になります。

重要

原稿ごとに画像を切り出す場合は、オプションの黒色の原稿押さえパッド（別売）を使用してください。

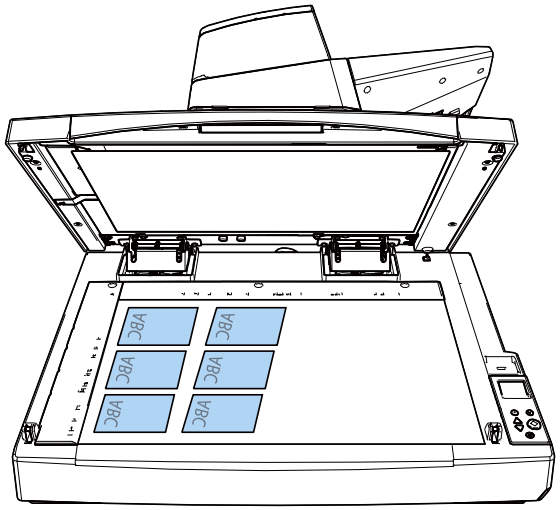
➡ スキャナーのオプション (340 ページ)

1 ドキュメントカバーを開けます。

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

2 原稿台に複数の原稿をセットします。

原稿の読み取り面が原稿台側（下向き）になるようにします。



重要

- 原稿のカールや折れにより原稿が原稿台から浮き上がると、読み取った画像が不鮮明となるため注意してください。
- 複数の原稿を正しく検出するための条件については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

3 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

4 スキャナードライバーで、フラットベッドで複数の原稿を一度に読み取って原稿ごとに画像を切り出すための読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

5　画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

画像の切り出し順番については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

フラットベッドで一定時間ごとに自動で原稿を読み取りたいとき［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッドで一定時間ごとに自動で原稿を読み取れます。
フラットベッドに原稿をセットするたびに、画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始する必要がなくなります。
この場合、スキャナードライバーでの設定が必要になります。

1 **ドキュメントカバーを開けます。**

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

2 **原稿台に原稿をセットします。**

➡ フラットベッドでの原稿のセット［fi-8700/fi-8700S］ (80 ページ)

3 **ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。**

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

4 **スキャナードライバーで、フラットベッドで一定時間ごとに自動で原稿を読み取るための読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

5 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。
読み取りが完了すると、コンピューターにタイマー（秒）を示す画面が表示され、カウントダウンが始まります。

6 **タイマー（秒）のカウントダウンが 0 になる前に、原稿台に次の原稿をセットします。**

7 **ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。**
タイマー（秒）のカウントダウンが 0 になると次の読み取りが開始されます。
次の読み取りが完了すると、コンピューターにタイマー（秒）を示す画面が表示され、カウントダウンが始まります。

8 **読み取る原稿がなくなるまで、手順 6〜7 を繰り返します。**

9 **読み取りを終了します。**
タイマー（秒）を示す画面の［終了］ボタンをクリックします。

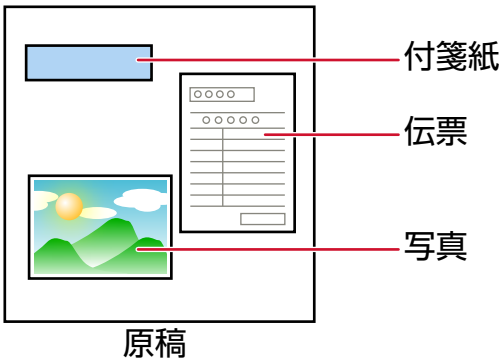
> **重要**
> スキャナードライバーで ADF またはフラットベッドの自動切替えを有効にしている場合は、ADF でも同様の動作となります。

決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき

読み取り中に原稿の重なりを検出する設定をしている場合、付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある原稿を読み取ると、原稿の重なりを検出して、読み取りが中止される場合があります。このような原稿の重なりを検出しないために、インテリジェントマルチフィード検出機能があります。
本機能には、原稿の重なりを検出するたびに手動で設定するモードと、原稿に貼り付けてある付箋紙、伝票、写真などの紙片の重なりパターン(長さや位置)を記憶し、それに基づいて自動で設定するモードがあります。
この設定を行うには、事前に原稿の重なりを検出する設定が必要です。

- スキャナードライバーの「マルチフィード検出」
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- Software Operation Panel の「マルチフィード」

➡ 原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） (298 ページ)



用途に応じて、次の 3 つの動作モードが用意されています。

動作モード	用途
手動モード	原稿の重なりが検出されるたびに、重なりを検出するか、検出しないかを設定します。 重なりが検出された時点で、読み取りが中止されます。 ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
自動モード 1	原稿に貼ってある紙片の長さと位置が同じ場合に、自動的に重なりを検出しないときに設定します。 重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。 重なりパターンは、最大で 8 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。 8 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。 ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン設定」に従います。

動作モード	用途
	➡ 決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (306 ページ) **ヒント** 原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶させたあと、再度読み取って 5 個目以降を記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。 同じ原稿を 2 度読み取っているため、結果的には原稿を 2 枚記憶したことになります。
自動モード 2	原稿に貼ってある紙片の長さが同じかそれよりも短い場合に、自動的に重なりを検出しないときに設定します。 重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。 本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

次のどちらかの方法で、動作モードを選択します。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「14:iMFF 設定」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (306 ページ)

操作方法

1 原稿の重なりを検出したとき、液晶ディスプレイの表示は次のようになります。

原稿の重なりを検出したとき
マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。
マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。

2 設定された動作モードにより、次のように操作します。

- 手動モード

  重なりが検出された時点で、読み取りが中止されるので、[Scan/Enter] ボタンを押して搬送路から原稿を排出するか、ADF を開けて原稿を取り除いて、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

  ➡ ADF の開け方 (47 ページ)

> **⚠ 注意** ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF を開けて原稿を取り除いたら、ADF を閉じます。

➔ ADF の閉じ方 (48 ページ)

> **⚠ 注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されるので、［Scan/Enter］ボタンを押して、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

- 自動モード 1/自動モード 2
  重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されるので、［Scan/Enter］ボタンを押して、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

3 原稿を排出したとき、設定された動作モードにより、液晶ディスプレイの表示は次のように変わります。

- 手動モード

原稿の重なりを検出したとき	原稿を排出したとき
マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	次の原稿のマルチフィード検出が有効です。 ---------- Menu ボタンで有効/無効を切替えられます。Scan/Enter ボタンで読み取りを再開します。
マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	「読み取り可能」画面

- 自動モード 1/自動モード 2

原稿の重なりを検出したとき	原稿を排出したとき
マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	重なりパターンの記憶機能が無効です。 ----------

原稿の重なりを検出したとき	原稿を排出したとき
	Menu ボタンで有効/無効を切替えられます。Scan/Enter ボタンで読み取りを再開します。
マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	「読み取り可能」画面

4 次のように操作して、再度読み取ります。

［Menu］ボタンを押すたびに液晶ディスプレイの表示が、「次の原稿のマルチフィード検出が有効です。」↔「次の原稿のマルチフィード検出が無効です。」、または「重なりパターンの記憶機能が有効です。」↔「重なりパターンの記憶機能が無効です。」の間で切り替わります。

液晶ディスプレイに「次の原稿のマルチフィード検出が無効です。」または「重なりパターンの記憶機能が有効です。」が表示されていることを確認してから、［Scan/Enter］ボタンを押すか、コンピューターから読み取りを開始します。

「次の原稿のマルチフィード検出が無効です。」または「重なりパターンの記憶機能が有効です。」が表示されている状態で読み取る場合、設定された動作モードにより、次のように動作します。

- 手動モード（ボタンによる検出無効化）
  次の原稿は原稿の重なりを検出しないで読み取り、2 枚目以降はスキャナードライバーまたは Software Operation Panel の設定で原稿の重なりを検出します。
- 自動モード 1（重なり長さと位置による検出無効化）
  原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片の長さと位置を記憶し、読み取りを継続します。
  それ以降の読み取りで、記憶した同様な重なりパターンが検出された場合は、自動的に原稿の重なりを検出しません（*1）（*2）。
- 自動モード 2（重なり長さによる検出無効化）
  原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片で最も長いものを記憶し、読み取りを継続します。
  それ以降の読み取りで、記憶した長さと同じか短い重なりが検出された場合は、自動的に原稿の重なりを検出しません（*2）（*3）。

***1：**重なりパターンは、最大で 8 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。
8 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン設定」に従います。

➡ 決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (306 ページ)

ヒント

原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶させたあと、再度読み取って 5 個目以降を記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。
同じ原稿を 2 度読み取っているため、結果的には原稿を 2 枚記憶したことになります。

***2：**次のどちらかの方法で、記憶されている重なりパターンを消去できます。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「14:iMFF 設定」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (306 ページ)

消去すると液晶ディスプレイの表示がまたはになります。
これにより、誤って記憶された重なりパターンを消去できます。
ただし、記憶している重なりパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

***3：**本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を有効にすると、次のような場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。

- しわが多く寄っている原稿を読み取った場合
- 四角形ではない原稿を読み取った場合
- 地色が暗い原稿を読み取った場合
- 原稿の縁まで文字や模様が印刷されている原稿を読み取った場合
- 原稿が傾いて搬送された場合

このような場合は、保護された原稿を再度読み取りするときだけ原稿保護機能を無効にできます。

操作方法

1 原稿保護が発生したとき、液晶ディスプレイの表示は次のようになります。

原稿保護が発生したとき
原稿保護(つまり音) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。
原稿保護(たわみ) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。

2 ADF を開けて原稿を取り除きます。

➡ ADF の開け方 (47 ページ)

> ⚠ 注意　ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 ADF を閉じます。

➡ ADF の閉じ方 (48 ページ)

ADF を閉じると、液晶ディスプレイの表示が次のように変わります。

原稿保護が発生したとき	原稿を排出したとき
原稿保護(つまり音) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。	原稿保護機能が有効です。 ---------- Menu ボタンで有効/無効を切替えられます。Scan/Enter ボタンで読み取りを再開します。
原稿保護(たわみ)	

原稿保護が発生したとき	原稿を排出したとき
原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。	

注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

4 取り除いた原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

5 次のように操作して、再度読み取ります。

［Menu］ボタンを押すたびに液晶ディスプレイの表示が、「原稿保護機能が有効です。」↔「原稿保護機能が無効です。」の間で切り替わります。

液晶ディスプレイに「原稿保護機能が無効です。」が表示されていることを確認してから、［Scan/Enter］ボタンを押すか、コンピューターから読み取りを開始します。

「原稿保護機能が無効です。」が表示されている状態で読み取る場合、次の原稿は原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効で読み取り、2 枚目以降はスキャナードライバー、Software Operation Panel、または操作パネルのペーパープロテクション設定に従って読み取ります。

ヒント

原稿保護のエラーが、頻繁に液晶ディスプレイに表示される場合は、原稿保護のエラーが頻繁に起こる (232 ページ)を参照してください。

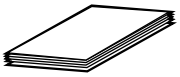
日常のお手入れ

ここでは、スキャナーの清掃方法について説明します。

⚠ 注意

- エアスプレーおよびアルコールを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、紙粉やほこりがスキャナー内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。
  また、静電気によるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。
- スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
  ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、ADF 内部の温度が下がってから清掃してください。

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 本（100ml） よごれを落とすためのクリーナー液です。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1 パック（10 枚入り） スキャナーの内部を簡易的に清掃できます。 クリーナ F1 を吹き付けて、原稿と同じようにスキャナーで読み取って使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1 箱（24 袋入り） クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	超音波センサーなどの細かい箇所の清掃に使用します。
乾いた布		よごれをふき取るための布です。少量のクリーナ F1 をしみこませて使用します。
ScanAid（*1）	FI-770SA	–

***1：**ScanAid の詳細は、スキャナーのオプション (340 ページ)を参照してください。

重要

清掃用品を正しく安全に使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクト (365 ページ)にお問い合わせください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
スキャナー内部（ADF 内部）	ブレーキローラ	10,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
	ピックローラ	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
	プラスチックローラー	
	ゴムローラー	
	シュートローラー	
	原稿検知センサー	
	超音波センサー	
	ガラス	
	搬送路	
スキャナー内部（フラットベッド内部）［fi-8700/fi-8700S］	原稿押さえパッド	
	原稿台	

スキャナー内部（ADF 内部）は、読み取り枚数ごとに定期的な清掃が必要です。スキャナーでは、読み取った原稿の枚数が記録されているので、前回清掃してからの読み取り枚数を確認できます。
次のどちらかの方法で、読み取り枚数を確認できます。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

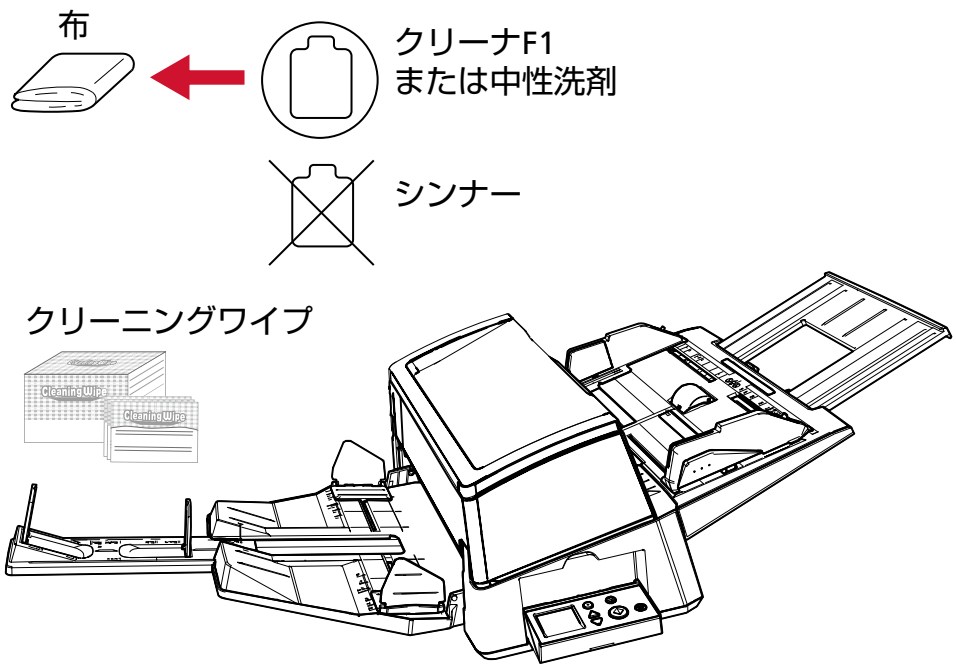
スキャナー外部の清掃

スキャナー本体（ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカーなど）は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

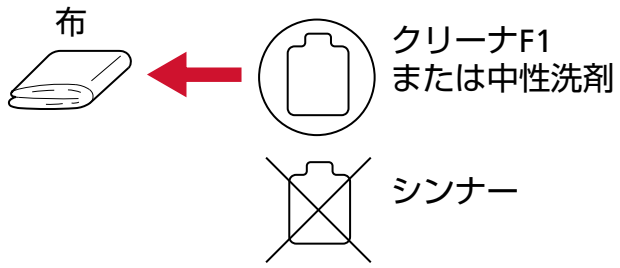
重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、スキャナー内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

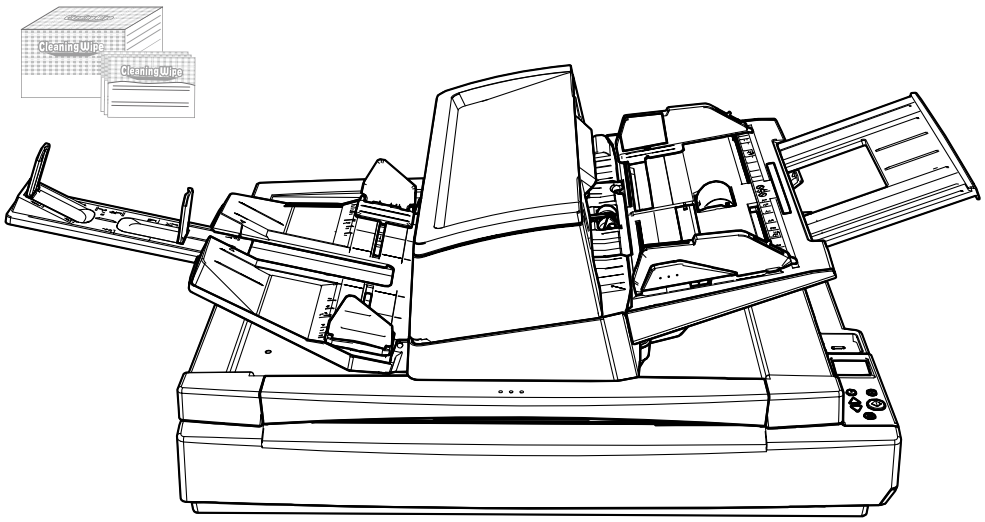
- **fi-8600**



- **fi-8700/fi-8700S**



クリーニングワイプ



スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパー）

ADF 内部は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。
原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 10,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

2 【Menu】ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「3:クリーニング」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「クリーニング」画面が表示されます。

4 【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「1:クリーニングペーパー」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。

重要

清掃中に、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始しないでください。

5 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。

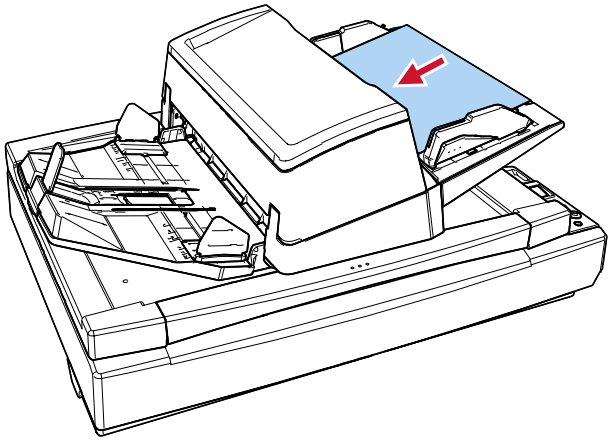
6 クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンションを引き出します。

➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (55 ページ)

7 クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーを設定します。

➡ スタッカーの設定 (56 ページ)

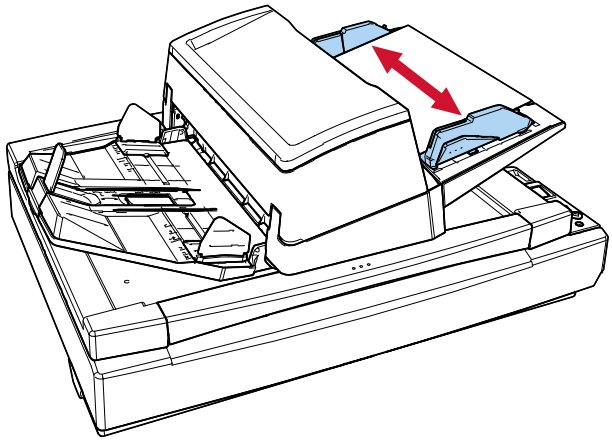
8 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



9 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドボタンを押しながら、サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。

サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが斜めに搬送されることがあります。



10 [Scan/Enter] ボタンを押して、クリーニングペーパーを読み取ります。

クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。

11 次のどちらかの方法で、清掃のカウンターをクリアします。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターのクリア (272 ページ)

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布）

ADF 内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。
原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 10,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

> **⚠ 注意**
>
> スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
> ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

1 **スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。**

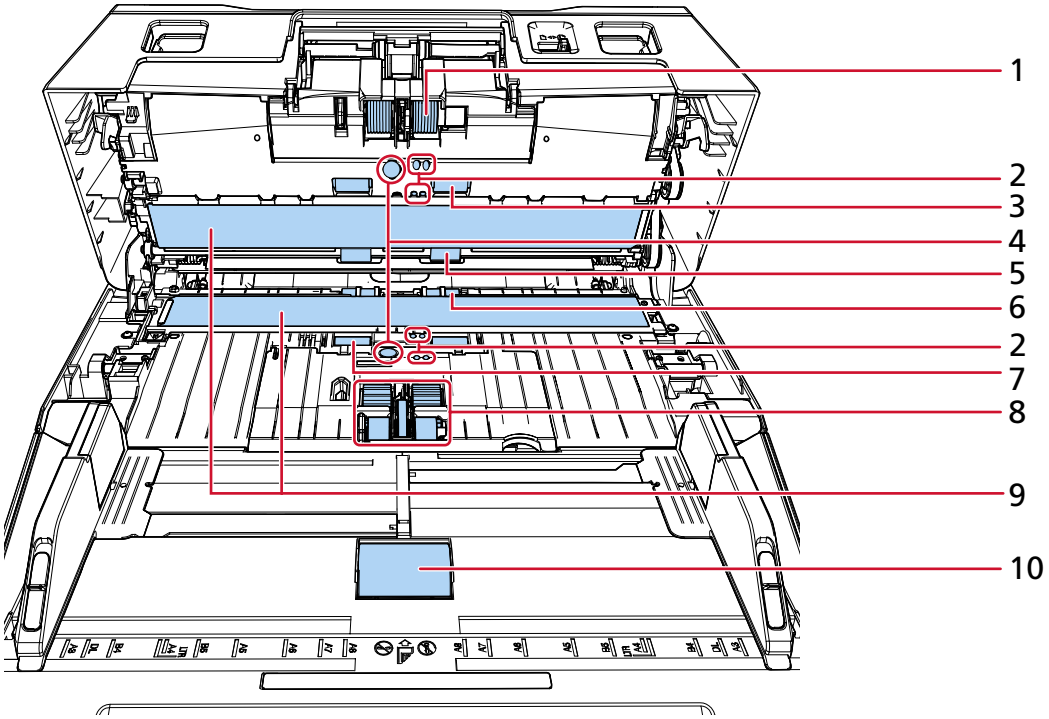
➡ 電源の切断 (44 ページ)

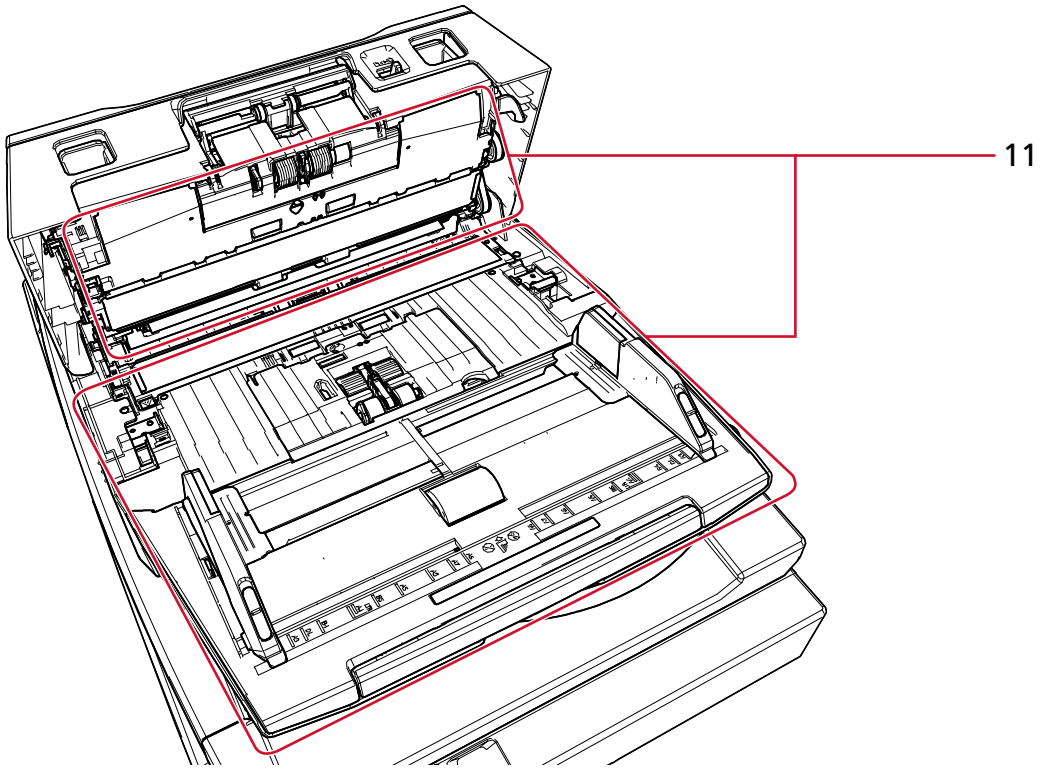
2 **ADF を開けます。**

➡ ADF の開け方 (47 ページ)

> **⚠ 注意**
>
> ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の箇所を清掃します。



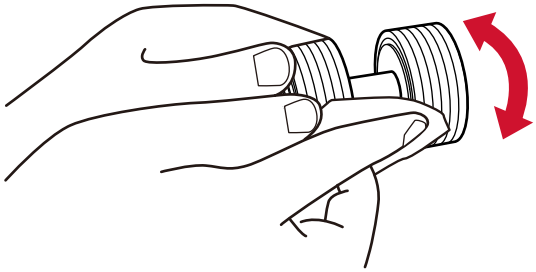


No.	清掃箇所
1	ブレーキローラ（2 か所）

No.	清掃箇所
2	原稿検知センサー（8 か所）
3	フィードローラー（2 か所）
4	超音波センサー（2 か所）
5	排出ローラー（2 か所）
6	プラスチックローラー（2 か所）
7	ゴムローラー（2 か所）
8	ピックローラ（5 か所）
9	ガラス（2 か所）
10	シュートローラー（1 か所）
11	搬送路（2 か所）

1 ブレーキローラ（2 か所）

ブレーキローラはスキャナーから取り外して清掃します。
ブレーキローラの取り外し方法は、ブレーキローラの交換 (182 ページ)を参照してください。
ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。



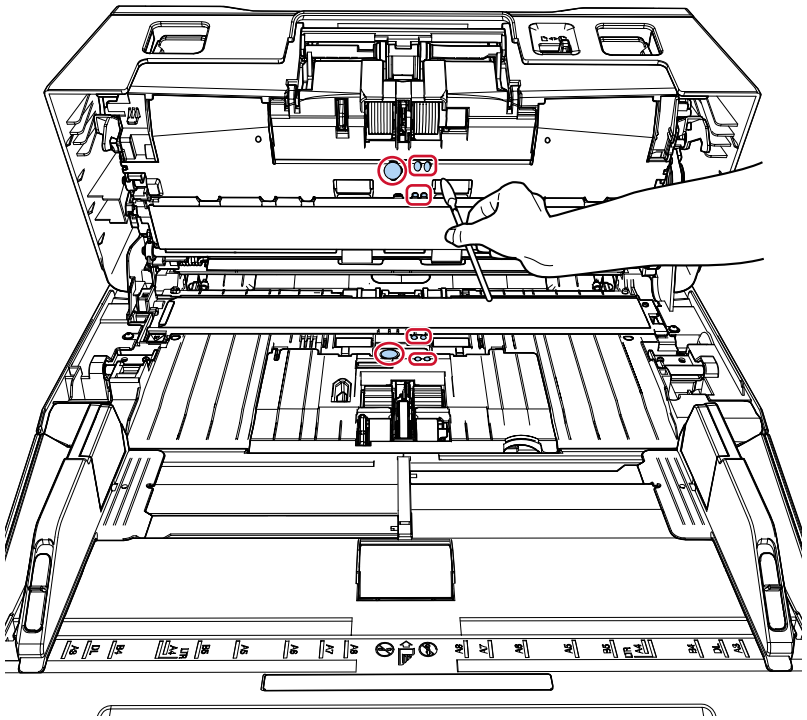
2 原稿検知センサー（2 か所）

4 超音波センサー（2 か所）

原稿検知センサー/超音波センサーの表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

ヒント

ふき取りにくい場合は、綿棒を使用して清掃してください。



3 フィードローラー（2 か所）

5 排出ローラー（2 か所）

フィードローラー/排出ローラーは、電源を投入して回転させながら清掃します。

a 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

b ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

c ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「3:クリーニング」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「クリーニング」画面が表示されます。

d ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「2:ワイプ」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。

重要

清掃中に、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始しないでください。

e ADF を開けます。

➡ ADF の開け方 (47 ページ)

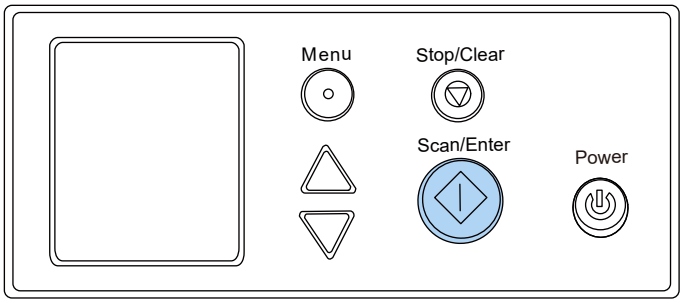
注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

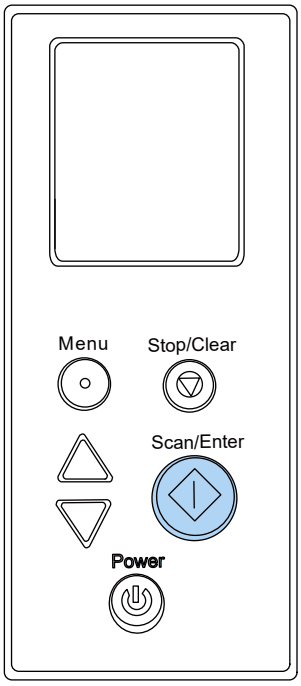
f ［Scan/Enter］ボタンを押すと、フィードローラー/排出ローラーが同時に一定量回転します。

目安として、［Scan/Enter］ボタンを 7 回押すと、フィードローラー/排出ローラーが 1 回転します。

- fi-8600



- fi-8700/fi-8700S



> **注意** 回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

g 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプを、回転しているフィードローラー/排出ローラー表面に押し当てて左右にこすり、ローラー全域のよごれやほこりをふき取ります。
特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

6 プラスチックローラー（2 か所）

ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。
ローラーに取り付けてあるスポンジをいためないように注意してください。

7 ゴムローラー（2 か所）

ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

8 ピックローラ（5 か所）

手で回転させながら、ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

9 ガラス（2 か所）

ガラス面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

> **重要**
> ガラス面がよごれていると、画像に縦線（縦筋）が出ることがあります。

10 シュートローラー（1 か所）

シュートローラーカバーを開いたまま、ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

11 搬送路（2 か所）

搬送路の表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

4 ADF を閉じます。

➡ ADF の閉じ方 (48 ページ)

> **注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

5 次のどちらかの方法で、清掃のカウンターをクリアします。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターのクリア (272 ページ)

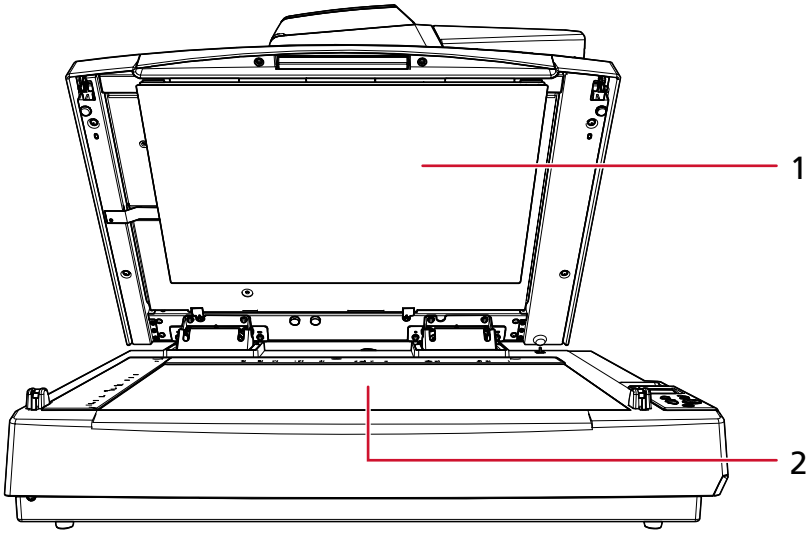
スキャナー内部（フラットベッド内部）の清掃［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッドは、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

1 ドキュメントカバーを開けます。

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

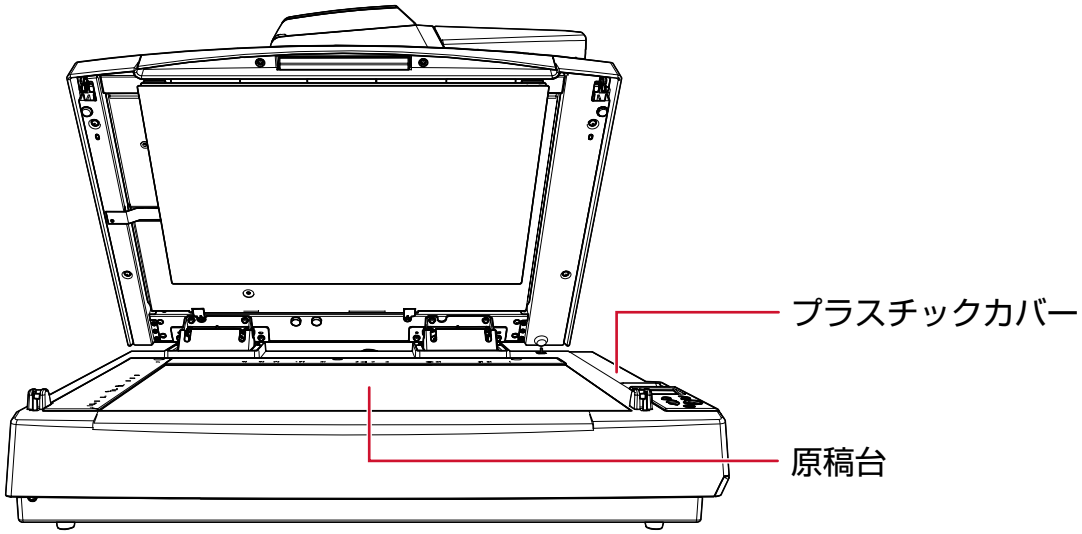
2 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の箇所を清掃します。



No.	清掃箇所
1	原稿押さえパッド
2	原稿台

重要

原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナー液がしみこまないように注意してください。



3 乾くまで待ちます。

4 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。
A3 キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。
A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、A3 キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があるので、定期的に清掃してください。

重要

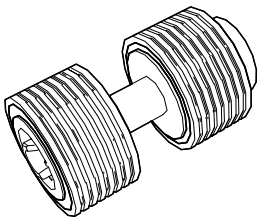
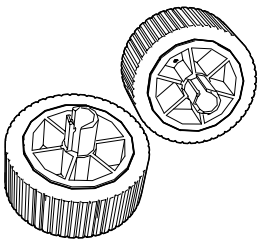
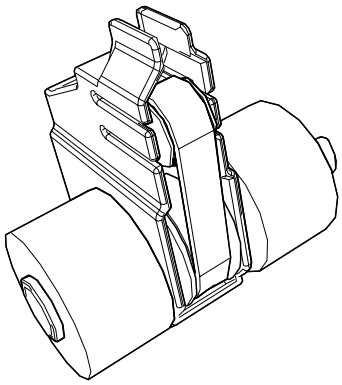
- A3 キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。
  ただし、この目安は、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって変わります。
  A3 キャリアシートの購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (365 ページ)にお問い合わせください。

消耗品の交換

ここでは、スキャナーの消耗品の交換について説明します。

> **⚠ 注意**
>
> スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
> 消耗品を交換する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから交換してください。

消耗品と交換周期

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C760BR	250,000 枚ごとに交換
ピックローラ  	FI-C760PR	250,000 枚ごとに交換
ScanAid（*1）	FI-770SA	–

***1**：ScanAid の詳細は、スキャナーのオプション (340 ページ)を参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備することを推奨します。また、スキャナーには、消耗品（ピックローラ、ブレーキローラ、プリントカートリッジ）ごとに、読み取った原稿の枚数/インク残量が記録されているので、消耗品の交換時期を確認できます。
次のどちらかの方法で、読み取った原稿の枚数/インク残量を確認できます。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

交換周期は、A4 原稿 80g/m^2（69kg/連）の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度・環境、および清掃の頻度によって異なります。

重要
当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品の購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (365 ページ)にお問い合わせください。

ブレーキローラの交換

1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。

➡ 電源の切断 (44 ページ)

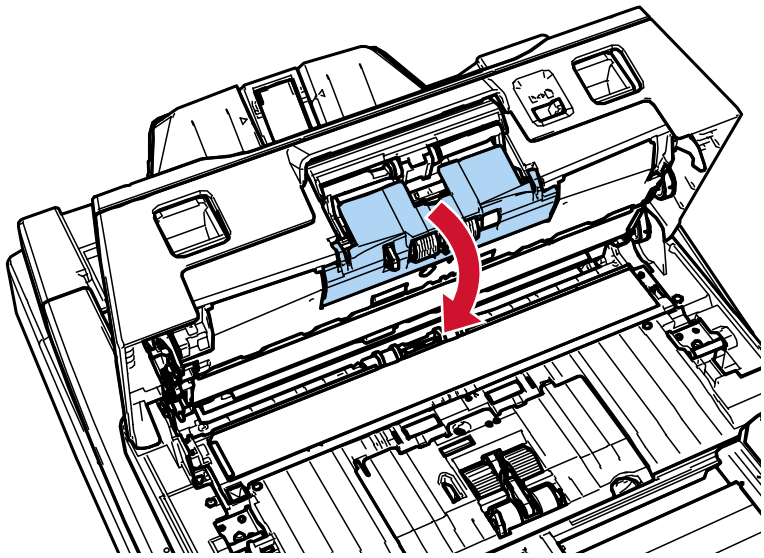
2 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

3 ADF を開けます。

➡ ADF の開け方 (47 ページ)

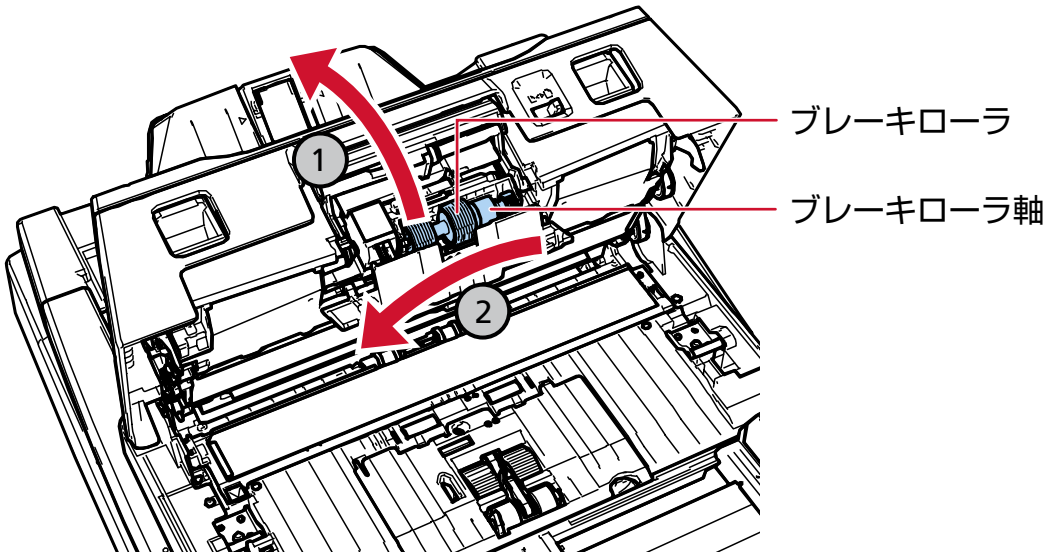
> ⚠ 注意　ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

4 ブレーキローラのカバーを矢印の方向に開けます。

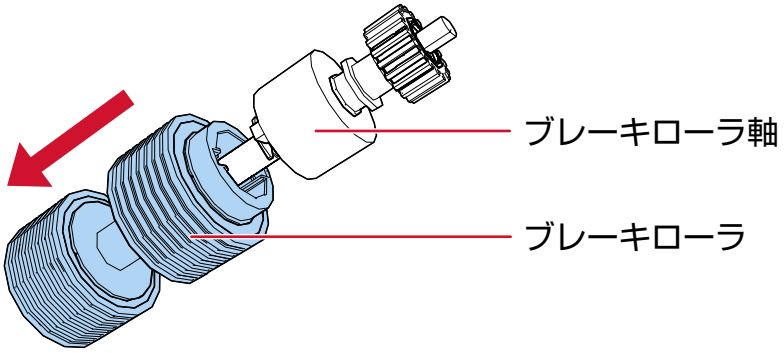


5 ブレーキローラ軸を取り外します。

ブレーキローラを①の矢印方向に持ち上げて軸の左側を外し、軸の右側を穴から②の矢印方向に抜き取ります。



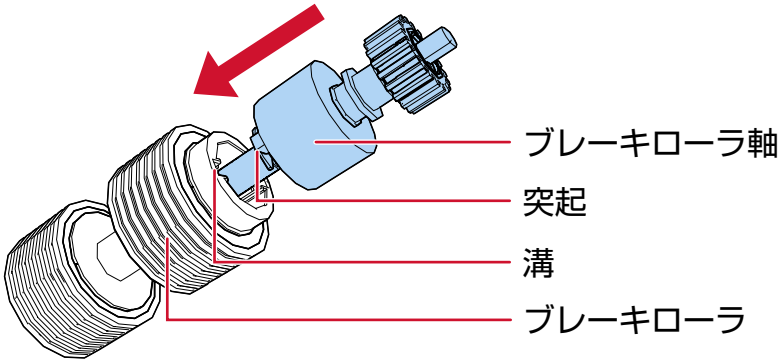
6 ブレーキローラを、ブレーキローラ軸から取り外します。



7 新しいブレーキローラを、ブレーキローラ軸に取り付けます。

ブレーキローラ軸の突起部分とブレーキローラの溝を合わせて差し込みます。

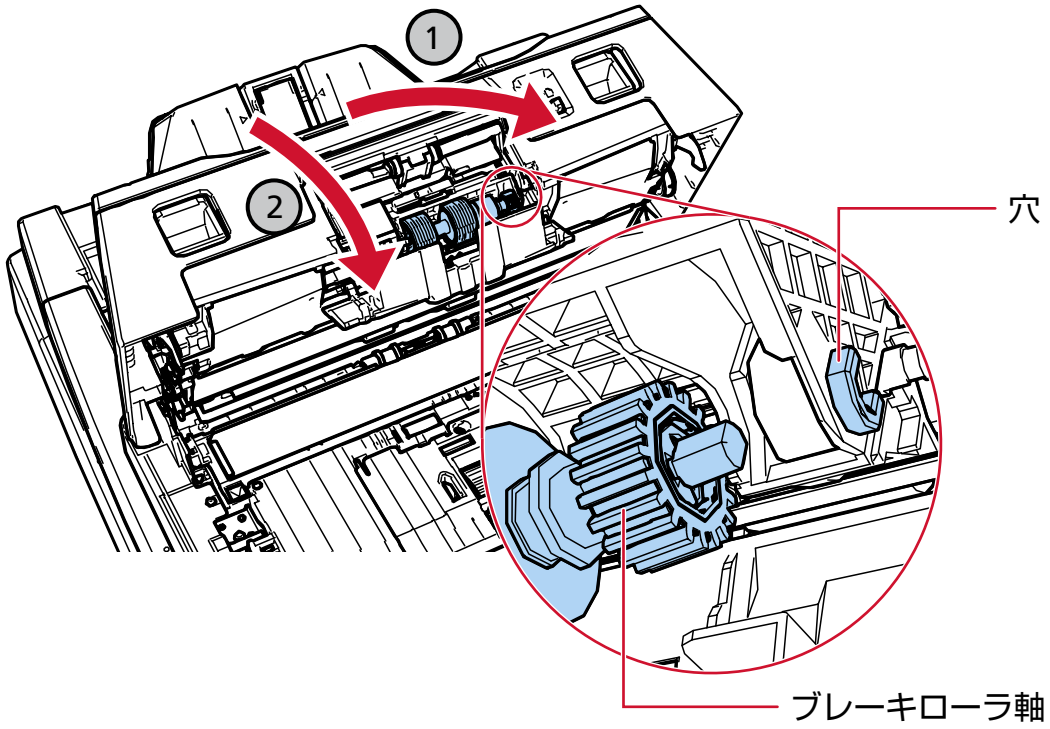
なお、ブレーキローラは取り付けるとき、「カチッ」という音がします。音がするまで差し込んでください。



ブレーキローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

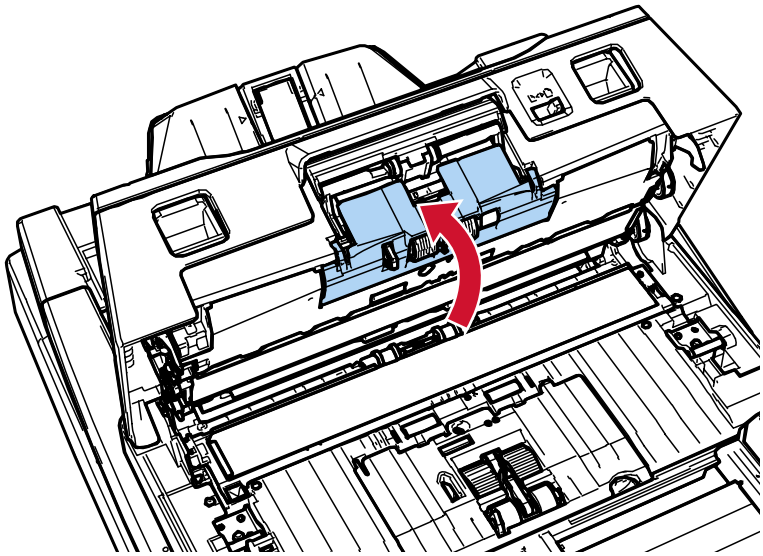
8 ブレーキローラ軸を取り付けます。

ブレーキローラ軸の先端を、穴の形状に合わせて①の矢印方向に差し込んでから、軸の左側を②の矢印方向に取り付けます。



ブレーキローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

9 ブレーキローラのカバーを閉じます。



10 ADF を閉じます。

➡ ADF の閉じ方 (48 ページ)

> **注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

11 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

12 次のどちらかの方法で、ブレーキローラのカウンターをクリアします。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターのクリア (272 ページ)

ピックローラの交換

ピックローラは、2 種類あります。ピックローラを交換する場合は、必ず 2 種類同時に交換してください。

1 **スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。**

➡ 電源の切断 (44 ページ)

2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。**

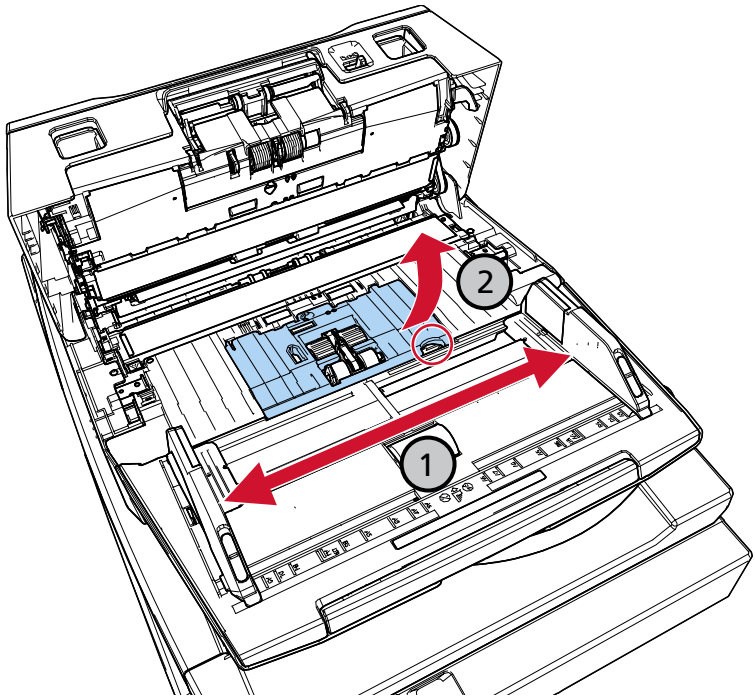
3 **ADF を開けます。**

➡ ADF の開け方 (47 ページ)

> ⚠ 注意
>
> ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

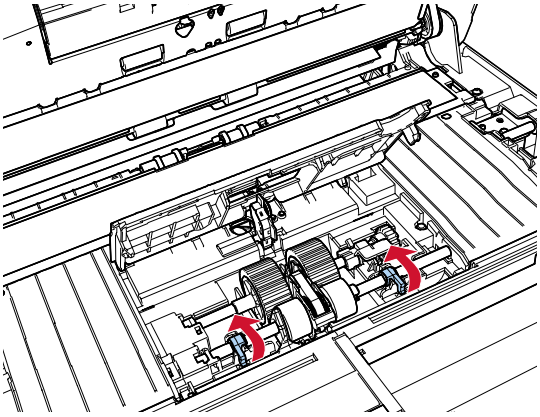
4 **シートガイドを開けます。**

サイドガイドボタンを押しながら、サイドガイドを左右いっぱいに開いてから（①）、シートガイドの凹みに指を入れて、シートガイドに引っかけて開けます（②）。

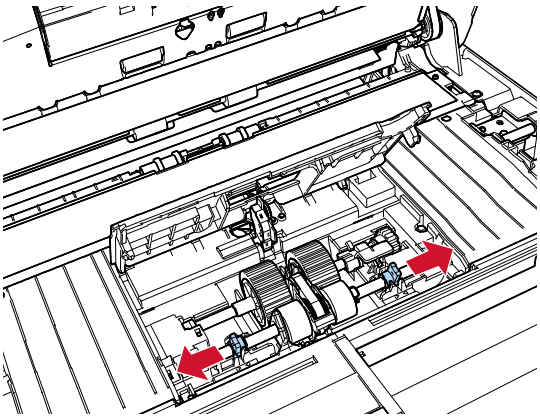


5 **手前側のピックローラを取り外します。**

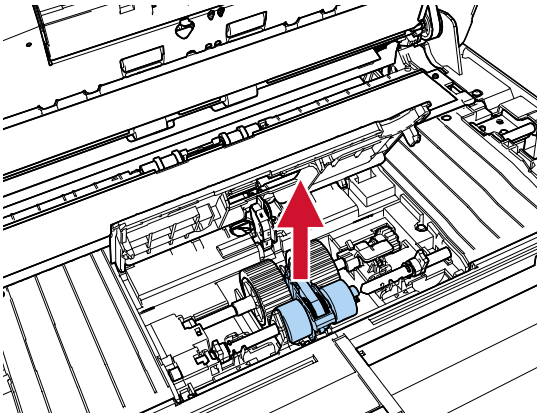
a ピックローラ軸のレバー（2 か所）を、矢印の方向に回転させます。



b ピックローラ軸のレバー（2 か所）を矢印の方向にスライドさせます。

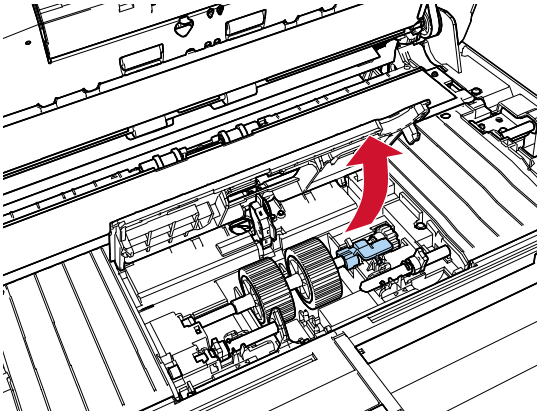


c ピックローラを取り外します。

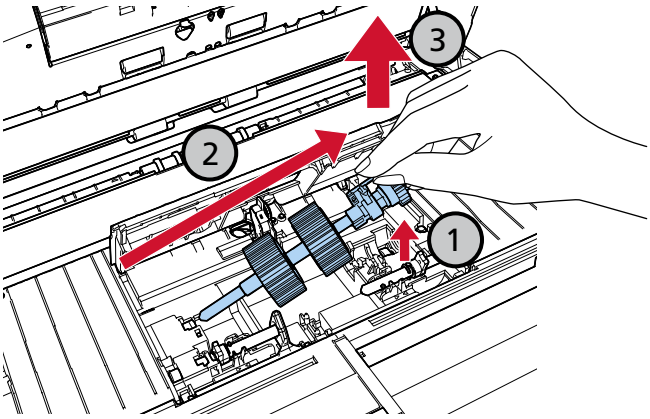


6 奥側のピックローラ軸を取り外します。

a ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。



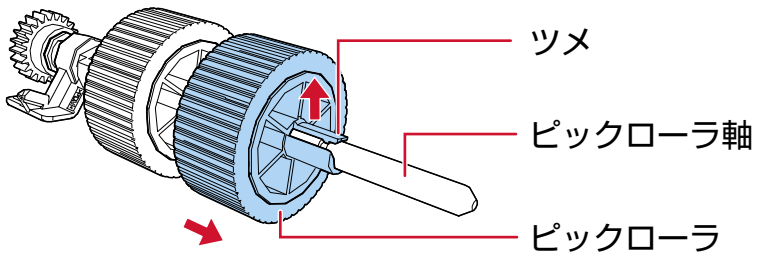
b ピックローラ軸のレバーを①の矢印方向に軽く引き上げ（5mm 程度）、②の矢印方向にずらしてピックローラ軸の先端を穴から抜いたあと、③の矢印方向に持ち上げて取り外します。



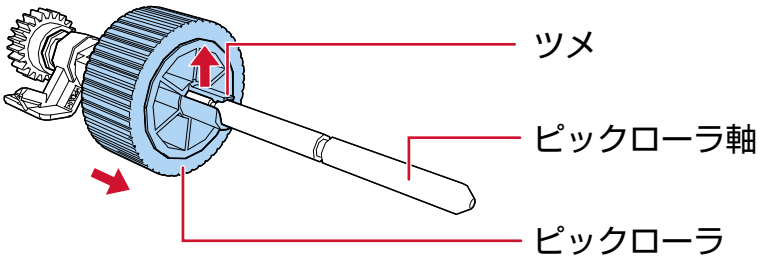
ピックローラ軸のレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いています。触らないように注意してください。

7 ピックローラ（2 個）を 1 個ずつ、ピックローラ軸から取り外します。

a ピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラ軸から引き抜きます。

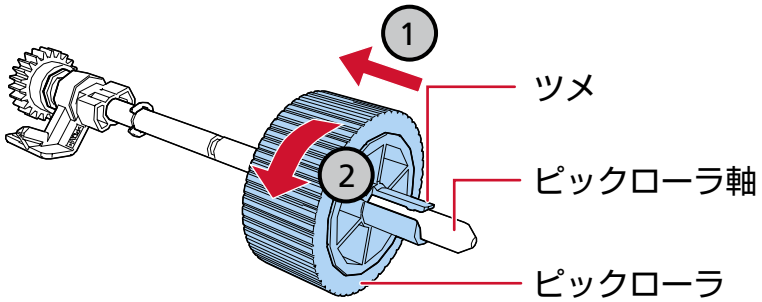


b もう一方のピックローラもピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラ軸から引き抜きます。



8 新しいピックローラ（2 個）を 1 個ずつ、ピックローラ軸に取り付けます。

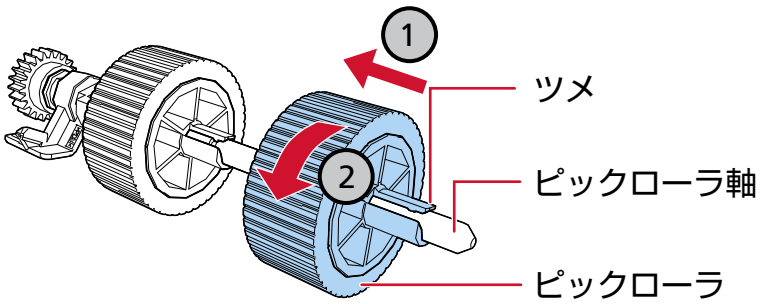
a ピックローラ軸のレバーを持って、ピックローラのツメを手前にした状態で ① の矢印方向に差し込みます。このとき、ピックローラを ② の矢印方向に回転させると差し込みやすくなります。
なお、ピックローラは取り付けるとき、「カチッ」という音がします。音がするまで差し込んでください。



ピックローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

b もう一方のピックローラもピックローラ軸のレバーを持って、ピックローラのツメを手前にした状態で ① の矢印方向に差し込みます。このとき、ピックローラを ② の矢印方向に回転させると差し込みやすくなります。

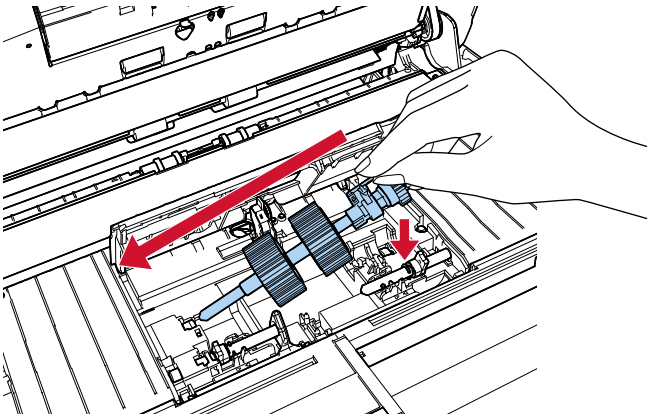
なお、ピックローラは取り付けるとき、「カチッ」という音がします。音がするまで差し込んでください。



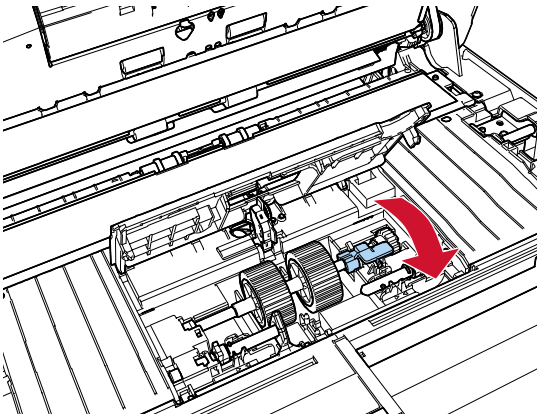
ピックローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

9 奥側にピックローラ軸を取り付けます。

a 左側の穴に斜め上方からピックローラ軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。

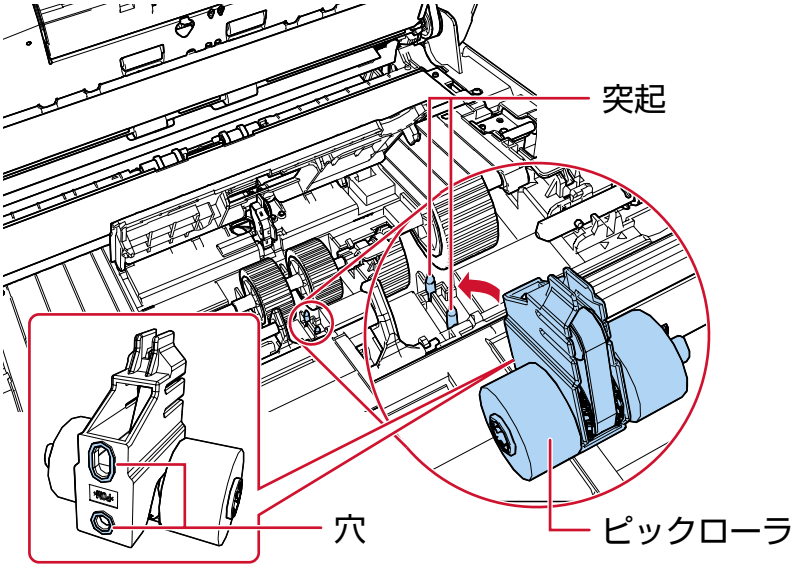


b ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。

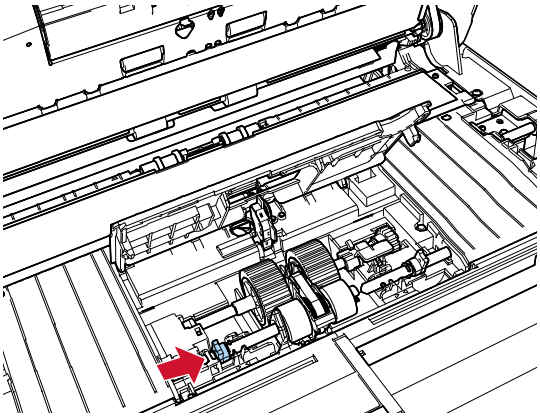


10 手前側に新しいピックローラを取り付けます。

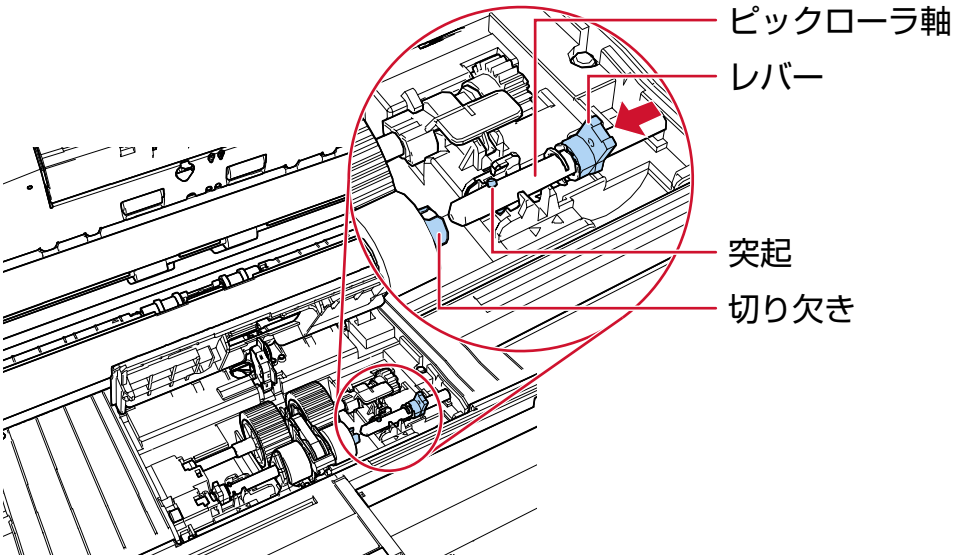
a スキャナーの突起部分（2 か所）とピックローラの穴（2 か所）を合わせて取り付けます。



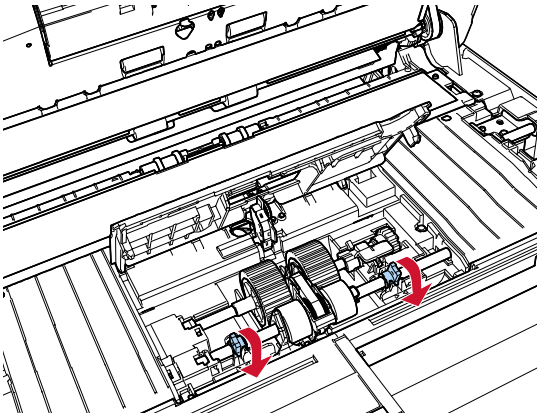
b 左側のピックローラ軸のレバーを矢印の方向にスライドさせます。



c 右側のピックローラ軸の突起部分とピックローラの切り欠きを合わせて、右側のピックローラ軸のレバーを矢印の方向にスライドさせます。



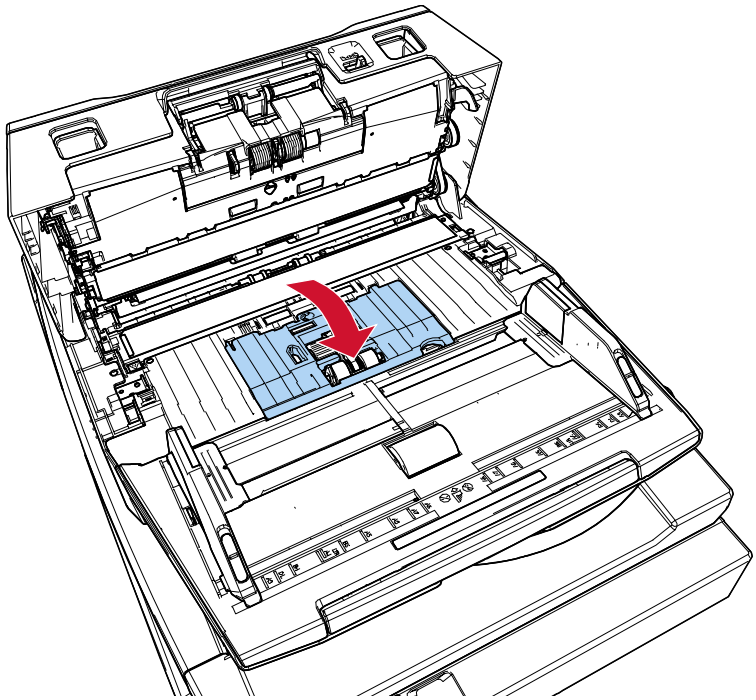
d ピックローラ軸のレバー（2 か所）を、矢印の方向に回転させます。



ピックローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

11 シートガイドを閉じます。

シートガイドの両側が確実にロックしているか確認してください。



12 ADF を閉じます。

➡ ADF の閉じ方 (48 ページ)

> **注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

13 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

14 次のどちらかの方法で、ピックローラのカウンターをクリアします。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターのクリア (272 ページ)

困ったときには

ここでは、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、お問い合わせの前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

原稿づまりが発生したときは

次の手順に従い ADF 内部に残った原稿を取り除いてください。

⚠ 注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、髪などのスキャナー内部に巻き込まれる可能性のあるものに注意してください。
- ADF 内部が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

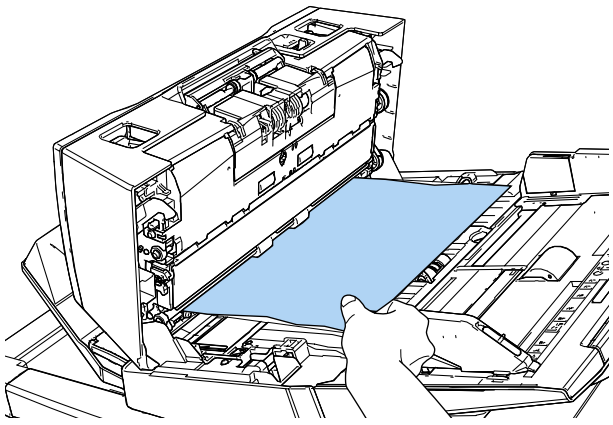
2 ADF を開けます。

➡ ADF の開け方 (47 ページ)

⚠ 注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



重要

- ステープルやクリップなどの金属物は原稿づまりの原因となるため、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの金属物が付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがあるため注意してください。

4 ADF を閉じます。

➡ ADF の閉じ方 (48 ページ)

⚠ 注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。
- 読み取りを終了したりキャンセルしたときに、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF 内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。
- 読み取りを継続するときは、再開ページを確認のうえ、原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に再度セットしてください。

エラーについて

- **エラーの表示**

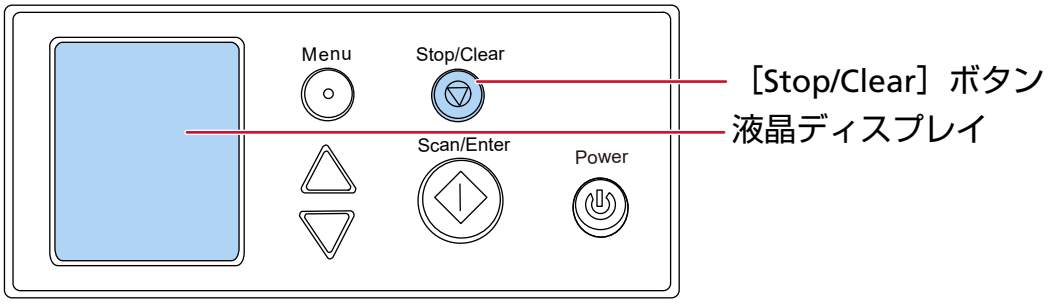
  スキャナーの使用中にエラーが発生すると、次の 2 つにエラーが表示されます。

  - 液晶ディスプレイ (196 ページ)
  - Error Recovery Guide の画面 (197 ページ)

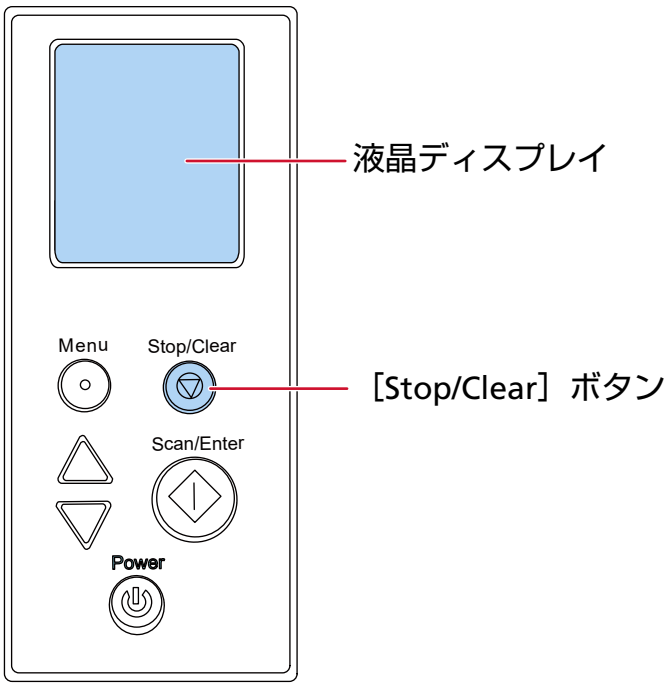
- **液晶ディスプレイ**

  スキャナーの使用中にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにエラーコードやエラーメッセージが表示されます。
  エラー表示中に［Stop/Clear］ボタンを押すと、表示をクリアできます。
  原稿づまりの場合は、スキャナー内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的に表示がクリアされます。

  - fi-8600

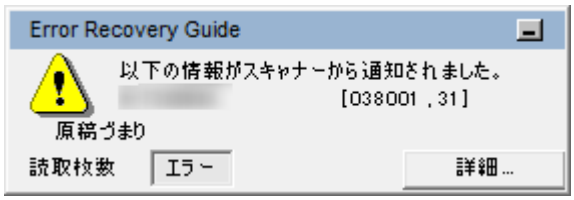


  - fi-8700/fi-8700S



- **Error Recovery Guide の画面**

  スキャナーの使用中にエラーが発生すると、Error Recovery Guide の画面にエラーの名称やコード番号が表示されます。
  Windows にサインインしたときに、Error Recovery Guide が起動され、画面右下の通知領域に Error Recovery Guide のアイコンが表示されます。
  画面に表示される情報を書きとめて、［詳細］ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



- **エラーの一覧**

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面	参照先
エラーコード	エラーメッセージの概要		
A1:B3 エラー	インプリンタ異常(通信タイムアウト)	インプリンタ異常(通信タイムアウト)	インプリンタ異常（インプリンタ搭載時）［fi-8600］(200 ページ)
A2:B5 エラー	インプリンタ異常(印字ヘッド)	インプリンタ異常(印字ヘッド)	
A3:B6 エラー	インプリンタ異常(EEPROM)	インプリンタ異常(EEPROM)	
A4:B8 エラー	インプリンタ異常(ROM)	インプリンタ異常(ROM)	
C0:E5 エラー	メモリ異常(表)	メモリ異常	メモリ異常/LSI 異常 (200 ページ)
C0:E6 エラー	メモリ異常(裏)		
C0:E9 エラー	LSI 異常(表)	LSI 異常	
C0:EA エラー	LSI 異常(裏)		
E0:87 エラー	FB キャリア走行異常	駆動系異常	フラットベッドキャリア走行異常［fi-8700/fi-8700S］ (201 ページ)
E1:7E エラー	光量異常（フラットベッド）	光量異常（フラットベッド）	光量異常（フラットベッド）［fi-8700/fi-8700S］(201 ページ)
E2:74 エラー	光量異常(ADF 表面)	光量異常(ADF 表面)	光量異常（ADF）(202 ページ)
E3:75 エラー	光量異常(ADF 裏面)	光量異常(ADF 裏面)	
E6:D3 エラー	操作パネル異常	操作パネル異常	操作パネル異常 (203 ページ)

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面	参照先
エラーコード	エラーメッセージの概要		
E7:D2 エラー	EEPROM error	EEPROM 異常	EEPROM 異常 (203 ページ)
E9:F5 エラー	画像メモリ RW エラー(表)	画像メモリ RW エラー(F)	画像メモリ RW エラー (203 ページ)
E9:F6 エラー	画像メモリ RW エラー(裏)	画像メモリ RW エラー(B)	
F2:C4 エラー	ピックアーム異常	ピックアーム異常	ピックアーム異常 (204 ページ)
F4:C2 エラー	裏当て切り替え異常(ADF 表面)	裏当て切り替え異常	裏当て切り替え異常 (204 ページ)
F4:C3 エラー	裏当て切り替え異常(ADF 裏面)		
H0:83 エラー	モーター系異常	モーター系異常	モーター系異常 (205 ページ)
H1:80 エラー			
H2:81 エラー			
H6:B1 エラー	インプリンタ系異常	インプリンタ系異常	インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）[fi-8600] (205 ページ)
H7:84 エラー	ランプ系異常	ランプ系異常	ランプ系異常 (206 ページ)
H8:88 エラー	モーター系異常	モーター系異常	モーター系異常 (205 ページ)
J0:37 エラー	原稿保護(つまり音)	原稿を保護するために搬送を停止しました	原稿保護 (206 ページ)
J0:51 エラー	原稿保護(たわみ)		
J1:31 エラー	原稿づまり	原稿づまり	原稿づまり/ピックエラー (207 ページ)
J1:36 エラー			
J1:50 エラー	ピックエラー		
J1:5A エラー	原稿づまり	原稿づまり	原稿づまり（インプリンタ搭載時）[fi-8600] (207 ページ)
J2:55 エラー	マルチフィード(重なり検出)	マルチフィード	マルチフィード (208 ページ)
J2:56 エラー	マルチフィード(長さ検出)		
J7:5F エラー	給紙モードスイッチ切り替え検出	給紙モードスイッチ切り替え検出	給紙モードスイッチ切り替え検出 (208 ページ)

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面	参照先
エラーコード	エラーメッセージの概要		
J8:01 エラー	センサーよごれ	センサー汚れ	センサーよごれ (209 ページ)
J8:04 エラー			
J9:39 エラー	原稿づまり	原稿づまり(ローラ汚れ)	原稿づまり/ピックエラー (207 ページ)
L0:11 エラー	センサー異常	センサー異常	センサー異常 (209 ページ)
L2:13 エラー			
L6:1B エラー			
M1:D5 エラー	有線 LAN 異常	—	有線 LAN 異常 (210 ページ)
M4:AB エラー	ネットワーク異常	—	ネットワーク設定異常 (210 ページ)
U0:10 エラー	輸送ロック	輸送ロックエラー	輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］ (211 ページ)
U4:40 エラー	ADF オープン	カバーオープン	ADF オープン (211 ページ)
U5:4A エラー	インプリンタカバーオープン	カバーオープン	インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ (212 ページ)
U6:B4 エラー	プリントカートリッジなし	プリントカートリッジなし	プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ (212 ページ)
U7:B9 エラー	印字領域異常	インプリンタ用紙検出失敗または印字領域異常	印字領域異常（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ (212 ページ)
—	—	ほかで使用中	ほかで使用中 (213 ページ)
—	原稿なし	—	原稿なし (213 ページ)
—	緊急停止	—	緊急停止 (213 ページ)
—	一時停止中	—	一時停止中 (213 ページ)

インプリンタ異常（インプリンタ搭載時）[fi-8600]

インプリンタに異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
A1:B3 エラー	インプリンタ異常(通信タイムアウト) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	インプリンタ異常(通信タイムアウト)
A2:B5 エラー	インプリンタ異常(印字ヘッド) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	インプリンタ異常(印字ヘッド)
A3:B6 エラー	インプリンタ異常(EEPROM) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	インプリンタ異常(EEPROM)
A4:B8 エラー	インプリンタ異常(ROM) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	インプリンタ異常(ROM)

次の対処をしてください。

- fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して、プリントカートリッジが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。
- fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して、EXT ケーブル（インプリンタケーブル）を再接続してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

メモリ異常/LSI 異常

メモリー/LSI に異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
C0:E5 エラー	メモリ異常(表)	メモリ異常

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
	電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	
C0:E6 エラー	メモリ異常(裏) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	
C0:E9 エラー	LSI 異常(表) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	LSI 異常
C0:EA エラー	LSI 異常(裏) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

フラットベッドキャリア走行異常［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッドキャリア走行異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
E0:87 エラー	FB キャリア走行異常 輸送ロックスイッチを解除してください。	駆動系異常

輸送ロックが解除されているかを確認してください。
輸送ロックが解除されていない場合は、輸送ロックを解除してください。

➔ 輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］ (211 ページ)
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

光量異常（フラットベッド）［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッドで光量異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
E1:7E エラー	光量異常（フラットベッド） 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	光量異常（フラットベッド）

次の対処をしてください。

- 輸送ロックが解除されているかを確認してください。
  輸送ロックが解除されていない場合は、輸送ロックを解除してください。

  ➡ 輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］ (211 ページ)

- スキャナー内部（フラットベッド内部）の清掃［fi-8700/fi-8700S］ (177 ページ)を参考にして、原稿台（ガラス部分）を清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

光量異常（ADF）

ADF で光量異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
E2:74 エラー	光量異常(ADF 表面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	光量異常(ADF 表面)
E3:75 エラー	光量異常(ADF 裏面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	光量異常(ADF 裏面)

次の対処をしてください。

- スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布） (170 ページ) を参照して、ガラスを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

操作パネル異常

操作パネルに異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
E6:D3 エラー	操作パネル異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	操作パネル異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

EEPROM 異常

EEPROM 異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
E7:D2 エラー	EEPROM error Turn the power back on. If the problem persists, refer to the Operator's Guide and take measures accordingly.	EEPROM 異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

画像メモリ RW エラー

画像メモリーからデータを読み出したり、画像メモリーにデータを書き込んだりするときにエラーが発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
E9:F5 エラー	画像メモリ RW エラー(表) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	画像メモリ RW エラー(F)
E9:F6 エラー	画像メモリ RW エラー(裏)	画像メモリ RW エラー(B)

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
	電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

ピックアーム異常

ピックアーム異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
F2:C4 エラー	ピックアーム異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	ピックアーム異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

裏当て切り替え異常

裏当て切り替え異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
F4:C2 エラー	裏当て切り替え異常(ADF 表面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	裏当て切り替え異常
F4:C3 エラー	裏当て切り替え異常(ADF 裏面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	

ADF を開けて原稿が残っていないかを確認してから、スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

モーター系異常

モーター回路に異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
H0:83 エラー	モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	モーター系異常
H1:80 エラー	モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	
H2:81 エラー	モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	
H8:88 エラー	モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）[fi-8600]

インプリンタの回路に異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
H6:B1 エラー	インプリンタ系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	インプリンタ系異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

ランプ系異常

ランプ回路異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
H7:84 エラー	ランプ系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	ランプ系異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

原稿保護

原稿保護機能（ペーパープロテクション）が働くと、原稿の搬送が中止され、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
J0:37 エラー	原稿保護(つまり音) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。	原稿を保護するために搬送を停止しました
J0:51 エラー	原稿保護(たわみ) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。	

原稿保護機能（ペーパープロテクション）とは、原稿づまりに対する検出レベルを上げて、ADF で原稿を読み取るときに原稿の破損を抑制する機能です。
次の対処をしてください。

- 本エラーが発生したら、まず、使用している原稿が読み取りできる原稿 (81 ページ)の条件を満たしているかを確認してください。

- 読み取りできる原稿の条件を満たした原稿を使用しても本エラーが頻繁に発生する場合は、原稿保護機能の検知レベルを低く設定してください。
- ADF 内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (194 ページ)を参照して原稿を取り除いてください。

原稿づまり/ピックエラー

原稿づまり/ピックエラーが発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
J1:31 エラー	原稿づまり 原稿を取り出してください。	原稿づまり
J1:36 エラー	原稿づまり 原稿を取り出してください。	
J1:50 エラー	ピックエラー 原稿を取り出してください。	
J9:39 エラー	原稿づまり ローラの清掃を実施してください。	原稿づまり(ローラ汚れ)

次の対処をしてください。

- スキャナー内部につまった場合、原稿づまりが発生したときは (194 ページ)を参照して原稿を取り除きます。
- 原稿が読み取りに適しているかを、読み取りできる原稿 (81 ページ)を参照して確認してください。
- 原稿づまりが頻繁に発生する場合は、原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる (234 ページ)を参照して対処してください。
- 日常のお手入れ (163 ページ)を参照してローラーを清掃してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

原稿づまり（インプリンタ搭載時）[fi-8600]

インプリンタで原稿づまりが発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
J1:5A エラー	原稿づまり 原稿を取り出してください。	原稿づまり

次の対処をしてください。

- インプリンタに原稿がつまった場合、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して原稿を取り除きます。
- インプリンタで搬送できる原稿かどうかを、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して確認してください。
- fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してローラーを清掃してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

マルチフィード

原稿が重なって搬送されると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
J2:55 エラー	マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	マルチフィード
J2:56 エラー	マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (194 ページ)を参照して原稿を取り除きます。
頻繁に原稿が重なって搬送される場合は、頻繁に原稿が重なって搬送される (227 ページ)を参照して対処してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

給紙モードスイッチ切り替え検出

給紙モードスイッチ切り替え検出が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
J7:5F エラー	給紙モードスイッチ切り替え検出 給紙モードスイッチの設定を確認し、原稿を再度セットして読取ってください。	給紙モードスイッチ切り替え検出

給紙モードスイッチの位置を確認してください。
ADF 内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (194 ページ)を参照して原稿を取り除いてください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

センサーよごれ

センサーがよごれると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
J8:01 エラー	センサーよごれ ピックセンサーを清掃してください。	センサー汚れ
J8:04 エラー	センサーよごれ リードトップセンサーを清掃してください。	

次の対処をしてください。

- スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布） (170 ページ)を参照して原稿検知センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

センサー異常

センサー異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
L0:11 エラー	センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	センサー異常
L2:13 エラー	センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	
L6:1B エラー	センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	

次の対処をしてください。

- スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布） (170 ページ)を参照して超音波センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

有線 LAN 異常

有線 LAN 異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
M1:D5 エラー	有線 LAN 異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。	—

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

ネットワーク設定異常

ネットワークの設定に異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
M4:AB エラー	ネットワーク異常 データを送信できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。	—

次の対処をしてください。

- スキャナーのネットワークの設定を確認してください。
  次のどれかの方法で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」
    ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)
  - IP アドレス設定ツール
    詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。
    IP アドレス設定ツールの起動方法は、IP アドレス設定ツールの起動方法 (354 ページ)を参照してください。
  - fi Series ネットワーク設定

➡ ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） (318 ページ)

● ネットワークの接続を確認してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

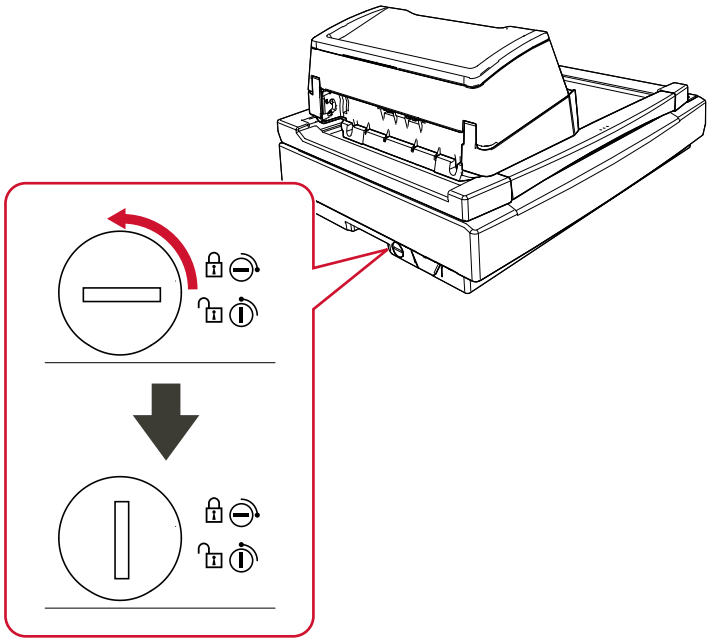
輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］

輸送ロックエラーが発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
U0:10 エラー	輸送ロック 輸送ロックスイッチを解除してください。	輸送ロックエラー

輸送ロックが解除されているかを確認してください。

輸送ロックが解除されていない場合は、コインなどの道具を使って、溝が縦になるように輸送ロックスイッチを回転させて、輸送ロックを解除してください。



ADF オープン

読み取り中に ADF を開けると、次のようにエラーが表示されます。

待機中に ADF を開けると、液晶ディスプレイにエラーコードは表示されず、エラーメッセージだけ表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
U4:40 エラー	ADF オープン	カバーオープン

原稿を取り除いて、ADF を閉じてください。
ADF が確実に閉じていることを確認してください。
確実に閉じていることを確認できない場合は、一度 ADF を開けてから再度 ADF を閉じてください。
ADF の開閉については、ADF の開閉 (47 ページ)を参照してください。

インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）[fi-8600]

読み取り中に印字部（インプリンタカバー）を開けると、次のようにエラーが表示されます。
待機中に印字部（インプリンタカバー）を開けると、液晶ディスプレイにエラーコードは表示されず、エラーメッセージだけ表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
U5:4A エラー	インプリンタカバーオープン	カバーオープン

原稿を取り除いて、印字部（インプリンタカバー）を閉じてください。
印字部（インプリンタカバー）が確実に閉じていることを確認してください。
確実に閉じていることを確認できない場合は、一度印字部（インプリンタカバー）を開けてから再度印字部（インプリンタカバー）を閉じてください。
印字部（インプリンタカバー）の開閉については、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）[fi-8600]

インプリンタでプリントカートリッジ取り付け異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
U6:B4 エラー	プリントカートリッジなし プリントカートリッジが正しく装着されているか確認してください。	プリントカートリッジなし

fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して、プリントカートリッジを取り付けてください。

印字領域異常（インプリンタ搭載時）[fi-8600]

インプリンタで印字開始位置の異常が発生すると、次のようにエラーが表示されます。

液晶ディスプレイ		Error Recovery Guide の画面
エラーコード	エラーメッセージ	
U7:B9 エラー	印字領域異常	インプリンタ用紙検出失敗または印字領域異常

印字領域が原稿に収まるように印字開始位置、印字文字列を調整してください。
詳細は、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

ほかで使用中

スキャナーがすでに使用されています。

- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないかを確認してください。
- スキャナーの接続方法が正しいかを確認してください。
- 操作パネルを操作していないかを確認してください。
- スキャナーがコンピューターの常駐アプリケーションで使用されていないかを確認してください。
  例えば、次のアプリケーションがスキャナーを占有している場合があります。
  - PaperStream Capture
  - PaperStream ClickScan
  - Button Event Manager（「ボタンを監視する」が有効になっている）

原稿なし

原稿がセットされていません。
ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしてください。

緊急停止

読み取り中に、［Stop/Clear］ボタンを押して、読み取りが中止されました。
読み取りを再開する前に、スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (194 ページ)を参照して原稿を取り除いてから、［Stop/Clear］ボタンを押して表示をクリアしてください。

一時停止中

読み取りが一時停止されました。
読み取り中に、［Scan/Enter］ボタンを押すと、読み取りが一時停止されます。
読み取りを再開するには、［Scan/Enter］ボタンを押してください。

トラブルと対処方法

スキャナーの使用中に発生するトラブル事例とその対処方法について説明します。
修理を依頼される前に、トラブル事例とその対処方法を確認し対処をしてください。
症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーの電源**
  - 電源が投入されない (216 ページ)
  - 液晶ディスプレイの表示、［Power］ボタンの点灯が消える (217 ページ)
- **スキャナーの接続**

  USB
  - スキャナーとコンピューターを USB で接続できない (218 ページ)

  有線 LAN
  - スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない (219 ページ)
- **読み取り操作**
  - 読み取りが開始されない (223 ページ)
  - 原稿の読み取りに時間がかかる (225 ページ)
  - スキャナーに電源が投入されたあとで、液晶ディスプレイにエラーコード「U0:10」、「U4:40」、または「U5:4A」が表示されている (226 ページ)
  - 頻繁に原稿が重なって搬送される (227 ページ)
  - 原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる (230 ページ)
  - 原稿保護のエラーが頻繁に起こる (232 ページ)
  - 原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる (234 ページ)
- **読み取り結果**
  - 絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する (236 ページ)
  - 文字や線の読み取り結果が良くない (237 ページ)
  - 画像がゆがむまたは鮮明ではない (239 ページ)
  - 画像に縦線（縦筋）が出る (241 ページ)
  - 画像が間延びする (242 ページ)
  - 画像の先端または後端に影がある (243 ページ)
  - 原稿に黒い跡が残る (244 ページ)

- **A3 キャリアシート**
  - A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる (245 ページ)
  - A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける (247 ページ)
- **パスワード**
  - 管理者パスワードを忘れた (248 ページ)
  - 工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる (248 ページ)

電源が投入されない

ここをお調べください

- 電源ケーブルが正しく接続されていますか？ (216 ページ)
- スキャナーの［Power］ボタンを押しましたか？ (216 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **電源ケーブルが正しく接続されていますか？**

対処方法

電源ケーブルを正しく接続してください。

➡ スキャナーのセットアップを始める (28 ページ)

- **スキャナーの［Power］ボタンを押しましたか？**

対処方法

スキャナーの［Power］ボタンを押してください。

➡ 電源の投入 (42 ページ)

液晶ディスプレイの表示、[Power] ボタンの点灯が消える

ここをお調べください

- スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？ (217 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？**

対処方法

省電力または自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっています。

- 省電力状態になっている場合
  液晶ディスプレイの表示が消え、[Power] ボタンは緑色で点滅します。
  次のどれかを行って、省電力状態から復帰してください。
  - ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
  - スキャナーのボタン（[Power] ボタン以外）を押す。
  - スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る。

  ➡ 省電力モードへの移行と復帰 (45 ページ)
- 自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっている場合
  液晶ディスプレイの表示および [Power] ボタンの点灯が消えています。
  スキャナーの電源を投入してください。

  ➡ 電源の投入 (42 ページ)

スキャナーとコンピューターを USB で接続できない

ここをお調べください

- USB ケーブルは正しく接続されていますか？ (218 ページ)
- USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？ (218 ページ)
- スキャナードライバーは最新になっていますか？ (218 ページ)
- スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？ (218 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **USB ケーブルは正しく接続されていますか？**

対処方法

添付の USB ケーブルを使用してください。
スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

➡ スキャナーのセットアップを始める (28 ページ)

- **USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？**

対処方法

新しい USB ケーブルを使用して、正しく接続してください。

- **スキャナードライバーは最新になっていますか？**

対処方法

最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

- **スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？**

対処方法

スキャナーの USB の設定に「自動」を設定している場合、一部のコンピューターでスキャナーが接続できないことがあります。
次のどちらかの方法で、スキャナーの USB の設定を「USB 2.0」に変更してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「27:USB」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ USB 動作の設定（USB） (311 ページ)

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない

ここをお調べください

- スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？ (219 ページ)
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？ (219 ページ)
- ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？ (220 ページ)
- コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？ (220 ページ)
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？ (220 ページ)
- ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？ (220 ページ)
- ネットワークの状態は安定していますか？ (220 ページ)
- コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？ (221 ページ)
- コンピューターを有線 LAN に接続していますか？ (221 ページ)
- スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？ (221 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (221 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (221 ページ)
- スキャナードライバーは最新になっていますか？ (222 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？**

対処方法

スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）は LAN ケーブルで接続してください。また、LAN ケーブルを正しく接続してください。
LAN ケーブルが正しく接続されている場合は、次の対処をしてください。

- LAN ケーブルを交換する。
- ネットワーク機器に接続している LAN ケーブルの接続先ポートを変更する。
- ネットワーク機器の速度と伝送方法を「自動」に変更する。
  ネットワーク機器の設定で「手動」しか設定できない場合は、伝送方法を「半二重」にする。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？**

対処方法

ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源を入れてください。
また、ネットワーク機器に異常や故障が発生していないかを確認してください。

ネットワーク機器の異常については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？**

  対処方法

  ネットワーク機器のファームウェアバージョンが古い場合、予期しない動作をする場合があります。
  ネットワーク管理者に確認のうえ、最新バージョンへアップデートすることを検討してください。
  ネットワーク機器のファームウェアのアップデートについては、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？**

  対処方法

  コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続してください。
  詳細は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？**

  対処方法

  ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

  - プロトコルフィルター機能を設定している。
    通信で使用するプロトコルを許可してください。
  - MAC アドレスフィルタリングを設定している。
    スキャナーの MAC アドレスをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に設定してください。

  ネットワーク機器の設定方法については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？**

  対処方法

  ネットワークにユーザーのアクセス制限が設定されている場合があります。
  詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **ネットワークの状態は安定していますか？**

  対処方法

  ネットワークが安定してから接続してください。
  ネットワークが不安定になる原因には、次のような事象が考えられます。

  - ネットワークモニタープログラムが動作している。
  - ファイル転送が行われている。

  ネットワークが不安定な場合は、ほかの通信への影響がないことを確認してから、ネットワーク機器を再起動してください。ネットワーク機器の動作が不安定になっている場合があります。

- **コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？**

  対処方法

  Windows またはセキュリティソフトのファイアウォールの設定で、次のソフトウェアが使用するポート番号の通信のブロックを解除してください。

  • スキャナー選択ツール
  ポート番号: 52217

  解除方法は、使用しているコンピューターまたはセキュリティソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

- **コンピューターを有線 LAN に接続していますか？**

  対処方法

  コンピューターの接続状態を確認してください。

  ➡ スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 (347 ページ)

- **スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？**

  対処方法

  スキャナーが一度に接続できるコンピューターは 1 台です。ほかのコンピューターからの接続が切断されるのを待ってから、再度接続してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

  対処方法

  スキャナーの IP アドレスを確認してください。
  IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。
  IP アドレス設定ツールの起動方法は、IP アドレス設定ツールの起動方法 (354 ページ)を参照してください。
  IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
  IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
  DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

  対処方法

  同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。
  IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **スキャナードライバーは最新になっていますか？**

  対処方法

  最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

読み取りが開始されない

ここをお調べください

- 輸送ロックを解除しましたか？［fi-8700/fi-8700S］ (223 ページ)
- スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？ (223 ページ)
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？ (223 ページ)
- ADF は完全に閉じていますか？ (223 ページ)
- スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？ (223 ページ)
- 有線 LAN 接続の場合、コンピューターで WinHTTP プロキシが設定されていますか？ (224 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **輸送ロックを解除しましたか？［fi-8700/fi-8700S］**

対処方法

スキャナーの電源を切断し、輸送ロックを解除してください。
スキャナーの電源の切断方法については、電源の切断 (44 ページ)を参照してください。
輸送ロックの解除方法については、輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］ (211 ページ)を参照してください。

- **スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？**

対処方法

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定してください。

➡ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (62 ページ)

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？**

対処方法

原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットし直してください。

- **ADF は完全に閉じていますか？**

対処方法

ADF をしっかり閉じてください。
ADF に原稿がはさまっている場合は、原稿を取り除き、ADF を閉じてください。

- **スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？**

対処方法

- 有線 LAN の場合

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続してください。有線 LAN で接続できない場合は、スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない (219 ページ)を参照してください。

- USB の場合
  USB ケーブルを正しく接続してください。

- **有線 LAN 接続の場合、コンピューターで WinHTTP プロキシが設定されていますか？**

スキャナー選択ツールでスキャナーを選択していても、コンピューターのプロキシサーバーの設定によって、スキャナーと接続できなかったり、スキャナーの接続が遅くなったりする場合があります。

対処方法

次の手順で WinHTTP プロキシの設定を変更してください。

1. コンピューターのコマンドプロンプトを管理者として起動します。
2. 次のコマンドを実行し、プロキシサーバー名と使用ポート番号を確認します。

   ```
   netsh winhttp show proxy
   ```

   次のように表示されます。
   "プロキシサーバー名:ポート番号"
3. 次のどれかのコマンドを実行します。
   - プロキシサーバーが設定されている場合
     プロキシサーバーを経由しないように設定します。

     ```
     netsh winhttp set proxy proxy-server="XXXXXX:YYYY" bypass-list=ZZZ.ZZZ.ZZZ.ZZZ
     ```

     XXXXXX：プロキシサーバー名
     YYYY：使用ポート番号
     ZZZ.ZZZ.ZZZ.ZZZ：スキャナーの IP アドレス（*1）（*2）
   - プロキシサーバーが設定されていない場合
     設定をリセットすると、コンピューターからスキャナーにアクセスできるようになる場合があります。

     ```
     netsh winhttp reset proxy
     ```

***1：**スキャナーの IP アドレスは、fi Series ネットワーク設定の「スキャナー情報」→「スキャナー情報」で確認できます。

***2：**ここでは、例として IPv4 アドレスの形式を記載しています。
IPv6 アドレスの場合は、次の形式となります。
ZZZZ:ZZZZ:ZZZZ:ZZZZ:ZZZZ:ZZZZ:ZZZZ:ZZZZ

原稿の読み取りに時間がかかる

ここをお調べください

- USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？ (225 ページ)
- コンピューター起動直後やサインイン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？ (225 ページ)
- 各ローラーはきれいですか？ (225 ページ)
- コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？ (225 ページ)
- 手差し・単送モードで原稿を読み取っていますか？ (225 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？**

対処方法

USB 接続の場合、USB ケーブルを USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/ USB2.0 の USB ポートに接続してください。

- **コンピューター起動直後やサインイン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？**

対処方法

コンピューターの起動直後やサインイン直後は、しばらく待ってから原稿の読み取りを開始してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

対処方法

各ローラーを清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？**

対処方法

スキャナー基本仕様 (333 ページ)に記載している測定環境の CPU やメモリー容量の条件を満たしていない場合は、条件を満たしているコンピューターでのご利用をお試しください。

- **手差し・単送モードで原稿を読み取っていますか？**

手差し・単送モードで原稿を読み取ると、読み取り速度が遅くなります。

➡ 2 つ折りの原稿を読み取りたいとき (135 ページ)

➡ 封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき (139 ページ)

スキャナーに電源が投入されたあとで、液晶ディスプレイにエラーコード「U0:10」、「U4:40」、または「U5:4A」が表示されている

ここをお調べください

- 輸送ロックを解除しましたか？［fi-8700/fi-8700S］ (226 ページ)
- ADF はしっかりと閉じられていますか？ (226 ページ)
- 印字部（インプリンタカバー）はしっかりと閉じられていますか？（インプリンタ搭載時）［fi-8600］ (226 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **輸送ロックを解除しましたか？［fi-8700/fi-8700S］**

対処方法

スキャナーの電源を切断し、輸送ロックを解除してください。
スキャナーの電源の切断方法については、電源の切断 (44 ページ)を参照してください。
輸送ロックの解除方法については、輸送ロック［fi-8700/fi-8700S］ (211 ページ)を参照してください。

- **ADF はしっかりと閉じられていますか？**

対処方法

ADF をしっかりと閉じてください。

➡ ADF の閉じ方 (48 ページ)

- **印字部（インプリンタカバー）はしっかりと閉じられていますか？（インプリンタ搭載時）［fi-8600］**

対処方法

印字部（インプリンタカバー）をしっかりと閉じてください。
詳細は、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

頻繁に原稿が重なって搬送される

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (227 ページ)
- A3 キャリアシートを使用していますか？ (227 ページ)
- 原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？ (227 ページ)
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (228 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (228 ページ)
- 原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？ (228 ページ)
- 原稿の束の高さは 30mm（A4 サイズ以下の場合）、10mm（A4 を超えるサイズの場合）未満ですか？ (228 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (228 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (228 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (229 ページ)
- 標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？ (229 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)

- **A3 キャリアシートを使用していますか？**

対処方法

スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしてください。
A3 キャリアシートを使用した読み取りについては、次を参照してください。

- 傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき (141 ページ)
- 写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき (143 ページ)

- **原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？**

対処方法

原稿によっては、原稿の重なりが誤って検出される場合があります。

➡ 原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件 (88 ページ)
必要に応じて原稿の重なりを検出する範囲を指定してください。

➡ 原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） (300 ページ)

- **プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？**

  対処方法

  次のどれかの設定で読み取ってください。

  - 決まったパターンの原稿の重なりを検出しない設定にする。
  - 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
  - 手差し・単送モードで読み取る。

- **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

  対処方法

  原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。

  ➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 (71 ページ)

- **原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？**

  対処方法

  3、4 回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。

  ➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 (71 ページ)

- **原稿の束の高さは 30mm（A4 サイズ以下の場合）、10mm（A4 を超えるサイズの場合）未満ですか？**

  対処方法

  原稿は 30mm（A4 サイズ以下の場合）、10mm（A4 を超えるサイズの場合）の高さまでセットできます。原稿の束の高さが 30mm（A4 サイズ以下の場合）、10mm（A4 を超えるサイズの場合）未満になるように、原稿の分量を減らしてください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

    ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

  - Software Operation Panel

    ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？**

  対処方法

  標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用しているときは、Software Operation Panel で、「高地モード」を有効にしてください。

  > **ヒント**
  > 標高 2,000m 未満の平地で、「高地モード」を有効に設定してスキャナーを使用すると、原稿の重なりが検出されないことがあります。
  > 標高 2,000m 未満の平地でスキャナーを使用するときは、「高地モード」を無効にしてください。

原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (230 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (230 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (230 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (230 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (230 ページ)
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (231 ページ)
- 読み取る原稿は、厚い紙やカールした紙ですか？ (231 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

  対処方法

  条件を満たしている原稿を使用してください。

  ➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)

- **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

  対処方法

  原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。

  ➡ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 (71 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？**

対処方法

次のどれかの設定で読み取ってください。

- 決まったパターンの原稿の重なりを検出しない設定にする。
- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

- **読み取る原稿は、厚い紙やカールした紙ですか？**

対処方法

次のどちらかの方法で、ピック圧設定を強く設定してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「16:ピック圧設定」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ ピック圧の調整（ピック圧設定） (291 ページ)

原稿保護のエラーが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿をセットするときに、サイドガイドを原稿の幅に合わせていますか？ (232 ページ)
- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (232 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (232 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (232 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (232 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (233 ページ)
- 原稿保護機能の検知レベルを高く設定していますか？ (233 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **原稿をセットするときに、サイドガイドを原稿の幅に合わせていますか？**

  対処方法

  原稿をセットするときに、サイドガイドと原稿の間に隙間がないことを確認してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

  対処方法

  条件を満たしている原稿を使用してください。

  ➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

  対処方法

  ADF を清掃してください。
  または、ADF から異物を取り除いてください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  ● 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

  ● Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **原稿保護機能の検知レベルを高く設定していますか？**

  対処方法

  次のどちらかの方法で、原稿保護機能の検知レベルを低く設定してください。

  ● 操作パネルの「メニュー選択」画面の「19:ペーパープロテクション設定」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

  ● Software Operation Panel

  ➡ 原稿保護機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル） (288 ページ)

原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (234 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (234 ページ)
- ADF 内部に原稿が残っていますか？ (234 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (234 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (234 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (235 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

対処方法

ADF を清掃してください。
または、ADF から異物を取り除いてください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ADF 内部に原稿が残っていますか？**

対処方法

ADF から原稿を取り除いてください。

➡ 原稿づまりが発生したときは (194 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  ● 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

  ● Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する

ここをお調べください

- スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取っていますか？ (236 ページ)
- スキャナードライバーで、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？ (236 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (236 ページ)

また、スキャナードライバーのヘルプの「画像の出力」を参照して対処してください。
症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取っていますか？**

対処方法

絵や写真を二値白黒で読み取ると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。
スキャナードライバーで、カラーまたはグレースケールを設定してください。

- **スキャナードライバーで、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？**

対処方法

網点印刷された原稿を読み取った場合、画像に周期的なノイズ（モアレ）が発生することがあります。
スキャナードライバーで、読み取り解像度の設定を高くしてください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

文字や線の読み取り結果が良くない

ここをお調べください

- フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8700/fi-8700S］ (237 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (237 ページ)
- 解像度は適切ですか？ (237 ページ)
- スキャナードライバーで、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？ (237 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (237 ページ)

また、スキャナードライバーのヘルプの「画像の出力」を参照して対処してください。
症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？【fi-8700/fi-8700S】**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **解像度は適切ですか？**

  対処方法

  スキャナードライバーで、読み取り解像度の設定を高くしてください。

- **スキャナードライバーで、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？**

  対処方法

  スキャナードライバーで、二値白黒を設定してください。
  グレースケールまたはカラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

  対処方法

  原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスまたはフラットベッドの原稿台［fi-8700/fi-8700S］に異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

画像がゆがむまたは鮮明ではない

ここをお調べください

- フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8700/fi-8700S］ (239 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (239 ページ)
- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？ (239 ページ)
- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？ (239 ページ)
- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？ (239 ページ)
- 原稿にしわ/カールはありますか？ (240 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8700/fi-8700S］**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？**

  対処方法

  ADF の上部を押さえつけたり、上に重いものを置いたりしないでください。

- **不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？**

  対処方法

  安定した場所、振動がない場所で読み取ってください。

- **スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？**

  対処方法

  スキャナーを水平で平らな面に置いてください。
  または、ゴム足を取り付けてください。

- **原稿にしわ/カールはありますか？**

  対処方法

  原稿のしわ/カールをのばしてください。

画像に縦線（縦筋）が出る

ここをお調べください

- フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8700/fi-8700S］ (241 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (241 ページ)
- 解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？ (241 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (241 ページ)
- スキャナードライバーで、縦筋軽減の設定を有効にして読み取っていますか？ (241 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8700/fi-8700S］**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？**

  対処方法

  解像度を低く設定して、原稿を読み取ってください。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

  対処方法

  原稿に付着している異物を取り除いてください。
  原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスまたはフラットベッドの原稿台［fi-8700/fi-8700S］に異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

- **スキャナードライバーで、縦筋軽減の設定を有効にして読み取っていますか？**

  対処方法

  スキャナードライバーで、縦筋軽減の設定を有効にしてください。
  ただし、縦筋軽減の設定を有効にした場合、縦筋の太さや場所によっては縦筋が軽減できず、文字や罫線に色にじみが発生する可能性があります。

画像が間延びする

ここをお調べください

- 各ローラーはきれいですか？ (242 ページ)
- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (242 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (242 ページ)
- 読み取り倍率を調整しましたか？ (242 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

対処方法

各ローラーを清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

➡ 読み取りできる原稿 (81 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

- Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **読み取り倍率を調整しましたか？**

対処方法

Software Operation Panel で、搬送方向の読み取り倍率を調整してください。

➡ 読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） (276 ページ)

画像の先端または後端に影がある

ここをお調べください

- オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？ (243 ページ)
- 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？ (243 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？**

対処方法

Software Operation Panel で、副走査方向のオフセットを調整してください。

➡ 読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） (276 ページ)

- **縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？**

対処方法

次のどちらかの方法で、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。

- Software Operation Panel

  ➡ 画像の端にできる影や筋の消去（縁消し(ADF)・縁消し(FB)［fi-8700/fi-8700S］） (278 ページ)

- スキャナードライバー
  Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

原稿に黒い跡が残る

ここをお調べください

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？ (244 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (244 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？**

対処方法

鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、こまめに各ローラーを清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる

ここをお調べください

- A3 キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？ (245 ページ)
- A3 キャリアシートはきれいですか？ (245 ページ)
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？ (245 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (246 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (246 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (246 ページ)
- 厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんでいますか？ (246 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **A3 キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？**

対処方法

PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、A3 キャリアシートを読み取ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。

- **A3 キャリアシートはきれいですか？**

対処方法

次のどちらかを行って、対処してください。

- A3 キャリアシートを清掃してください。

  ➡ A3 キャリアシートの清掃 (179 ページ)

- 新しい A3 キャリアシートに交換してください。
  A3 キャリアシートの購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (365 ページ)にお問い合わせください。

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？**

対処方法

ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。

➡ 傷つけたくない原稿を保護して読み取りたいとき (141 ページ)

➡ 写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき (143 ページ)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  • 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」

  ➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

  • Software Operation Panel

  ➡ 枚数カウンターの確認 (269 ページ)

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

  ➡ ブレーキローラの交換 (182 ページ)

  ➡ ピックローラの交換 (186 ページ)

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

  対処方法

  ADF を清掃してください。
  または、ADF から異物を取り除いてください。

  ➡ 日常のお手入れ (163 ページ)

- **厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんでいますか？**

  対処方法

  厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんで読み取れません。
  条件を満たしている原稿を使用してください。

  ➡ A3 キャリアシートを使用する場合の条件 (95 ページ)

A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

ここをお調べください

- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？ (247 ページ)
- 原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？ (247 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？**

対処方法

A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を 1 枚ずつはさんで読み取ってください。

- **原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？**

対処方法

2 つ折りにした原稿の折り曲げ部分が A3 キャリアシートからはみ出ていると、原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。
A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてはさんでください。

管理者パスワードを忘れた

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードについては、管理者パスワード (328 ページ)を参照してください。
変更したパスワードを忘れた場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる

ここをお調べください

• 入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？ (248 ページ)
症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

- **入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？**

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルで確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (251 ページ)を参照してください。

お問い合わせの前に

当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)）に連絡する前に、行うことや確認する項目について説明します。

お問い合わせの前に行うこと

スキャナーの使用中になんらかのエラーやトラブルが発生したときは、お問い合わせの前に、次の対処をしてください。

- 電源不足がないか確認してください。延長ケーブルは使用しないでください。
- 添付の AC ケーブルおよび AC アダプターを使用してください。
- 日常のお手入れ (163 ページ)を参照して、スキャナー内部を清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に確認すること (249 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)に連絡してください。

お問い合わせの前に確認すること

- **概要**

調べる項目	調査結果
機種名	例：fi-8600 ➡ 装置ラベルの確認 (251 ページ)
シリアル番号	例：XXXX000001 ➡ 装置ラベルの確認 (251 ページ)
製造年月	例：20XX-01（20XX 年 01 月） ➡ 装置ラベルの確認 (251 ページ)
購入年月日	
症状	
発生頻度	例：常時/間欠
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：A3 キャリアシート ➡ スキャナーのオプション (340 ページ)

- **エラーの状況**

コンピューター接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェイスの種類	例：USB インターフェイス
インターフェイスコントローラーの種類	例：LAN ボード使用
接続形態	例：USB、有線 LAN

搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	

画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナードライバーの種類と版数	
インターフェイスコントローラーの種類	例：LAN ボード使用
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
アプリケーションの種類	例：PaperStream ClickScan
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

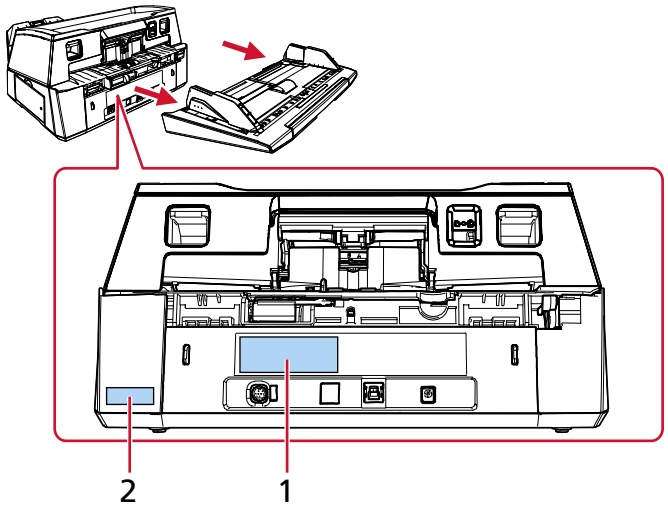
そのほか

可能であれば、原稿の状態がわかる写真と出力結果を、E-Mail で送付してください。

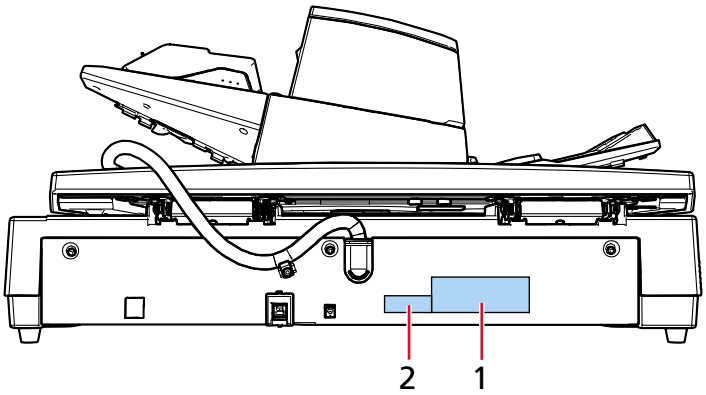
装置ラベルの確認

ラベルの確認方法について説明します。
ラベルは、スキャナーの背面に貼付されています。

- fi-8600
  ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、確認してください。

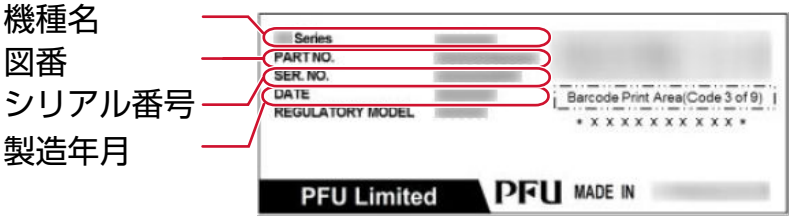


- fi-8700/fi-8700S



1 のラベル 例

スキャナーの情報を示しています。



2 のラベル 例

工場出荷設定の管理者パスワードを示しています。xxxxxxxx 部分（8 桁の数字）がパスワードです。



スキャナー設定（Software Operation Panel）

ここでは、Software Operation Panel を使ったスキャナーの設定方法について説明します。
Software Operation Panel を利用すると、スキャナーの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

Software Operation Panel の起動

重要

- 読み取り中に、Software Operation Panel を起動しないでください。
- スキャナードライバーの画面を表示しているときに、Software Operation Panel の設定を変更した場合、変更した設定がすぐに反映されない場合があります。その場合は、スキャナードライバーの画面を開き直してください。
- Software Operation Panel の起動中は、操作パネルを操作しないでください。

1 コンピューターにスキャナーが接続されていることを確認します。

- USB 接続の場合
  スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
  スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。

➡ ネットワーク (324 ページ)

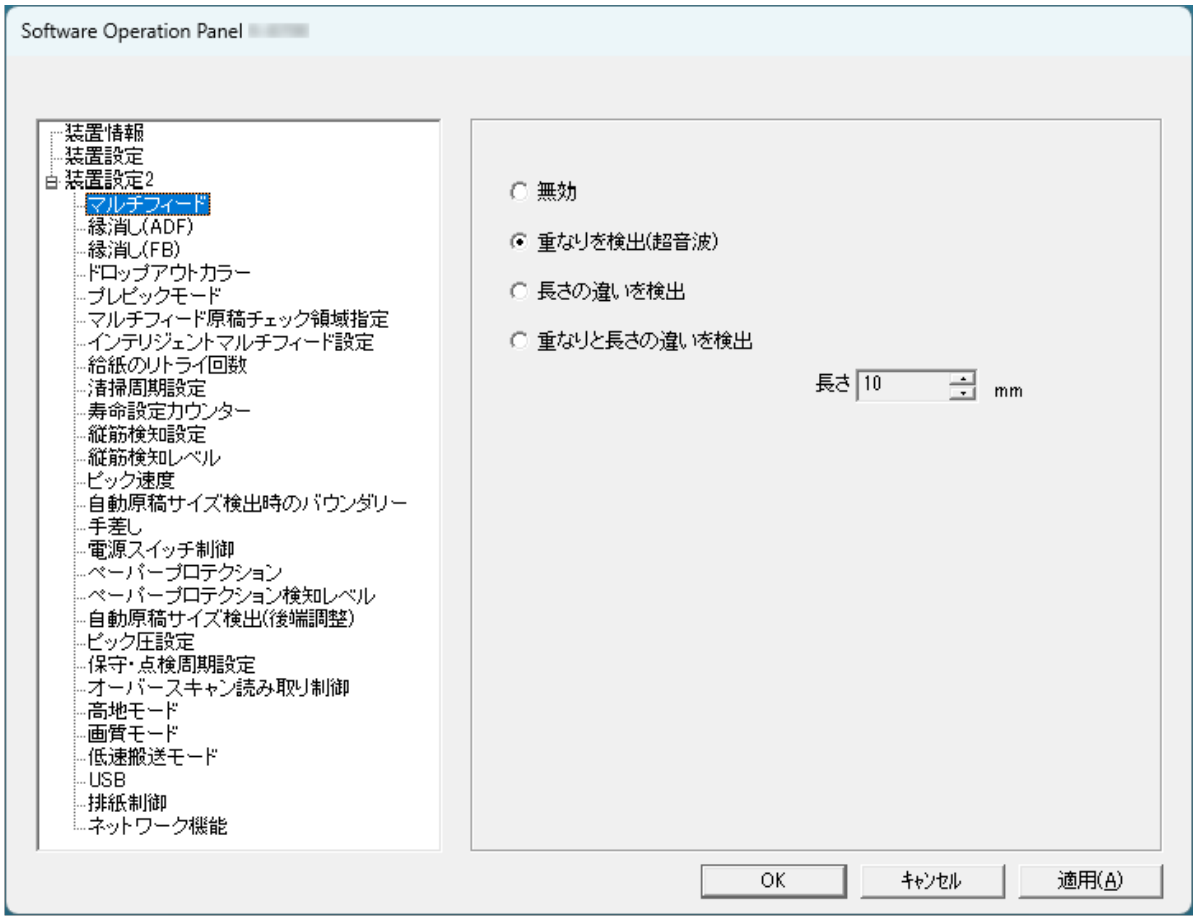
➡ IP アドレス設定ツールの起動方法 (354 ページ)
DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。
➡ スキャナー選択ツールの起動方法 (353 ページ)

2 Software Operation Panel を起動します。

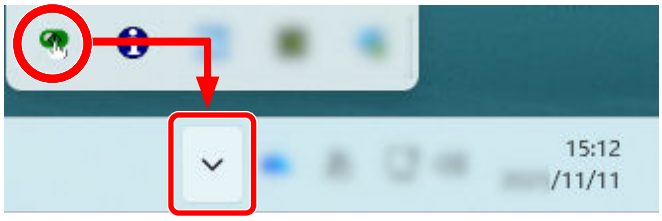
- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

スキャナーの選択画面が表示された場合は、Software Operation Panel を起動したいスキャナーを選択して、［選択］ボタンをクリックします。

Software Operation Panel の画面が表示されます。



タスクバーの通知領域にあるをクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。
通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、アイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



Software Operation Panel の閲覧モード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定すると、スキャナーの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。
パスワードを設定していない状態では、スキャナーの設定が可能なモードとして起動します。
パスワードを設定して操作を制限すると、不用意な設定変更を防止できます。

「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

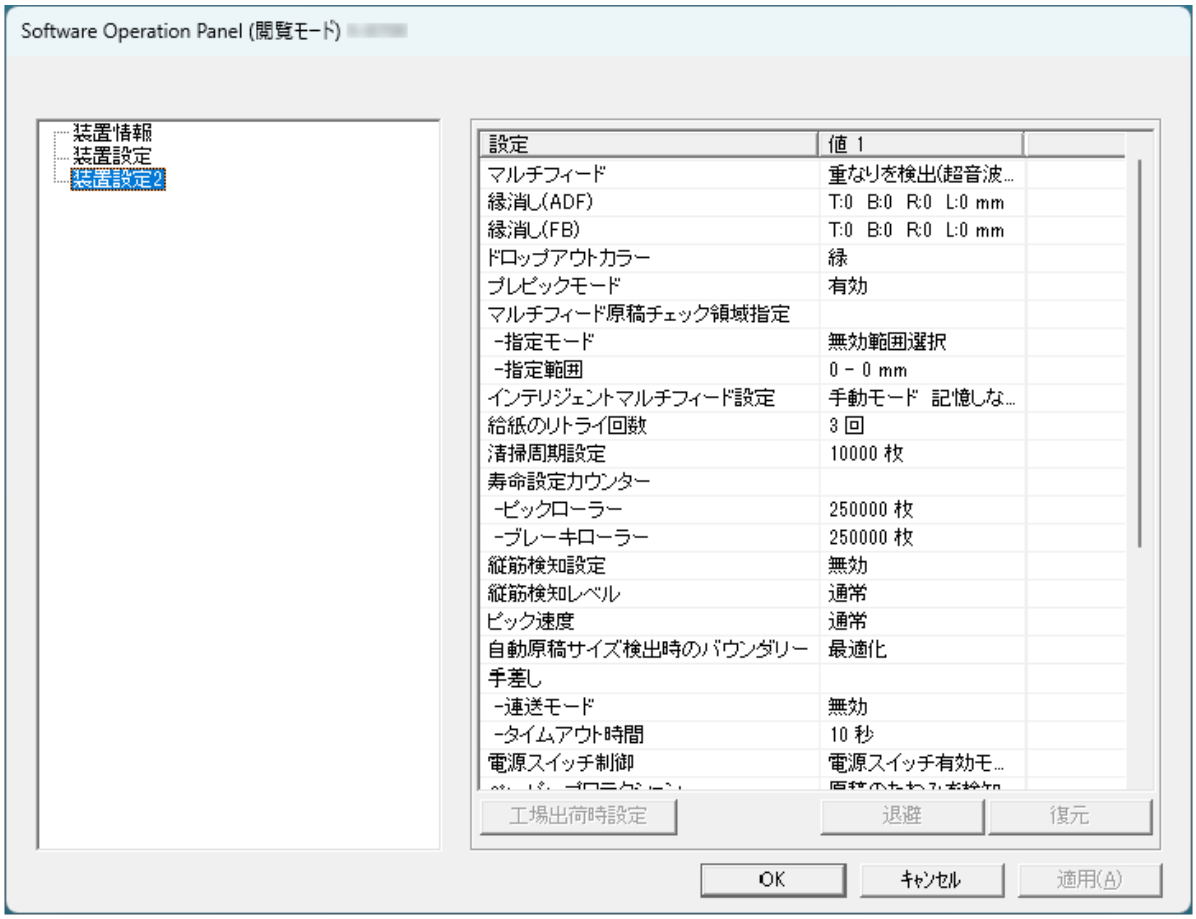
1 **パスワードを設定します。**

➡ パスワードの設定 (260 ページ)

2 **タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。**



Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の横にチェックマークが表示されます。



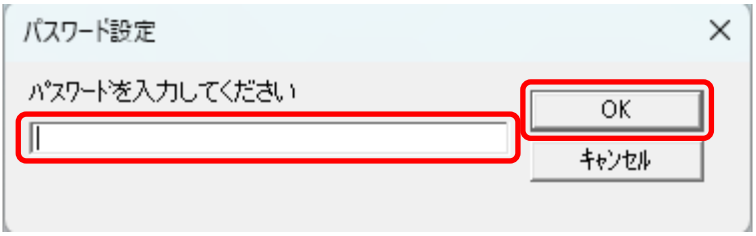
「閲覧モード」の設定解除

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

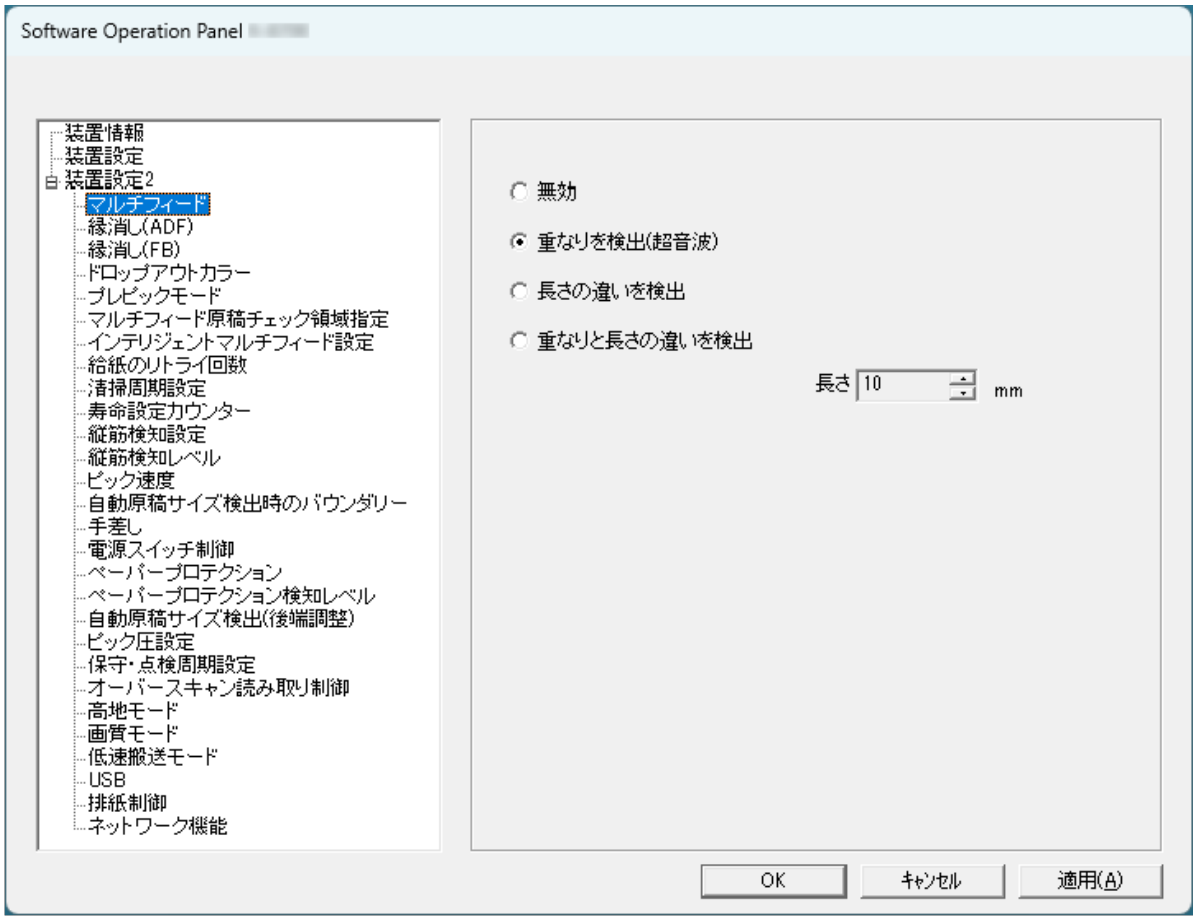
1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナー設定可能なモードで起動されます。



ヒント

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の横のチェックマークが非表示となります。



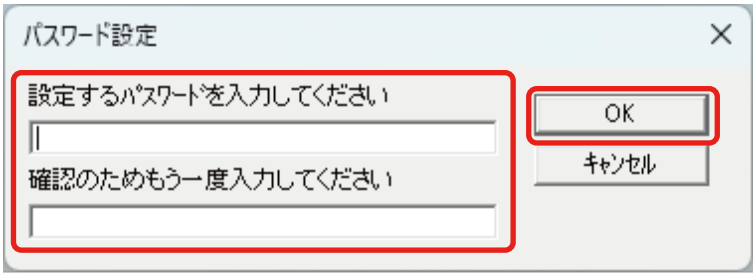
パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



2 パスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字（a～z、A～Z、0～9）

メッセージ画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

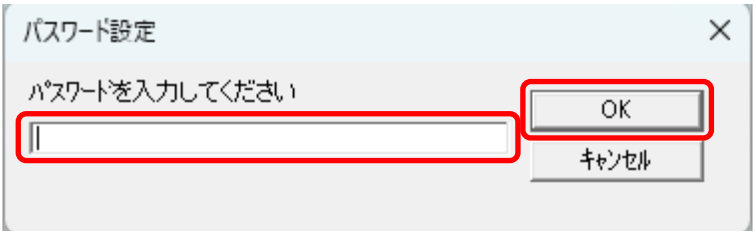
パスワードが設定されます。

パスワードの変更

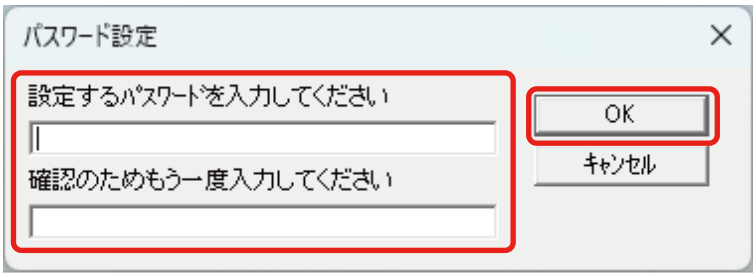
1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



3 変更後のパスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字（a～z、A～Z、0～9）

メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

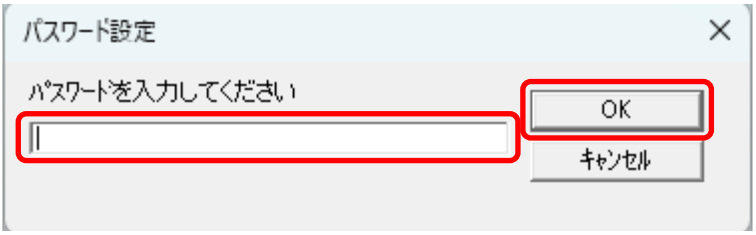
パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

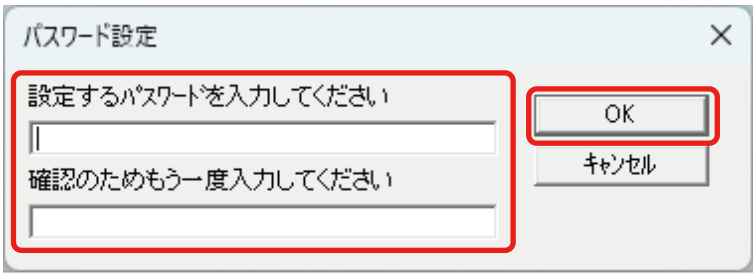
1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードの設定が解除されます。

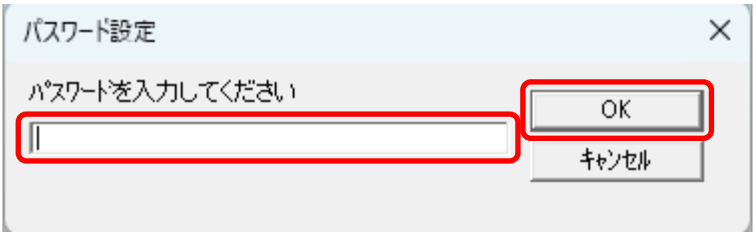
パスワードを紛失したときの対応

パスワードを紛失した場合は、パスワードを再設定します。

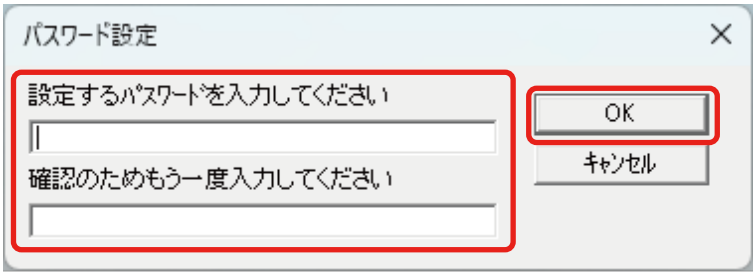
1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



2 工場出荷設定のパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



3 変更後のパスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字（a～z、A～Z、0～9）

メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが再設定されます。

設定項目

Software Operation Panel では、スキャナーに対して原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。
設定は、次のリストで行います。

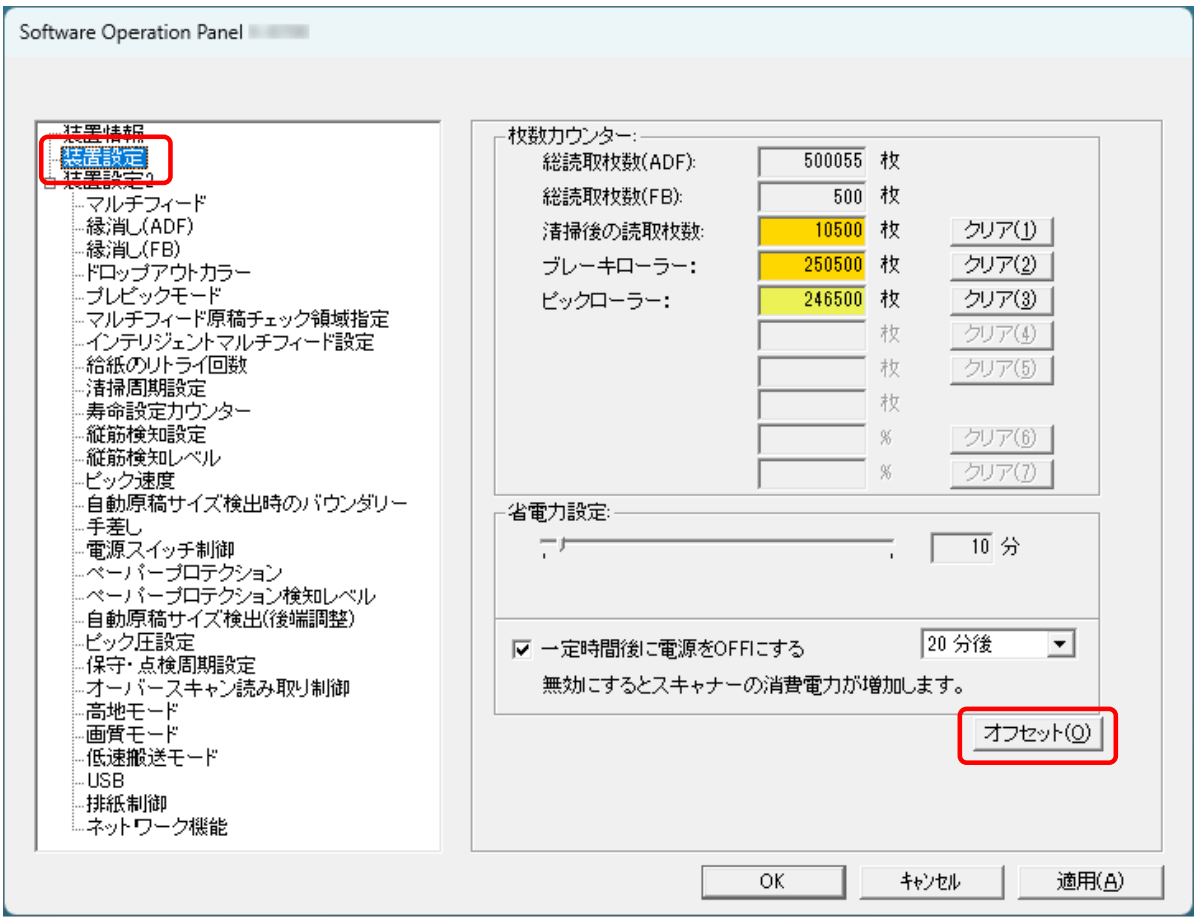
- 装置設定
  読み取り枚数や消耗品の管理の設定ができます。また、スキャナーの電源管理、原稿の読み取り開始位置の設定もできます。
- 装置設定 2
  原稿を読み取るときの動作に関する設定ができます。

装置設定

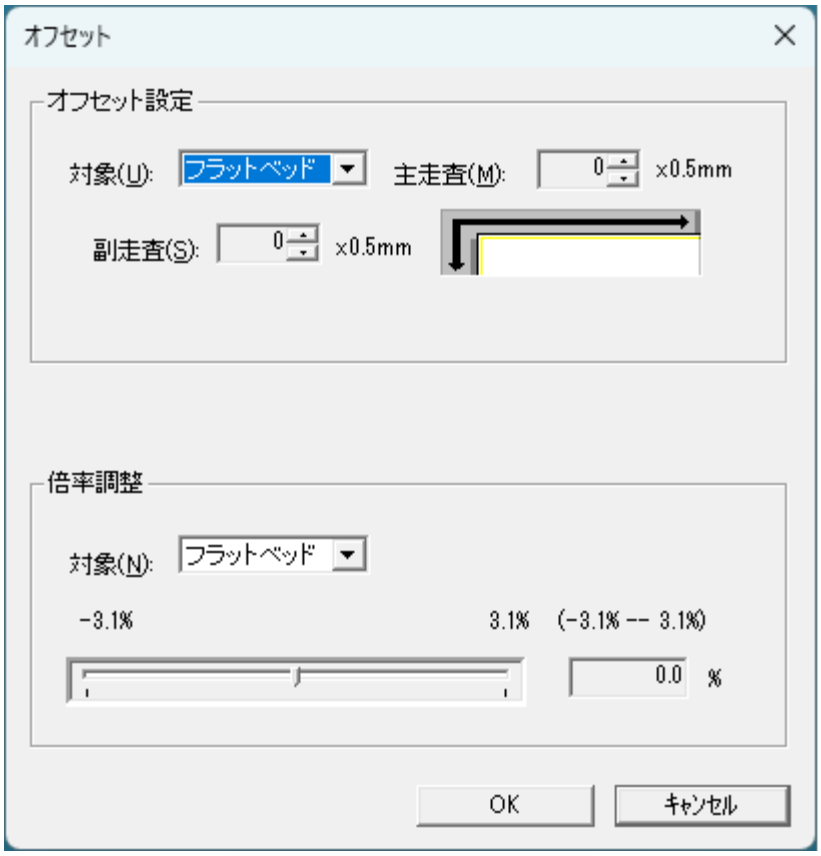
1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面のリストから「装置設定」をクリックして、[オフセット] ボタンをクリックします。



「オフセット」画面が表示されます。



これらの画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
枚数カウンター （確認/クリア）	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。
省電力設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
オフセット設定	原稿の読み取り開始位置を設定します。
倍率調整	搬送方向の読み取り倍率を設定します。

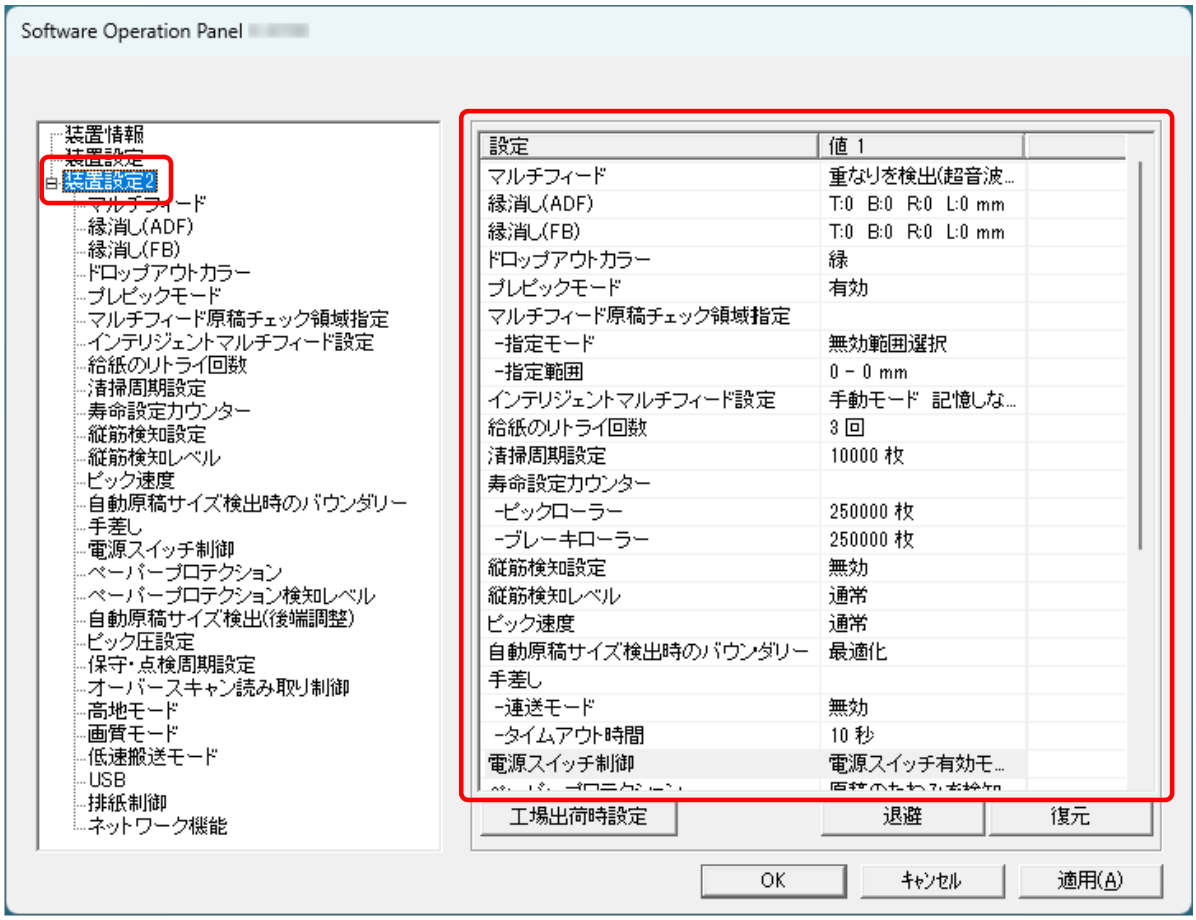
装置設定 2

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面のリストから「装置設定 2」をクリックします。

「装置設定 2」で設定されている内容が一覧表示されます。



ヒント

- Software Operation Panel の設定内容を工場出荷の設定に戻せます。
  工場出荷の設定に戻すには、[工場出荷時設定] ボタンをクリックしてください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
  変更した設定内容がクリアされるので、注意してください。
- Software Operation Panel の「装置設定 2」の設定内容をバックアップとして、退避できます。
  「装置設定 2」の設定内容を退避するには、[退避] ボタンをクリックして表示される画面で、ファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックしてファイルに退避してください。
- Software Operation Panel の「装置設定 2」の設定内容を退避したファイルを使用して、同種のスキャナーに同じ設定内容を復元できます。
  復元するには、[復元] ボタンをクリックして表示される画面で、退避したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックして復元してください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。

なお、異なる機種のスキャナーには復元できません。

設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
マルチフィード	原稿を読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
縁消し(ADF)・縁消し(FB)［fi-8700/fi-8700S］	画像の端に発生する黒い筋（原稿の影）を塗りつぶすための設定をします。
ドロップアウトカラー	二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青（光の三原色）と白のうちから、どれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
プレピックモード	複数枚の原稿をセットして読み取る場合に、読み取り時間を短くする設定をします。
マルチフィード原稿チェック領域指定	原稿の重なりを検出しない範囲または検出する範囲を設定します。
インテリジェントマルチフィード設定	原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。
給紙のリトライ回数	原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。
清掃周期設定	スキャナー内部の清掃周期を設定します。
寿命設定カウンター	消耗品の交換周期を設定します。
縦筋検知設定	ガラスのよごれを検知する設定ができます。
縦筋検知レベル	「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれを検知するレベルを設定します。
ピック速度	原稿の搬送を開始するタイミングを設定します。
自動原稿サイズ検出時のバウンダリー	自動で原稿の原稿サイズを検出するときに、画像の端の処理方法を設定します。
手差し	読み取りを開始したあとに、繰り返し原稿をセットして読み取りを継続したいときに設定します。
電源スイッチ制御	スキャナーの電源の投入/切断に関する設定をします。
ペーパープロテクション	原稿の搬送異常を検出する設定をします。
ペーパープロテクション検知レベル	原稿保護機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。
自動原稿サイズ検出(後端調整)	仕切り用インデックス/インデックスシールが貼り付けてある原稿（インデックスタブ付き原稿）または非矩形原稿の場

設定項目	説明
	合、スキャナーが検知した後端よりも長く読み取って画像が切れないようにする設定をします。
ピック圧設定	給紙時のピック圧を設定します。
保守・点検周期設定	サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。
オーバースキャン読み取り制御	原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する場合に設定します。
高地モード	標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
画質モード	fi-7700/fi-7600/fi-7700S で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。
低速搬送モード	原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る設定をします。
USB	コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。 スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。
排紙制御	原稿を排出するときの排出速度が遅くなるように制御し、読み取った原稿の散らばりを防ぎます。
ネットワーク機能	USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に設定します。 スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。

枚数カウンターに関する設定

枚数カウンターの確認

消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。
消耗品の交換時期、清掃が必要な時期が近づくと、カウンターの背景色が変わります。
各カウンターの背景色が変わるタイミングを次に示します。

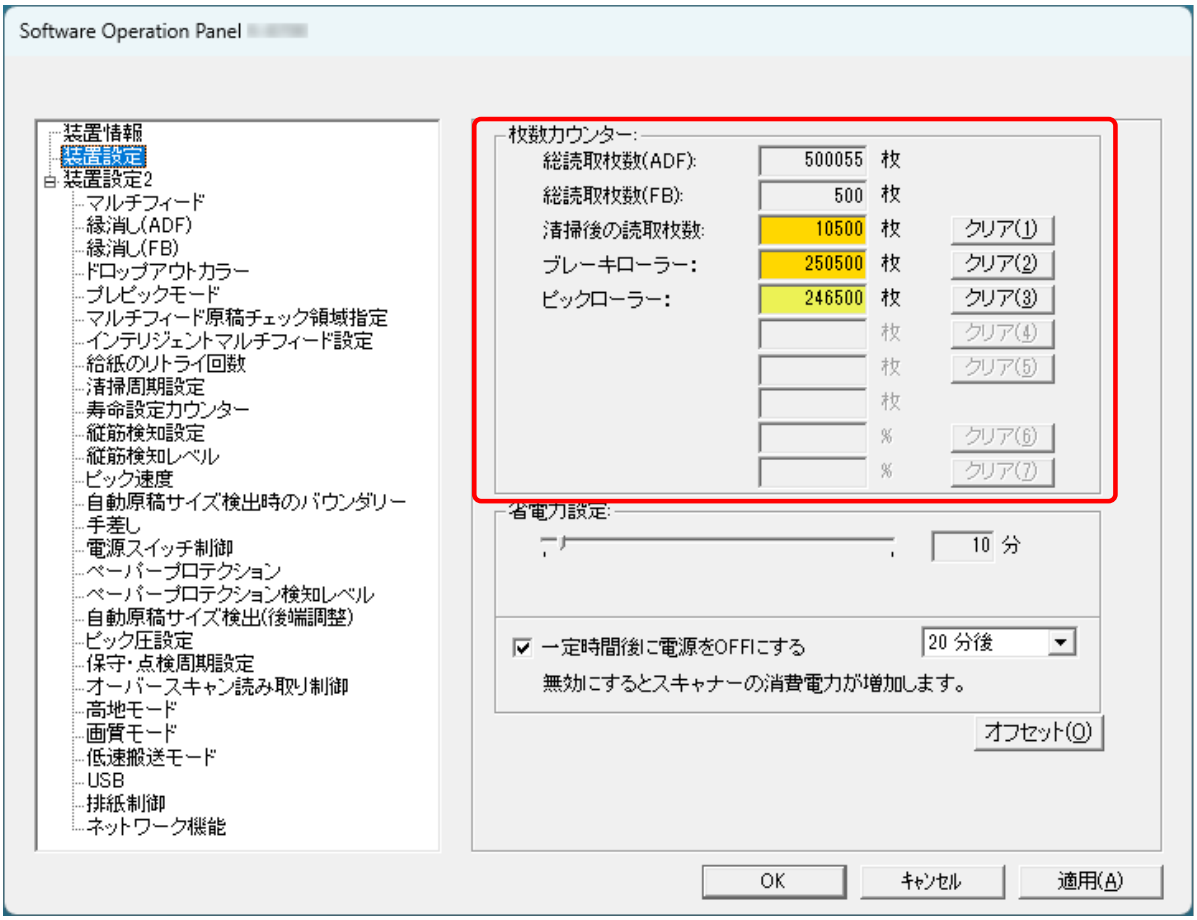
- ブレーキローラ/ピックローラのカウンター
  消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター） (275 ページ)で設定した値の 95%以上になった場合にカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。
- 清掃のカウンター
  清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定） (274 ページ)で設定した値以上になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります。
- インク残量のカウンター
  インク残量が 33%未満になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります（インプリンタ搭載時だけ表示）。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。

3 枚数カウンターを確認します。



総読取枚数(ADF)

ADF でこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

総読取枚数(FB)［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッド［fi-8700/fi-8700S］でこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

清掃後の読取枚数

清掃してからこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

ブレーキローラー

ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示）

ピックローラー

ピックローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示）

インク残量

インプリンタに搭載されたプリントカートリッジのインク残量（インプリンタ搭載時だけ表示）

各枚数カウンターの工場出荷設定は「0」です。
インク残量カウンターの工場出荷設定はインプリンタ搭載時だけ表示されます。

重要

電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合は、「総読取枚数」のカウンターが反映されないことがあります。

ヒント

操作パネルでも確認できます。

枚数カウンターのクリア

消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定」をクリックします。**

3 **消耗品を交換した場合は交換した消耗品の［クリア］ボタン、清掃した場合は「清掃後の読取枚数」の［クリア］ボタンをクリックします。**

カウンター値が 0 になります。
インク残量の場合は、100 になります。

4 **［OK］ボタンをクリックします。**

メッセージ画面が表示されます。

5 **［OK］ボタンをクリックします。**

設定が保存されます。

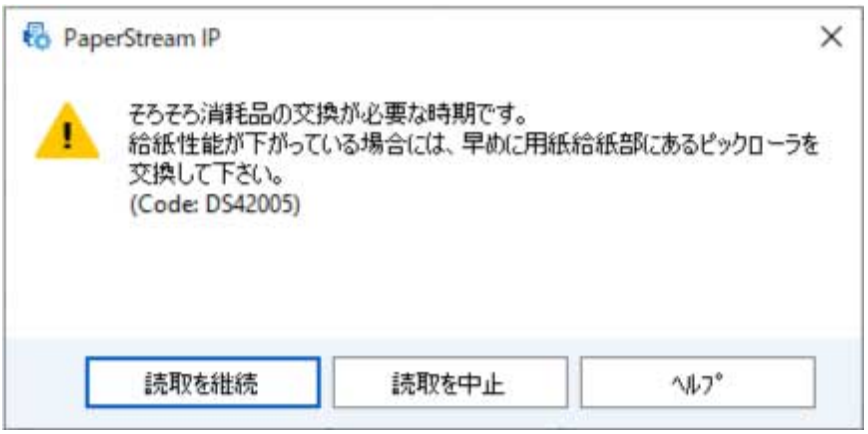
ヒント

操作パネルでもクリアできます。

消耗品交換/清掃指示メッセージ

スキャナーを使用していると、次のようなメッセージがコンピューターに表示されることがあります。

例：消耗品交換メッセージ



例：清掃指示メッセージ



表示されるメッセージに従って、次の対処をしてください。

- 消耗品交換メッセージが表示された場合
  表示内容を確認し消耗品を交換してください。
  ［読取を継続］ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。
  できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。
  読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、［読取を中止］ボタンをクリックします。
  消耗品の交換方法は、次を参照してください。
  - ブレーキローラの交換 (182 ページ)
  - ピックローラの交換 (186 ページ)
- 清掃指示メッセージが表示された場合
  表示内容を確認し清掃してください。
  清掃方法は、日常のお手入れ (163 ページ)を参照してください。

スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）

スキャナー内部の清掃周期を設定します。
清掃後の読み取り枚数が、ここで設定する枚数以上になった場合に「装置設定」の「清掃後の読取枚数」のカウンターの背景色が黄色に変わります。
また、消耗品交換/清掃指示メッセージ (273 ページ)の清掃指示メッセージを表示するようにできます。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「清掃周期設定」をクリックします。**

3 **清掃周期のカウント値を設定します。**
1,000 枚から 255,000 枚まで、1,000 枚単位で設定できます。
工場出荷設定：10

4 **清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。**
工場出荷設定は「清掃指示メッセージを表示する」チェックボックスのチェックが外れています。

消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター）

消耗品の交換周期を設定します。
消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の 95%以上になった場合に「装置設定」の「ブレーキローラー」または「ピックローラー」のカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。
また、消耗品交換/清掃指示メッセージ (273 ページ)の消耗品交換メッセージを表示するようにできます。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンター」をクリックします。**

3 **各ローラーの寿命設定カウンター値を設定します。**
10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。
工場出荷設定：25

読み取りに関する設定

読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、オフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

重要

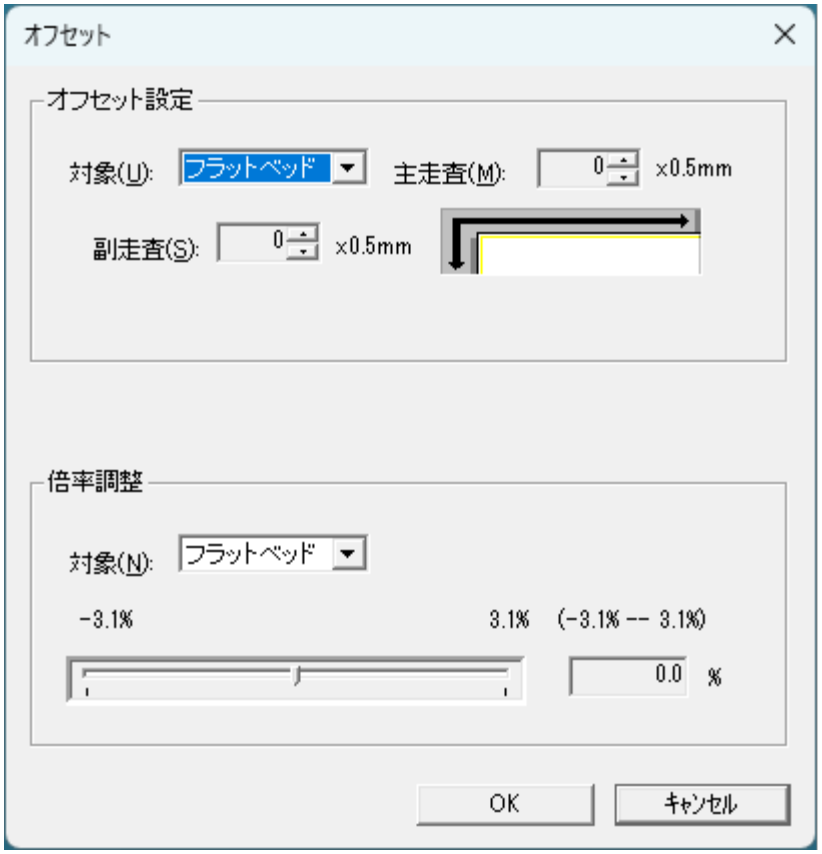
工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。**

3 **必要に応じてオフセット/副走査方向の倍率を調整します。**



オフセット設定

対象

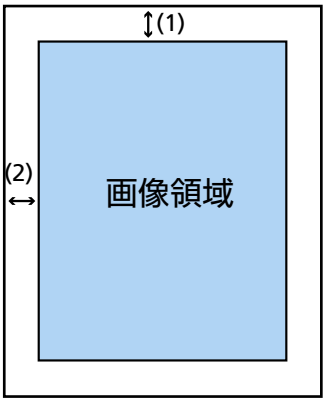
オフセット調整を行う対象を、「フラットベッド」[fi-8700/fi-8700S]、「ADF(表面)」、「ADF(裏面)」から選択します。

主走査

主走査（幅）方向のオフセットを指定します。
-2～+3mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定：0

副走査

副走査（長さ）方向の上端のオフセットを指定します。
-2～+3mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定：0



(1)：主走査=-2～3mm
(2)：副走査=-2～3mm
（0.5mm 刻み）

倍率調整

対象

倍率調整を行う対象を、「フラットベッド」[fi-8700/fi-8700S] または「ADF」から選択します。

倍率調整

副走査（長さ）方向の倍率を指定します。
-3.1～+3.1%の範囲で 0.1%刻みの指定ができます。
工場出荷設定：0.0

画像の端にできる影や筋の消去（縁消し(ADF)・縁消し(FB)［fi-8700/fi-8700S］）

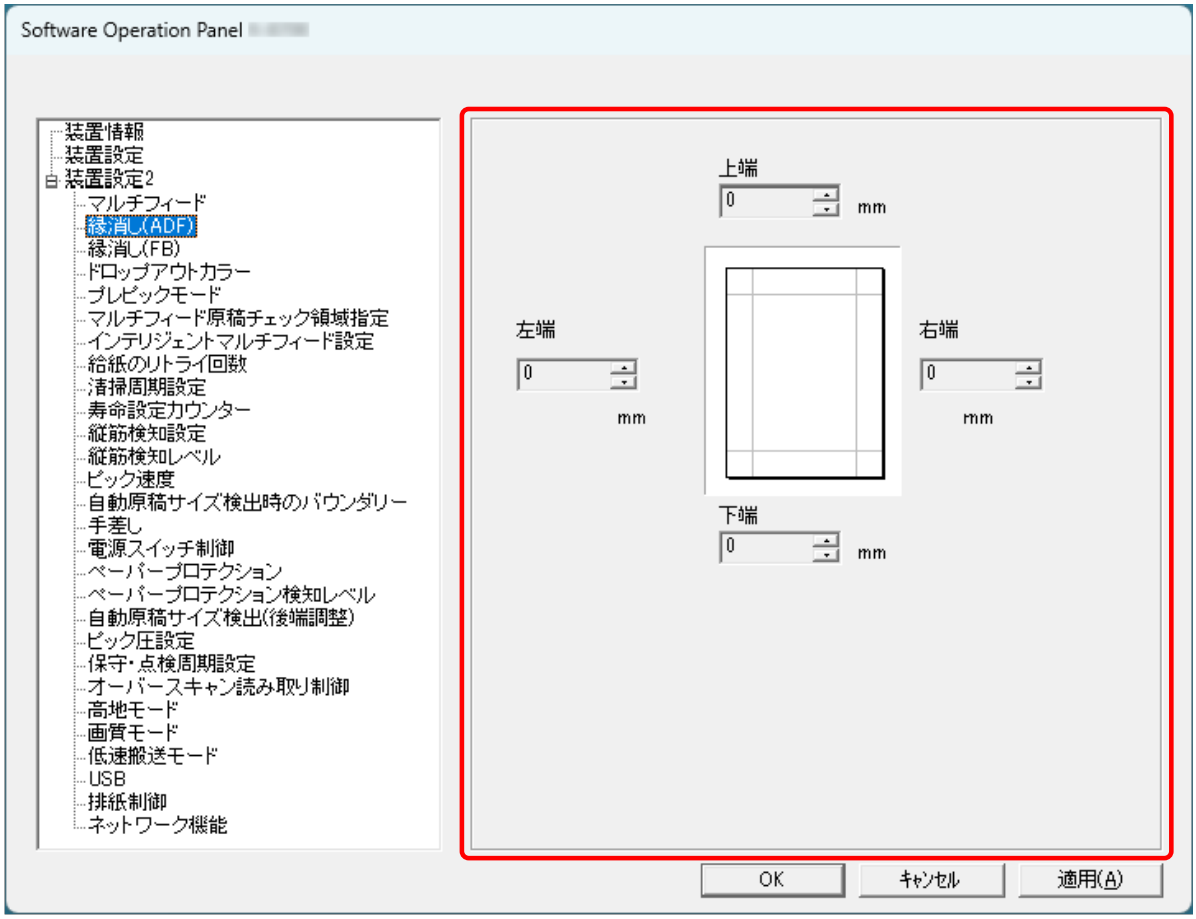
画像の端に発生する黒い筋（原稿の影）を塗りつぶすための設定をします。
読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒い筋が発生する場合があります。
このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒い筋を消去します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

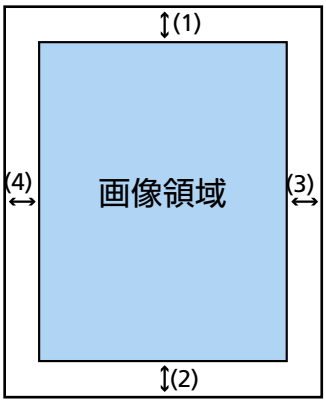
2 **画面のリストから「装置設定 2」→「縁消し(ADF)」または「縁消し(FB)［fi-8700/fi-8700S］」をクリックします。**

3 **上端/下端/右端/左端の塗りつぶす幅を設定します。**



工場出荷設定：0

設定した範囲を、背景色（裏当ての色）が白色の場合は白色で塗りつぶし、黒色の場合は黒色で塗りつぶします。



ADF

(1)：上端=0～15mm
(2)：下端=-7～7mm
(3)：右端=0～15mm
(4)：左端=0～15mm

FB【fi-8700/fi-8700S】

(1)：上端=0～15mm
(2)：下端=0～15mm
(3)：右端=0～15mm
(4)：左端=0～15mm

（1mm 刻み）

重要

原稿の端に文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の文字が消えてしまうことがあるので注意してください。

ヒント

- 背景色は、スキャナードライバーで白色または黒色に変更できます。
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 「縁消し(ADF)」の下端の設定に応じて、縁消し機能は次のように動作します。
  - 1 ～ 7mm
    画像の下端から内側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶします。
  - -1 ～ -7mm
    画像の下端から外側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶさずに出力します（スキャナードライバーで「後端検出」を指定しているときは、指定した範囲分多く画像を出力します）。

- スキャナードライバーでも設定できます。Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。

指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）

二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青（光の三原色）と白のうちから、どれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。**

3 **取り除きたい色を選択します。**

赤、緑、青、白

選択した色を取り除きます。
工場出荷設定：緑

なし

どの色も取り除きません。

重要

取り除く部分が濃い色の場合は、取り除けないことがあります。

ヒント

スキャナードライバーで、赤、緑、青、白以外の色も設定できます。Software Operation Panel の設定よりも優先されます。

読み取り時間の短縮（プレピックモード）

複数枚の原稿をセットして読み取る場合に、読み取り時間を短くする設定をします。
読み取り中の原稿を排出する前に、次の原稿を ADF 内部まで搬送しておくことを、「プレピック」と呼びます。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「プレピックモード」をクリックします。**

3 **「プレピックモード」を有効にするか、無効にするかを選択します。**
工場出荷設定：有効

ヒント

- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度取り出して、再度セットする必要があります。
- スキャナードライバーまたは操作パネルでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）

原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。

3 給紙のリトライ回数を選択します。

1〜12 回の範囲で選択できます。

工場出荷設定：3 回

> **ヒント**
>
> 操作パネルでも設定できます。

原稿の給紙を開始するタイミングの設定（ピック速度）

原稿の搬送を開始するタイミングを設定します。
原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生する場合に、原稿の搬送を開始するタイミングを遅くすると、改善できることがあります。
この設定は、薄い原稿を読み取る場合に効果があります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「ピック速度」をクリックします。**

3 **原稿の給紙を開始するタイミングを選択します。**

通常

工場出荷設定です。

遅い

原稿の給紙を開始するタイミングが「通常」より遅くなります。

重要

原稿の給紙を開始するタイミングが遅くなる分、全体の読み取りにかかる時間が長くなります。

ヒント

操作パネルでも設定できます。

画像サイズの設定（自動原稿サイズ検出時のバウンダリー）

自動で原稿の原稿サイズを検出するときに、画像の端の処理方法を設定します。
原稿サイズを検出するときに、定型サイズに対して端数が発生する場合があります。
この端数の処理に応じて、出力する画像のサイズが変わります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「自動原稿サイズ検出時のバウンダリー」をクリックします。**

3 **端数が発生した場合の処理を選択します。**
原稿の内容の欠落を防ぎたい場合は「最適化」を選択します。
工場出荷設定：最適化

重要

- 「最適化」を選択した場合、原稿の内容の欠落を防げますが、画像の端に影が入ることがあります。
- 「切り捨て」を選択した場合、用紙の端ぎりぎりに文字などがある原稿を読み取ると、原稿の内容が欠落した画像が出力されることがあります。

原稿保護機能の設定（ペーパープロテクション）

原稿の搬送異常を検出する設定をします。
次のどれかの時点で、原稿の搬送異常を検知します。

- 原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常なたわみを検知した時点
- 原稿づまりが発生したときの音を検知した時点

原稿を読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。
原稿の搬送異常を検知して搬送を停止すれば、原稿の破損を防げます。
本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション」をクリックします。

3 検知方法を選択します。

無効

原稿の搬送異常を検出しません。

原稿のたわみを検知

原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常なたわみを検知した時点で、読み取りが中止されます。
工場出荷設定です。

原稿のつまり音を検知

原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。

原稿のたわみとつまり音を検知

原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常なたわみ、または原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。

重要

原稿保護機能は、原稿の破損を防ぐための機能ですが、必ずしもすべての原稿の破損防止を保証するものではありません。

ヒント

- 「ペーパープロテクション」を有効にすると、次のような場合、正常に原稿を搬送しているときでも、搬送が停止されることがあります。
  - しわが多く寄っている原稿を読み取った場合
  - 四角形ではない原稿を読み取った場合
  - 地色が暗い原稿を読み取った場合

- 原稿の縁まで文字や模様が印刷されている原稿を読み取った場合
操作パネルで再度読み取るときだけ原稿保護機能を無効にできます。

➡ 原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき (161 ページ)

- 原稿保護機能によって、原稿の搬送が頻繁に停止される場合は、原稿保護のエラーが頻繁に起こる (232 ページ)を参照して対処してください。
- 次の場合、原稿保護機能（ペーパープロテクション）は無効になります。
  - スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしている場合
  - 手差し・単送モードの場合
- スキャナードライバーまたは操作パネルでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。
スキャナードライバーで原稿を保護する設定を有効にした場合は、操作パネルおよび Software Operation Panel の設定に関係なく、「原稿のたわみとつまり音を検出」が有効になります。
なお、操作パネルの設定を優先している場合、原稿を保護する設定は、次の順で優先されます。

1. スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
2. 操作パネルの「メニュー選択」画面の「19:ペーパープロテクション設定」

➡ メニュー選択の操作方法 (106 ページ)

3. Software Operation Panel

➡ 原稿保護機能の設定（ペーパープロテクション） (286 ページ)

原稿保護機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル）

原稿保護機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。
原稿が正常に搬送できない場合に、原稿が異常にたわんで搬送されたり、原稿がつまる音がしたりします。
原稿の異常なたわみまたは原稿がつまる音を検知するレベルを設定します。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション検知レベル」をクリックします。

3 検知レベルを選択します。

- 「原稿のたわみ」の検知レベルを選択します。

感度-低

原稿の異常なたわみを検知するレベルを低くします。
原稿の異常なたわみが大きいときだけ検知する場合に指定します。

通常

最適なレベルで原稿の異常なたわみを検知します。
工場出荷設定です。

感度-高

原稿の異常なたわみを検知するレベルを高くします。
原稿の異常なたわみが小さくても検知する場合に指定します。

> **ヒント**
> 原稿の異常なたわみをより早く検知し、読み取りを中止させたいときは、「感度-高」を選択してください。

- 「原稿のつまり音」の検知レベルを選択します。

感度-低

原稿がつまる音を検知するレベルを低くします。
原稿がつまる音が大きいときだけ検知する場合に指定します。

通常

最適なレベルで原稿がつまる音を検知します。
工場出荷設定です。

感度-高

原稿がつまる音を検知するレベルを高くします。
原稿がつまる音が小さくても検知する場合に指定します。

ヒント

- 原稿がつまる音をより早く検知し、読み取りを中止させたいときは、「感度-高」を選択してください。
- 原稿保護機能によって、読み取りが頻繁に中止される場合は、「感度-低」を選択してください。
- 操作パネルでも設定できます。

インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿の読み取り設定（自動原稿サイズ検出(後端調整)）

仕切り用インデックス/インデックスシールが貼り付けてある原稿（インデックスタブ付き原稿）または非矩形原稿の場合、スキャナーが検知した後端よりも長く読み取って画像が切れないようにする設定をします。インデックスタブ付き原稿を読み取る場合は、仕切り用インデックス/インデックスシールが貼り付けてある部分が後端になるようにセットしてください。

➡ インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法 (87 ページ)

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「自動原稿サイズ検出(後端調整)」をクリックします。

3 原稿の形状を選択します。

矩形

原稿の後端を検出すると、読み取りを終了します。
工場出荷設定です。

インデックスタブ付き

検出した原稿の後端から、最大 35mm 長く読み取ります。

非矩形

検出した原稿の後端から、最大 120mm 長く読み取ります。

重要

インデックスタブ付き原稿または非矩形原稿を選択した場合、読み取り速度が低下します。

ピック圧の調整（ピック圧設定）

給紙時のピック圧を設定します。
薄い紙を給紙する場合や、給紙時になかなか給紙されず、何度もピックローラが回転してから給紙される原稿の場合に、ピック圧を調整して読み取れます。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「ピック圧設定」をクリックします。**

3 **給紙時のピック圧を設定します。**

弱い

薄い紙の場合に選択します。
比較的に薄い紙を読み取る場合に有効です。
薄い紙でも搬送できるようになります。ただし、推奨されていない原稿を搬送する場合は、事前に読み取れるかどうかを同質の原稿で確認してください。
厚い紙を読み取ると、なかなか給紙されずに、何度もピックローラが回転するおそれがあります。

通常

通常のピック圧です。通常は、この設定で使用してください。
工場出荷設定です。

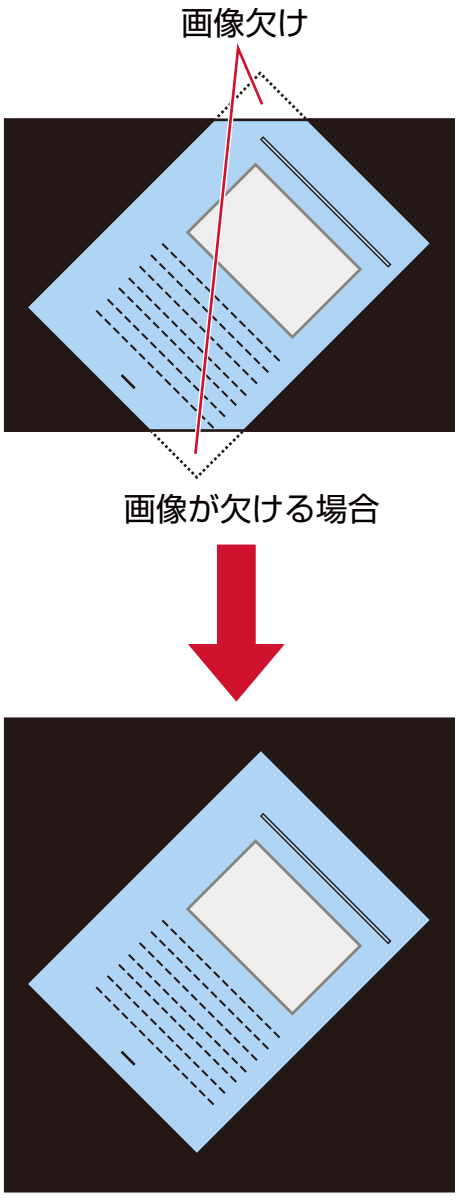
強い

厚い紙やカールした紙の場合に選択します。
比較的に厚い紙を読み取る場合に有効です。
ピックローラの搬送力が強くなり、給紙されにくい原稿もすばやく給紙できます。
薄い紙を読み取ると、原稿づまりが発生するおそれがあります。

ヒント
操作パネルでも設定できます。

原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する設定（オーバースキャン読み取り制御）

原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する場合に設定します。
オーバースキャン読み取り制御を「拡大」に設定すると、原稿が傾いて搬送されたときに、自動的に読み取り範囲を大きくして画像欠けを防止します。



「拡大」を設定した場合

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「オーバースキャン読み取り制御」をクリックします。**

3 **「拡大」を選択します。**

工場出荷設定：通常

ヒント

- 読み取り可能な原稿の最大サイズを指定して読み取ることを推奨します。
- 操作パネルでも設定できます。

高地で読み取る機能の設定（高地モード）

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
高地では気圧が低いため、超音波センサーによる原稿の重なりを検出する精度が低下する場合があります。
高地モードを「有効」に設定すると、原稿の重なりを検出する精度が向上します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「高地モード」をクリックします。**

3 **「有効」を選択します。**
工場出荷設定：無効

読み取るときの画質の設定（画質モード）

fi-7700/fi-7600/fi-7700S で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「画質モード」をクリックします。**

3 **fi-7700/fi-7600/fi-7700S の画質に近づけるか、近づけないかを選択します。**
工場出荷設定：無効

原稿保護機能の設定（低速搬送モード）

原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る設定をします。
低解像度（400dpi 未満）を指定して読み取る場合に、読み取り解像度の設定に関係なく、遅い速度で読み取るようになります。ゆっくり読み取るため、長尺帳票を読み取る場合に効果があります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「低速搬送モード」をクリックします。**

3 **原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る場合は、「有効」を選択します。**
工場出荷設定：無効

ヒント
操作パネルでも設定できます。

原稿排出速度の設定（排紙制御）

原稿を排出するときの排出速度が遅くなるように制御し、読み取った原稿の散らばりを防ぎます。
サイズの異なる原稿を読み取る場合に効果があります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「排紙制御」をクリックします。**

3 **読み取った原稿の散らばりを防ぎたい場合は、「有効」を選択します。**
ただし、原稿を排出するときの排出速度が遅くなるように制御するため、読み取り速度が低下します。
工場出荷設定：無効

ヒント
操作パネルでも設定できます。

原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定

原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）

マルチフィードとは、一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。
原稿を読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。
原稿の重なりを検出すると、エラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、搬送方向で、原稿の先端から約 30mm の範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

重要

手差し・単送モードの場合は、原稿の重なりを検出しません。
手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。このため、原稿の重なりを検出する設定にしても、原稿の重なりは検出されません。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。**

3 **検出方法を選択します。**

無効

原稿の重なりを検出しません。

重なりを検出(超音波)

超音波センサーで原稿の重なりを検出します。
この設定をした場合、さらに次の 2 つの検出オプションを指定できます。

- 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
  原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） (300 ページ)を参照して、指定します。
- 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。
  決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (156 ページ)を参照して、指定します。

工場出荷設定です。

長さの違いを検出

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出します。
同じ長さの原稿を読み取る場合に設定してください。

重要

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

重なりと長さの違いを検出

「重なりを検出(超音波)」と「長さの違いを検出」によって、原稿の重なりを検出します。
この設定をした場合、さらに次の 2 つの検出オプションを指定できます。

- 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
  原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） (300 ページ)を参照して、指定します。
- 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。
  決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (156 ページ)を参照して、指定します。

重要

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

長さ

「長さの違いを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。
重なりと判断する原稿の長さの差を設定します。
原稿の長さの差が設定した長さよりも長い場合に、長さの違いによる重なりを検出します。
選択された長さ以下は、誤差とみなされて、原稿の重なりを検出しません。
工場出荷設定：10

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択してください。
- 「重なりを検出(超音波)」を選択した場合に、付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある部分の重なりを検出することがあります。
  重なりを検出しないようにするには、次のどれかを設定します。
  - 「長さの違いを検出」を選択する
  - 「マルチフィード原稿チェック領域指定」で、紙片が貼り付けてある部分を検出しないように設定する
  - 「インテリジェントマルチフィード設定」で、「自動モード 1」または「自動モード 2」を設定する

ヒント

- 次の場合、原稿の重なりを検出しません。
  - スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしている場合
  - 手差し・単送モードの場合
- スキャナードライバーでも設定できます。
  この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定）

原稿の重なりを検出しない範囲または検出する範囲を設定します。
「マルチフィード」に「重なりを検出(超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

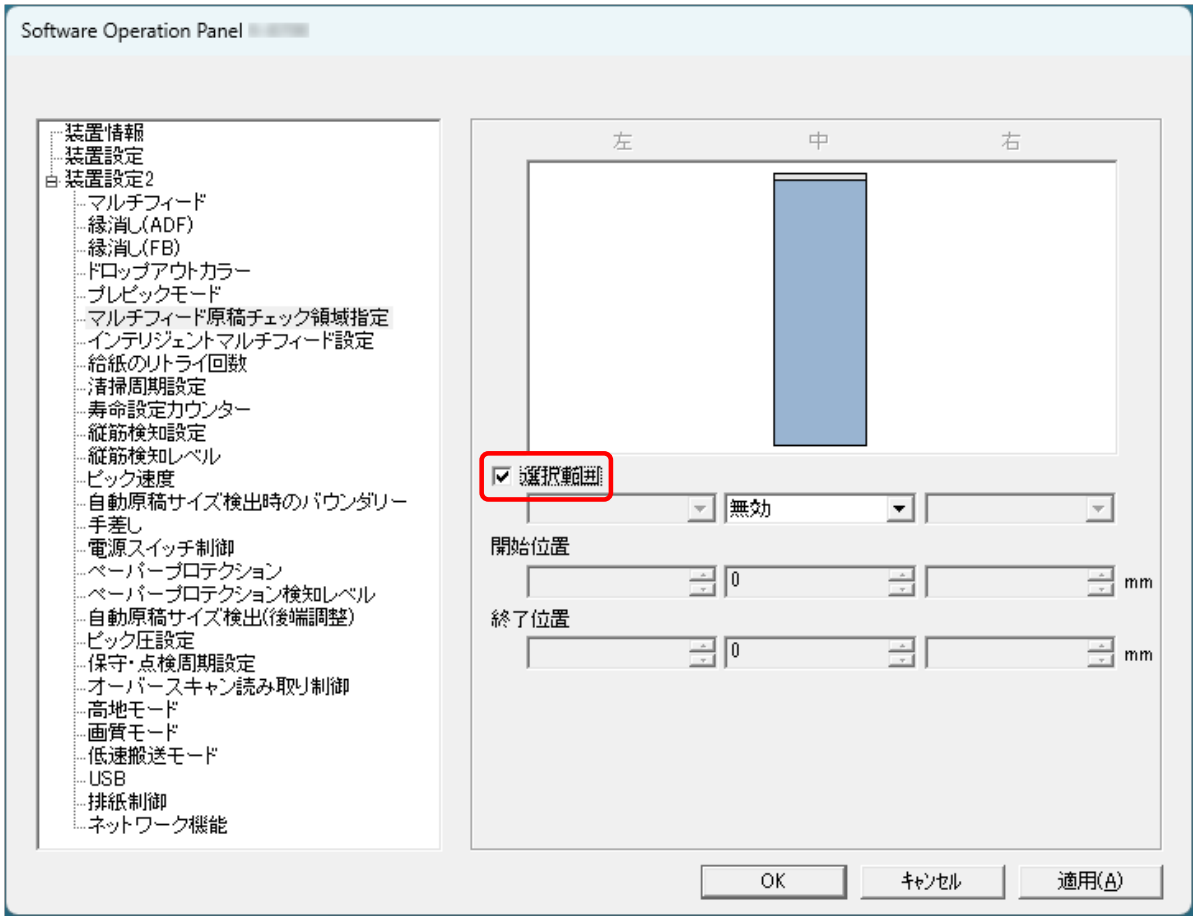
1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。

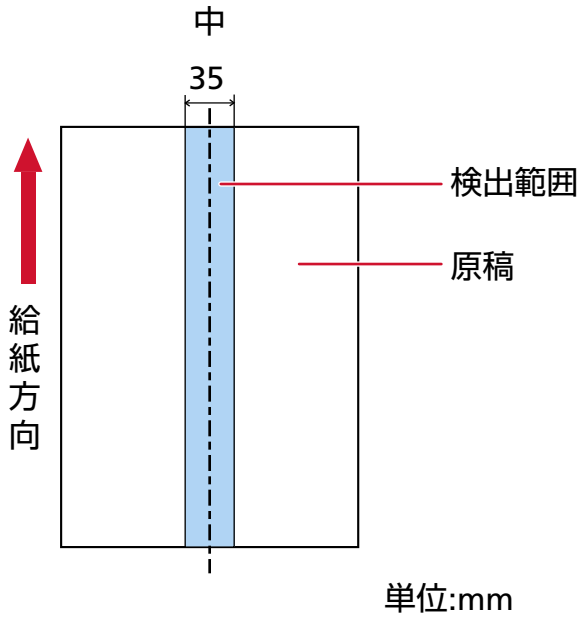
3 検出範囲を設定します。

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けます。



「選択範囲」チェックボックス

次の図にある水色の検出範囲を指定する場合にチェックを付けます。



工場出荷設定はチェックが外れています。
チェックが外れていると、開始位置=0 終了位置=0 となり、全範囲について原稿の重なりを検出します。
この条件は、原稿がピックローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。
搬送方向で、原稿の先端から約 30mm の範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

無効（中）

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けた場合に選択できます。
指定した範囲の重なりを検出しません。
工場出荷設定です。

有効（中）

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けた場合に選択できます。
指定した範囲の重なりを検出します。

開始位置（中）

搬送方向に、検出範囲の開始位置を、原稿の先端からの長さで指定します。
設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置
工場出荷設定：0

終了位置（中）

搬送方向に、検出範囲の終了位置を、原稿の先端からの長さで指定します。
設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置
工場出荷設定：0

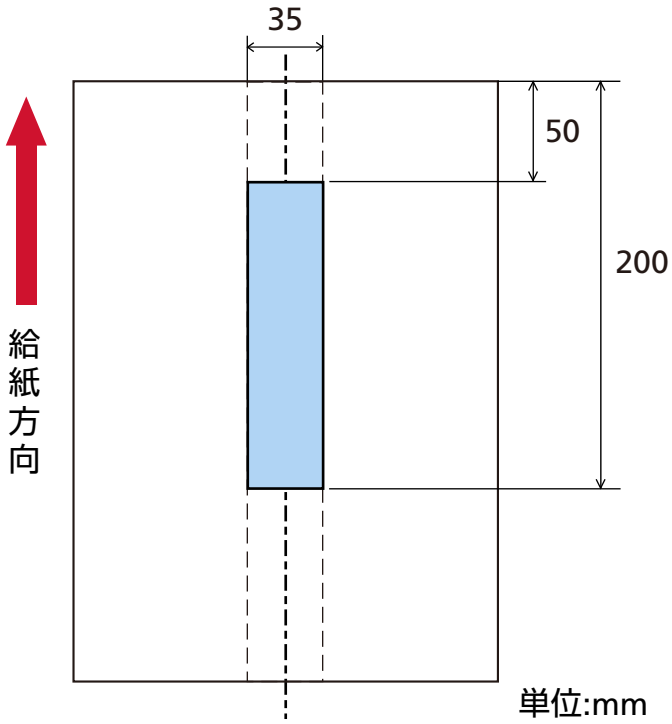
ヒント

- 開始位置=0、終了位置=0 に設定した場合は、「選択範囲」の設定に関係なく、原稿の全範囲で重なりを検出します。
- 原稿の全範囲で重なりの検出を無効にしたい場合は、「選択範囲」で「無効」を選択し、開始位置=0、終了位置 ≧ 原稿の長さを設定してください。
- 開始位置を原稿の長さを超えた位置に設定すると、「選択範囲」が「無効」の場合は全範囲で重なりを検出し、「選択範囲」が「有効」の場合は全範囲で重なりの検出を無効にします。
- 原稿の重なりを検出するには、範囲の長さが 5mm 以上必要です。
  範囲を指定する場合は、終了位置 – 開始位置 ≧ 6mm になるように指定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定できます。
  - 検出範囲を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
  - 検出範囲を示す画面上で、開始位置/終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。
- 原稿の重なりを検出する範囲の設定例は、原稿の重なりを検出する範囲の設定例 (303 ページ)を参照してください。

■ 原稿の重なりを検出する範囲の設定例

設定例 1

次の場合の設定例について説明します。
検出範囲：有効領域を指定、開始位置：50mm、終了位置：200mm

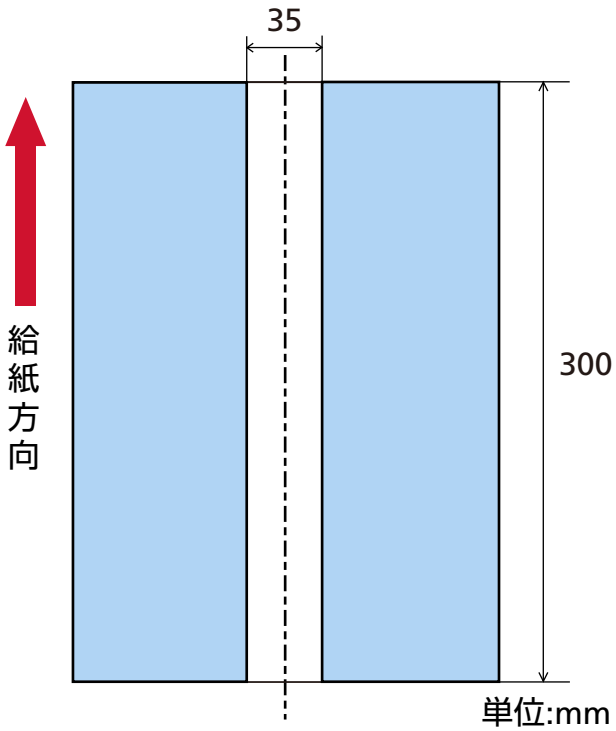


水色の範囲内だけ原稿の重なりを検出します。

設定例 2

次の場合の設定例について説明します。

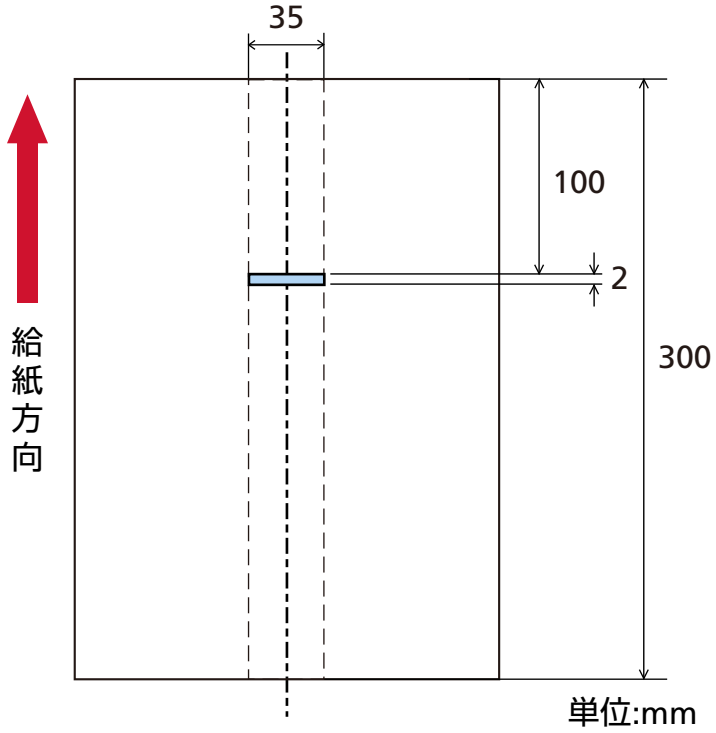
検出範囲：無効領域を指定、開始位置：0mm、終了位置：300mm



水色の範囲内だけ原稿の重なりを検出します。

設定例 3（悪い例）

次の場合の設定例について説明します。
検出範囲：有効領域を指定、開始位置：100mm、終了位置：102mm



検出範囲（長さ）が 5mm に満たないため、原稿の重なりを正しく検出できません。

決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）

原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。
この設定を行うには、事前に、スキャナードライバーおよび Software Operation Panel の原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） (298 ページ)で、「重なりを検出(超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定しておく必要があります。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「インテリジェントマルチフィード設定」をクリックします。

3 動作モードを選択します。

手動モード

重なりが検出された原稿を再度読み取るときだけ、重なりを検出するか、検出しないかを指定できます。
原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。
重なりが検出された時点で、読み取りが中止されます。
ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
工場出荷設定です。

自動モード 1

重なりが検出された原稿に貼ってある紙片の長さと位置を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。
重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ重なりパターンの原稿は、重なりを検出しません。
重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
重なりパターンは、最大で 8 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。
8 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン設定」に従います。

➡ 決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (306 ページ)

ヒント

原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶させたあと、再度読み取って 5 個目以降を記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。
同じ原稿を 2 度読み取っているため、結果的には原稿を 2 枚記憶したことになります。

自動モード 2

重なりが検出された原稿に貼ってある最も長い紙片を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。
重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ長さかそれよりも短い紙片が貼ってある原稿は、重なりを検出しません。
重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

「重なりパターンのクリア」チェックボックス

自動モードで記憶した重なりパターンをクリアする場合にチェックを付けます。
チェックを付けると、自動モードで記憶した重なりパターンをクリアできます。
誤って記憶された重なりパターンを消去できますが、記憶している重なりパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。
工場出荷設定はチェックが外れています。

「重なりパターンを記憶する」チェックボックス

自動モード 1 または自動モード 2 の場合、重なりが検出されたときに、重なりパターンの記憶機能を有効にするか無効にするかを手動で切り替えます。
このときのデフォルトを有効にする場合にチェックを付けます。
工場出荷設定はチェックが外れています。
重なりパターンの記憶機能については、決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき(156 ページ)を参照しください。

電源切断時の重なりパターン設定

電源を切断するときに、重なりパターンを記憶するか、記憶しないかを指定できます。
「記憶する」を指定すると、自動モード 1 で記憶した最新の重なりパターン（原稿 8 枚分）、および自動モード 2 の重なりパターン 1 個を、次に電源を投入したときに使用できます。
工場出荷設定：記憶しない

ヒント

操作パネルでも設定できます。

待機時間に関する設定

省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

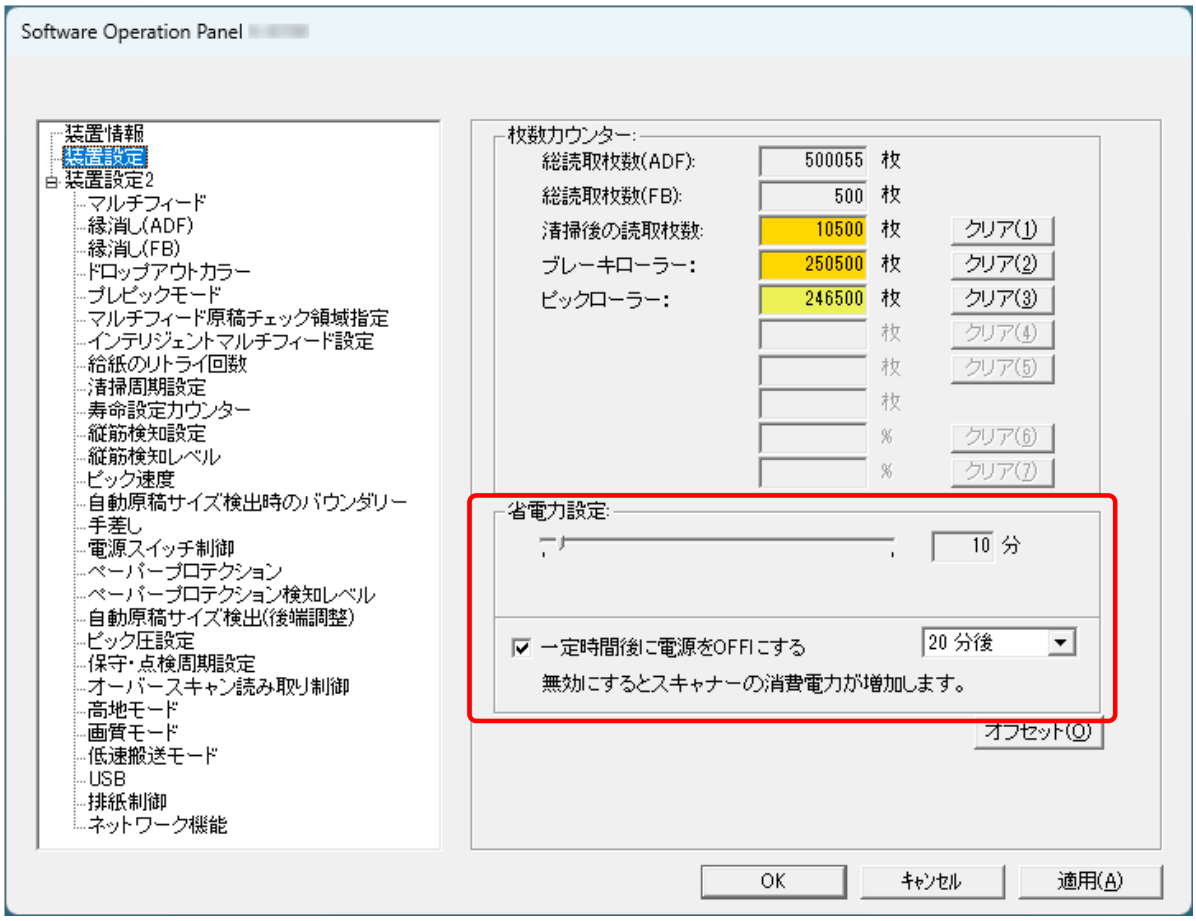
省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面のリストから「装置設定」をクリックします。**

3 **省電力モードの待機時間を設定します。**



省電力設定

省電力状態に移行するまでの時間を、スライダーを使って、5～115 分の範囲で設定（5 分刻みで設定）します。
工場出荷設定：10

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックス

自動でスキャナーの電源を切断する場合にチェックを付けます。
チェックを付けると、スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しなかったときに、自動でスキャナーの電源が切断されます。

工場出荷設定はチェックが付いています。
自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間は、ドロップダウンリストから選択します。
工場出荷設定：20 分後

ヒント

- 「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナーの電力消費量が増加します。
- 操作パネルでも設定できます。

手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し）

読み取りを開始したあとに、繰り返し原稿をセットして読み取りを継続したいときに設定します。
原稿をセットするまでの待機時間を設定しておくと、読み取りを開始したあとや原稿の搬送が完了したあと、設定した待機時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
設定した待機時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、継続して読み取りができます。
設定した待機時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「手差し」をクリックします。

3 「タイムアウト時間」を設定します。

「タイムアウト時間」は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされていないと判断するまでの時間（最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間）です。
工場出荷設定：10 秒

- 複数枚の原稿を、手差しで連続して読み取るとき

  a 「連送モード」を「有効」にして、手差し・連送モードに切り替えます。
  工場出荷設定：無効

  b 「タイムアウト時間」を選択します。

- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、手差しで 1 枚ずつ読み取るとき

  a 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えます。

  b 「タイムアウト時間」を選択します。

ヒント

- 手差し・連送モードまたは手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
  タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
  すぐに読み取りを終了する場合は、［Scan/Enter］ボタンまたは［Stop/Clear］ボタンを押します。
  なお、原稿を搬送中に［Stop/Clear］ボタンを押しても読み取りを中止できません。
- 操作パネルでも設定できます。

スキャナーとコンピューターの接続に関する設定

USB 動作の設定（USB）

コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。
スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。
設定を変更するとスキャナーが再起動します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「USB」をクリックします。**

3 **USB の動作を設定します。**

自動

接続環境に従って動作します。工場出荷設定です。

USB 2.0

USB 2.0 で動作します。

ヒント

操作パネルでも設定できます。

USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能）

スキャナーの工場出荷設定では、USB 接続と有線 LAN 接続の両方でスキャナーを使用できます。
次に示す理由から USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に、有線 LAN 接続を無効にする設定をします。

- 消費電力を抑えたい
- セキュリティを強化したい
- 「USB-電源連動モード」で運用したい

➡ 電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御） (313 ページ)

スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。
設定を変更するとスキャナーが再起動します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「ネットワーク機能」をクリックします。**
ネットワーク機能は、スキャナーを USB ケーブルで接続している場合に表示されます。

3 **「無効」を選択します。**
工場出荷設定：有効

電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定

電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）

スキャナーの電源の投入/切断に関する設定をします。
スキャナーの［Power］ボタンのほかに、スキャナーの電源を投入/切断する方法を設定します。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「電源スイッチ制御」をクリックします。

3 スキャナーの電源の投入/切断方法を選択します。

電源スイッチ有効モード

スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断します。
工場出荷設定です。

電源スイッチ無効モード

コンピューターの電源に合わせて、スキャナーなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用する場合に選択します。
スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断しません。

> **重要**
> Software Operation Panel の「装置設定」の「一定時間後に電源を OFF にする」の設定は無効になります。

USB-電源連動モード

Software Operation Panel の「装置設定 2」の「ネットワーク機能」が「無効」の場合に有効になります。
スキャナーの［Power］ボタンのほかに、次の操作と連動して、スキャナーの電源を投入または切断できるようにするかどうかを設定します。

- コンピューターの電源を投入または切断する
- USB ケーブルを抜き差しする

> **重要**
> - 「USB-電源連動モード」を選択している場合、電源スイッチは常に有効です。
> - コンピューターや USB ハブの種類によって、コンピューターの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。
>   そのような環境では、「USB-電源連動モード」が正しく機能しない場合があります。

ヒント

「電源スイッチ無効モード」を設定すると、スキャナーの電力消費量が増加します。

スキャナーの保守に関する設定

縦筋を検知する機能の設定（縦筋検知設定）

ガラスのよごれを検知する設定ができます。
ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。
縦筋を検知する設定を「有効」にすると、ADF での読み取り画像に縦筋が発生する可能性がある場合に、次のタイミングでメッセージが通知されます。

- ADF を開閉したとき
- 読み取りを終了したとき
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしたとき
- 省電力モードから復帰したとき

メッセージは次のように通知されます。

- 液晶ディスプレイにMenuが点滅表示されます。
  このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「ガラス清掃」が点滅表示されます。
  縦筋の発生を防ぐために、インフォメーションを確認して、ガラスを清掃してください。
  インフォメーションの確認方法は、インフォメーションの確認 (111 ページ)を参照してください。
- スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide にメッセージが通知されます。
  縦筋の発生を防ぐために、メッセージを確認して、ガラスを清掃してください。

清掃方法は、日常のお手入れ (163 ページ)を参照してください。

1 **Software Operation Panel を起動します。**

   ➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「縦筋検知設定」をクリックします。**

3 **「有効」を選択します。**
   工場出荷設定：無効

> **ヒント**
>
> - ガラスのよごれを通知する機能は、必ずしもすべてのよごれを通知するものではありません。画像に縦線（縦筋）が発生する場合は、画像に縦線（縦筋）が出る (241 ページ)を参照して対処してください。
> - 操作パネルでも設定できます。

縦筋を検知する機能の感度設定（縦筋検知レベル）

「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれを検知するレベルを設定します。
ガラスのよごれ具合に応じて、検知するレベルの感度を変更します。

1 Software Operation Panel を起動します。

➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「縦筋検知レベル」をクリックします。

3 ガラスのよごれの検知レベルを選択します。

感度-低

ガラスのよごれを検知するレベルの感度を低くします。
ガラスのよごれがひどい場合だけ検知したいときに設定します。

通常

最適なレベルの感度でガラスのよごれを検知します。
工場出荷設定です。

感度-高

ガラスのよごれを検知するレベルの感度を高くします。
ガラスのよごれが少なくても検知したいときに設定します。

ヒント

- 「読み取り可能」画面の 2 行目に「ガラス清掃」が頻繁に点滅表示される場合は、「感度-低」を選択してください。
- 操作パネルでも設定できます。

スキャナーの保守・点検周期の設定（保守・点検周期設定）

サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。

保守・点検を実施した日から、周期に設定した期間が経過したときに、液晶ディスプレイにが点滅表示されます。
このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「定期保守」が点滅表示されます。
インフォメーションを確認しサービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検を行ってください。
インフォメーションの確認方法は、インフォメーションの確認 (111 ページ)を参照してください。
サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検方法は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (364 ページ)）にお問い合わせください。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   ➡ Software Operation Panel の起動 (253 ページ)
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「保守・点検周期設定」をクリックします。**
3. **保守・点検の時期が近づいたときに、液晶ディスプレイにメッセージを通知する場合は、「有効」を選択します。**
   工場出荷設定：無効
4. **メッセージを通知する周期を選択します。**
   工場出荷設定：12 ヶ月

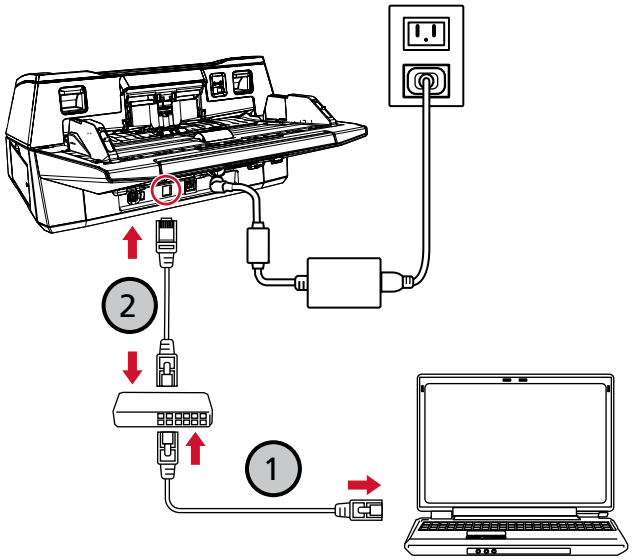
ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）

ここでは、fi Series ネットワーク設定を使ったネットワークの設定方法について説明します。
fi Series ネットワーク設定を使用すると、コンピューターのブラウザーで、スキャナーのネットワークの設定ができます。

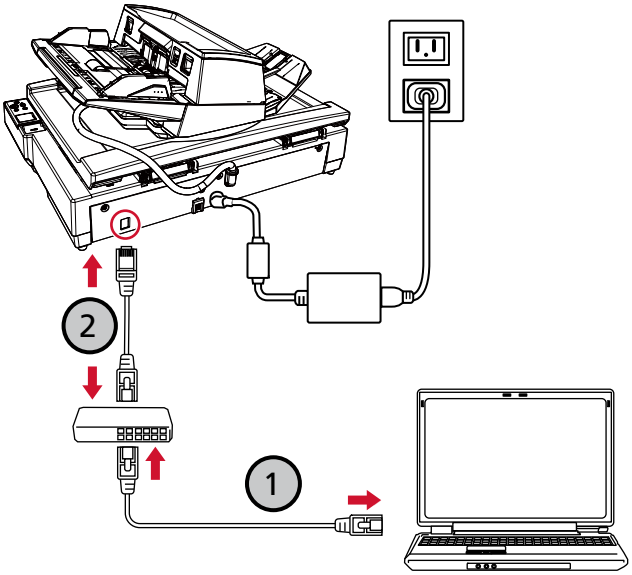
fi Series ネットワーク設定の起動

1 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。

- fi-8600



- fi-8700/fi-8700S



a **コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（①）。**
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b **スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。**

2 スキャナーの IP アドレスを確認します。
IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。
IP アドレス設定ツールの起動方法は、IP アドレス設定ツールの起動方法 (354 ページ)を参照してください。

3 スキャナーがネットワークに接続していることを確認します。
➡ スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 (347 ページ)

4 コンピューターでブラウザーを起動して、URL 入力域に次の URL を入力してスキャナーに接続します。
スキャナーの IP アドレスまたは FQDN

例

IPv4 アドレス
xxx.xxx.xxx.xxx/（xxx は、0～255 の値）

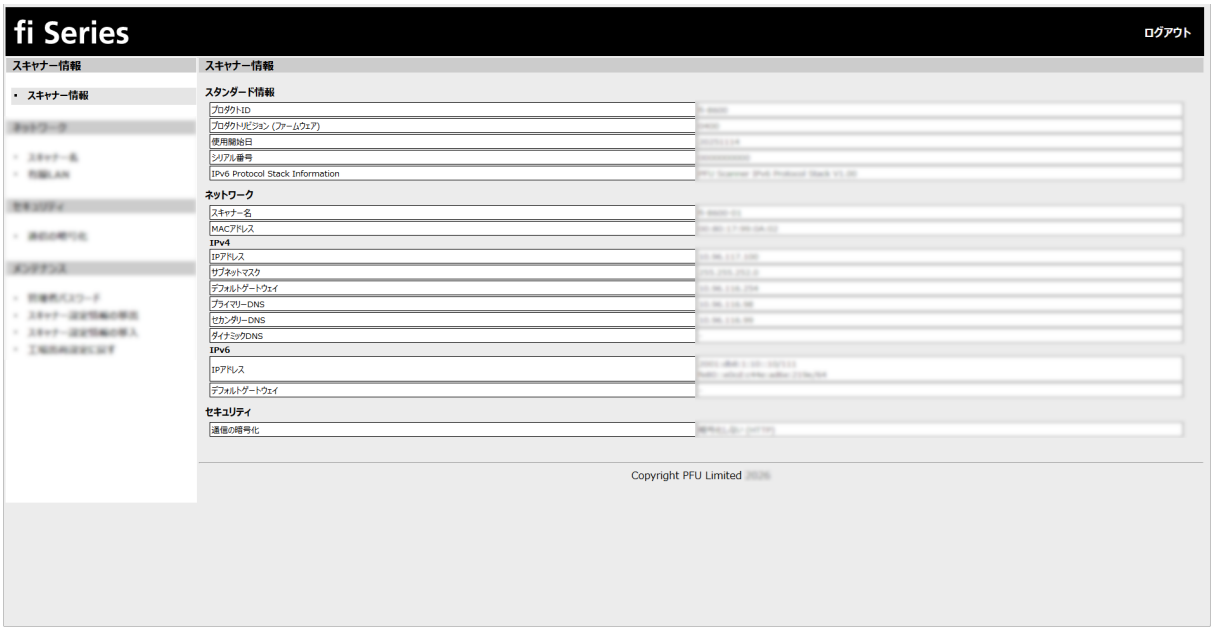
例

IPv6 アドレスの場合
[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx]/（xxxx は、0～ffff の値）

5 管理者パスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。
管理者パスワードの詳細は、管理者パスワード (328 ページ)を参照してください。
fi Series ネットワーク設定の画面が表示されます。

6 各メニューをクリックして設定します。
➡ スキャナー情報 (323 ページ)
➡ ネットワーク (324 ページ)
➡ セキュリティ (327 ページ)

➡ メンテナンス (328 ページ)



重要

画面を正常に動作させるには、ブラウザーの設定で、次のような設定になっていることを確認してください。

- Cookie が有効
- JavaScript が有効

設定項目

ここでは、fi Series ネットワーク設定の画面で設定できる項目を一覧で示します。

重要

fi Series ネットワーク設定を使用するには、管理者パスワードが必要です。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルで確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (251 ページ)を参照してください。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。
管理者パスワードは、「メンテナンス」の「管理者パスワード」で表示される画面で設定できます。

- **スキャナー情報**

設定項目	説明
スキャナー情報 (323 ページ)	スキャナー本体の情報や設定内容が表示されます。

- **ネットワーク**

設定項目	説明
スキャナー名 (324 ページ)	スキャナーの名前を設定します。
有線 LAN (325 ページ)	スキャナーに IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを設定します。 **重要** 次の設定項目は IPv6 に対応していません。 ● DNS サーバー ●「ダイナミック DNS を有効にする」チェックボックス

- **セキュリティ**

設定項目	説明
通信の暗号化 (327 ページ)	ネットワークの通信データを暗号化するかどうかを設定します。

- **メンテナンス**

設定項目	説明
管理者パスワード (328 ページ)	管理者パスワードを変更します。
スキャナー設定情報の移出 (329 ページ)	スキャナーの設定情報をファイルに移出します。

設定項目	説明
スキャナー設定情報の移入 (330 ページ)	スキャナーの設定情報を移入します。
工場出荷設定に戻す (331 ページ)	スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。
ライセンス (332 ページ)	ライセンス情報が表示されます。

スキャナー情報

スキャナー情報

スキャナー本体の情報や設定内容が表示されます。
「スキャナー情報」→「スキャナー情報」をクリックして画面を表示します。

ネットワーク

スキャナー名

スキャナーの名前を設定します。
「ネットワーク」→「スキャナー名」をクリックして画面を表示します。

スキャナー名

スキャナー名を 64 文字以内で入力します。
スキャナー名に使用できる文字は、次のとおりです。

- 半角英数字
- 半角スペース
  先頭と末尾のスペースは削除されます。
- 半角記号
  -_

工場出荷設定：[fi-8600、fi-8700、または fi-8700S] - [スキャナーのシリアル番号]

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

ヒント

- スキャナーのシリアル番号は装置ラベルで確認できます。
  ➡ 装置ラベルの確認 (251 ページ)
- 「ダイナミック DNS を有効にする」チェックボックスにチェックを付ける場合は、スキャナー名を 63 文字以内で入力します。
  ダイナミック DNS の詳細は、有線 LAN (325 ページ)を参照してください。
  また、スキャナー名を DNS サーバーに登録するときに、次の半角文字は「-」に変換されるため、使用しないことを推奨します。
  - アンダースコア（_）
  - スペース

有線 LAN

スキャナーに IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを設定します。
「ネットワーク」→「有線 LAN」をクリックして画面を表示します。

IPv4 構成

スキャナーの IPv4 アドレスを設定します。
工場出荷設定：自動
「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

DNS サーバー

DNS サーバーを設定します。
工場出荷設定：自動
「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。

- プライマリー DNS
- セカンダリー DNS

重要

IPv6 アドレスはサポートしていません。

IPv6 構成

スキャナーの IPv6 アドレスを設定します。
工場出荷設定：自動
「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。

- 「RA パケットを受信する」チェックボックス
  自動生成された IPv6 アドレスを有効にしたい場合は、チェックボックスにチェックを付けます。
  自動生成された IPv6 アドレスは、スキャナー情報の画面で確認できます。
  工場出荷設定はチェックが付いています。
- IP アドレス

重要

次の IPv6 アドレスは、手動で設定できません。

- ループバックアドレス
- リンクローカルアドレス
- サイトローカルアドレス
- マルチキャストアドレス
- IPv4 互換アドレス

- IPv4 射影アドレス
- 2001:0000 で始まるアドレス
- 2002 で始まるアドレス
- 3FFE で始まるアドレス

- サブネットプレフィックス長
- デフォルトゲートウェイ

「ダイナミック DNS を有効にする」チェックボックス

スキャナーの IP アドレスを自動で取得する場合に設定します。
工場出荷設定はチェックが外れています。
チェックボックスにチェックを付けると、スキャナーがネットワークに接続したときに、DNS サーバーにスキャナー名（ホスト名）と IP アドレスを自動で登録します。
DNS サーバーに登録するスキャナー名（ホスト名）は、「スキャナー名」で設定できます。

➡ スキャナー名 (324 ページ)

ヒント

- DNS サーバーとしてプライマリー DNS が設定されている必要があります。
  セカンダリー DNS には対応していません。
- 「スキャナー名」に半角空白や"_"が含まれている場合は、該当文字を"-"に変換して、DNS サーバーに登録します。
  なお、DNS サーバーに登録できるホスト名は 63 文字までです。

重要

IPv6 アドレスはサポートしていません。

DNS サーバーにスキャナー名（ホスト名）が登録されている場合、DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスが変更されても、スキャナー選択ツールでスキャナー名（ホスト名）を指定してスキャナーを検索できます。
スキャナーの検索については、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。
スキャナー選択ツールの起動方法は、スキャナー選択ツールの起動方法 (353 ページ)を参照してください。

［スキャナーに反映］ボタン

設定した内容を反映します。

セキュリティ

通信の暗号化

ネットワークの通信データを暗号化するかどうかを設定します。
「セキュリティ」→「通信の暗号化」をクリックして画面を表示します。
工場出荷設定：暗号化しない (HTTP)

暗号化しない (HTTP)

読み取り速度を優先した転送方法です。

暗号化する (HTTPS)

セキュリティを優先した転送方法です。読み取り速度は遅くなります。

［スキャナーに反映］ボタン

設定した内容を反映します。

メンテナンス

管理者パスワード

管理者パスワードを変更します。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
管理者パスワードは、定期的に見直してください。
「メンテナンス」→「管理者パスワード」をクリックして画面を表示します。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルで確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (251 ページ)を参照してください。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを 16 文字以内で入力します。
新しいパスワードに使用できる文字は、次のとおりです。

- 半角英数字
- 半角スペース
- 半角記号

  -/:;()¥&@".,?!'#%^*+=_|~<>$[]`{}
- 発音区別符号

  èéêëÈÉÊËùúûüÙÚÛÜìíîïÌÍÎÏòóôõöœÒÓÔÕÖŒàáâãäæÀÁÂÃÄÆşŞğĞçÇ
  ßñÑ

先頭と末尾のスペースは削除されません。

確認パスワード

パスワードを変更する場合に、「新しいパスワード」に入力したパスワードを再度入力します。

「入力文字を表示する」チェックボックス

パスワードの文字を表示する場合は、チェックボックスにチェックを付けます。
工場出荷設定はチェックが外れています。

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

スキャナー設定情報の移出

スキャナーの設定情報をファイルに移出します。
「メンテナンス」→「スキャナー設定情報の移出」をクリックして画面を表示します。
スキャナー設定情報の用途は、次のとおりです。

- ほかのスキャナーに移入して、同じ設定を適用する

版数/識別名

スキャナーの設定情報を識別するための名前を、31 文字以内で入力します。
「版数/識別名」は、ファイル名に使用されます。
使用できない文字は、次のとおりです。

- 半角記号

  " */:<>?¥|~

［移出］ボタン

スキャナーの設定情報をファイルに移出します。
ファイルは、「版数/識別名」で入力した文字列を含むファイル名で出力されます。
例：ScannerSettings_［版数/識別名］.cab

関連項目

スキャナー設定情報の移出の留意事項 (352 ページ)

スキャナー設定情報の移入

スキャナーの設定情報を移入します。
「メンテナンス」→「スキャナー設定情報の移入」をクリックして画面を表示します。

［ファイル選択］ボタン

スキャナー設定情報の移出 (329 ページ)で出力したファイルを選択します。

［移入］ボタン

ファイルを選択した場合に有効になります。
スキャナーの設定情報を移入します。
スキャナーが再起動します。

工場出荷設定に戻す

スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。
「メンテナンス」→「工場出荷設定に戻す」をクリックして画面を表示します。

［工場出荷設定に戻す］ボタン

工場出荷設定に戻します。
スキャナーが再起動します。

ライセンス

ライセンス情報が表示されます。
「メンテナンス」→「ライセンス」をクリックして画面を表示します。

付録

スキャナー基本仕様

項目		仕様
スキャナータイプ		● fi-8600 ADF（自動給紙機構） ADF は、手差し（単送/連送）可能 ● fi-8700/fi-8700S ADF（自動給紙機構）＋フラットベッド ADF は、手差し（単送/連送）可能
イメージセンサー		● fi-8600 カラー CCD×2（表/裏） ● fi-8700 カラー CCD×3（表/裏/フラットベッド） ● fi-8700S カラー CCD×2（表/フラットベッド）
光源		● fi-8600 白色 LED×4（表/裏） ● fi-8700 白色 LED×6（表/裏/フラットベッド） ● fi-8700S 白色 LED×4（表/フラットベッド）
読み取り可能原稿サイズ（幅×長さ）	最小サイズ	50.8×69mm
	最大サイズ（*1）	● fi-8600 ADF：304.8×431.8mm（12×17 インチ） ● fi-8700/fi-8700S ADF：304.8×431.8mm（12×17 インチ） フラットベッド：304.8×457.2mm
原稿の厚さ（*2）		20～413g/m^2（17～355kg/連） A4/レターを超えるサイズは 27～413g/m^2（23～355kg/連） A8 サイズは 128～209g/m^2（110～180kg/連） プラスチックカードは 1.4mm 以下（エンボス付き可（ISO7810 ID-1 タイプ準拠））（*3）
ADF 読み取り速度（A4、横、300dpi）（*4）	バイナリー（二値白黒）	● fi-8600/fi-8700 片面 100 枚/分、両面 200 面/分 ● fi-8700S
	グレースケール	
	カラー	

項目		仕様
		片面 75 枚/分
フラットベッド読み取り速度（A4、縦、300dpi）（*4）	バイナリー（二値白黒）	● fi-8700/fi-8700S 0.9 秒/枚
	グレースケール	
	カラー	
原稿搭載容量（*5）		● A4 サイズ以下の場合 300 枚（厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿、原稿の総厚みが 30mm 以下） ● A4 を超えるサイズの場合 100 枚（厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿、原稿の総厚みが 10mm 以下）
光学解像度		600dpi
出力解像度	バイナリー（二値白黒）	50～600dpi（1dpi ごとに設定可能） 1200dpi はスキャナードライバーで設定可能
	グレースケール	
	カラー	
多値レベル		カラー：24bit グレースケール：8bit バイナリー（二値白黒）：1bit
読み取り階調		4,096 階調（12bit）
インターフェイス	USB	USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1（*6） タイプ B
	有線 LAN	IEEE802.3 Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45type8-pole connector
ネットワークプロトコル（有線 LAN）		TCP/IP(IPv4/IPv6)、DHCP、HTTP/HTTPS（*7）、DNS、DDNS、UDP
液晶ディスプレイ		表示形態：カラー 表示ドット数：16 表示行列：7 行×半角 16 文字

***1：**最大サイズの詳細は、原稿のサイズ (81 ページ)を参照してください。

***2：**記載している原稿の厚さは、ADF を使用して読み取る場合です。フラットベッドを使用して読み取る場合の原稿の厚さには、制限はありません。

***3：**プラスチックカードの詳細は、プラスチックカードの注意 (83 ページ)を参照してください。

***4：**読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
USB 接続したときと有線 LAN 接続したときの読み取り速度は同じです。
読み取り速度の測定環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 11
CPU	Intel® Core™ i3-13100 最大 4.5GHz
メモリー容量	8GB
ストレージ	SSD

***5：**最大枚数は原稿の厚さによって変わります。

➡ セットできる原稿の枚数 (85 ページ)

***6：**添付の USB ケーブルを使用してください。
USB ハブに接続する場合、必ずコンピューターの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。
USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0 に対応している必要があります。
また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

***7：**TLS 1.2/TLS 1.3 をサポートしています。

設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）（*1）		● fi-8600 236×432×214mm（*2） ● fi-8700/fi-8700S 706×500×345mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）（*3）		● fi-8600 1220×614×395mm ● fi-8700/fi-8700S 1285×815×704mm
質量		● fi-8600 11kg ● fi-8700/fi-8700S 35kg
入力電源	電圧範囲	AC100～240V ±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60Hz ±3Hz
消費電力	動作時	55W 以下
	省電力時	有線 LAN 接続時：2.6W 以下 USB 接続時：1.7W 以下
	電源切断時	0.3W 以下
操作環境	温度	動作時：5～35℃ 非使用時：-20～60℃
	湿度	動作時：15～80% 非使用時：8～95%
発熱量	動作時	47.3kcal/h 以下
	省電力時	有線 LAN 接続時：2.3kcal/h 以下 USB 接続時：1.5kcal/h 以下
	電源切断時	0.3kcal/h 以下
出荷時質量（*4）		● fi-8600 15kg ● fi-8700/fi-8700S 44kg
サポート期間		5 年

***1：**奥行き、高さは、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを除きます。また、突起部のサイズは含みません。

***2：**奥行きは、操作パネルを閉じた状態のサイズです。

***3：**設置スペースの値は、A3 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

***4：**梱包品を含めた質量です。

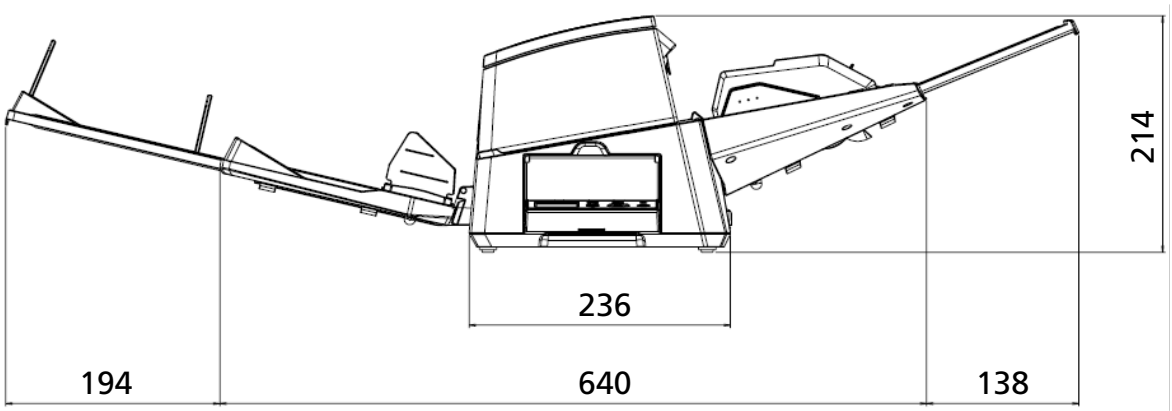
- **本製品の設置環境について**

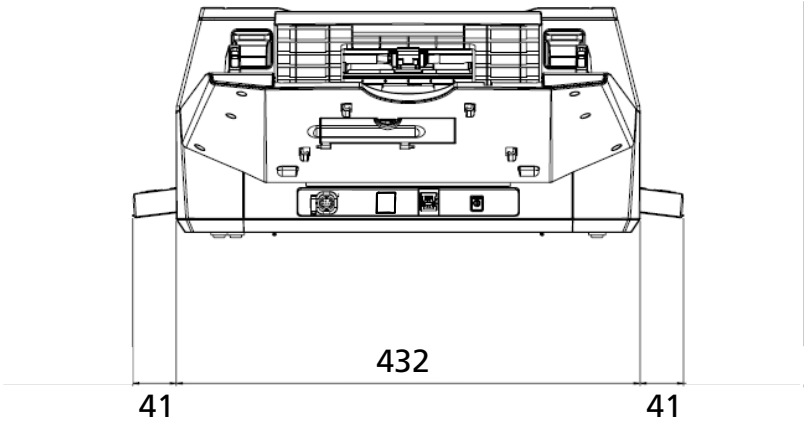
  お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置するか、仕切り等で区切られた場所へ設置することをお勧めします。

外形寸法

外形寸法は次のとおりです。

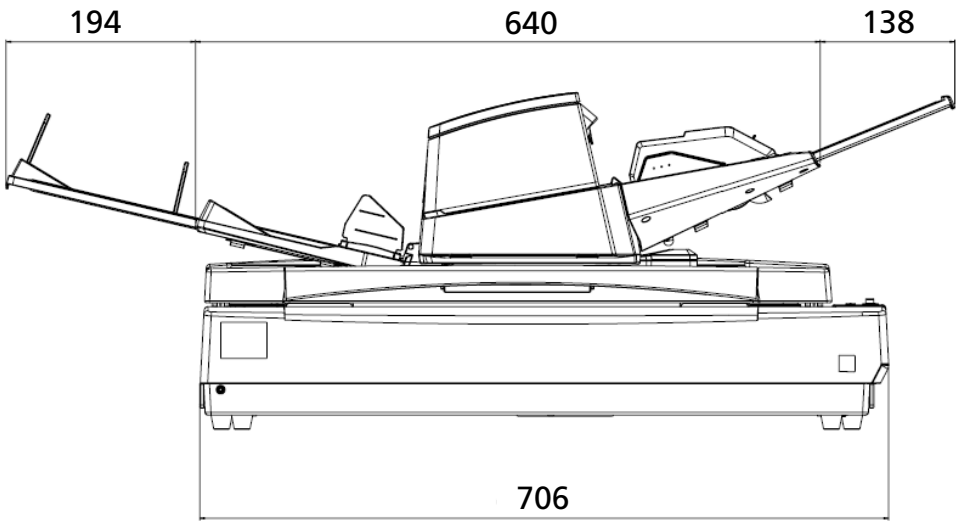
- **fi-8600**

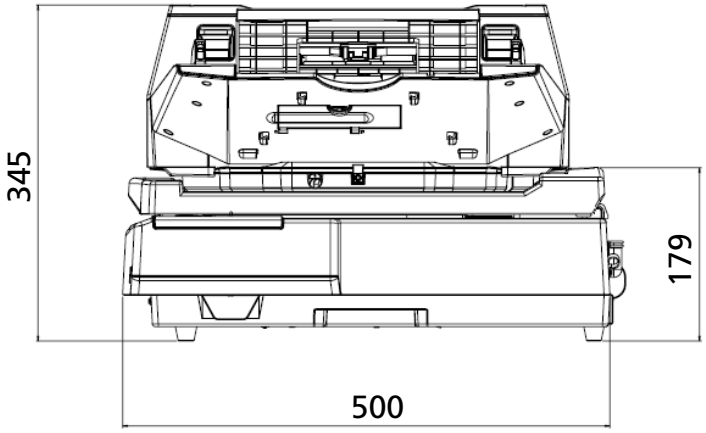




（単位：mm）

- **fi-8700/fi-8700S**

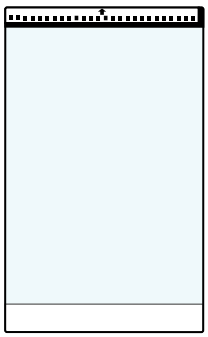




（単位：mm）

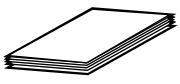
スキャナーのオプション

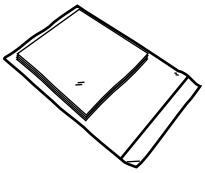
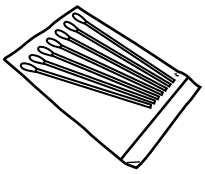
品名	型名	対応機種	説明
fi-760PRB	FI-760PRB	fi-8600	fi-760PRB は、読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印字するためのオプションです。 読み取った原稿の裏面に名前や日付、連番を印字して、原稿を管理できます。 詳細は、fi-760PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。
fi-575BK	FI-575BK	fi-8700/fi-8700S	フラットベッドで読み取るときの背景色を黒色にする原稿押さえパッド（黒色）です。 標準添付の原稿押さえパッド（白色）と交換して使用します。 次のような読み取りをする場合に使用します。 ● 原稿（白地）と同じサイズの画像を切り出す ● 複数の原稿（白地）を一度に読み取って原稿ごとに画像を切り出す
AC アダプター	FI-870ACA	全機種	スキャナーに電源を供給する電源装置です。
AC ケーブル	FI-770ACC	全機種	スキャナーに電源を供給するケーブルです。
USB ケーブル	FI-770USC	全機種	スキャナーとコンピューターを接続するケーブルです。
シューター	FI-770CHT	全機種	読み取る原稿をセットするための台です。 本書では、「ADF 給紙シュート（フィーダー）」と呼んでいます。
スタッカー	FI-870STC	全機種	排出された原稿が積み重ねられる台です。
スタッカーストッパー	FI-770STP	全機種	スタッカーに排出される原稿が、原稿の長さ方向にバラバラにならないようにするときに使用する部品です。 本書では、「ストッパー」と呼んでいます。

品名	型名	対応機種	説明
A3 キャリアシート 	FI-X15ES	全機種	A3 キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿や、切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取れます。 A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
ScanAid	FI-770SA	全機種	ScanAid は、スキャナーに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。 ScanAid を購入すると、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、ScanAid の梱包品 (341 ページ)を参照してください。

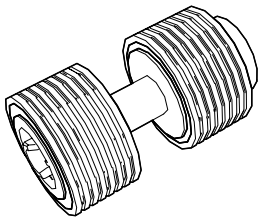
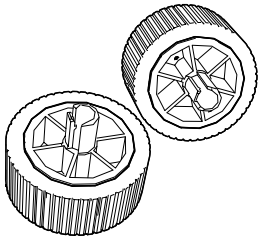
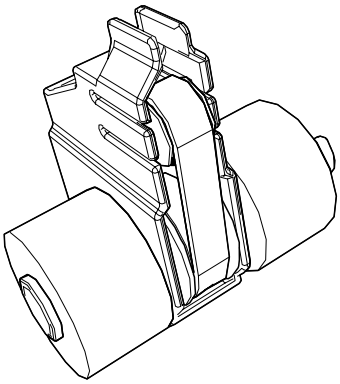
スキャナーのオプションの購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (365 ページ)にお問い合わせください。
スキャナーのオプションの詳細は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージングサービス & サポートセンター (364 ページ)にお問い合わせください。

- **ScanAid の梱包品**
  - 清掃用品

品名	備考
クリーナ F1（1 本） 	容量：50ml
クリーニングペーパー（1 パック） 	10 枚入り/1 パック

品名	備考
クリーニングクロス（1 パック） 	20 枚入り/1 パック
綿棒（1 パック） 	50 本入り/1 パック

- 消耗品

品名	備考
ブレーキローラ（1 個） 	250,000 枚ごとに交換
ピックローラ（1 組）  	250,000 枚ごとに交換

スキャナーのオプションの交換

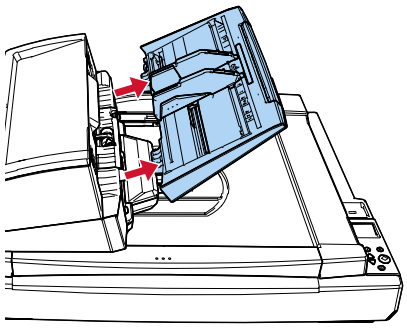
次のスキャナーのオプションを交換する手順について説明します。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）
- スタッカー
- ストッパー

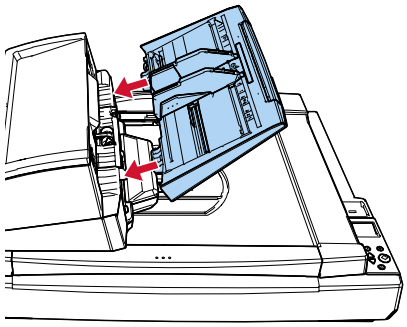
ADF 給紙シュート（フィーダー）の交換

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

2 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。
ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、矢印方向に取り外します。



3 新しい ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。
ADF にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、矢印方向に差し込んで取り付けます。
サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



重要
ADF 給紙シュート（フィーダー）は ADF との隙間がないようにしっかり差し込んでください。

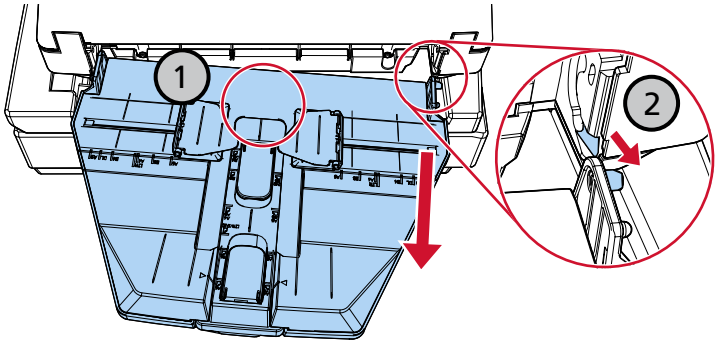
スタッカーの交換

1 スタッカーが下段になっているかを確認します。

➡ スタッカーの設定 (56 ページ)

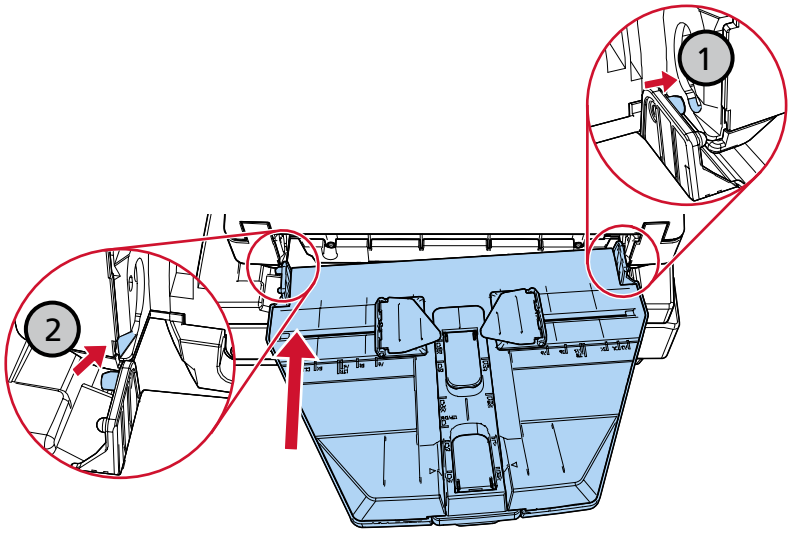
2 スタッカーをスキャナーから取り外します。

スタッカーの中央（①）を手で押さえ、スタッカーをたわませながら、スタッカーの右側を②の溝から矢印方向に引いて取り外します。



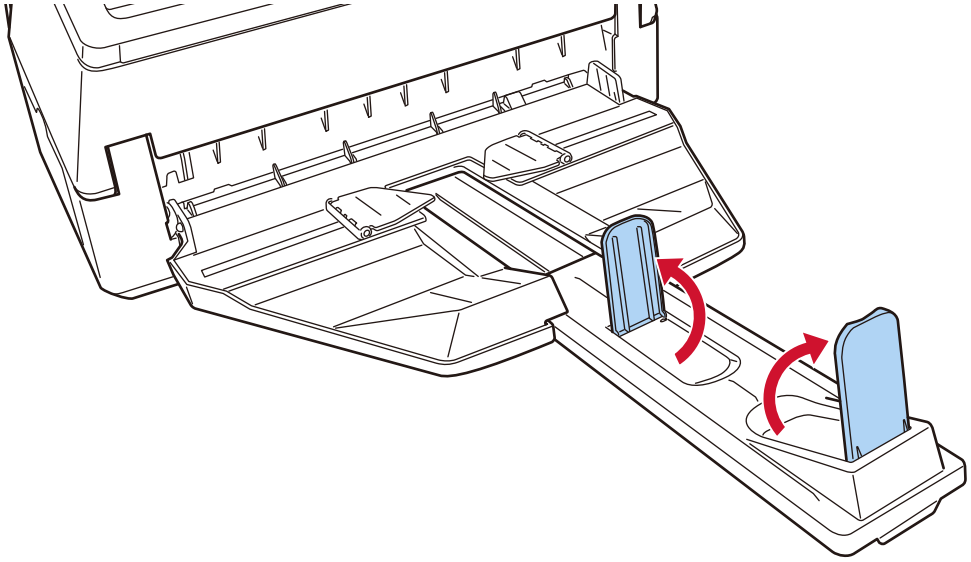
3 新しいスタッカーをスキャナーに取り付けます。

スタッカーの右側の突起を①の溝に差し込んでから、スタッカーの左側を②の溝に合わせて矢印方向に押し込みます。



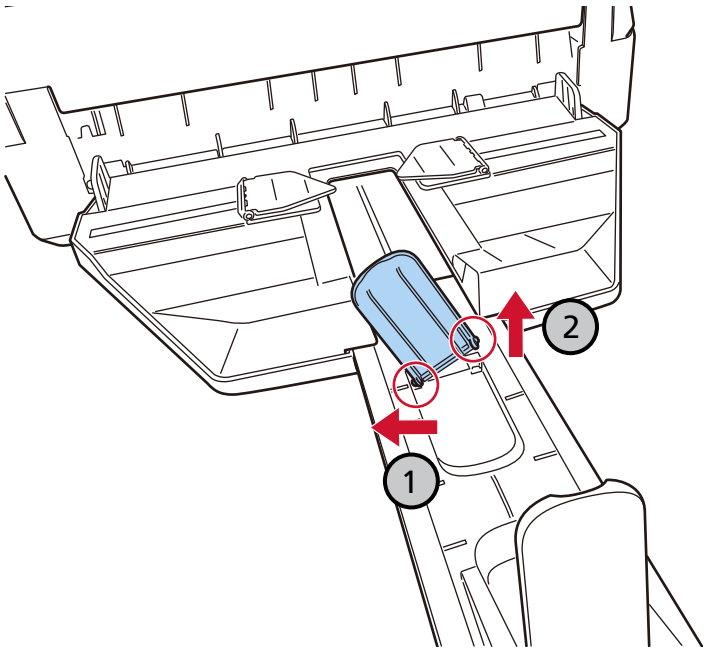
ストッパーの交換

1 スタッカーエクステンションを引き出し、ストッパーを起こします。



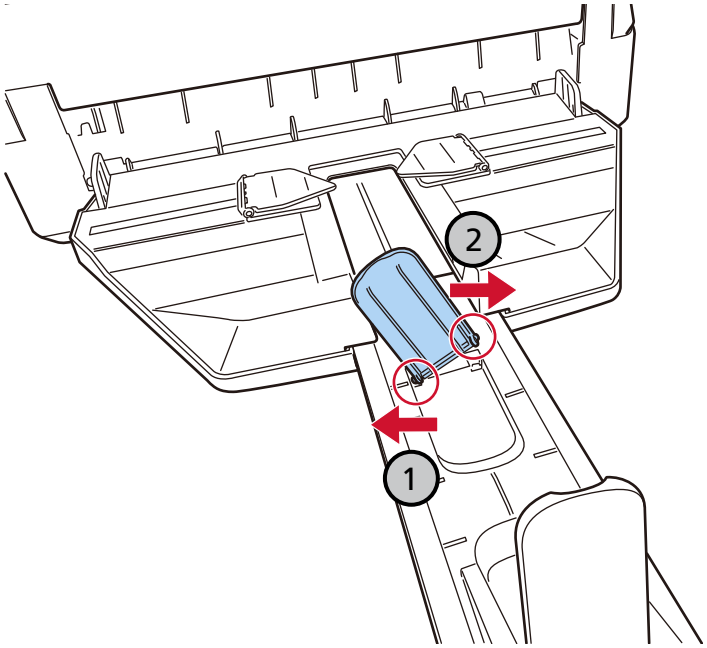
2 ストッパーをスキャナーから取り外します。

ストッパーの突起を①の矢印方向に押し込んで、反対側の突起を②の矢印方向に持ち上げるようにして取り外してください。



3 新しいストッパーをスキャナーに取り付けます。

ストッパーが取り付けられていた箇所にある穴に、ストッパーの片方の突起を①の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、②の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



4 もう 1 つのストッパーも同様の手順で交換します。

スキャナーのネットワーク接続を確認する方法

スキャナーを有線 LAN で接続した場合、ネットワークへの接続状態を確認します。
コンピューターでコマンド プロンプトを起動し、ping コマンドでコンピューターとの接続確認をします。

1 コンピューターでコマンド プロンプトを起動します。

2 ping コマンドで、スキャナーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

重要

ホスト名を入力する場合は、事前に次の設定が必要です。

- DNS サーバーの設定
- DNS サーバーへのスキャナー名（ホスト名）の登録

➡ 有線 LAN (325 ページ)

3 「Enter」キーを押します。
接続確認結果が表示されます。
スキャナーと接続できる場合は、次のような通知が表示されます。

```
xxx.xxx.xxx.xxx からの応答: バイト数 =32 時間 =59ms TTL=246
```

スキャナーと接続できない場合は、IP アドレスまたはホスト名が正しく指定されているかを確認してください。
それでも接続できない場合は、スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない (219 ページ)を参照して対処してください。

ソフトウェアのアンインストール方法

1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にサインインします。

2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。

3 Windows の「コントロール パネル」画面を表示します。

4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

5 削除するソフトウェアをクリックします。

- PaperStream IP ドライバーを削除する場合
  次のどれかをクリックしてください。
  - PaperStream IP (TWAIN)
  - PaperStream IP (TWAIN x64)
  - PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series
- Network Setup Tool を削除する場合
  「Network Setup Tool」をクリックしてください。
- Software Operation Panel/Error Recovery Guide を削除する場合
  「Software Operation Panel」をクリックしてください。
- Error Recovery Guide（マニュアル）を削除する場合
  「Error Recovery Guide for fi-8600/fi-8700/fi-8700S」をクリックしてください。
- PaperStream ClickScan を削除する場合
  「PaperStream ClickScan」をクリックしてください。
- PaperStream Capture を削除する場合
  「PaperStream Capture」をクリックしてください。
- マニュアルを削除する場合
  「fi Series manuals for fi-8600/fi-8700/fi-8700S」をクリックしてください。
- fi Series Online Update を削除する場合
  「fi Series Online Update」をクリックしてください。

6 [アンインストール] ボタン/[アンインストールと変更] ボタンをクリックします。

7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタン/[はい] ボタンをクリックします。

アンインストールが実行されます。

e-文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e-文書法（*1）の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。
次に、本製品を使用して e-文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- A4 サイズより大きい原稿を A3 キャリアシートを使用して読み取る場合や両面印刷された原稿を読み取って表裏の画像を合成する場合は、文書の種類によって次の点に注意してください。
  - 国税関係書類の場合
    表裏の画像を合成することは、推奨しません。
  - 国税関係書類以外の場合
    表裏の画像を合成した場合、折り目にある情報が欠けていないかを確認してください。
    情報が欠けていた場合は、次の対処をしてから、再度原稿を読み取ってください。
    - 文字などの情報がない部分に折り目を変更する
    - 原稿をしっかりと折り曲げる

***1：** e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。
e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

● e-文書法に対応する要件

e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ると、次の法令要件に対応した画像を作成できます。

財務省の省令（電子帳簿保存法）に定められた要件

解像度：200dpi（8 ドット/mm）以上
カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上またはグレー（256 階調以上）（*1）
非可逆圧縮での画質規定：JIS X6933 または ISO12653 テストチャートの 4 ポイントの文字が認識できること

***1：** 国税関係書類の文書でグレー（256 階調以上）での保存が認められるのは、資金や物の移動に関連しない国税関係書類や定型的な約款が定められた契約申込書などの文書です。
例：見積書控、注文書控、定型的な約款が定められた保険契約申込書

厚生労働省の省令に定められた要件

診療等の用途に差し支えない精度

重要

- 電子帳簿保存法に対応するには、スキャナードライバーで「e-文書モード」を設定して、原稿を読み取ってください。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 本製品は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、紙原本に代えて画像で保存することはできません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプを画像に付与し、管理および運用していく必要があります。詳細は、当社にお問い合わせください。
  https://www.pfu.ricoh.com/rm/anshinrm/
- レシート、見積書などの国税関係書類は、税法で確実な保存が規定されている重要な文書です。これらの文書を画像として保存し、紙原本を廃棄するためには、電子帳簿保存法の要件に対応したシステム、業務規程の作成、および運用管理などの法定要件を満たして、所轄税務署長の承認が必要です。詳細は、省令を必ず参照してください。

- **原稿を読み取ったあとの検証**

  紙文書を電子化する場合、原稿を読み取ったあとに原稿の情報が正しく読み取られているかどうかを、次の観点で検証しなければなりません。

  - ページの抜けがないか
  - 文字がつぶれて読めない箇所がないか
  - ごみ、筋などで不鮮明な箇所がないか
  - 割り印などの、原稿の端にある情報が欠けていないか

  画像の検証で問題があった場合、再度原稿を読み取って検証します。
  検証で問題なければ、画像を登録、保存します。

重要

画像は、一切の修正を行ってはいけません。

IPv6 を使用する場合の留意事項

- **IPv6 に対応していないスキャナーの設定**

  次の設定項目は IPv6 に対応していません。

  - DNS サーバー
  - 「ダイナミック DNS を有効にする」チェックボックス

スキャナー設定情報の移出の留意事項

スキャナーの設定情報は、fi Series ネットワーク設定の「スキャナー設定情報の移入」で、同じ機種のスキャナーに適用できます。

➡ スキャナー設定情報の移入 (330 ページ)

ここでは、スキャナーに適用するスキャナーの設定情報を、スキャナー設定のひな形となるスキャナーから移出する方法について説明します。

スキャナーの設定情報の内容と移出手順を次に示します。

- **スキャナー設定情報の内容**

  スキャナー設定情報には、次の情報が含まれます。

  - fi Series ネットワーク設定で設定した情報

    ➡ ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） (318 ページ)

    ただし、次に示す設定項目の情報は対象外です。

    -「ネットワーク」の「スキャナー名」

    -「ネットワーク」の「有線 LAN」の IP アドレス（IPv4）および IP アドレス（IPv6）

  - Software Operation Panel の退避内容

- **スキャナー設定情報の移出手順**

  1. **fi Series ネットワーク設定および Software Operation Panel で、スキャナーを設定します。**

     ➡ ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定） (318 ページ)

     ➡ スキャナー設定（Software Operation Panel） (253 ページ)

  2. **fi Series ネットワーク設定の「メンテナンス」→「スキャナー設定情報の移出」でスキャナー設定情報を移出します。**

     ➡ スキャナー設定情報の移出 (329 ページ)

Network Setup Tool の起動方法

スキャナー選択ツールの起動方法

ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用するには、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択する必要があります。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「スキャナー選択ツール」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「スキャナー選択ツール」をクリックします。

IP アドレス設定ツールの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「IP アドレス設定ツール」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「IP アドレス設定ツール」をクリックします。

Button Event Manager の起動方法

1 次のどちらかの操作をします

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー →「Network Setup Tool」→「Button Event Manager」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「Button Event Manager」をクリックします。

Button Event Manager を起動すると、コンピューターのタスクバーの通知領域にが表示されます。

2 ボタンの設定に関するヘルプを参照する場合は、を右クリックし、表示されたメニューで「ヘルプ」をクリックします。

再梱包時の注意［fi-8700/fi-8700S］

フラットベッド内のキャリアユニットの固定

スキャナーの輸送中にフラットベッドが破損しないように、フラットベッド内のキャリアユニットを固定してください。
次の手順で、フラットベッド内のキャリアユニットを固定します。

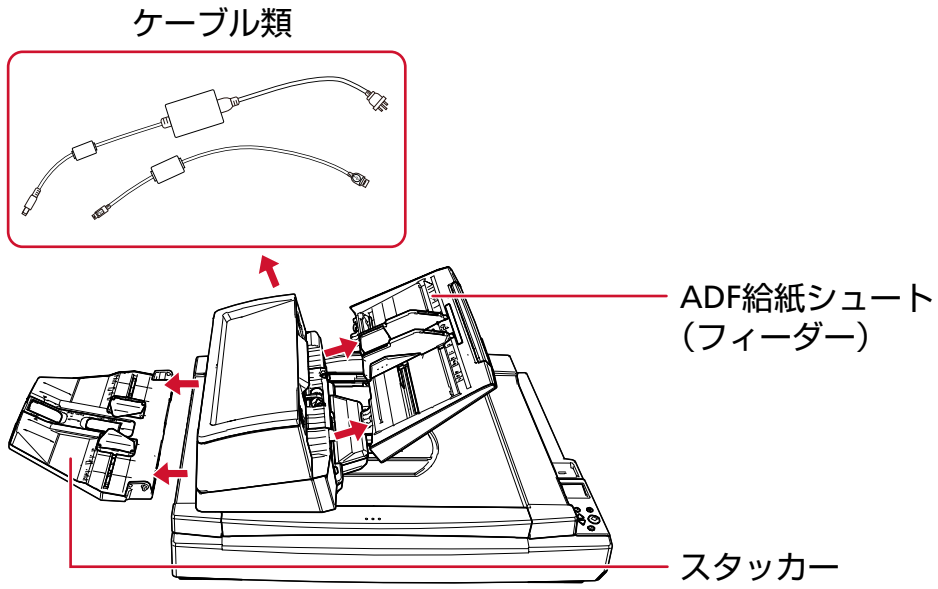
1 スキャナーの電源を投入します。

➡ 電源の投入 (42 ページ)
約 10 秒で、キャリアユニットが停止します。

2 スキャナーの電源を切断します。

➡ 電源の切断 (44 ページ)

3 ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカー、およびケーブル類を取り外します。

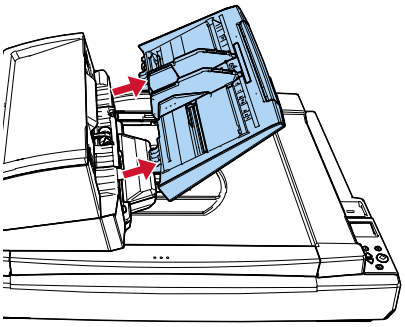


- ADF 給紙シュート（フィーダー）の取り外し

  a ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

  b ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、矢印方向に取り外します。



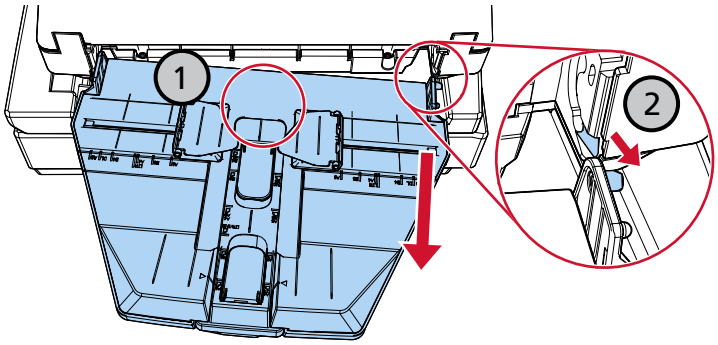
- スタッカーの取り外し

  a スタッカーが下段になっているかを確認します。

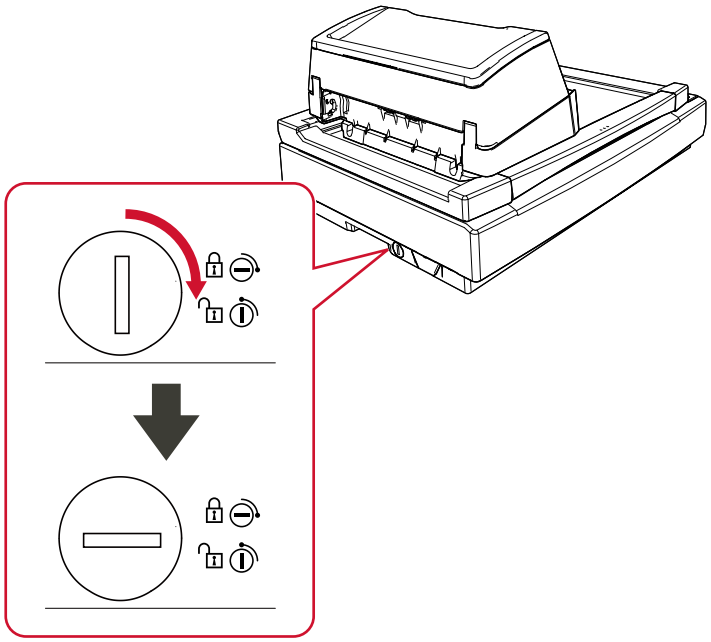
  ➡ スタッカーの設定 (56 ページ)

  b スタッカーをスキャナーから取り外します。

  スタッカーの中央（①）を手で押さえ、スタッカーをたわませながら、スタッカーの右側を②の溝から矢印方向に引いて取り外します。



4 コインなどの道具を使って、溝が横になるように輸送ロックスイッチを回転させて、フラットベッド内のキャリアユニットを固定します。



ADF の固定

スキャナーの輸送中に ADF が破損しないように、ADF を輸送ロックネジで固定してください。
次の手順で、ADF を固定します。

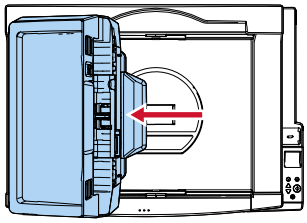
1 **スキャナーの電源を切断します。**

➡ 電源の切断 (44 ページ)

2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカー、およびケーブル類を取り外します。**

➡ フラットベッド内のキャリアユニットの固定 (356 ページ)の手順 3

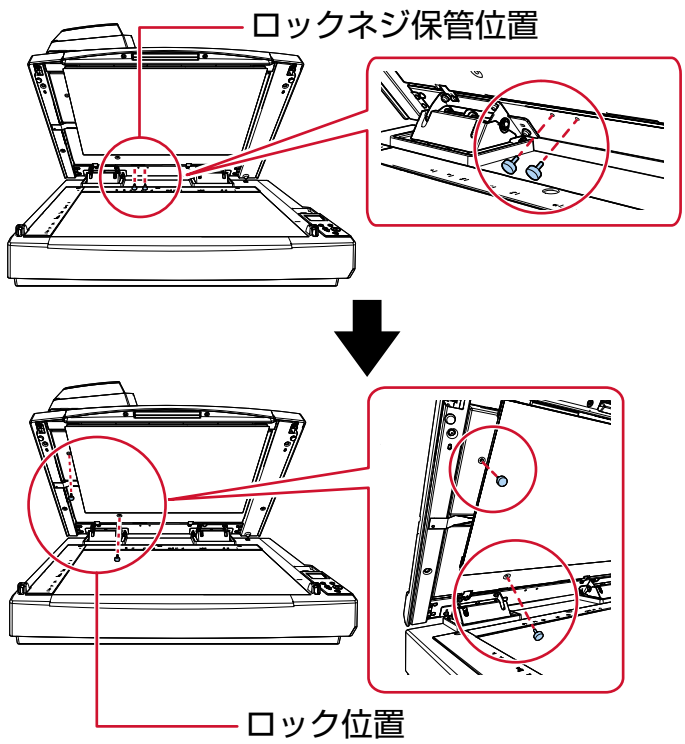
3 **ADF を左側に移動します。**



4 **ドキュメントカバーを開けます。**

➡ ドキュメントカバーの開け方 (49 ページ)

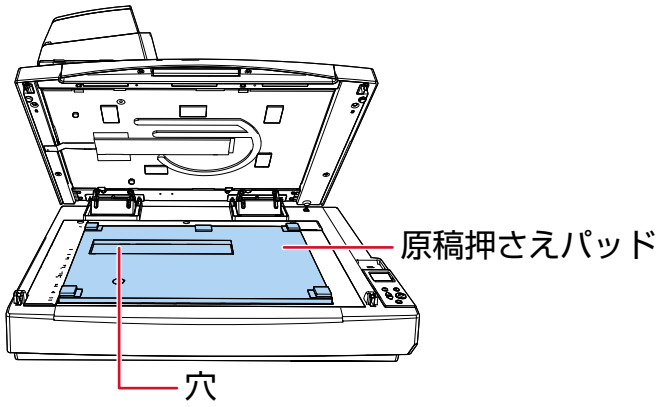
5 **ロックネジ保管位置に固定されている ADF 輸送ロックネジ（2 個）を取り外し、ロック位置に取り付けます。**



ヒント

- ADF 輸送ロックネジが取り付けにくい場合は、原稿押さえパッドを取り外してください。
- 原稿押さえパッドを取り外した場合は、次の手順で原稿押さえパッドを取り付けてください。

1 原稿押さえパッドを原稿台の左上に突き当てて置きます。
原稿押さえパッドの穴の位置を確認してください。



2 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。
ドキュメントカバーを閉じると、ドキュメントカバーに原稿押さえパッドが貼り付きます。

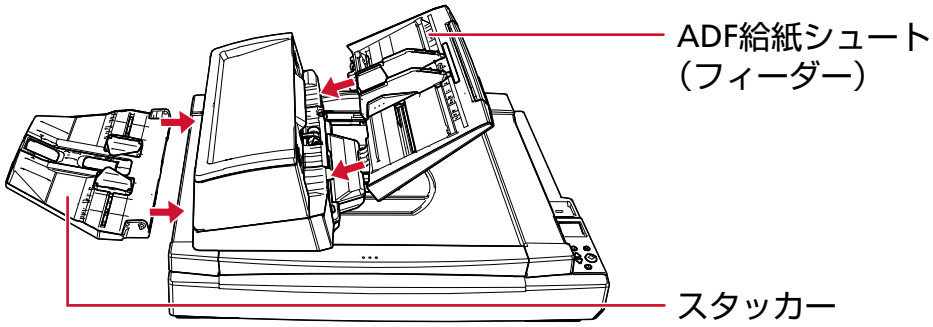
6 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

➡ ドキュメントカバーの閉じ方 (50 ページ)

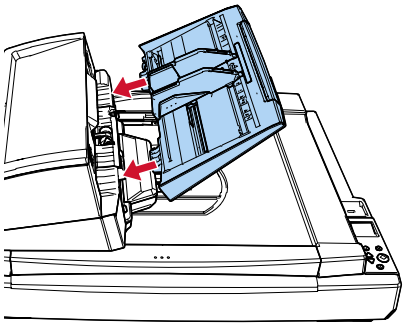
ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーの取り付け

梱包したスキャナーを開梱したときに、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを取り付ける手順は、次のとおりです。
スキャナーとコンピューターの接続方法は、スタートアップガイドを参照してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを取り付けます。



- ADF 給紙シュート（フィーダー）の取り付け
  ADF にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、矢印方向に差し込んで取り付けます。
  サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。

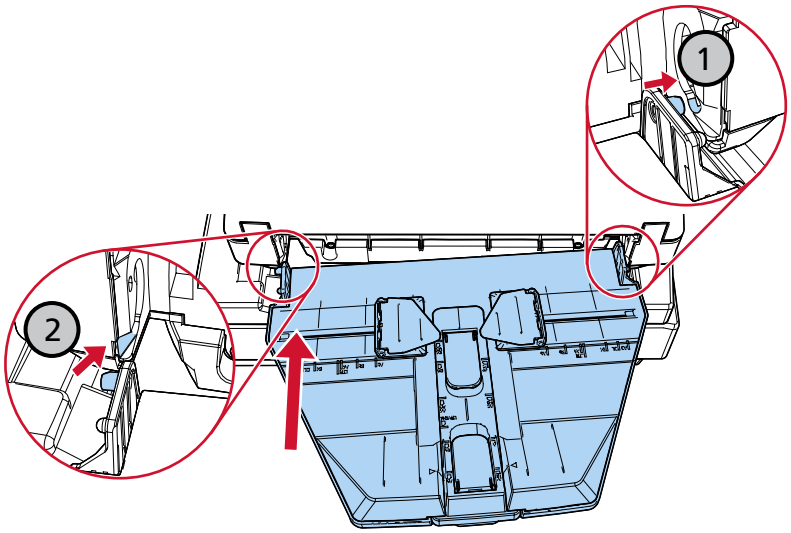


重要

ADF 給紙シュート（フィーダー）は ADF との隙間がないようにしっかり差し込んでください。

- スタッカーの取り付け

スタッカーの右側の突起を①の溝に差し込んでから、スタッカーの左側を②の溝に合わせて矢印方向に押し込みます。



修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 困ったときには (194 ページ)
- サポート & サービスのホームページ
  （https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html）

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。
該当する項目がないか、確認してください。原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- よくあるご質問
  （https://faq.pfu.jp/?site_domain=fi）

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナー fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制によって、お客様を強力にバックアップいたします。
保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。
保証期間については、保証書を参照してください。
製品保証のほか、有償保守サービスをご用意しております。

詳細は、次のホームページをご覧いただくか、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後 5 年間です。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナー fi シリーズ全般に関する操作や故障･トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。
故障・トラブルのお問い合わせのときは、お問い合わせの前に確認すること (249 ページ)を参考に必要事項を確認してください。

- **株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター**

  お問い合わせ先
  次のホームページをご覧ください。
  https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html

サプライ用品の購入先

スキャナーの清掃方法と消耗品の交換方法については、日常のお手入れ (163 ページ)および消耗品の交換 (180 ページ)を参照してください。
清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- **株式会社 PFU PFU ダイレクト**

  お問い合わせ先

  ホームページ

  https://www.pfudirect.jp/